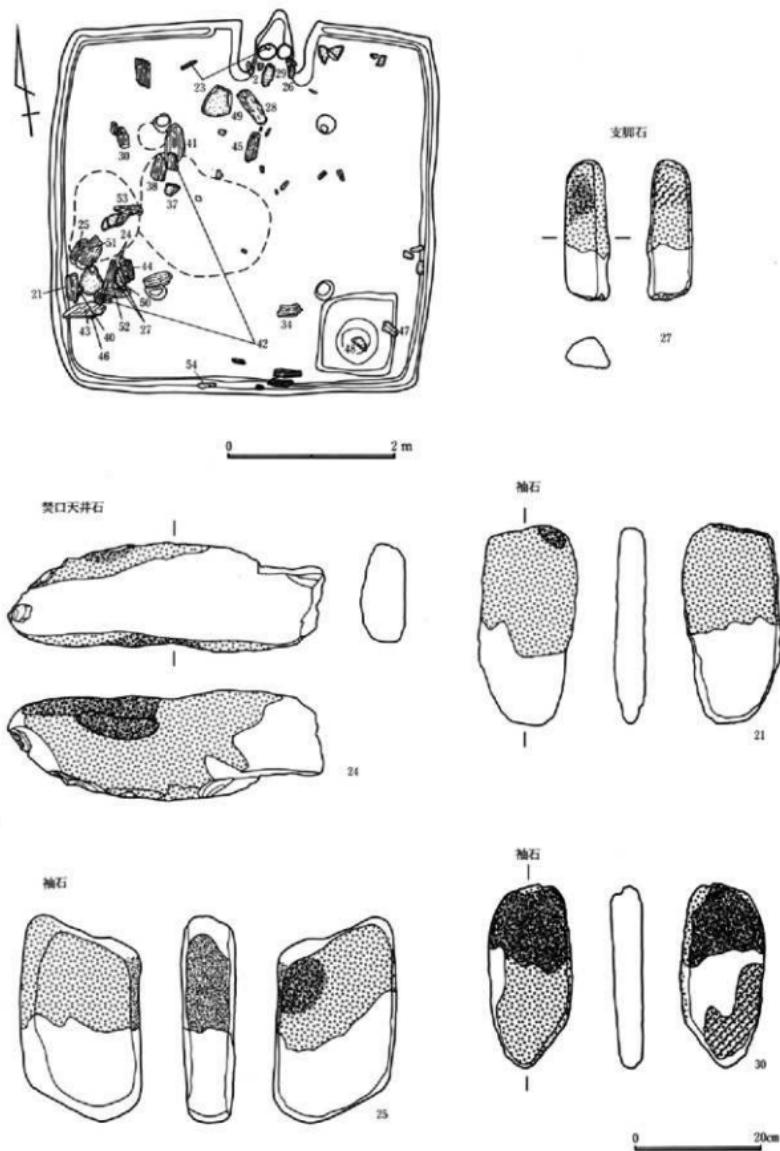
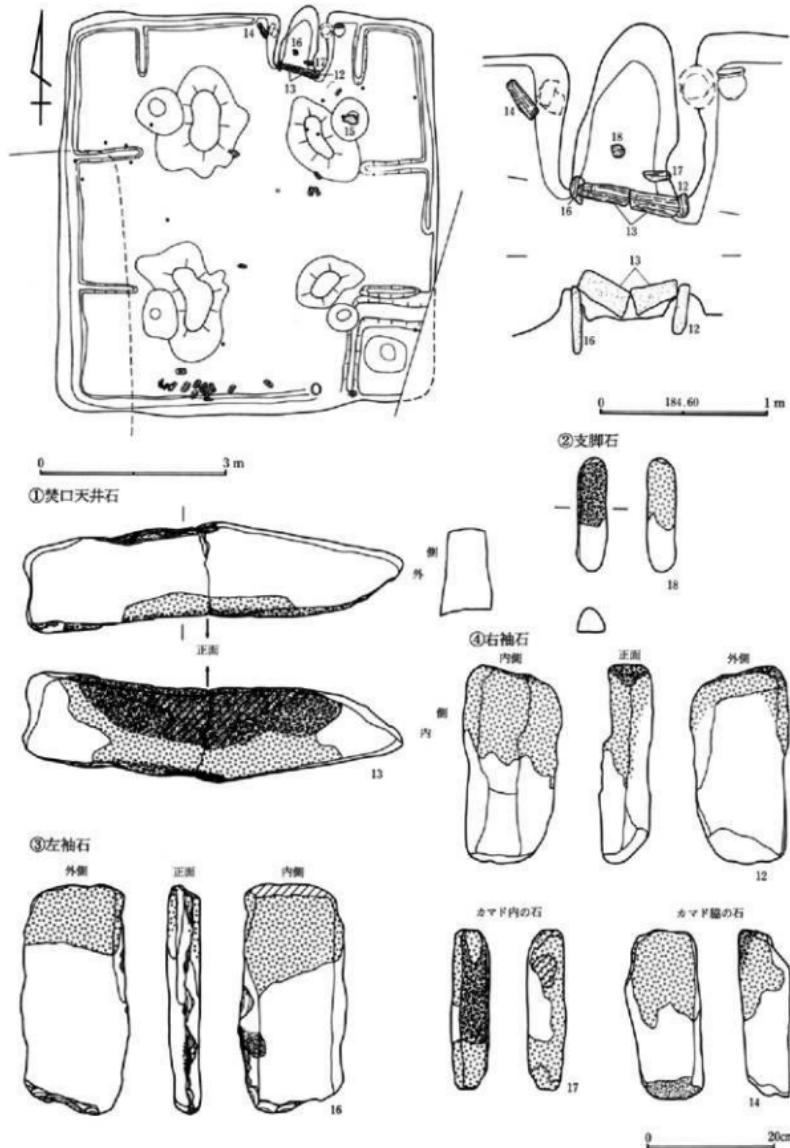


V 成果と問題点

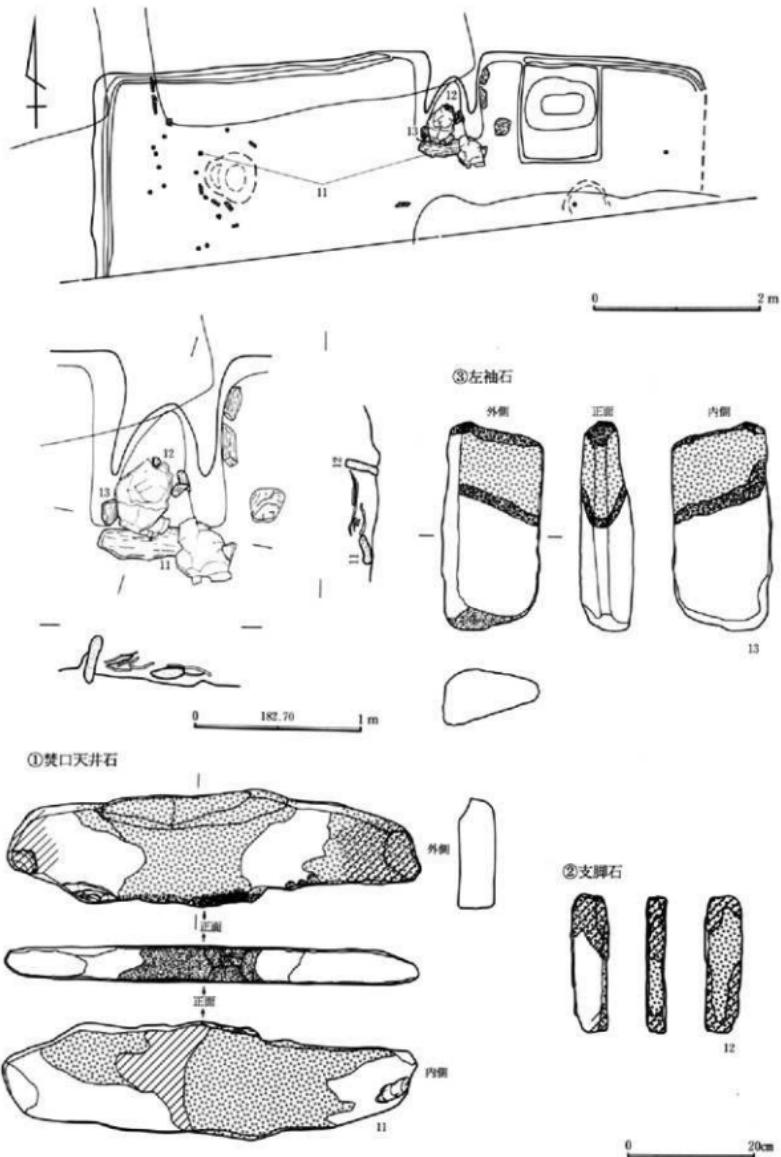


第38図 白倉A区31号住居投げこまれたカマド石材

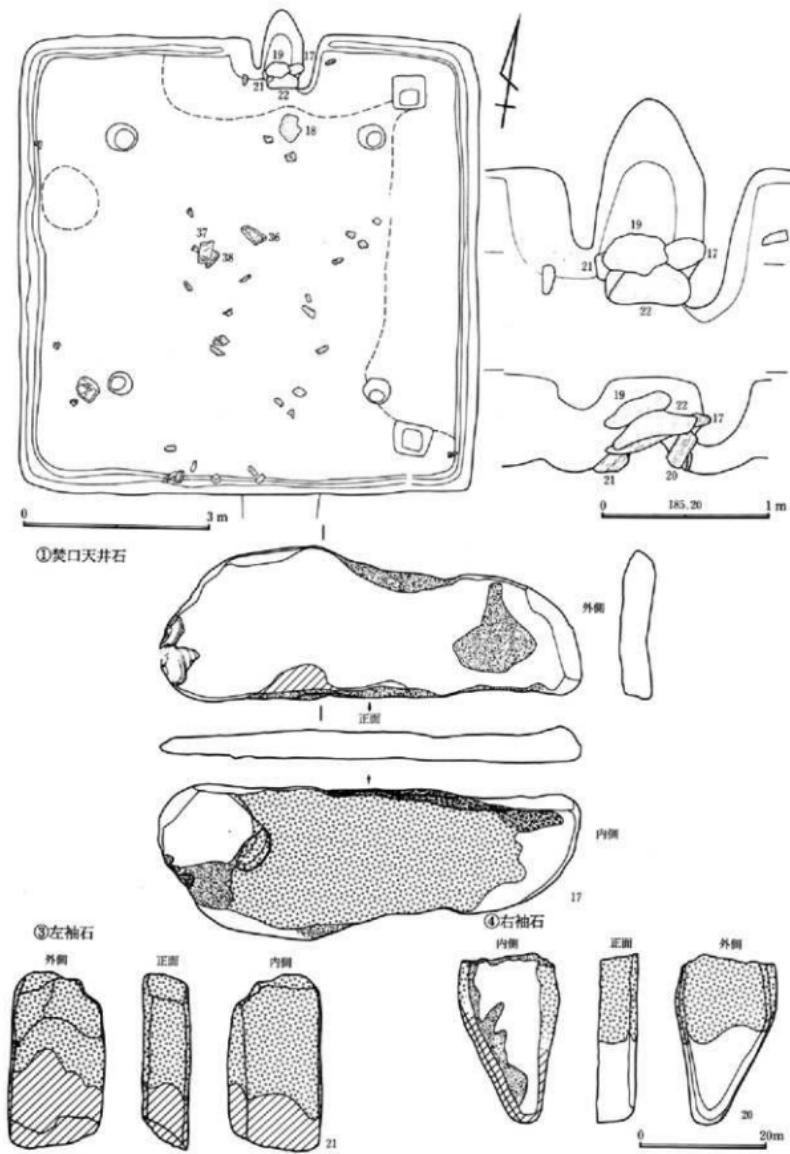


第39図 白倉B区29号住居カマド石材

V 成果と問題点

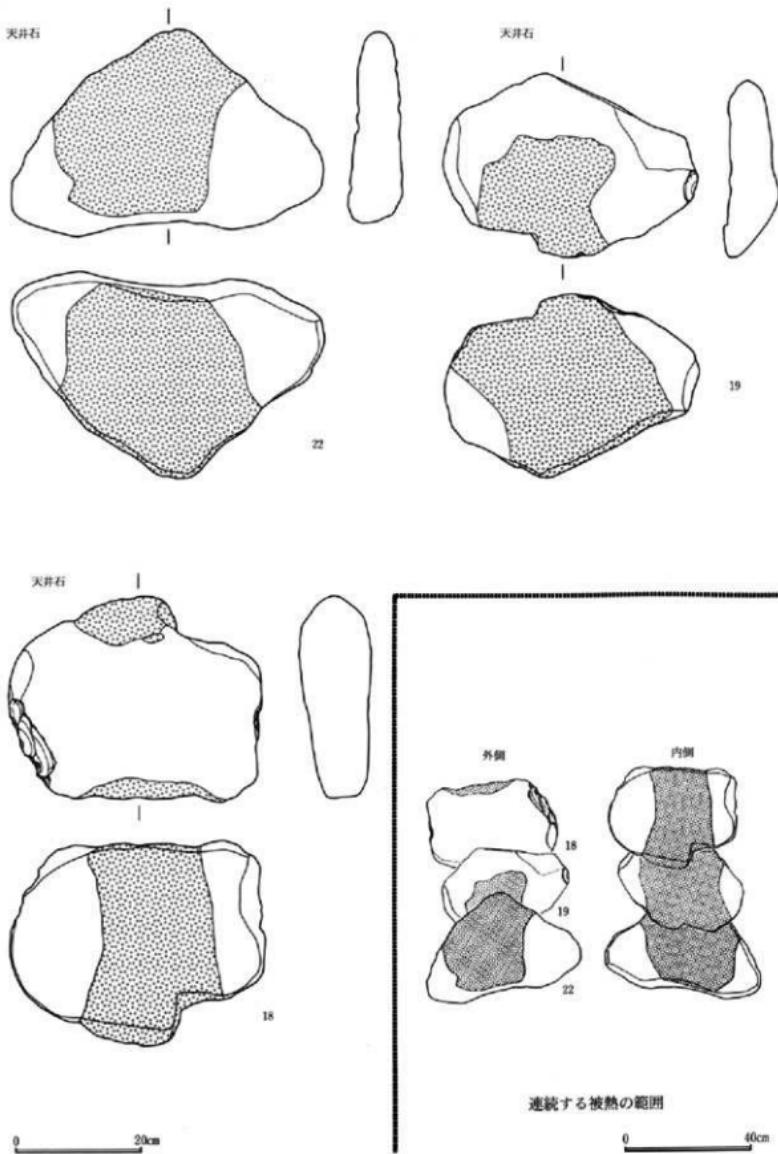


第40図 白倉A区117号住居カマド石材



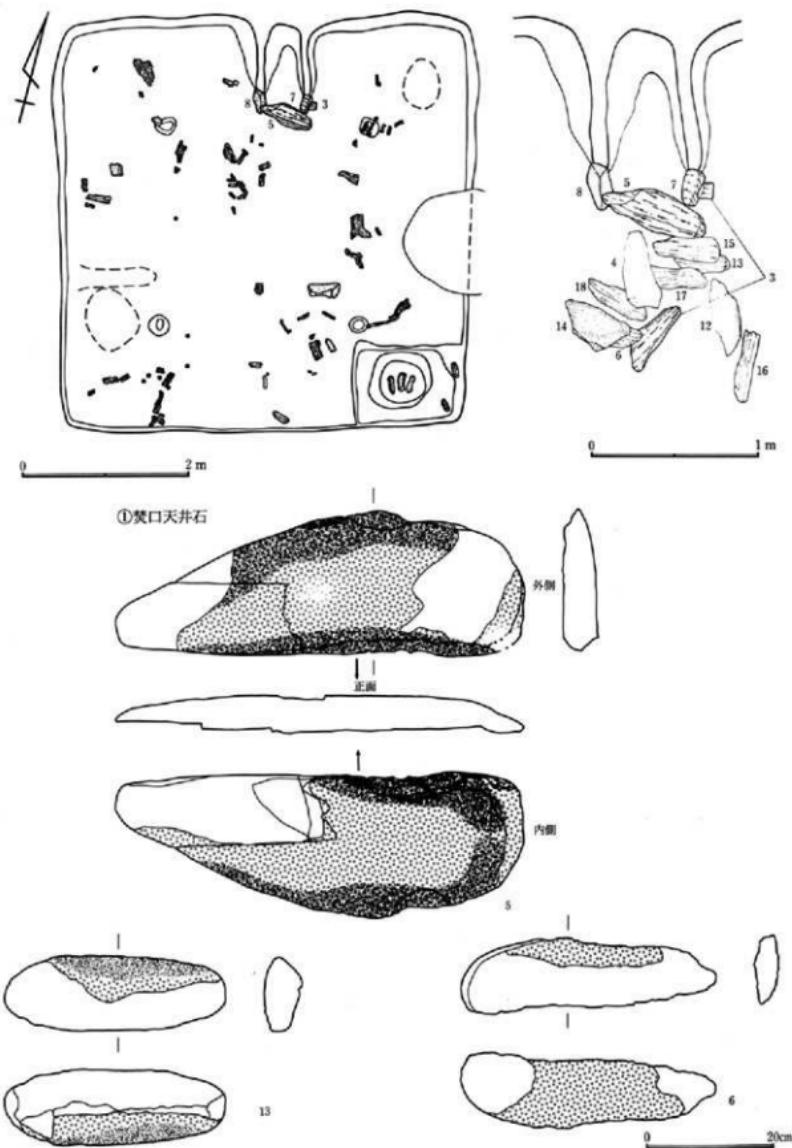
第41図 白倉B区54号住居カマド石材(1)

V 成果と問題点



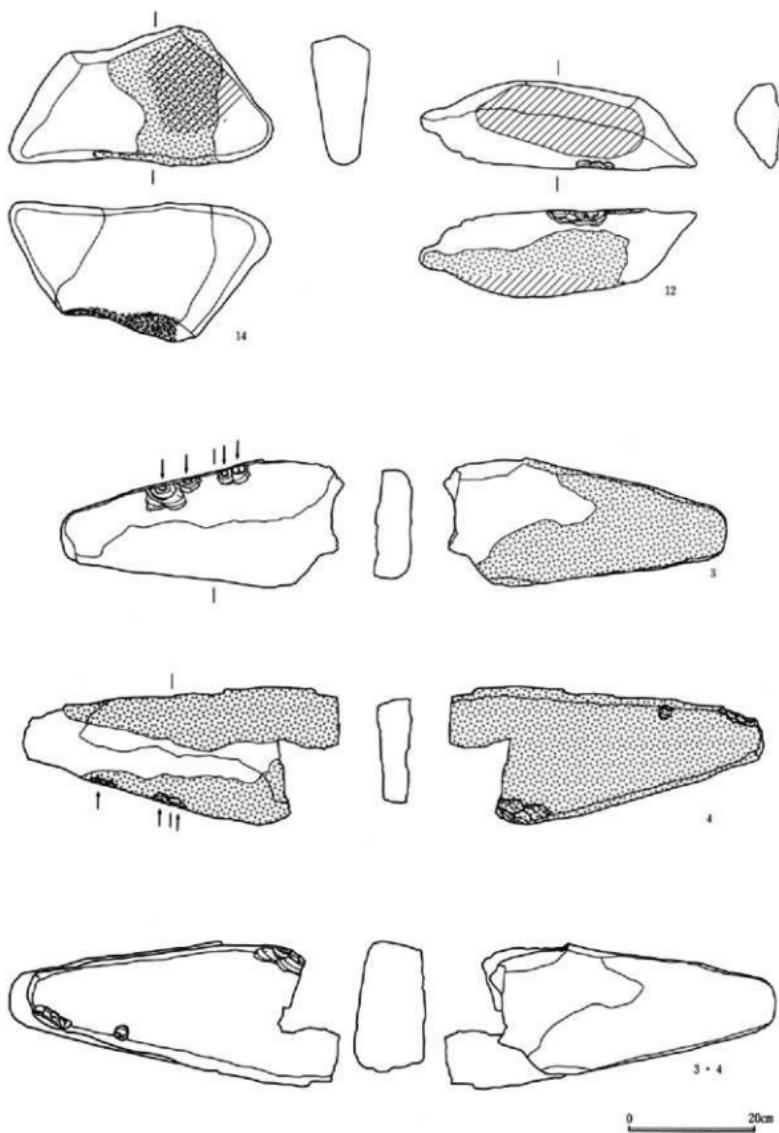
第42図 白倉B区54号住居カマド石材(2)

3. 住居内に廃棄されたカマド構築石材について



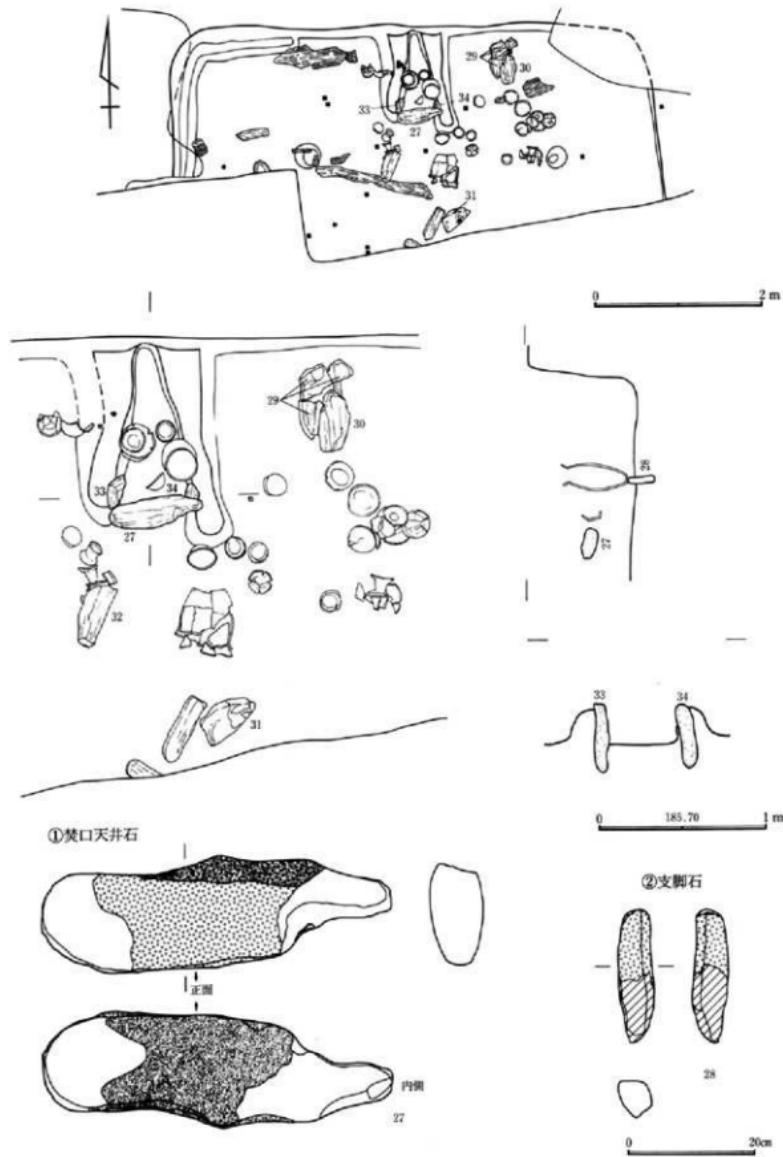
第43図 白倉A区23号住居カマド石材(1)

V 成果と問題点



第44図 白倉A区23号住居カマド石材(2)

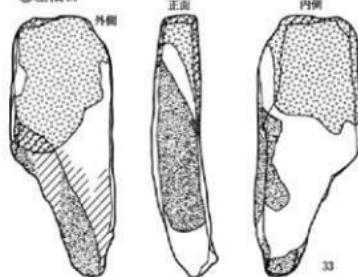
3 住居内に施棄されたカマド構築石材について



第45図 白倉B区78号住居カマド石材(1)

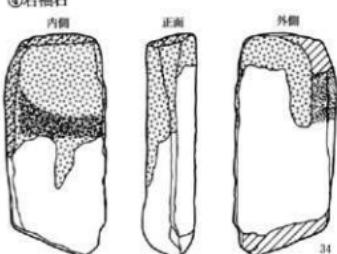
V 成果と問題点

③左袖石

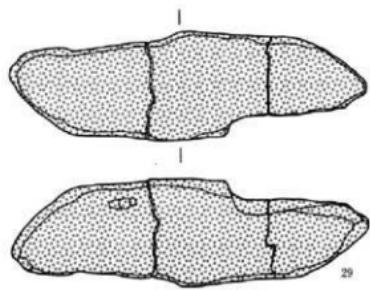


33

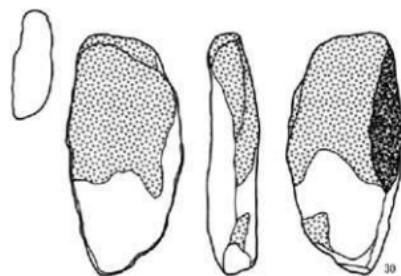
④右袖石



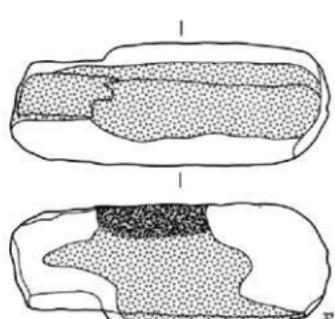
34



29

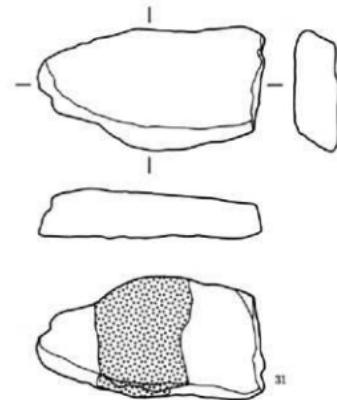


30



32

0 20mm



31

第46図 白倉B区78号住居カマド石材(2)

4 竪穴住居の観察

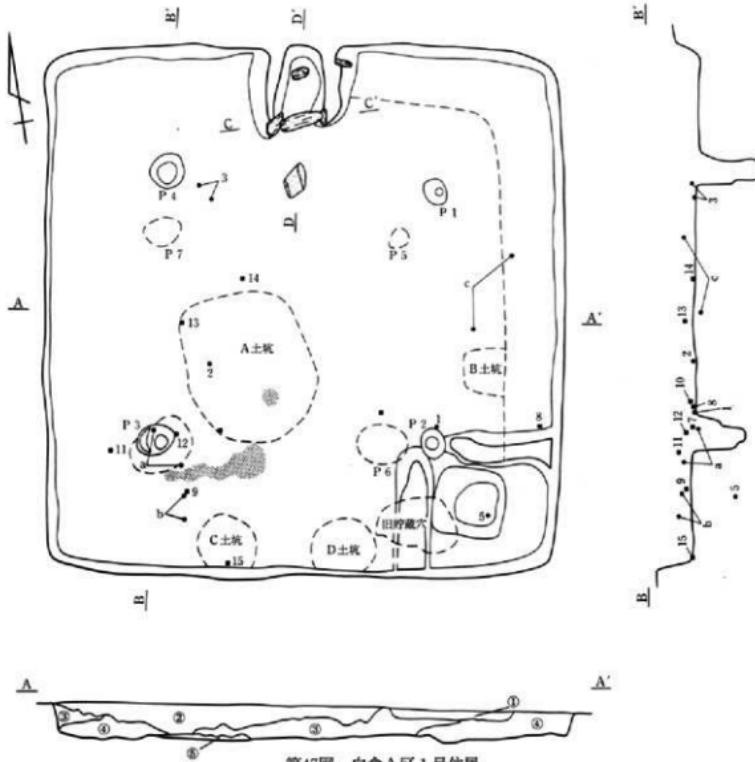
はじめに

関東地方の古墳時代の遺跡で最も多いのは集落跡であろう。集落は居住域・生産域・墓域で構成されるが、そのうちの居住域を構成する主要遺構は竪穴住居である。

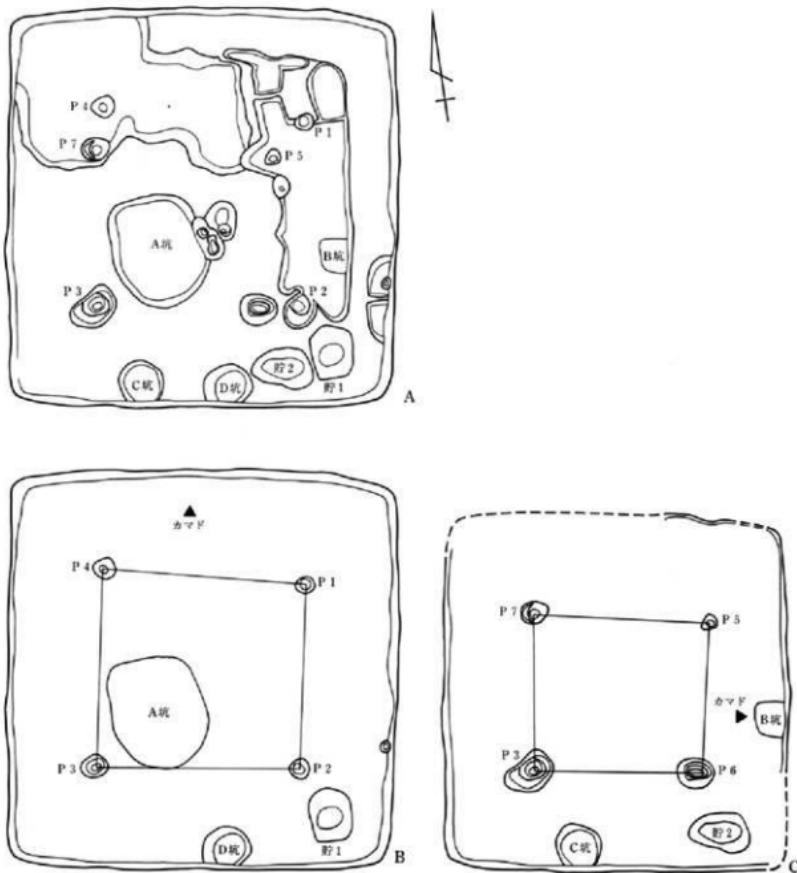
一般的な遺跡では、旧地表が残っているケースはほとんどなく、したがって掘り込まれた遺構のみが調査の対象となる。そのなかで、竪穴住居は性格が特定できるばかりでなく、遺物が伴うケースが多いことから、時期についても特定可能で、貴重な遺構なのである。発掘調査において竪穴住居は日常的で

あるため、安易に扱いがちであるが、実は我々が扱う遺構の中では、遺跡の性格を左右する基本的な資料であり、もっと多くの情報を引き出す方法を模索すべきだと考える。

以上の問題意識から、本遺跡では2つの試みを実施した。1つは、住居埋没土のウォーターセパレーションで、イネ、コムギ、オオムギ、ササゲ属、アサなどの栽培植物が検出できた。活用方法については今後の課題であるが、高い確率で種実が検出できることがわかった。そしてもう1つは、住居の床面および床下の観察である。本遺跡では住居床面が硬質な黄褐色土に達しており、保存状況も良好なため、床面に残された痕跡から使用状況が想定できる事例



第47図 白倉A区1号住居



第48図 白倉A区1号住居掘り方図

等もいくつか認められたが、報告に盛り込めなかつたものも多い。この点については次回を期したい。

床下調査事例

ここではそれらの中から、白倉A区1号住居および47号住居の床下の調査例を紹介しておきたい。両住居は白倉A区北西の台地平坦面にあり、約10メートルの距離をおいて東西に並列している。出土土器

はいずれも6世紀前半で、カマド位置は北である。いずれも改築をおこなっていることが判明している。

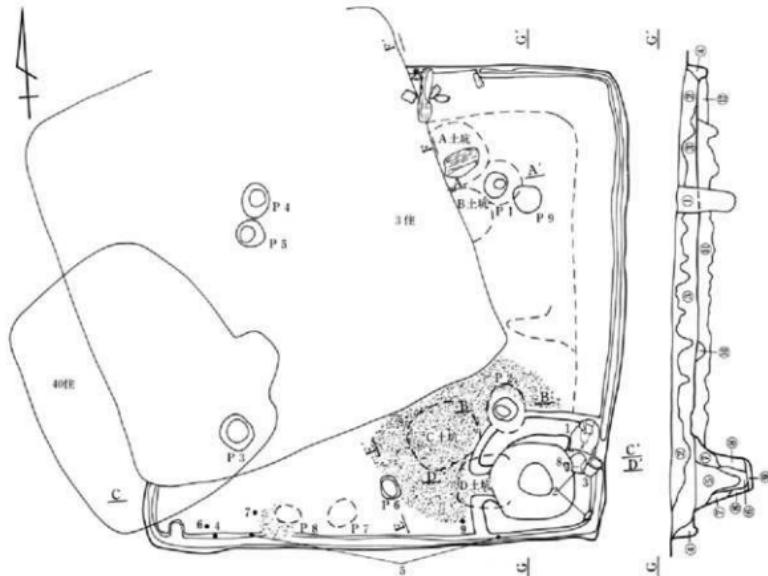
1号住居は、ほぼ6メートルの正方形を呈し、カマドは北辺の中央にある。第48図Aは床下も含めて住居内で確認された全ての施設である。各施設と床面との前後関係、および住居形状と各施設との規格

をもとにこれらを検討すると、改築後の施設がB、改築前の施設がCとなる。南辺壁に接するC坑・D坑は出入口に伴う施設であろう。本住居では北辺と東辺を延長するかたちで増改築しており、P3は共用としている。貯蔵穴はいずれも南東隅に位置するが、再設置しており、出入口施設も東側へずらしている。カマドは東辺から北辺へ移動している。以上が1号住居改築の様子であるが、改築にあたってカマドの移動以外に、基本的な配置は変わらないことが判る。

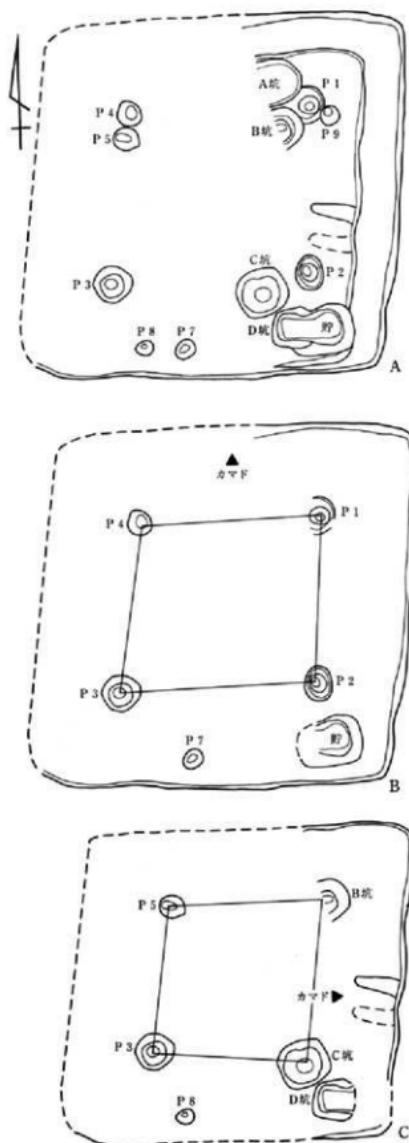
47号住居は、平行四辺形状に歪んだ形状を呈し、カマドはやはり北辺中央に位置する。北西側を大きく3号住居に切られるが、柱穴等の位置から復元が可能である。第50図Aが全施設、Bが改築後、Cが改築前である。増改築の方法から施設の移動まで、1号住居とまったく一致している。

以上の改築2例からどのようなことが想定できるであろうか。その共通点を中心に検討してみよう。

- ① 2例とも改築後の平面形状が同じであることは、少なくともこの2つの形状は、穹穴住居の平面形態として、認知されていたと考えられる。
- ② 改築前と改築後の平面形態が同じであることに加え、南辺・西辺の壁と柱穴は再使用しており、カマド以外の施設の基本的位置も共通していることから、増改築後も同じ住人が居住していた可能性が高いと言えよう。
- ③ 2例とも拡張の寸法が約60cmで共通していること。両住居の形状が異なるにもかかわらず、寸法が一致していることは、この寸法が当時共有していた尺度を示している可能性が高い。なお、壁と柱穴の間は、その倍数である120cmが目安となっているようである。



第49図 白倉A区47号住居



第50図 白倉A区47号住居掘り方図

床面に隠れた情報

ここで取り上げた住居の床面の下には、3つの異なる造構が存在した。1つは住居構築時の荒掘りに伴う掘り方で、いくつかのパターンがある。もう1つは床下土坑などの造構で、必要に応じて掘削し、すぐに埋め戻されることが多い。この1つは旧住居である。

造構は規格性をもっており、住居のような複雑な構造を伴うものは、その規格を理解することが鍵となる。この事例をあえて取り上げたのは、発掘調査から整理作業に至るまで、十分に意をつくせなかつたことへの反省からである。ここでは代表的な2例を紹介したが、これ以外にも多くの事例が存在した。ここで示した事例を2軒と数えれば居住域の構成も異なってくる。今後、住居型式や集落の構成等を考える際には、検討を要することになるだろう。

5 土器製作手法について

はじめに

当遺跡の報告書を作成する過程において土器製作時に由来する特徴が2つ認められた。一つは粘土紐を積み上げる際に下側の粘土に刻みをつける技法であり、もう一つは外見上1個体の土器に異なる胎土の粘土が用いられている事例である。ここでは、これらの事例を紹介しながら当遺跡でみられる土器を素材として、当該期における土器製作とその製作手法について復元的考察を試みることにしたい。

接合痕に刻みがある土器（第51・52図）

土器接合痕に刻みが付される器種は、大型の丸胴甕が大半（第51図）で、小型の丸胴甕（第52図9～12）と長胴甕（同図25）、高杯（同図16）、甑（同図14、15第54図29）で僅かに確認されている。ここに示したのは器形が復元できた土器のみであるが実際には破片でも多く確認できたので、それらについては観察表及び写真PLに示したので参照して欲しい。この刻みが破片で確認される場合には、刻みを付した土器片本体が確認される場合と、この刻みに接合した粘土（土器片）がネガティブな状態で確認される場合と2種類ある。破片においても刻みが認められる器種の大半は丸胴甕であった。また、丸胴甕の全てに刻みをつける技法が用いられているのではなく、全体からすれば僅かかもしれない。この刻みは、多くが1～2cmピッチ程度、深さが数ミリでヘラ状工具によるものであるが、中には大変細かなピッチの刻み（11）もある。

この刻みは、全ての粘土紐を接合する際に付けられるわけではなく、部位が決まっている。殆どが底部より少し上位の胴下部であり、大型の丸胴甕では底部近くと胴下部の2箇所に刻みが確認できる場合（1.2.4.6）もある。この刻みは粘土紐の接合をより強固にするための技法と思われ、時代は異なるが繩文時代中期加曾利E3式土器でも見たことがある。刻みが付けられる部位がおよそ決まっているのも、特にその部位の接合を強固にする必要があつ

たからにほかならない。

製作途中で焼成されたと思われる土器（第53図）

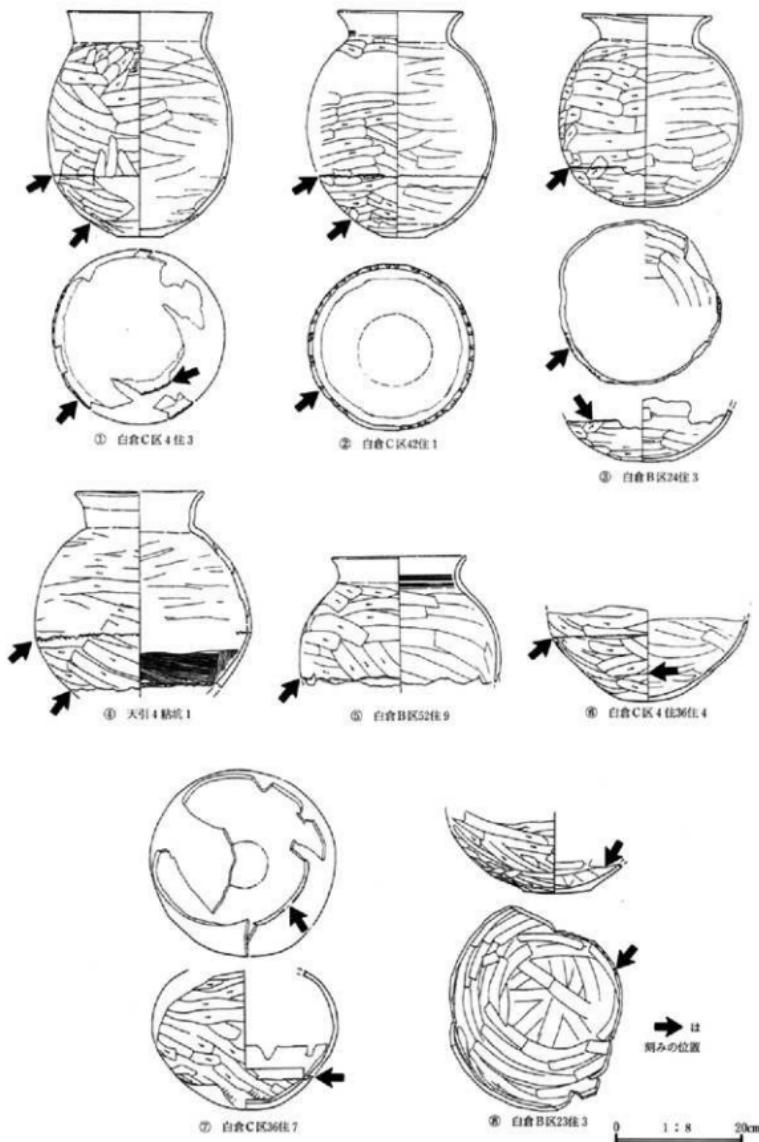
整理作業において接合痕に刻みがある土器を観察していく過程で、丸胴甕の底部～胴下部のみを製作し、刻みを付した段階で焼成したと思われる鉢形土器が見つかった（7）。この土器については、当初上位の粘土が剥がれた状態かと思ったが、①ヘラで刻んだ際にできる粘土の盛り上がりが内外面で観察でき（写真PL109参照）、②粘土が剥がれた痕跡が受けられないこと、③このような鉢形土器が定型的な土器とは思われないこと、④土器の高さが先に扱った接合痕に刻みがある土器群の部位と基本的に一致すること、から製作途中の焼成品と考えた。刻みをもたないが同様に丸胴甕製作途中焼成品の鉢形土器は、他に4点（18～21）出土し②～④で示した点も共通している。本来の完成品（丸胴甕）ではないためだと思われるが、17も含め5点の鉢形土器は共通して器面調整が粗く、19と20では焼成前にあつた粘土のひび割れがそのまま残っていた。

丸胴甕以外にこのような事例は、長胴甕製作途中焼成品として2点（22,23）、甑製作途中焼成品の可能性があるものとして1点（24）確認している。なお、24については、その後二次的な穿孔が底部に施されている。この3点についても②～④で示した特徴が見られる。

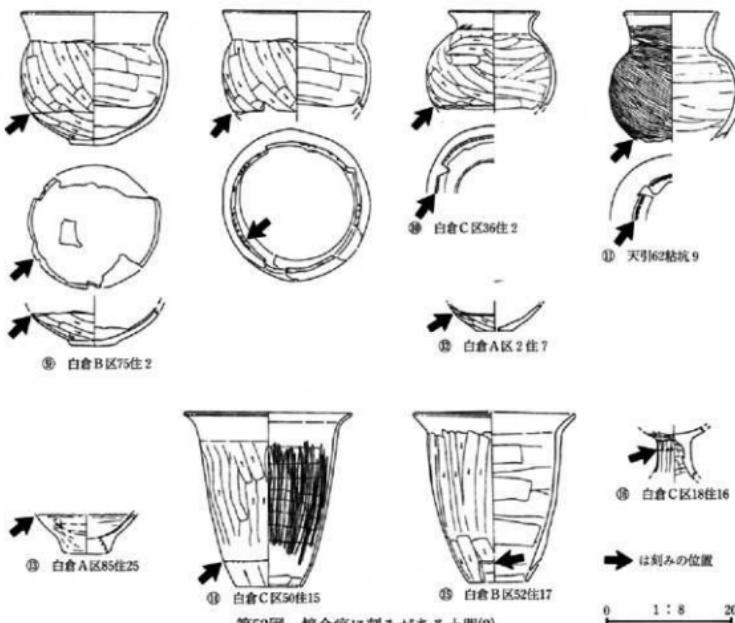
粘土紐を積み上げながら土器を製作する際には、幾つかの工程が想定されると思うが、ここで示した8点の土器が、全て「土器の高さが先に扱った接合痕に刻みがある土器群の部位と基本的に一致する事」に注目したい。この段階で焼成された理由として鉢形土器として利用するためが前提であったとはいっても、比較的焼成しやすい状況があったのではないかろうか。つまり、鉢形を製作した後に次の粘土紐を重ね合わせる作業までの間が連続せず、時間的断絶（どの程度かは不明）が想定できるために、鉢形の土器が焼成されたのではないかろうか。

さきほど接合痕に刻みがある土器について述べた際に、刻みの部位が胴下部に共通し、それはその「部

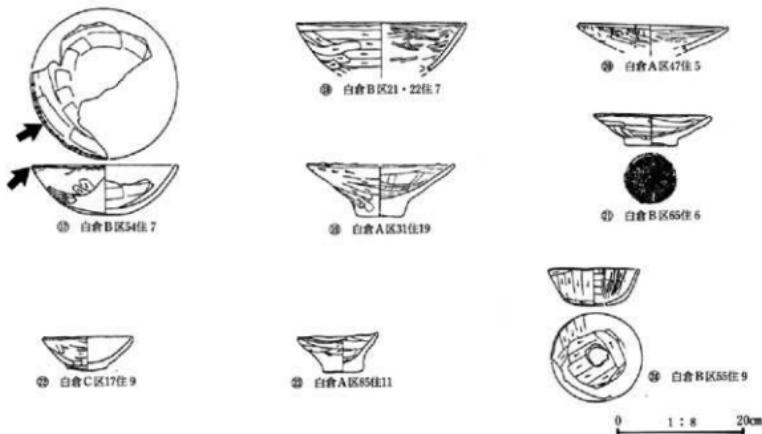
V 成果と問題点



第51図 接合痕に刻みがある土器(1)

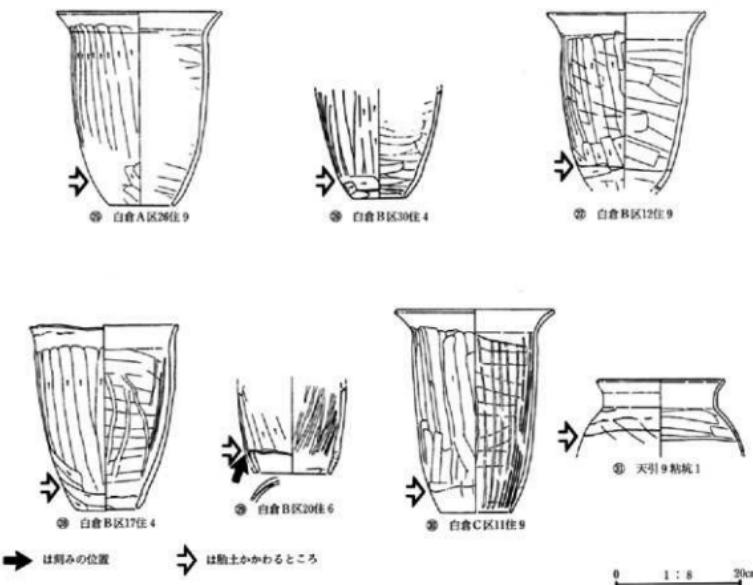


第52図 接合痕に刻みがある土器(2)

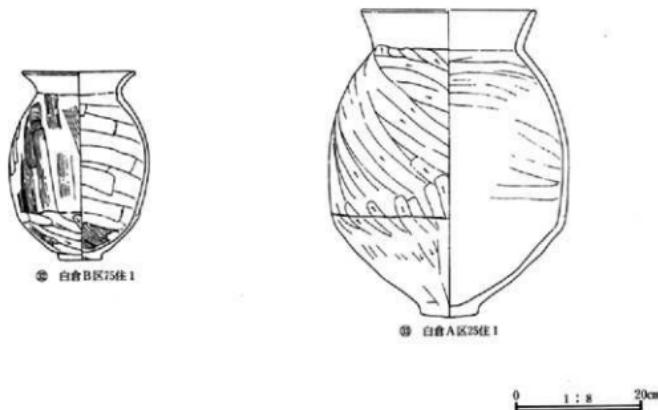


第53図 製作途中で焼成されたと思われる土器

V 成果と問題点



第54図 胎土の異なる土器



第55図 削下部で器形が変換する土器

位の接合を強固にする必要があったから」だとした。この想定が正しいとすれば、鉢形（胴下部）を最初に製作し、次の粘土紐を重ね合わせるまでに時間的断絶が存在するために「部位の接合を強固にする必要」が生じたのでなかろうか。

次に、「胎土の異なる土器」の観察から、鉢形（胴下部）製作時と次の段階に時間的連続性が認められない理由について考えてみよう。

胎土の異なる土器（第54図）

外見上1個体の土器に異なる胎土の粘土が用いられている事例は7個体が確認できたが、これらの胎土分析は「IV—4 土器の胎土と地山粘土の分析」に記載してあるので詳しく述べておきたい。また、これらの7個体の胎土が外見上明らかに異なる様子については写真P-Lおよび巻頭カラー（29と30）を参照して欲しい。

さて7個体のうち6点は概（25～30）であるが、胎土の異なる部位は第54図で示したようにいずれも胴下部である。29についてはネガティブな刻みが見られ、異なる胎土の胴下部を、上位に重ねた粘土がサンドイッチ状に挟んでいる様子が観察できる（巻頭カラー参照）。29の場合には胴下部胎土の粒子は粗く上位胎土の粒子は細かいが、30の場合はその逆で胴下部胎土粒子が細かく上位胎土粒子は粗い。このことは、部位による胎土選択はなかったことを示しているといえよう。胴下部とそれより上位の部位で胎土が異なる理由としては、部位による胎土選択がないのであるから、胴下部が最初に作られ、その後の段階に入る際には胴下部で使っていた粘土が終わるために、異なる粘土で上位の部分を作りあげたとするほうが自然であろう。土師器を製作する途中で粘土がなくなってしまう状況は想像にかたくない。そこで新たな粘土を用いて作りかけの土師器を完成させる際に、最初の粘土が終わってしまった段階のほとんどが胴下部とすれば、これは偶然とはいがたい。土師器工人は一定数の胴下部を製作して、その後に順次上部の粘土紐を積み上げて完成させたと考えるほうが理にかなっているように思う。なお、

概において胴下部を最初に製作した場合に、その部分は現状からは底部と呼ぶべき粘土紐一帯分程度の幅しかなくなってしまう。これについては、先に示した第53図24のように底面まである底部が最初に作られ、その上に粘土紐が積み上げられていく、最終段階で底面を含む少なからずの部分が切り取られて概が完成したのではないかと想定している。概底部内面のみに観察されるヘラ削り痕は、その際のものではなかろうか。

先に、「接合痕に刻みがある土器」と「製作途中で焼成されたと思われる土器」について述べた際に、胴下部（鉢形）までの製作段階と次の粘土紐を重ね合わせる作業が連続せず、時間的断絶（どの程度かは不明）が想定できるのではないかと考えた。

作業が連続せず想定される時間的断絶も、土師器工人が一定数の胴下部を製作する際に生じる不連続及び時間的断絶ではなかろうか。

おわりに

第55図には胴下部で器形が変換する土器2点を示したが、これもまた胴下部を最初に製作した後に、時間的断絶を経て上位の粘土紐を積み上げていった結果によるものと思われる。32の整形痕が胴下部の器形変換点で異なっていることもそのためであろう。器形変換点で整形痕が異なっているものには他に4があげられる。

このような胴下部にある器形変換点は程度の差こそあれ当該期の壺、概には一般的に見受けられ、変換点に対応する内面にははっきりとした接合痕が観察される。

つまり、このような特徴が認められる土器の製作手法は今回復元的に考察したように、土師器工人によって底部から胴下部に至る部分までの一定数が作られ、その後に粘土紐が積み上げられていった状況が想定されるのである。

6 木の葉形坏について

はじめに

木の葉形坏とは、平面形状が木の葉に似ていることから従来報告書の観察表などにおいて、木の葉形、木の葉型、木葉形、などと呼称されていた土器器坏のことである。ここでは、白倉下原地区で5点の木の葉形坏が出土したことから、類似例も含めてこの坏の集成を行い、形状の特徴や分布などについて簡単に触れてみたい。

類似例もふくめた出土坏の一覧を表19としてまとめ、出土遺跡の分布は第56図に、本遺跡例も含めた集成図は第57～60図に示している。

形状について

平面形状は細長く、長軸方向の一方は尖り、もう一方は丸みをもっている。「木の葉」の形よりはイチジクの果実やスイカの種に似た形状である。長軸ラ

インを中心左右対称となっている。丸底で、体部から口縁部にかけて緩やかに内湾しながら立ち上がる。長軸方向の尖った部分は正面から見た場合には上位の方向に三角形状に尖る場合が多く、側面から見た場合も、この部分は靴先状に反り返るものが多い。また、口唇部は丸みをもたないものが多いようである。大きさは、およそ長径14～18cm、短径10～13cmである。高さは上位に部分的に尖る部分は除き、器の深さで2～5cm程度である。他の坏と比べると幾分浅いものが多く、それ故に、既報告の中には皿と表現したものがいくつかあった。

器面調整について

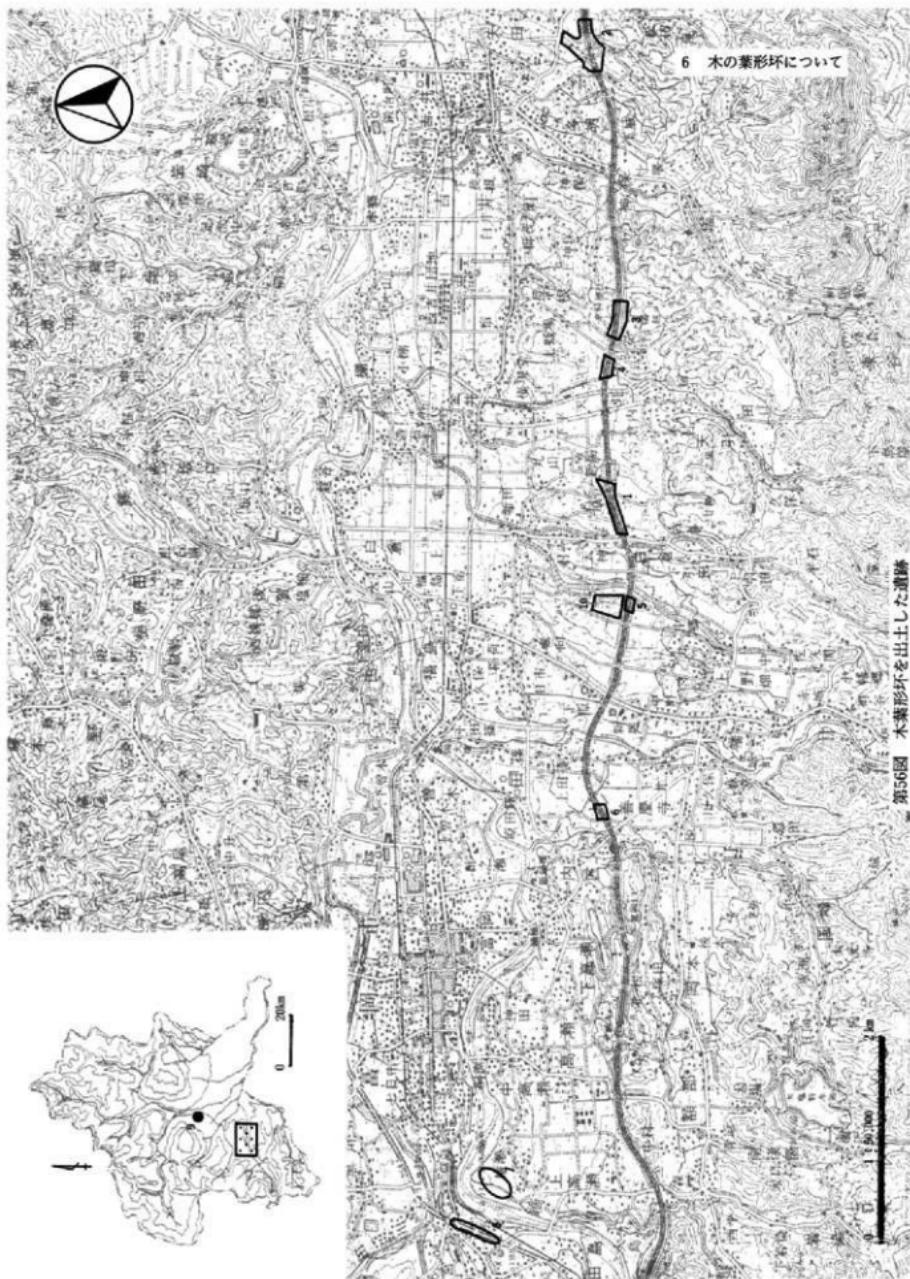
外面は全体に丁寧なヘラ削りが施されるもの多く、体部と口縁部ざかいが不明瞭なものが多い。第57図2などはさかいが明瞭で例外である。

内面はナデが施される。また、放射状のヘラ磨きが施されるものも多い。木の葉形坏分布域における

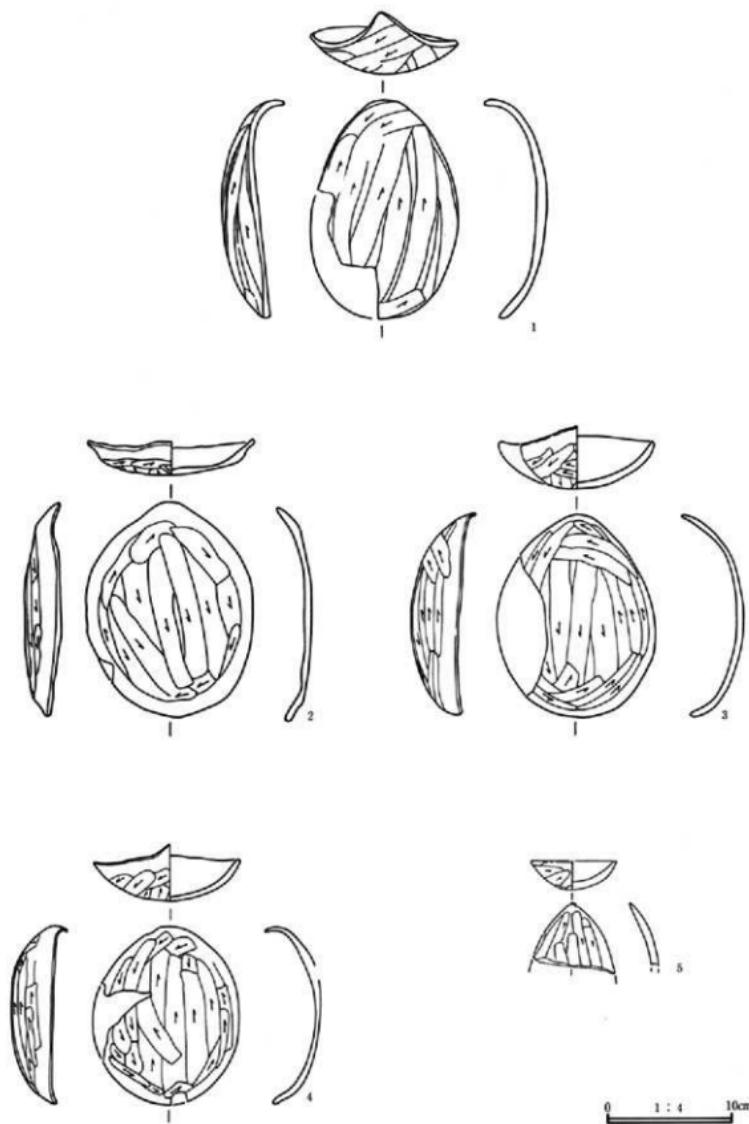
表19 木葉坏出土遺跡一覧表

| 番号 | 遺跡名 | 通構名 | 備考 |
|----|-----------|----------------|---|
| 1 | 白倉下原 | I A区27号住居-15 | 6世紀後半の堅穴住居跡から出土。一部を欠損する。本報告書に掲載される。 |
| 2 | " | B区56号住居-5 | 6世紀後半の堅穴住居跡から出土。口縁部と体部境に棱を有する。本報告書に掲載。 |
| 3 | " | B区69号住居-3 | 6世紀後半の堅穴住居跡から出土し、4と同一住居出土。一部を欠損。本報告書掲載。 |
| 4 | " | B区69号住居-4 | 6世紀後半の堅穴住居跡から出土し、5と同一住居出土。一部を欠損。本報告書掲載。 |
| 5 | " | C区49号住居-15 | 6世紀後半の堅穴住居跡から出土。先端のみだが、細長い形状か。本報告書に掲載。 |
| 6 | 矢田 | 2 53号住居-6 | 6世紀後半の堅穴住居跡出土。7、8と同一遺構。 中沢編1996「矢田遺跡」VI所収 |
| 7 | " | 53号住居-7 | 6世紀後半の堅穴住居跡出土。6、8と同一遺構。 同 上 |
| 8 | " | 53号住居-29 | 6世紀後半の堅穴住居跡出土。6、7と同一遺構。 同 上 |
| 9 | 長根羽田倉 | 3 22号住居-11 | 6世紀後半の堅穴住居跡出土。内面ヘラミガキ。 鶴沼編1990「長根羽田倉遺跡」所収 |
| 10 | " | 36号住居-16 | 6世紀後半の堅穴住居跡出土。内面ヘラミガキ。 同 上 |
| 11 | 長根安坪 | 4 H-42号住居-12 | 6世紀後半の堅穴住居跡出土。内面ヘラミガキ。 菊池編1997「長根安坪遺跡」所収 |
| 12 | " | H-51号住居-32 | 同 上 |
| 13 | " | H-51号住居-33 | 13と同一遺構出土。 同 上 |
| 14 | 天神II | 5 1号住居-8 | 6世紀後半の堅穴住居跡。内面ヘラミガキ。 松田他編1994「天神II遺跡」所収 |
| 15 | 西慶寺早道場 | 6 5号住居-1 | 7世紀後半か。二次的加工。 斎藤編1994「西慶寺早道場遺跡」所収 |
| 16 | " | 11号住居-1 | 6世紀後半の堅穴住居跡出土。破片。 同 上 |
| 17 | " | 12号住居-1 | 6世紀後半か。可能性があると本文に記載。 同 上 |
| 18 | " | 12号住居-2 | 同 上 |
| 19 | " | 16号住居-10 | 6世紀後半か。破片の出土。 同 上 |
| 20 | 本宿・郷土 | 7 12号構-27 | 6世紀化か。 井上他1981「本宿・郷土遺跡」所収 |
| 21 | 横瀬古墳群 | 8 F号第一-10 | 同 上 |
| 22 | 三ツ寺II | 9 1区22号住居0060H | 6世紀前半か。地形として記載。 宮崎市教委 1991「横瀬古墳群」所収 |
| 23 | " | 1区22号住居0061H | 同 上 |
| 24 | " | 5区48号住居1245H | 同 上 |
| 25 | 三ツ俣・下小塚10 | 未報告資料 | 三ツ俣遺跡で1点、下小塚遺跡で1点出土。甘楽町古代館に展示。小安和順氏教示。 |

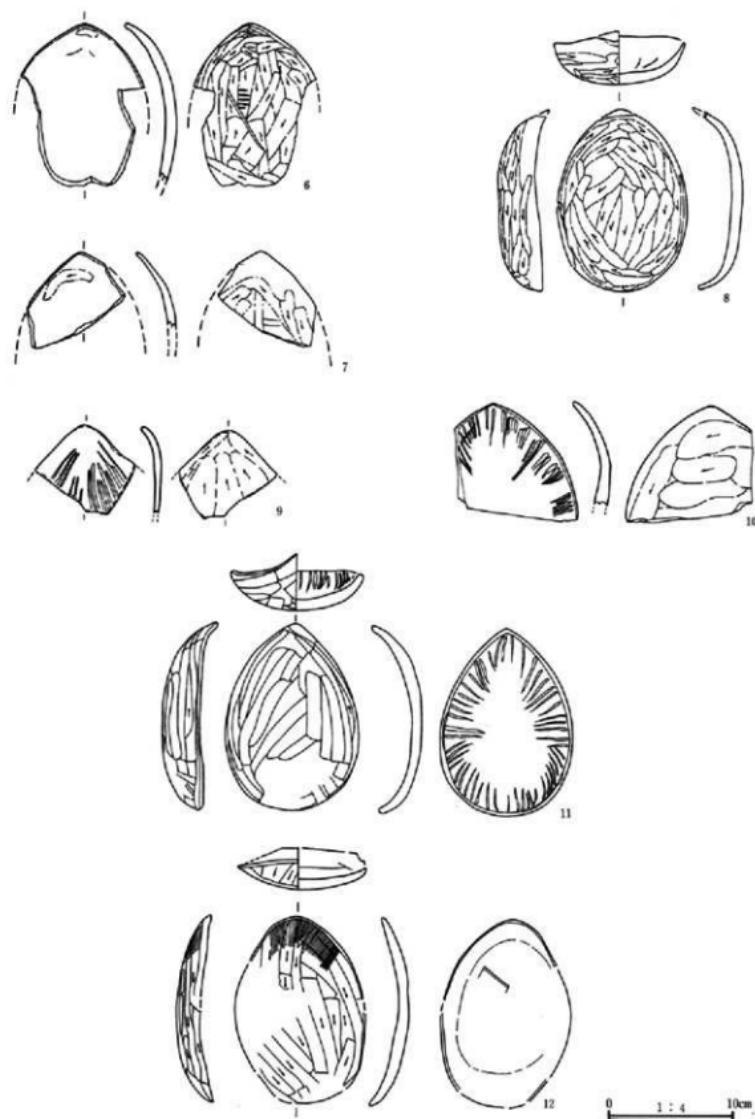
6 木の葉形环について



第56図 木葉形环を出土した遺跡

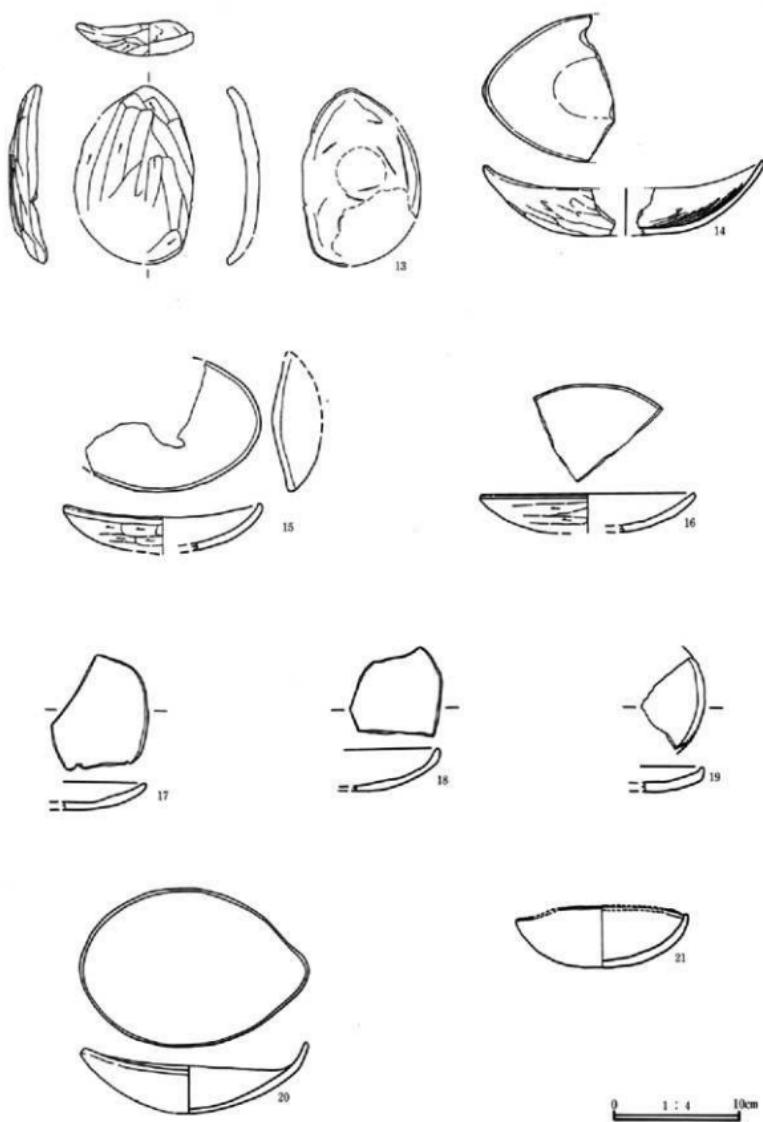


第57図 県内出土の木葉形壺(1)

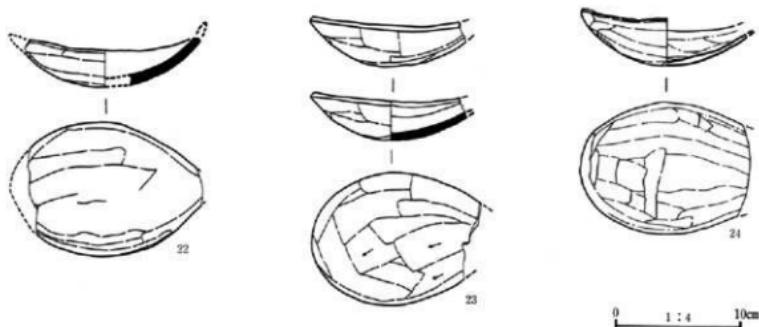


第58図 県内出土の木葉形環(2)

V 成果と問題点



第59図 県内出土の木葉形坏(3)



第60図 県内出土の木葉形環(4)

同時期の土師器環に同様のヘラ磨きが施されているとの同じである。

類似する環

以上述べてきた内容が木の葉形環の定義とすれば、若干異なるものが存在するようである。第59図15は焼成後の二次的加工により木の葉形環が製作されたものである。また、同図21は先端が注口状を呈しており盛り付ける器ではなく、片口鉢のような液体を注ぐ器である。また、完形でないため判断に苦慮するが、第60図22~24に示した三ツ寺II遺跡の環は匙形として觀察表に記載されていることから、同図21も含め木の葉形環としては扱わないほうがよさそうである。

時期と分布

木の葉形環は表19に示したように大半が6世紀に帰属する場合が多い。唯一の例外は、さきほど二次的加工例としてしめした第59図15が7世紀代とされ

ている。また、分布であるが管見に触れた限りでは第56図に示したように吉井町、甘樂町、富岡市の篠川流域に分布するようである。例外として類似資料としてさきほど触れた群馬町三ツ寺II遺跡があるのみである。

まとめ

今まで管見に触れた木の葉形環について述べてきたが、形態や限られた分布域が果たして如何なる要因によって規定されるのかといったことについてはまだ端緒についたばかりである。形態については、木器及び須恵器（朝鮮半島を含む）まで視野を広げ類似例を探したが、注口をもつ片口鉢的なものは存在するが、残念ながら木の葉形環と同じ形態のものはまだ類例がない。分布域については他の事柄や物において同様な分布を示すものの存在などを視野において考へていかなければならぬであろう。今後の類例を待ちながら再考したいと考えている。

7 白玉製作工程と出土状態

1はじめに

白倉B区75号住居からは多量の滑石が出土している。その殆どは、未製品などから判断して白玉製作に由来するものとしてよいだろう。この遺構の調査においては、全ての遺物の出土位置を記録すべく留意し、その結果として表20に示したように、約1万6千点もの滑石の出土地点を記録保存した。また、覆土のフローテーションもを行い、微細なチップ類も含め出土滑石の回収を行った。

これらの資料をもとにして、整理作業においては基礎的データーの提示を最優先課題とし、出土滑石の分類と分類ごとのドットマップの作成を行った。このドットマップの作成にあたっては、外部業者に委託し、その成果は第62~66図に示してある。ここでは、その基礎的データーの説明と、出土遺物から想定される白玉製作工程について述べていきたい。

2 滑石の分類と白玉の製作工程について

(第61図 表20)

出土滑石については、白玉製作工程を念頭におきながら出土品を観察しA~Iの9分類を行った。以下に第61図に示した製作工程も含め分類内容の説明を行なってみたい。

A(コア) 原石を一定の大きさに加工したもの。原石の大きさは不明であるが、出土品は打ちかいてあるものや、刃物痕をもつものがある。原石からA(コア)に至る作業工程は①荒削り工程が主なものであろう。

B(板状剥片) 板状の剥片である。Aを素材として、②荒削り工程によって得られる場合と、原石としてBが得られる場合があるようである。出土品の中には、調整痕が見られないものと、刃物痕をもつものがある。折断は自然面との判別がむつかしい。

C(研磨痕のある剥片) Bを素材として③研磨工程によって白玉と同様の均質の厚さとなる。大きさは様々である。

D(未製品I) Cを素材として、④主に研磨工程によって多角形を呈する未製品を作りだす。Cの大きさによって複数のDを作りこことが可能である。Dの側面を観察すると、研磨痕以外に刃物痕や自然面(折断も含む可能性が強い)が見られる。

E(未製品Iの破損品) Dに⑤穿孔を行う途中で割れてしまったもの。多くの小孔は数ミリを残し貫通していない。また、7点のEに両面穿孔(小孔のずれ)が見られたことから、両面から穿孔を行う場合もあったようである。

F(未製品II) Dに⑥穿孔をしたもの。

G(未製品IIの破損品) Fを⑦研磨して製品を作る過程で破損したと思われるもの。実際には製品が完成した後に欠損したものと区別できない。

H(製品) 白玉の完成品

I(チップ) 研磨以外の工程に由来

3 滑石の分類別出土量について

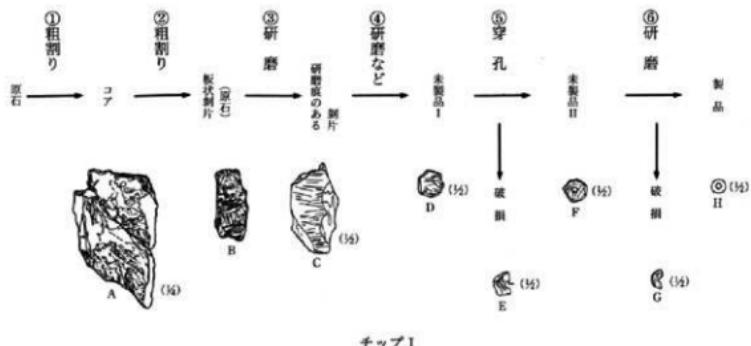
滑石を9分類し、取り上げ方法に分けて表20に示した。番号付取上は出土位置を記録したもので、覆土一括取上と掘り方一括取上とは主にそれぞれ覆土と掘り方の土壤をフローテーションしたことによつて得たものである。さて、この表と前述した製作工程を併せてみると興味深い。製作と強く拘わると思われる点をいくつか指摘してみよう。

・E(未製品Iの破損品)が1,541点とであるのに破損品F(未製品IIの破損品)が91点と少ない。おそらく、白玉製作における穿孔工程の難易度を示すとともに、滑石素材の豊富さを反映させた結果なのであろう。

・未製品I以前の工程ではA、B、Cがある訳だが、その中でB(板状剥片)が極めて多い。素材としてBを多くストックしていたことを示しているのかもしれない。

4 滑石の住居内分布について

第20表の番号付取上に示した点数を、各分類ごとにドットマップとして作成したのが第62図~66図で



第61図 滑石製白玉の製作工程

表20 白倉B区75号住居出土滑石一覧表

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | 合計 |
|------------|----|-----|-----|----|-------|----|-----|----|----------------------|----------------------|
| 番号付 取上 | 15 | 582 | 112 | 24 | 646 | 59 | 83 | 11 | 14,190 | 15,722 |
| 覆土一括 取上 | 0 | 255 | 5 | 21 | 777 | 1 | 103 | 9 | + σ | 1,171 |
| 割方一括取上 | 0 | 105 | 13 | 6 | 118 | 13 | 5 | 0 | + σ | 260 |
| 合計 | 15 | 942 | 130 | 51 | 1,541 | 73 | 191 | 20 | 14,190 + σ | 17,153 + σ |

A……コア B……板状剝片 (原石を含む可能性あり) C……研磨板のある剝片 D……未製品 I
E……未製品 I の破損品 F……未製品 II G……未製品 II の破損品 H……製品 I ……チップ + σ は多量のため測定不能なもの

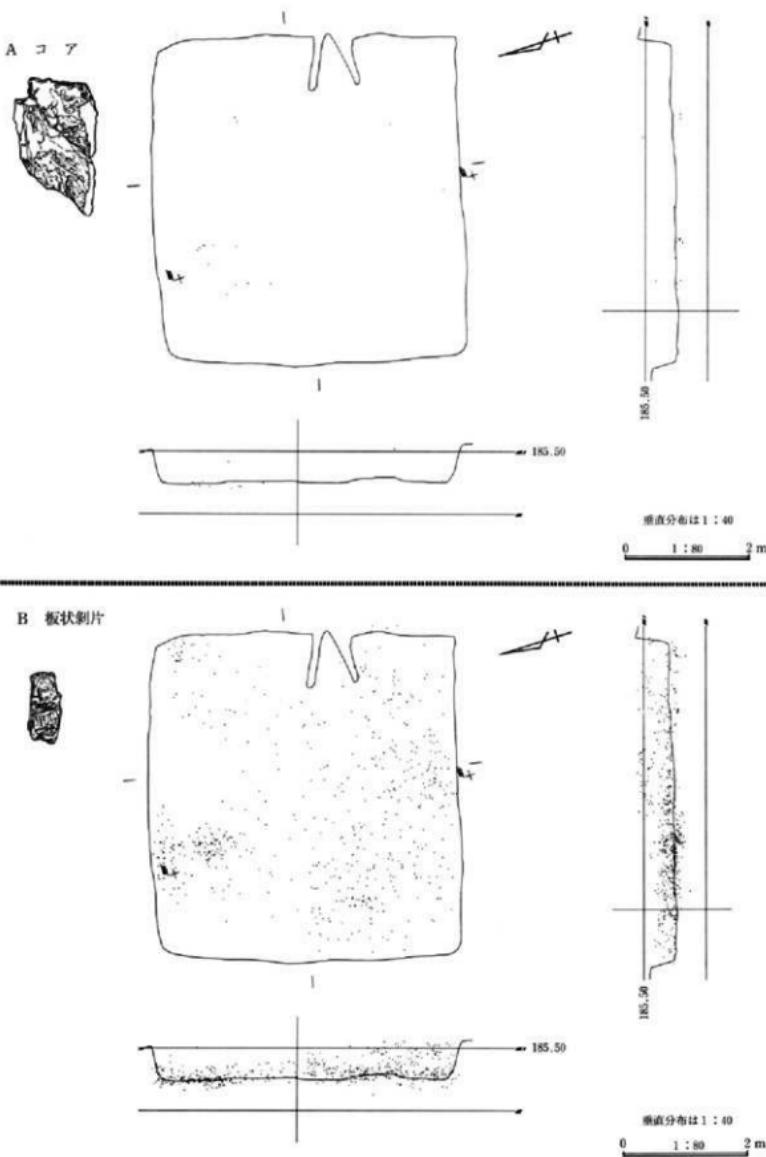
ある。ここでは、基礎的データーの呈示のみとなり個々の分類毎の分析は頁数から無理となってしまった。そこで気になることについて触れておきたい。実は、この分布図作成の意図は白玉工房跡とされるものの実態を資料化することにあった。この住居内出土の滑石は果して全てがこの住居内で作られた白玉に由来するのかどうかも大きな疑問であった。本住居の記載(77頁)に明らかのように、本遺構は滑石出土を除けば通常の堅穴住居跡と何ら変わらず、

砥石や台石なども出土していないからである。

ここで第66図に示した、I (チップ) と土師器の分布図を見てみよう。いずれも床面直上から掘り方部分にかけての出土と、覆土中位から上位にかけての分布に分かれる傾向をもつようである。

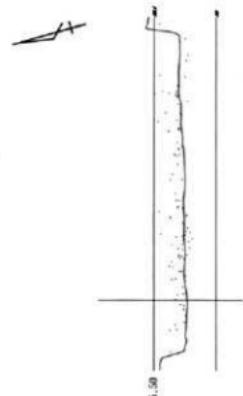
この点から考えると、本住居出土滑石は明らかに本住居で作られ白玉に由来する滑石と、出自は確定できないものの二次的に廃棄されたものとに分けることができそうである。

V 成果と問題点

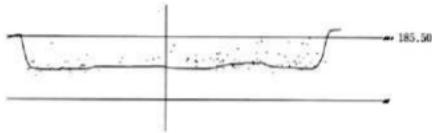


第62図 白倉B区75号住居滑石分布(1)

C 研磨痕のある剥片



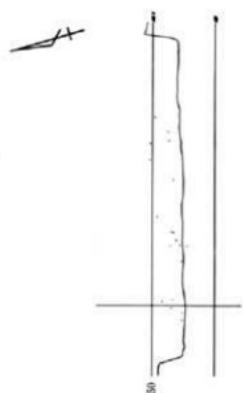
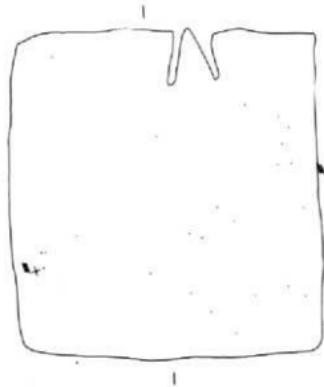
185.50



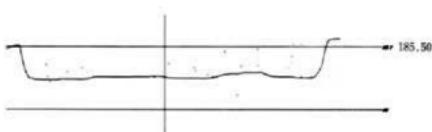
垂直分布は 1 : 40

0 1 : 80 2 m

D 未製品 I



185.50



垂直分布は 1 : 40

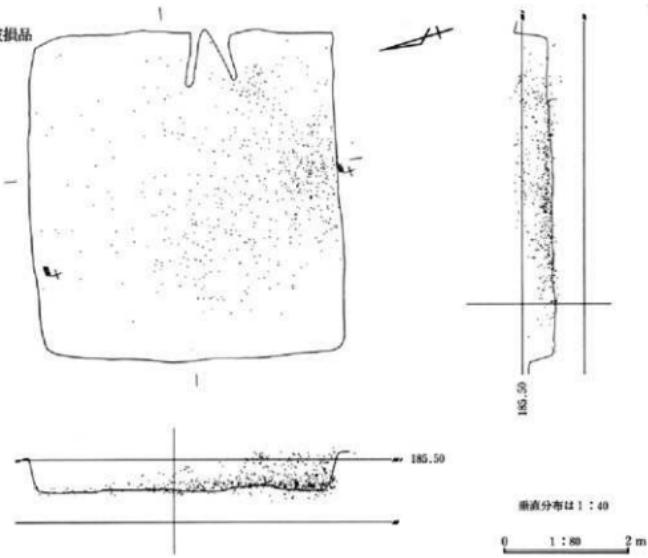
0 1 : 80 2 m

第63図 白倉B区75号住居滑石分布(2)

V 成果と問題点

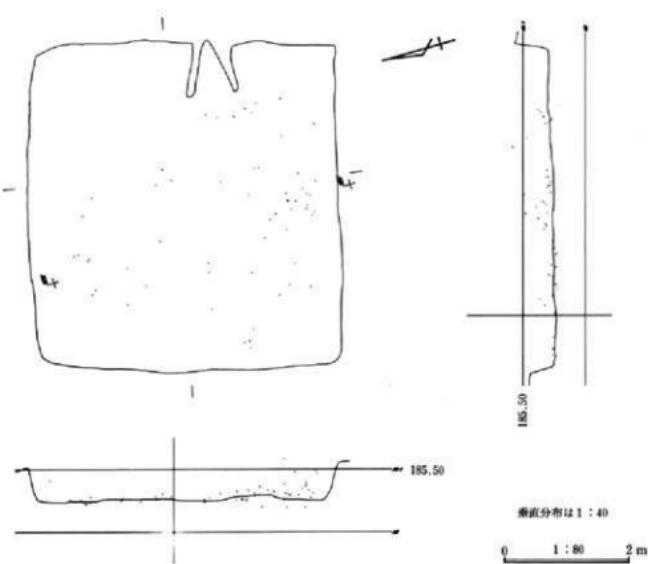
F 未製品 I の破損品

◎



F 未製品 II

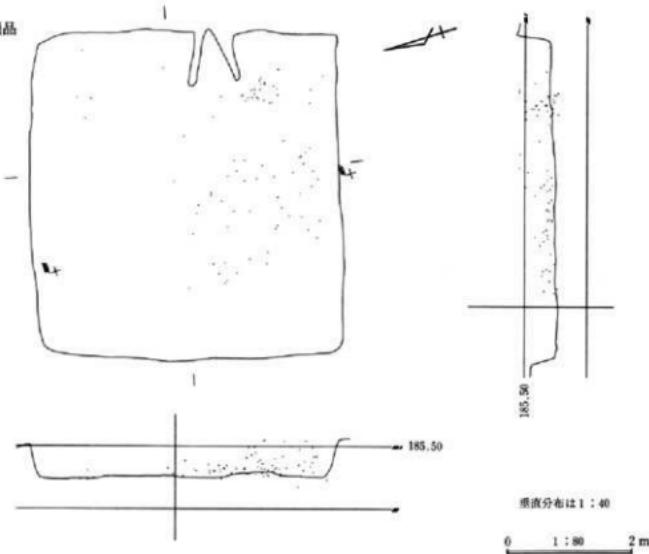
◎



第64図 白倉B区75号住居滑石分布(3)

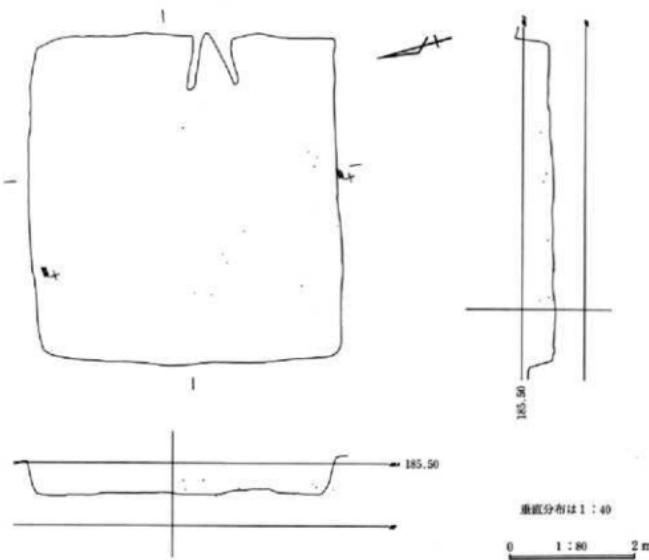
G 未製品IIの破損品

◎



H 製品

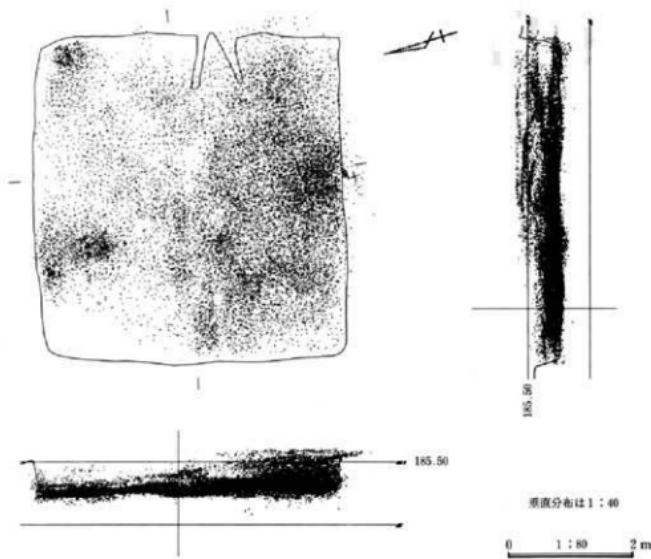
◎



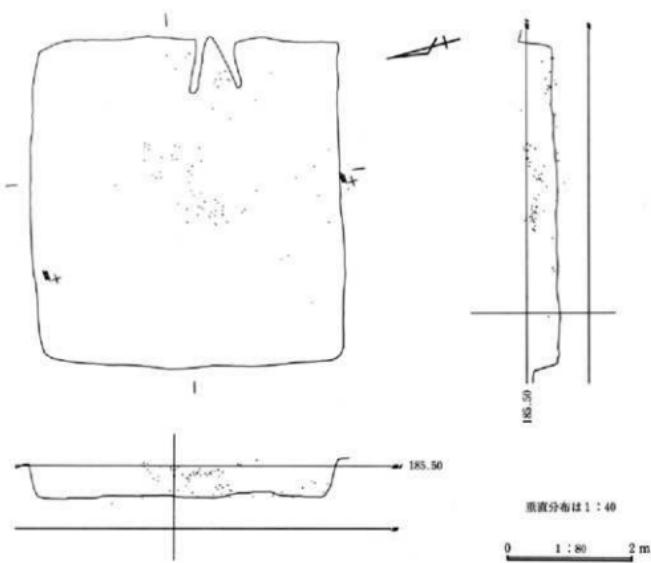
第65図 白倉B区75号住居滑石分布(4)

Ⅶ 成果と問題点

I チップ



土師器



第66図 白倉B区75号住居滑石分布(5)

8 粘土探掘坑出土の曲物容器

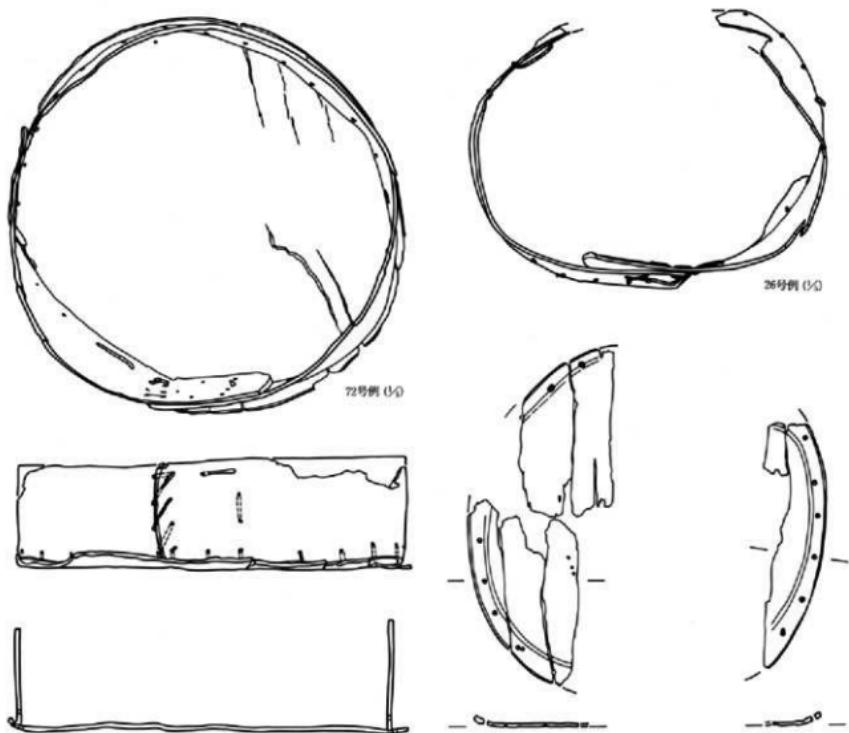
はじめに

天引向原遺跡の台地東側縁辺で、69基の粘土探掘坑が調査された。探掘坑からは、土器のほかに多量の木製品が出土しており、そのうち26号と72号から曲物容器が各1点ずつ出土した。曲物容器は2点とも樹皮（広葉樹の可能性が高い）を素材とし、蔓らしきもの（特定できていない）でつづっただけの華奢な作りのものである。時期は、出土土器から6世

紀前半代に比定される。

いずれも発見当初は、底板と側板が結合した状態であったが、その後の時間の経過のなかでつづった蔓様の多くは失われ、当初の形態が不明瞭となってしまった。ここに示した図は、出土状況写真や取り上げ時の写真をもとに、復元に最善を尽くした結果であり、ほぼ当初の状態に修復することができたと考えている。

古墳時代の曲物容器の出土は群馬県では初例であり、しかも樹皮を使用した事例は全国でも稀である。



第67図 天引C区粘土探掘坑出土の曲物容器

V 成果と問題点

修復作業のなかでつづり方もほぼ把握できたので、ここにその概要を紹介しておきたい。

製作方法と形態の特徴

72号例は一部を欠損するが、ほぼ本来の形状をとどめている。大きさは、底板が39×37cmのやや歪んだ円形で、器高は10cm、厚さは底板・側板ともに4mmほどである。26号例は欠失部分が多いが、基本的な作りや形態は72号例と共通しており、それよりもひとまわり小さい。いずれも側板・底板とともに1枚の樹皮を使用しているものと考えられる。26号例にも縫いだような形跡はない。なお、両者とも蓋がつくかどうかは、手がかりがなくなく不明である。一つの考え方として、26号例がひとまわり小さいことから、両者がつずらのように合わせ物となることも考えられるが、ここでは2つとして扱うこととする。

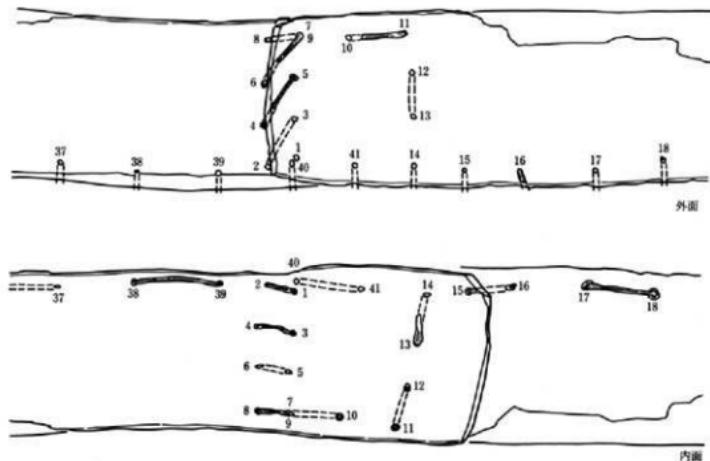
製作方法は、まず側板は円筒状にまるめ、両端部を10cmほどの合わせをとって結合用の穿孔を施し、蔓様の紐でつづる。次に側板を底板の上にのせて結

合位置を決め、等間隔に穿孔を施して、同じ紐でつなっている。底板内面の穿孔の内側に沿って、側板がのっていた痕跡が線条の浅いくぼみとなって残っている。底板は円筒状の側板をのせた段階で円形に切断し、つづりが終わってから再調整をしていると考えられる。なお、底板の内面には厚みを調整した削り跡が残っており、72号例では刃物によるものと思われる細かな線状痕が認められる。

いずれも円筒形の側板を底板の上にのせたつくりで、底板の縫が側板の外側にでている点が特徴である。このような形態は初期の曲物容器に共通した特徴とされている。大きさは、先述のとおり26号例のほうがひとまわり小さく、側板の合わせ方が左右逆になっている。なお、26号例の側板の合わせた部分の右側上面に、U字形の切れ込みが認められる。いずれも塗装等は認められない。

つづり方の観察

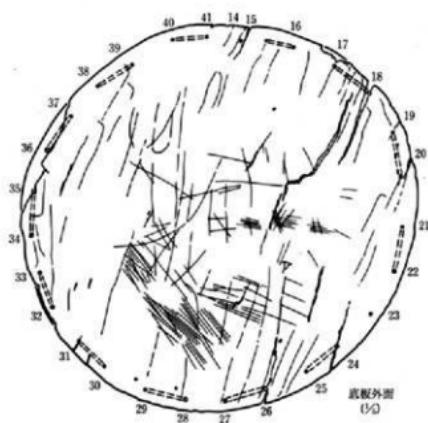
先述したように蔓様の紐の多くは失われてしまっ



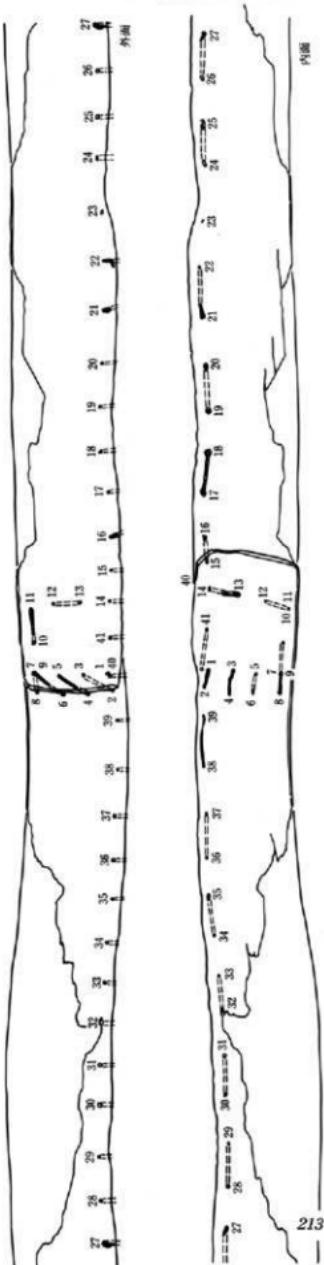
第68図 72号例の継り方(1)

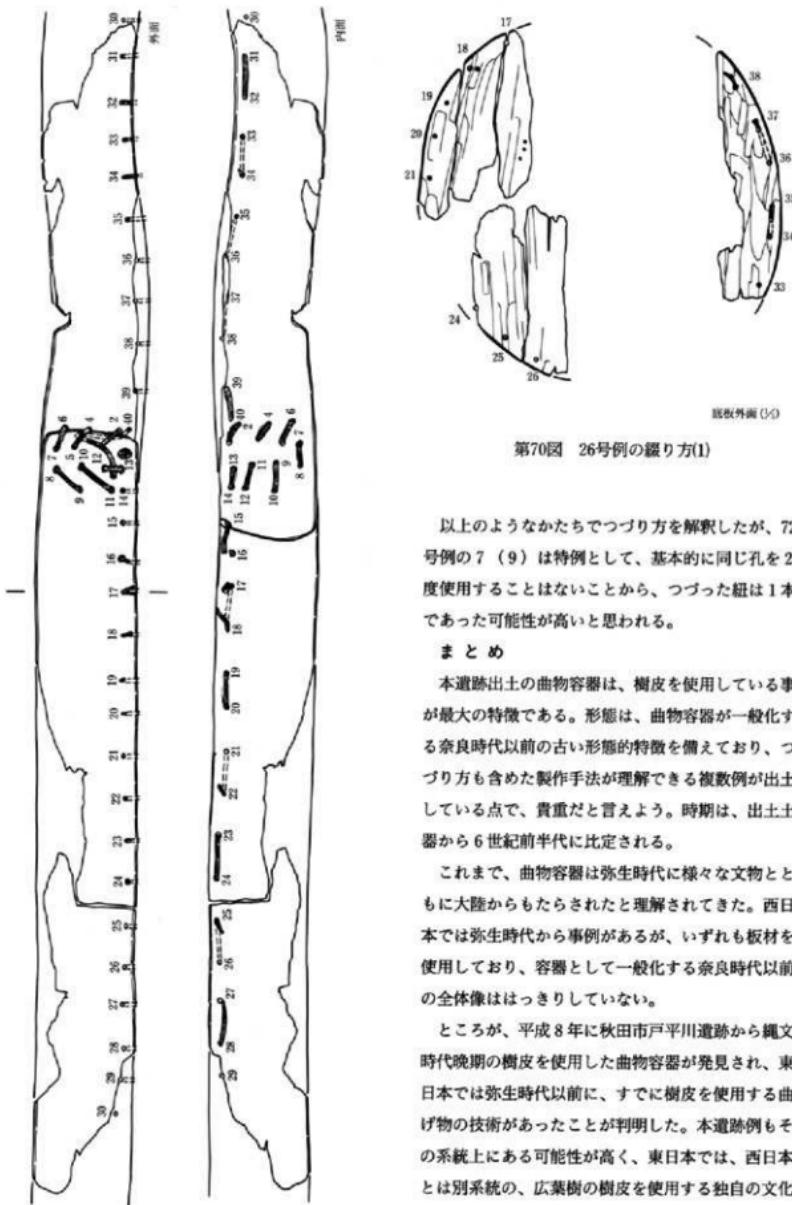
たが、残された僅かな痕跡をもとに復元を試みた結果を第68図～第71図に示した。基本的には側板の合わせ部分からつづりが始まり、底板との結合を行って、合わせ部にもどってくるのが順当である。

観察の結果、26号例にその証拠を発見できた。26号例の合わせ部分外面(第71図)の1に結び目が残つており、12と13の間にはさんだ紐が認められた。1の結び目を始点に2.3.4と合わせ部分を一遍し、14から底板との結合を行って40へ至り、2と3、4と5の間をくぐらせて、12と13の間にはさみこんで終了している。底板とのつづりは、外面で上下を通して、内面では横におくっている。72号例では合わせ部分のつづり方が簡略になっているが、その他のつづり方は共通している。ただし、数カ所でじつまの合わない部分もある。まず、合わせ部分の7は紐を2度通さないと、10と11の間に残る紐と合わない。7から内面をくぐって8へぬけ、同じ9をくぐらせて内面から10へ移行したと考えた。次に、23を使用すると、その他の部分に残る紐のつじつまが合わなくなため、23は使用していないとした。



第69図 72号例の縫り方(2)





第70図 26号例の縫り方(1)

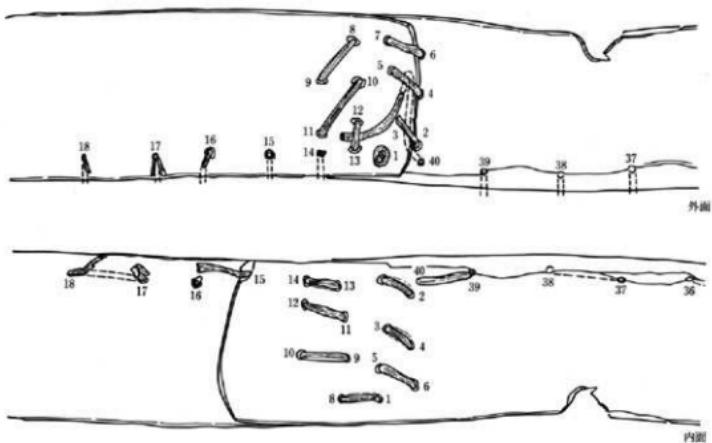
以上のようななかたちでつづり方を解説したが、72号例の7(9)は特例として、基本的に同じ孔を2度使用することはないことから、つづった組は1本であった可能性が高いと思われる。

まとめ

本遺跡出土の曲物容器は、樹皮を使用している事が最大の特徴である。形態は、曲物容器が一般化する奈良時代以前の古い形態的特徴を備えており、つづり方も含めた製作手法が理解できる複数例が出土している点で、貴重だと言えよう。時期は、出土土器から6世紀前半に比定される。

これまで、曲物容器は弥生時代に様々な文物とともに大陸からもたらされたと理解されてきた。西日本では弥生時代から事例があるが、いずれも板材を使用しており、容器として一般化する奈良時代以前の全体像ははっきりしていない。

ところが、平成8年に秋田市戸平川遺跡から縄文時代晩期の樹皮を使用した曲物容器が発見され、東日本では弥生時代以前に、すでに樹皮を使用する曲げ物の技術があったことが判明した。本遺跡例もその系統上にある可能性が高く、東日本では、西日本とは別系統の、広葉樹の樹皮を使用する独自の文化



第71図 26号例の継り方(2)

があったのではないかと考えられつつある。

東北地方の民具やアイヌ民具のなかには、同様の
材料・手法で作られた様々な道具が残されており、
本遺跡例は東日本で連続と続いた技術の一端を示し
ているのであろう。

9 特殊遺物について

今回取り扱った遺物の中には類例が少ないものが多く見受けられた。その中で、土師器製作に由来するもの、木の葉形坏、白玉製作に由来するもの、樹皮製曲物、については既に成果と問題点の中で述べたところである。ここでは、その他の希少性の高い出土遺物（第72図と73図に再録）について簡単に触れてみたい。

土鉢 白倉C区49号住居（6世紀後半）の主柱穴脇で床面から僅かに浮いた状態で完形の土鉢が出土した。酸化炎焼成で長さは5.1cm、重さ46.2gで球形ではなく偏球状を呈している。手づくね成形で、全体に細かなミガキが施されている。外見上の特徴として鉢と呼ぶにはためらわれる小さなつまみ状の突起が一つついている。また、通常の鉢にありがちな下方にある鉢口は本例ではない。X線撮影によって内部には小玉が4点確認できた。

群馬県出土の土鉢については石守見氏によってまとめられている（石守1997「多比良追部野遺跡」）。それによると、県内では当遺跡も含め6遺跡7例が確認できるとのことである。詳細はそちらを参照してほしいが、他の例と比較した場合に、当遺跡例は小玉が4個と多いこと、鉢口がないこと、持つこと（あるいは吊ること）が可能な紐がないことが大きな特徴といえよう。なお、当遺跡の土鉢が出土した住居からは、一括取り上げではあるが木の葉形坏と動物（魚形）意匠土製品が出土している。

手鏡形土製品 手鏡形土製品は径が13cm前後、厚さ2cm弱の不正円盤に柄がつく土製品のことをさしている。名称については、管見にふれた類例がないことから今回の報告書において初めて用いた造語である。さて、この土製品は白倉B区3.10.54号各住居跡から、それぞれ1点づつ出土した。この3軒はいずれも6世紀前半の遺構で、3点ともにカマド覆土から見つかっている。白倉B区10号住居は中心部が幾分湾曲するが他の2例は偏平である。胎土は結晶片岩の岩片を多く含むのが共通点である。柄につ

いては3例ともに欠損するために長さは不明であるが付け根部分を観察するかぎりでは、幅3~4cm前後、厚さ2cm弱のものが想定され、極端に長い柄部は強度から考えてもなかったのではないかと思われる。柄の残部は執拗に探したが見つからなかった。機能としてはカマド出土であることから調理具もしくは火かげんを調整する道具を想定できなくはないが、いずれも欠損品であることから想像の域をでることはない。類例の増加を待ちたいと思う。

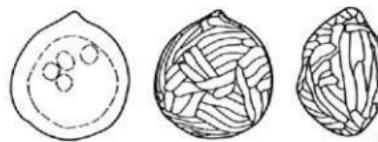
動物意匠の土製品 2点出土している。1点は白倉A区85号住居（6世紀前半）から出土した。一括取上のため出土位置は不明である。中空のつくりで顔面の鼻を2つの円孔で表現している。破片であるために全容は不明である。もう1点は白倉C区49号住居（6世紀後半）出土の土製品であるが、同様に一括取り上げのため出土位置は不明である。長さは6.5cmで直径2.5cm前後の土鍤状のもの（孔径3mm）に2つの円孔を穿って目を表現している。粘土を貼り付けて体の細部を表現するが魚に一番近いように思われる。当初は土鍤の一種と考えていたが、当遺跡から古墳時代後期の土鍤出土例がないことと、土鍤よりおおぶりなことから土鍤とはきりはなしたほうがよいであろう。

羽口（高坏脚部転用）と鉄滓 白倉A区42号住居から高坏脚部を転用した羽口（先端部が変色し発泡する）とわん形の鉄滓が出土している。高坏並びに他の42号住居内出土土器は5世紀前半であることから、本住居跡もしくは周辺で同期の小鍛冶があったことがわかる。小鍛冶としては県内有数の古さである。隣接する甘楽町教育委員会が調査した下小塙遺跡でも同様の羽口が12点出土しており関連が注目される（甘楽町教育委員会小安氏よりご教示）。

佐波理と畿内土器 佐波理は白倉B区51号住居（6世紀後半）から出土したが一括取り上げのため出土位置は不明である。小破片で推定口径9cmである。土器は天引44号住居（7世紀後半）出土で、畿内の飛鳥II環Cに比定されよう（桜岡正信氏よりご教示）。

9 特殊遺物について

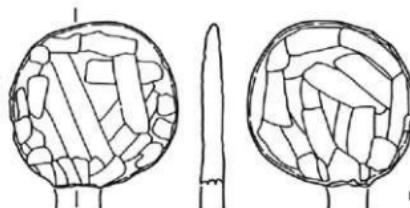
土鈴



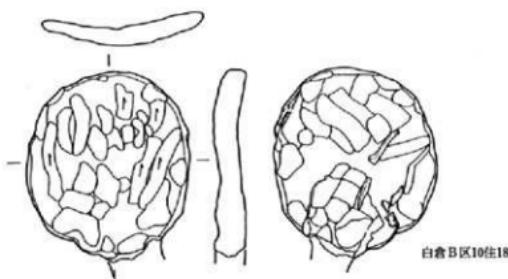
白倉C区49住14

0 1 : 2 5cm

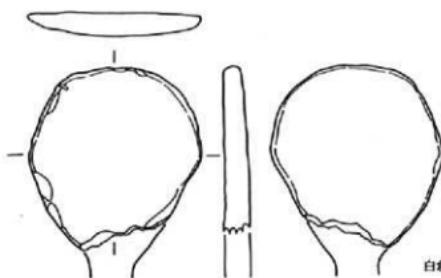
手鏡形土製品



白倉B区3住21



白倉B区10住18



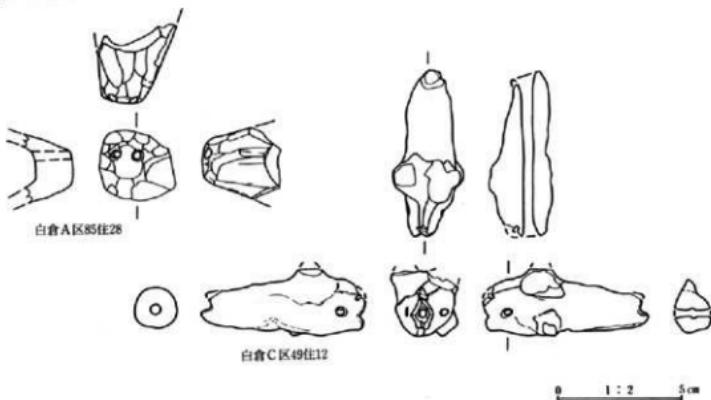
白倉B区54住15

第72図 出土した特殊遺物(1)

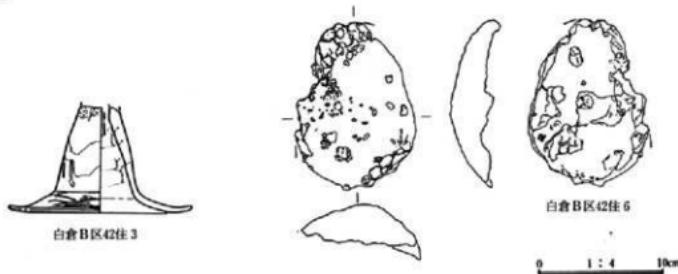
0 1 : 4 10cm 217

V 成果と問題点

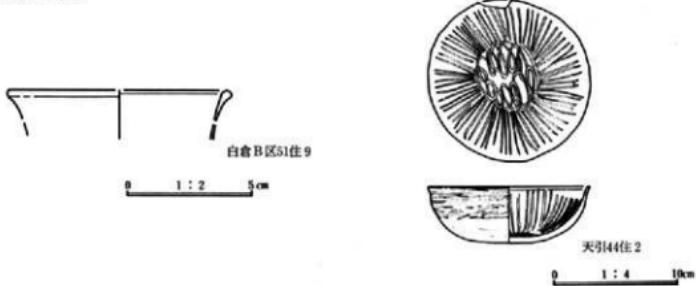
動物意匠の土製品



羽口と鉄津



佐波理と畿内産土師器



第73図 出土した特殊遺物(2)

遺構・遺物図版

図1

白倉A区1号住居跡

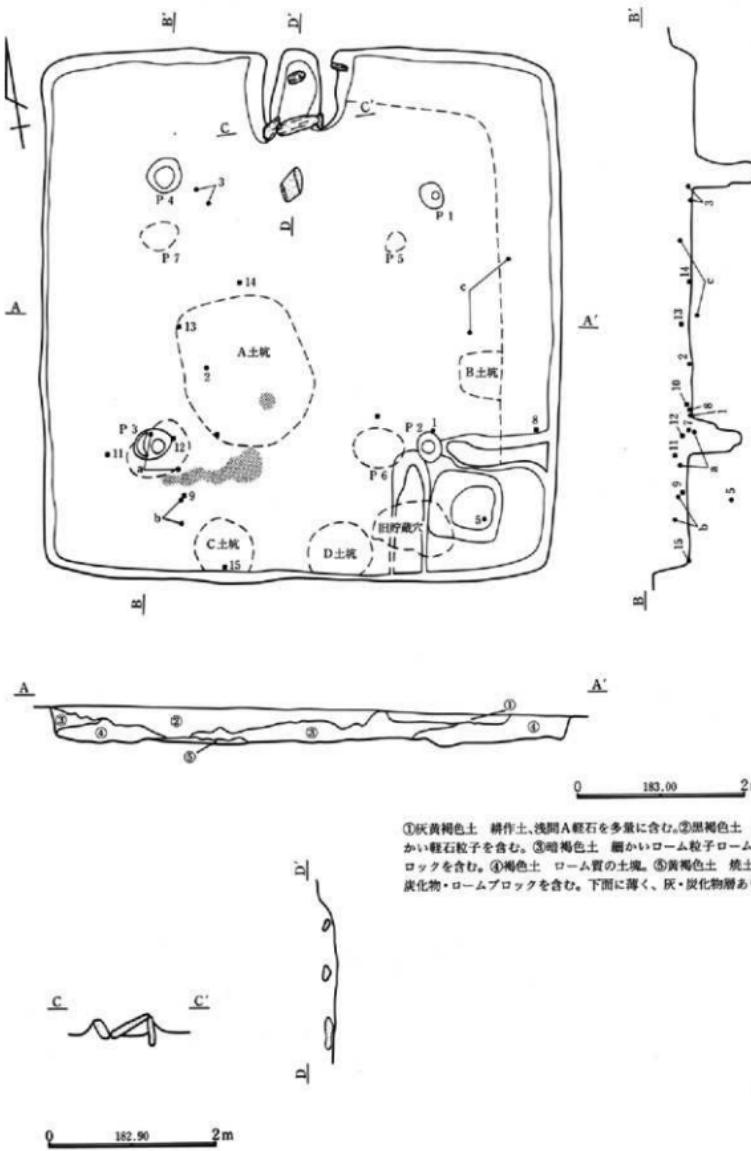
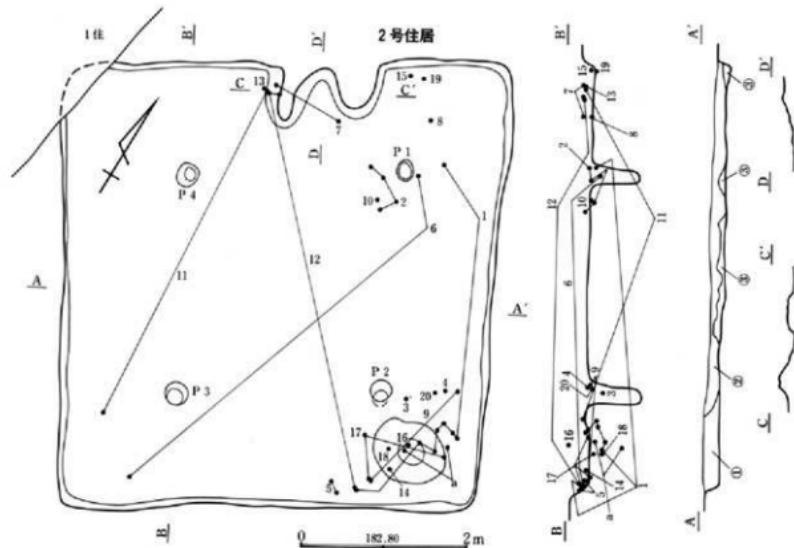


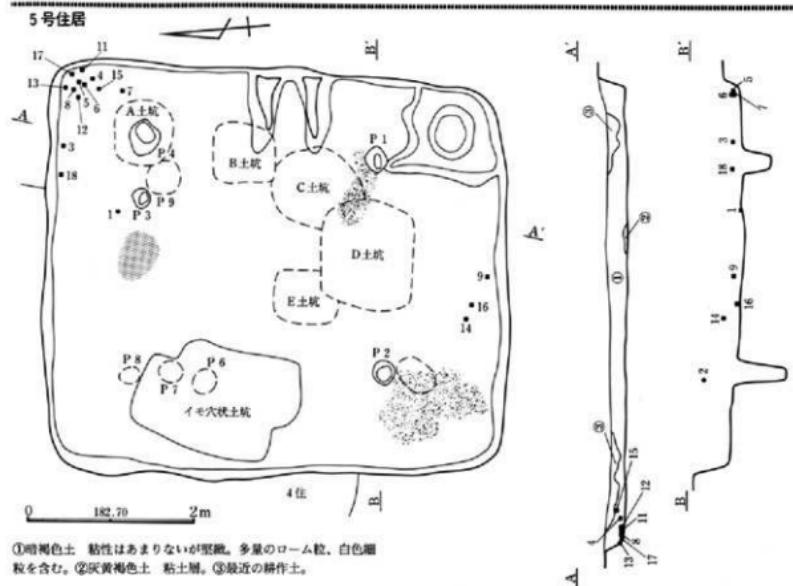
図2

白倉A区2号・5号住居跡



①黄褐色土 粘性はないが、締まりがある。多量のローム粒。若干の皮膜物を含む。
②黒褐色土 粘性は若干あるがもろい。多量

の黄白色粒子、微量の炭化物を含む。③黄褐色土 稍粘性があり、しまりがある。若干のローム粒、炭化物を含む。



①暗褐色土 粘性はあるが堅脆。多量のローム粒、白色細粒を含む。
②灰黃褐色土 粘土層。③最近の耕作土。

図3

白倉A区3号住居跡

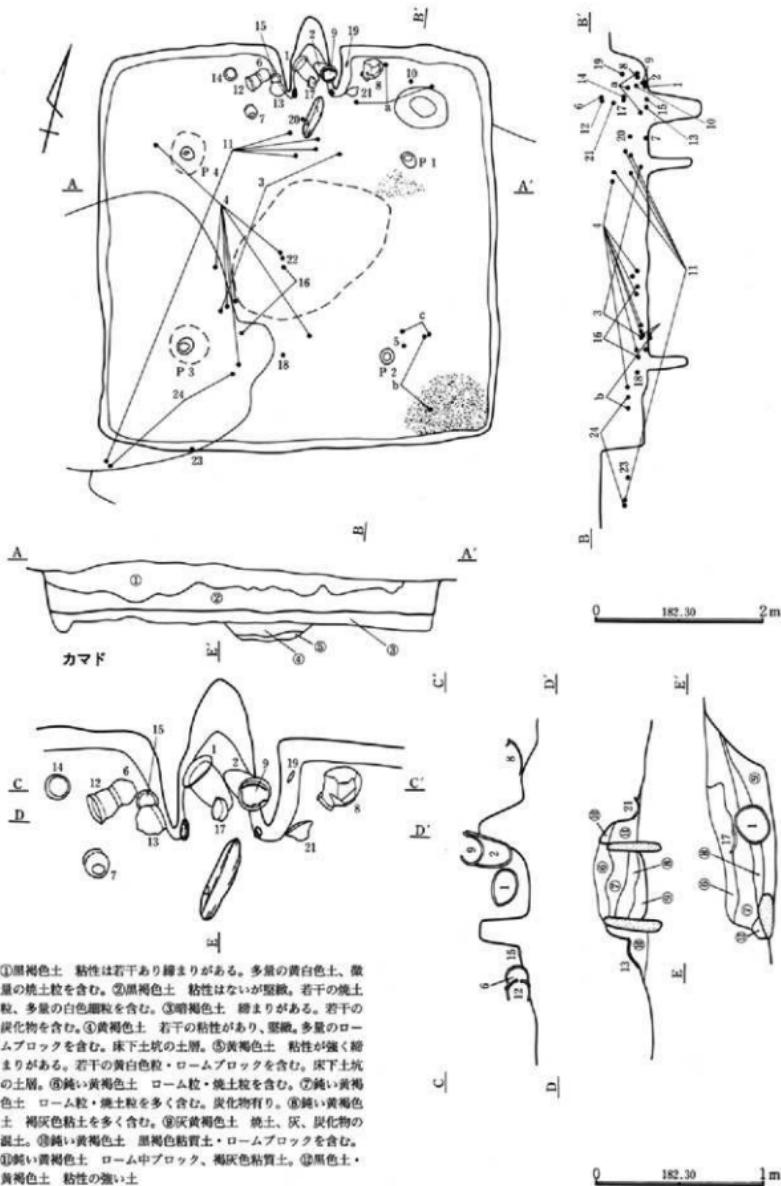


図4

白倉A区4号・11号住居跡

4号住居



11号住居

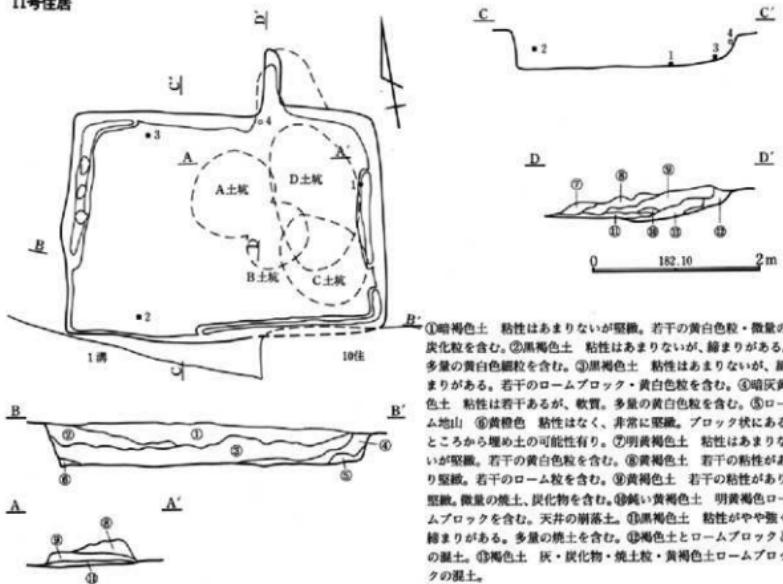


図5

白倉A区8号住居跡

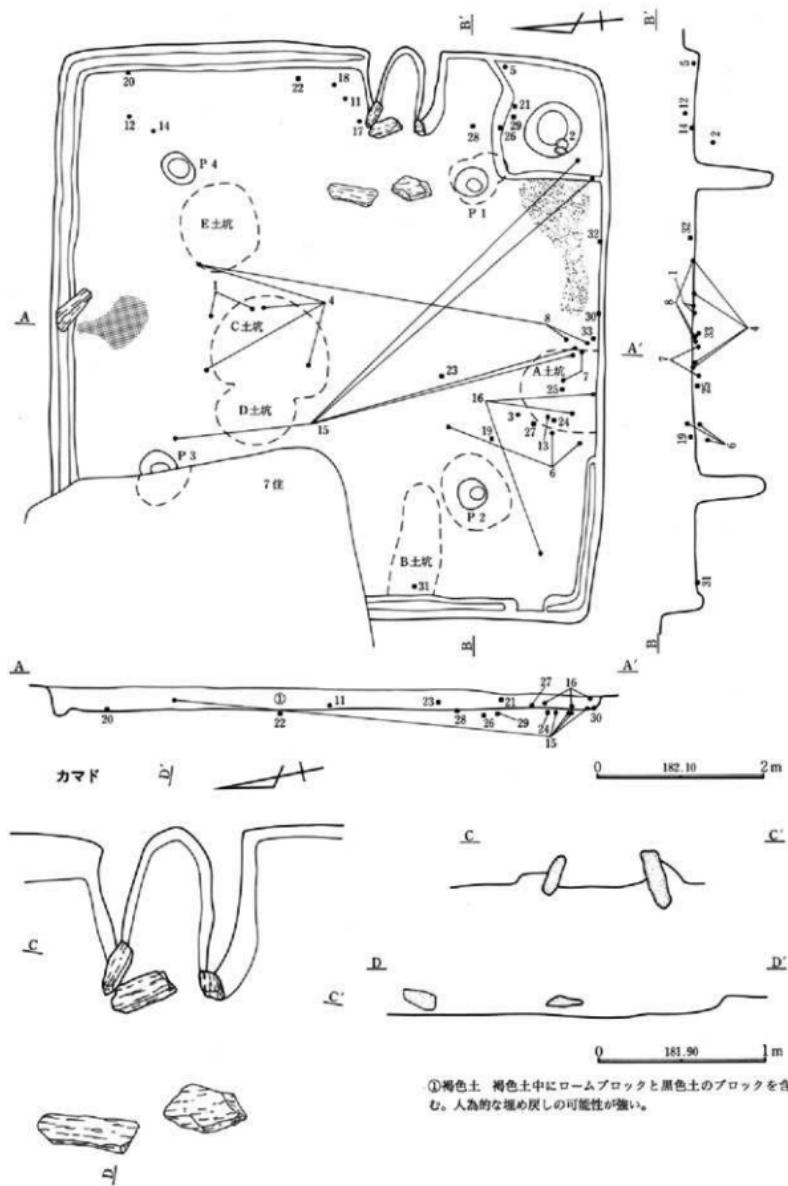
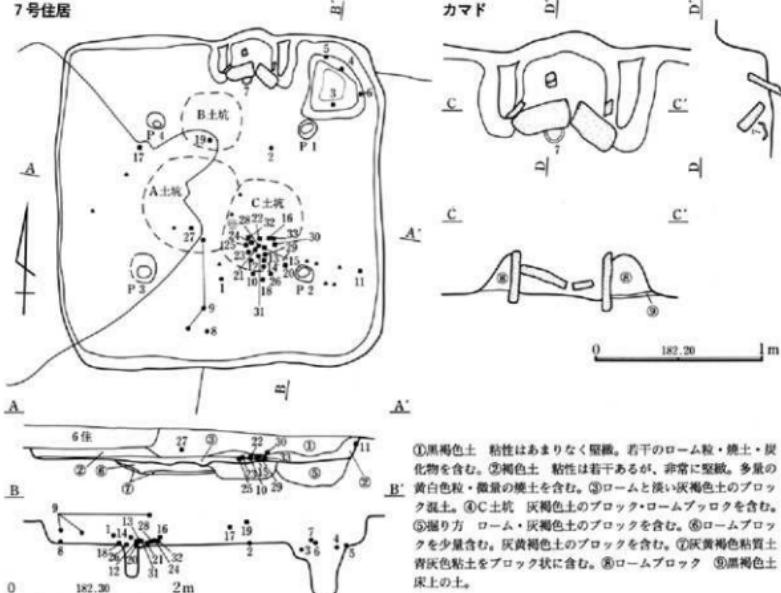


図 6

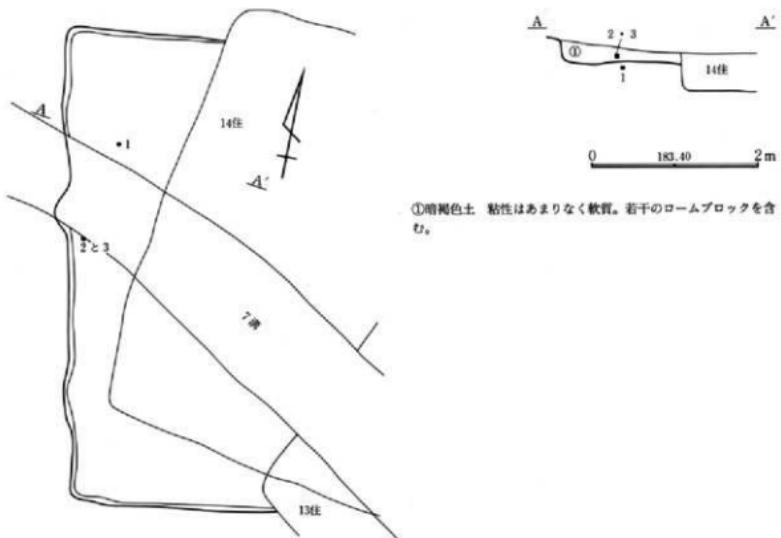
白倉A区 7号・15号住居跡

7号住居



- ①黒褐色土 粘性はあまりなく堅硬。若干のローム粒・焼土・炭化物を含む。
- ②褐色土 粘性は若干あるが、非常に堅硬。多量の黄白色粒・微量の燒土を含む。
- ③ロームと淡い灰褐色土のブロック状土。
- ④C 土坑 灰褐色土のブロック・ロームブロックを含む。
- ⑤掘り方 ローム・灰褐色土のブロックを含む。
- ⑥ロームブロックを少量含む。灰褐色土のブロックを含む。
- ⑦灰褐色地質土青灰色粘土をブロック状に含む。
- ⑧ロームブロック
- ⑨灰褐色土床の土。

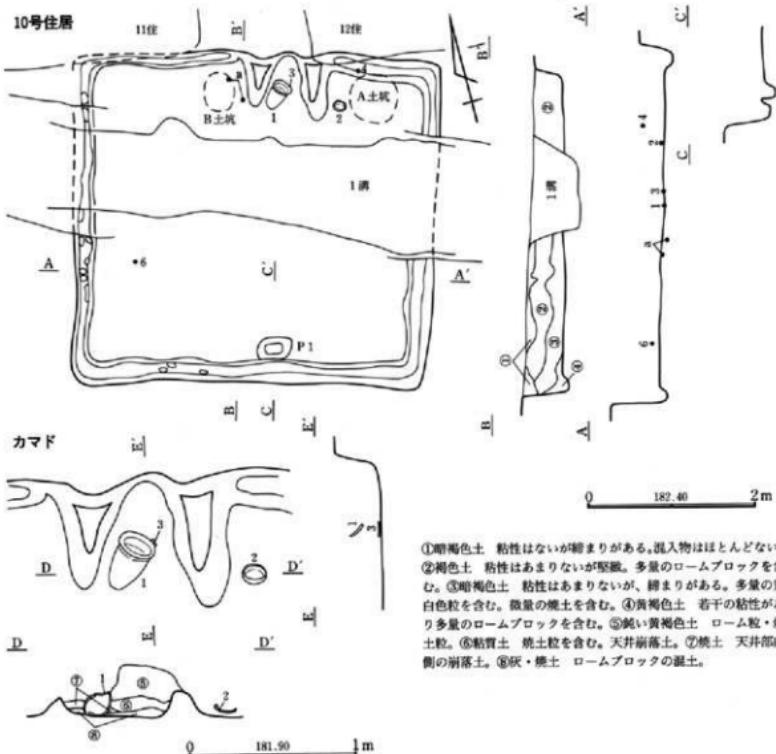
15号住居



- ①暗褐色土 粘性はあまりなく軟質。若干のロームブロックを含む。

図 7

白倉A区10号・19号住居跡

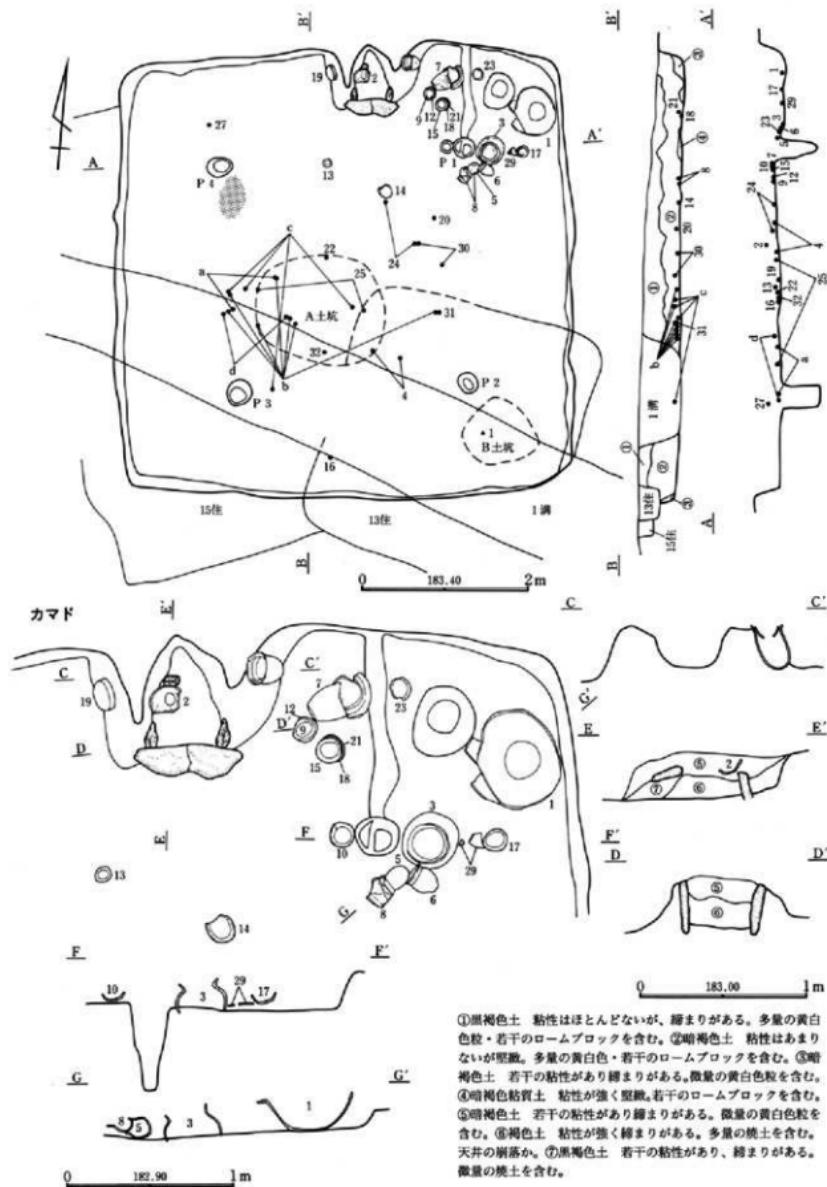


①暗褐色土 粘性はないが縮まりがある。混入物はほとんどない。
②褐色土 粘性はあまりないが堅密。多量のロームブロックを含む。
③暗褐色土 粘性はあまりないが、縮まりがある。多量の黄白色粒を含む。微量の焼土を含む。
④黄褐色土 若干の粘性があり多量のロームブロックを含む。
⑤軽い黄褐色土 ローム粒・焼土粒。
⑥粘質土 烧土粒を含む。天井崩落土。
⑦焼土 天井部内側の崩落土。
⑧灰・焼土 ロームブロックの混土。

①黒褐色土 若干の粘性があり、縮まりがある。若干のローム粒・焼土粒・炭化物を含む。
②褐色土 若干の粘性があり非常に堅密。多量の黄白色粒を含む。
③暗褐色土 粘性はあまりないが、しまりがある。多量の黄白色粒・若干の焼土粒を含む。
④暗褐色土 粘性はあるがやや軟性。多量の黄白色粒を含む。
⑤黑色土 粘性はなくもろい。若干のロームブロックを含む。
⑥黒褐色土 若干の粘性があり、縮まりがある。多量のローム粒を含む。

図 8

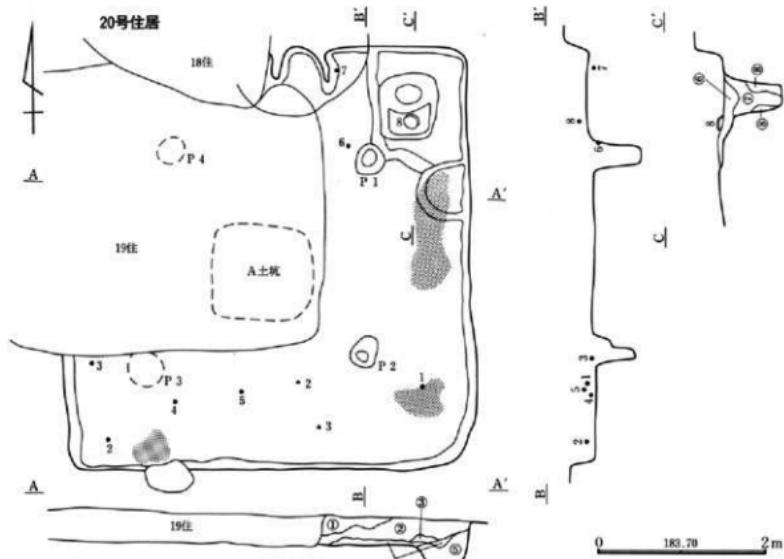
白倉 A 区 14 号住居跡



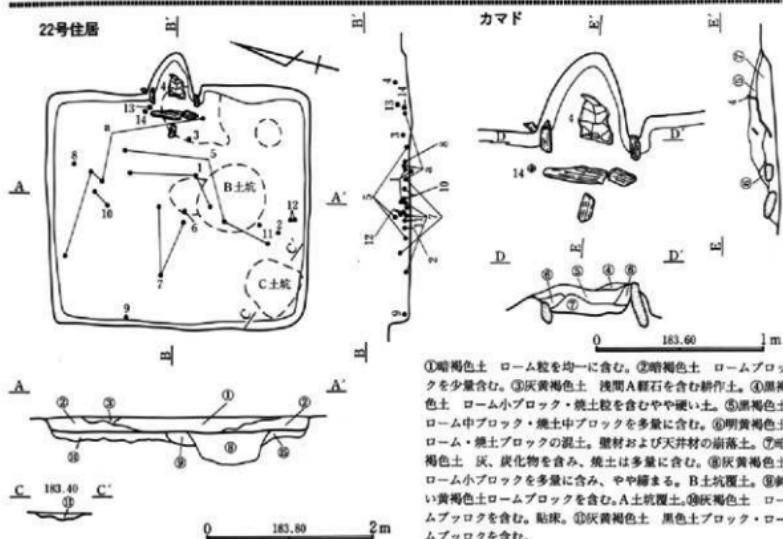
① 黒褐色土 粘性はほとんどないが、縮まりがある。多量の黄白色粘土・若干のロームブロックを含む。
 ② 喰褐色土 粘性はあまりないが堅緻。
 ③ 多量の黄白色・若干のロームブロックを含む。
 ④ 喰褐色土 若干の粘性があり縮まりがある。微量の黄白色粘土を含む。
 ⑤ 喰褐色土 若干の粘性があり縮まりがある。微量の黄白色粘土を含む。
 ⑥ 喰褐色土 粘性が強く縮まりがある。多量の燒土を含む。
 天井の崩落か
 ⑦ 黒褐色土 若干の粘性があり、縮まりがある。
 微量の燒土を含む。

図9

白倉A区20号・22号住居跡



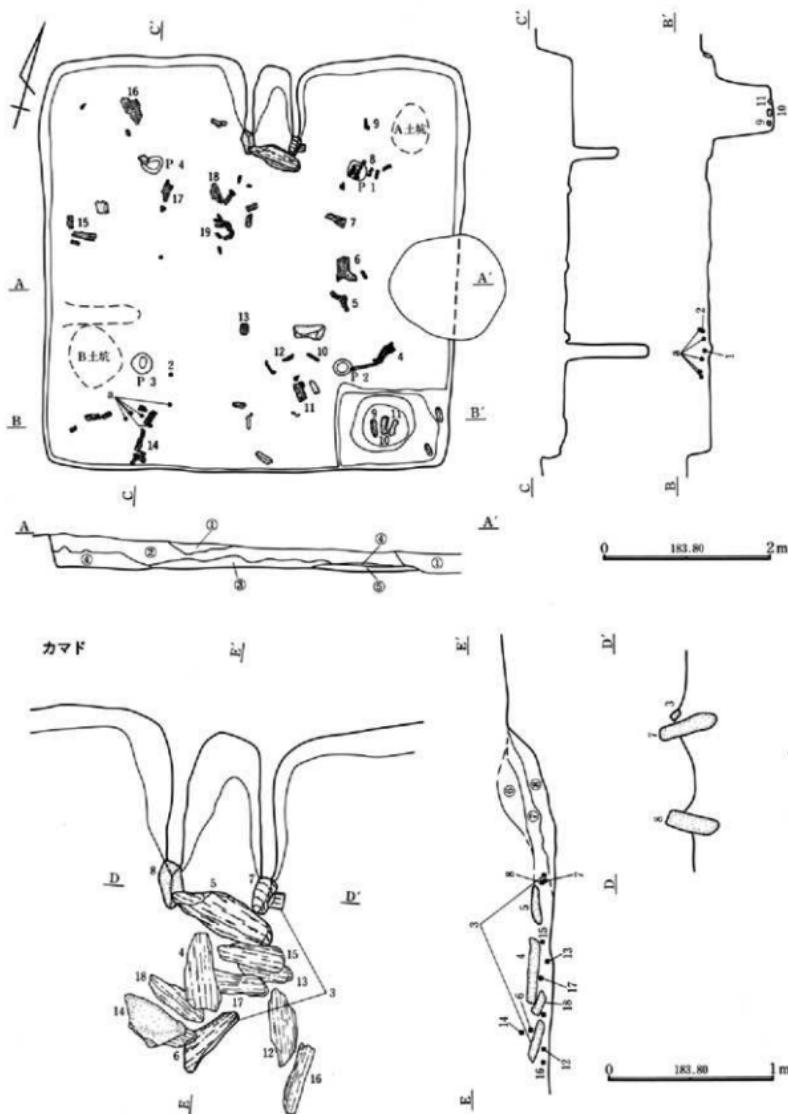
- ①褐色土 ローム粒を多量に含み、やや緑まる。②暗褐色土 ローム粒少量含む。③暗褐色土 焙土を多量に含む。④暗褐色土 ローム粒・炭化物・焼土粒を含む。⑤黒褐色土 ロームブロックを含む。
- ⑥純い黄褐色土 黒色土ブロック・ローム粒を含む。⑦純い黄褐色土 ローム小ブロックを含む。⑧黄褐色土 ロームブロックを含む。



- ①暗褐色土 ローム粒を均一に含む。②暗褐色土 ロームブロックを少量含む。③灰黃褐色土 深層A鉱石を含む耕作土。④黒褐色土 ローム小ブロック・燒土粒を含むやや硬い土。⑤黒褐色土 ローム中ブロック・燒土中ブロックを多量に含む。⑥明黃褐色土 ローム・燒土ブロックの混土。廻材および天井材の崩落土。⑦暗褐色土 灰・炭化物を含み、焼土は多量に含む。⑧灰黃褐色土 ローム小ブロックを多量に含み、やや緑まる。⑨純い黄褐色土 ロームブロックを含む。A土坑覆土。⑩灰褐色土 ロームブロックを含む。貼床。⑪灰黃褐色土 黒色土ブロック・ロームブロックを含む。

図10

白倉A区23号住居跡

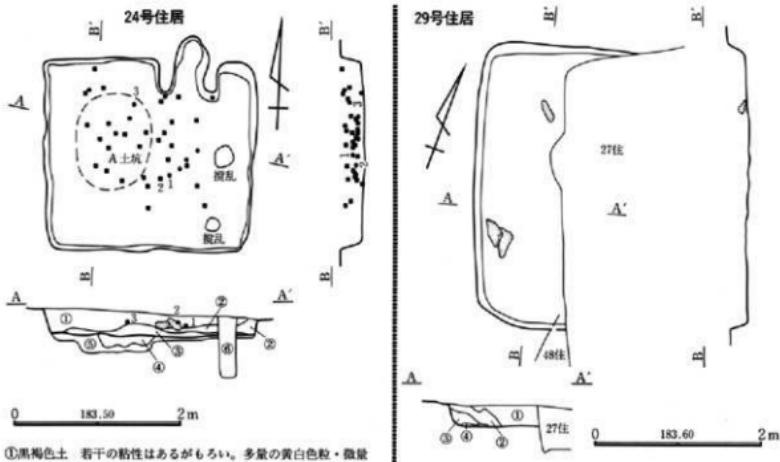


①純い黄褐色土 深間A絆石を多量に含む耕作土。擾乱の土。②黒褐色土 黒色土とロームブロックの混土。③黒色土 ローム粒を多く含み全体に明るい色調。下部に焼土。炭化物が層状に認め

られる。④炭化物を多く含む土層。⑤焼土を多く含む土層。⑥黄褐色土 埋土。やわらかい土。⑦袖および天井の崩落土。⑧炭層・焼土層。

図11

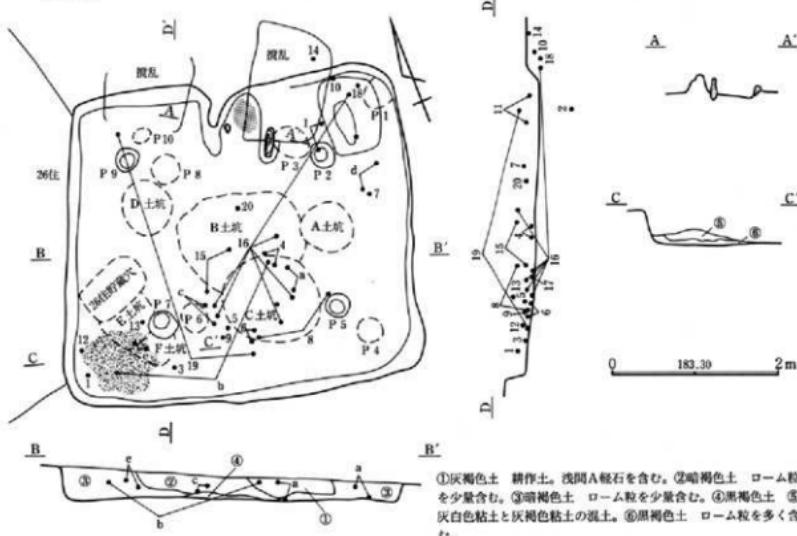
白倉A区24号・29号・25号住居跡



①黒褐色土 粘性はあるがもろい。多量の黄白色粒・微量の葉土粒を含む。②黄褐色土 粘性はあまりないが縛まりがある。若干のロームブロックを含む。③灰黄褐色土 粘性が非常に強く堅致。若干のロームブロック・微量の葉土粒を含む。④灰黃褐色土 ローム粒を含み、粘性は弱い。⑤黄褐色土 ロームブロックを多量に含み、やや粘性がある。⑥黒褐色土 混入物少なくて、やや縛まる。

⑦灰褐褐色土 粘性はほとんどなく軟質。多量のロームブロックを含む。⑧暗褐色土 若干の粘性があり縛まりがある。若干のローム粒を含む。⑨暗褐色土 粘性は若干あるがもろい。混入物はほとんどない。⑩灰褐褐色土 粘性は若干あるが軟質。混入物はほとんどない。

25号住居



①灰褐色土 耕作土。浅間A輕石を含む。②暗褐色土 ローム粒を少量含む。③暗褐色土 ローム粒を少量含む。④黒褐色土 ⑤灰白色粘土と灰褐色粘土の混土。⑥黒褐色土 ローム粒を多く含む。

図12

白倉A区26号住居跡

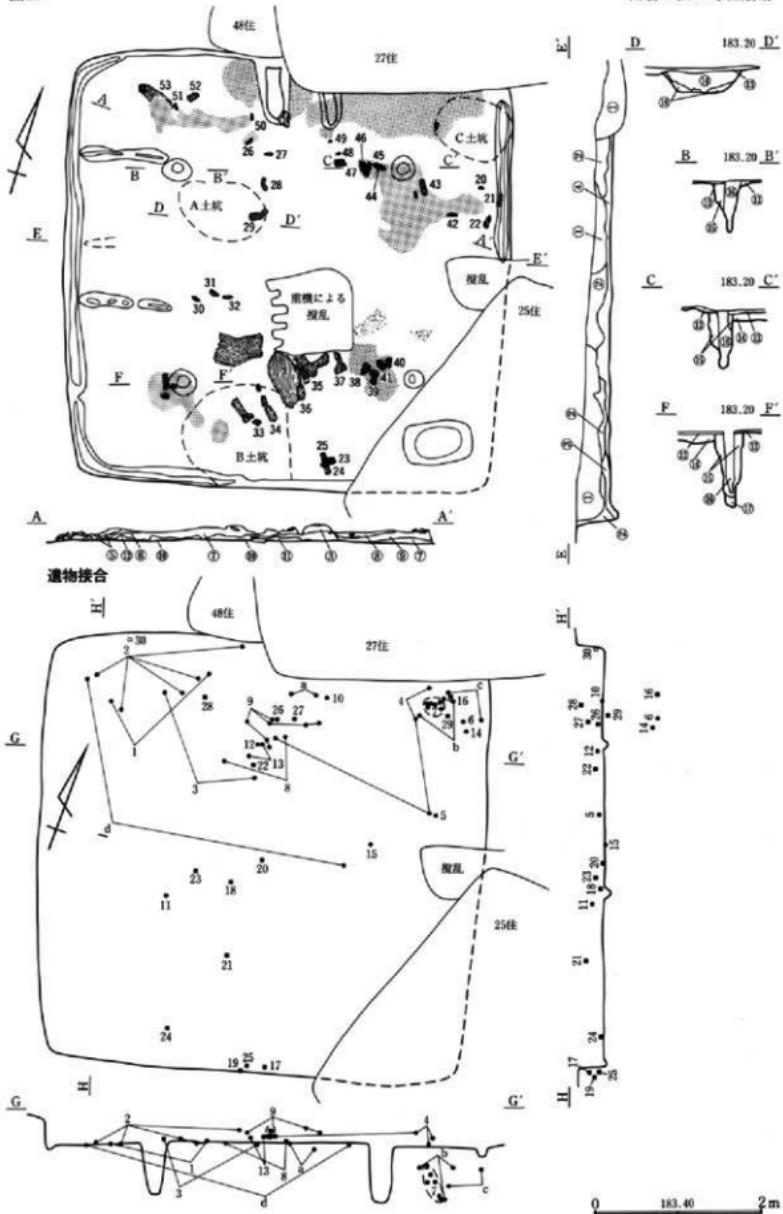


図13

白倉A区26号住居跡

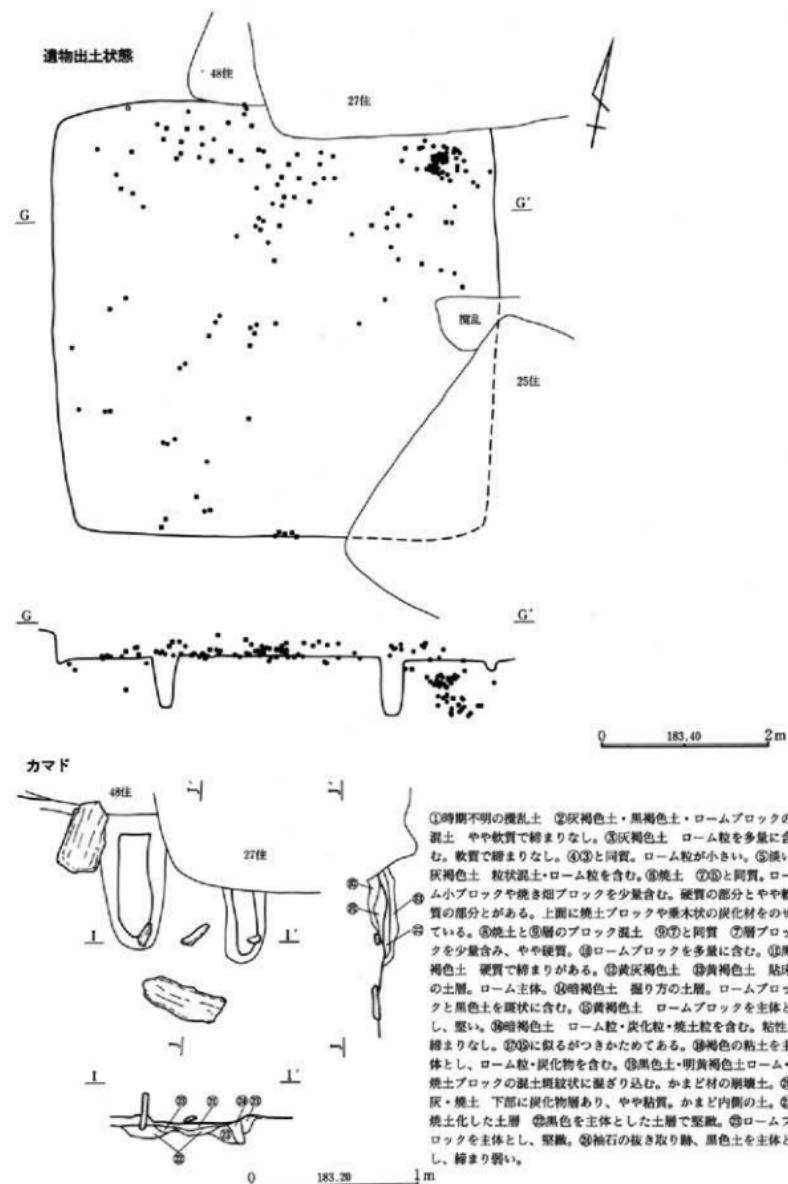
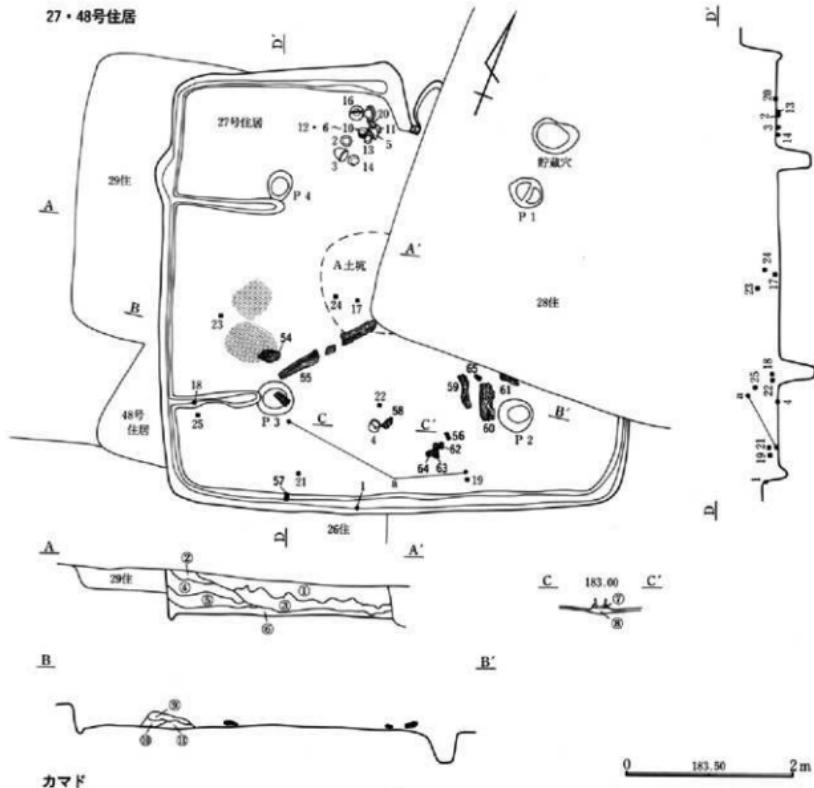


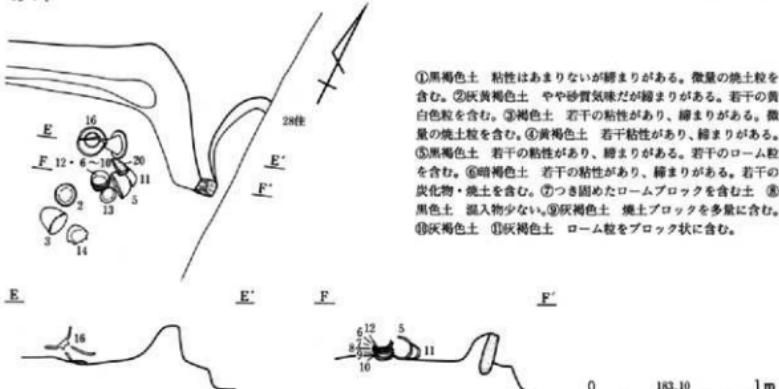
図14

白倉A区27号・48号住居跡

27・48号住居



カマド



①黒褐色土 粘性はあまりないが締まりがある。微量の焼土粒を含む。②灰褐色土 やや砂質気味だが締まりがある。若干の白色粒を含む。③褐色土 若干の粘性があり、締まりがある。微量の焼土粒を含む。④黄褐色土 若干の粘性があり、締まりがある。⑤黒褐色土 若干の粘性があり、締まりがある。若干のローム粒を含む。⑥暗褐色土 若干の粘性があり、締まりがある。若干の炭化物・焼土を含む。⑦つき固めたロームブロックを含む土 ⑧黒色土 混入物少ない。⑨灰褐色土 燃上ブロックを多量に含む。⑩灰褐色土 ⑪暗褐色土 ローム粒をブロック状に含む。

図15

白倉A区28号住居跡

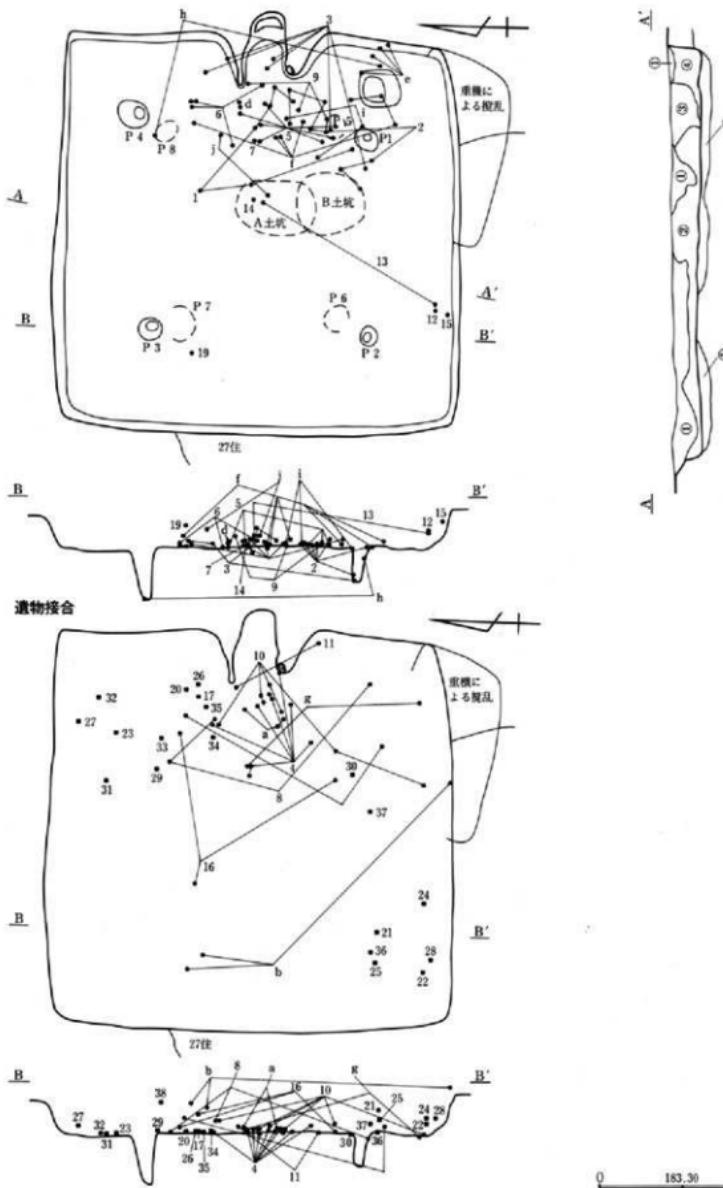
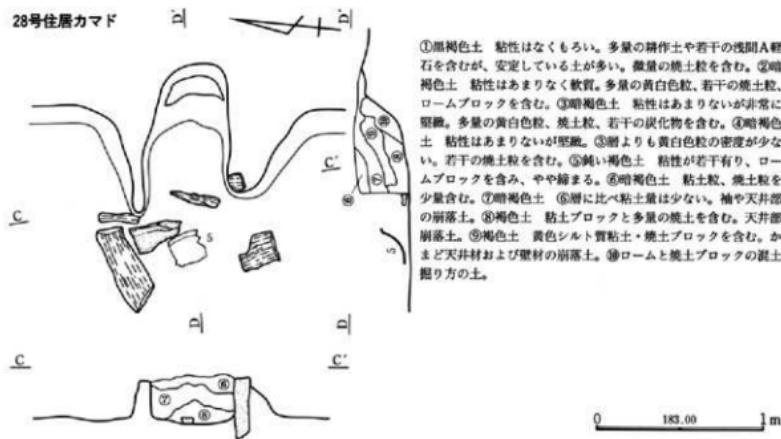


図16

白倉A区28号・35号住居跡

28号住居カマド



35号住居

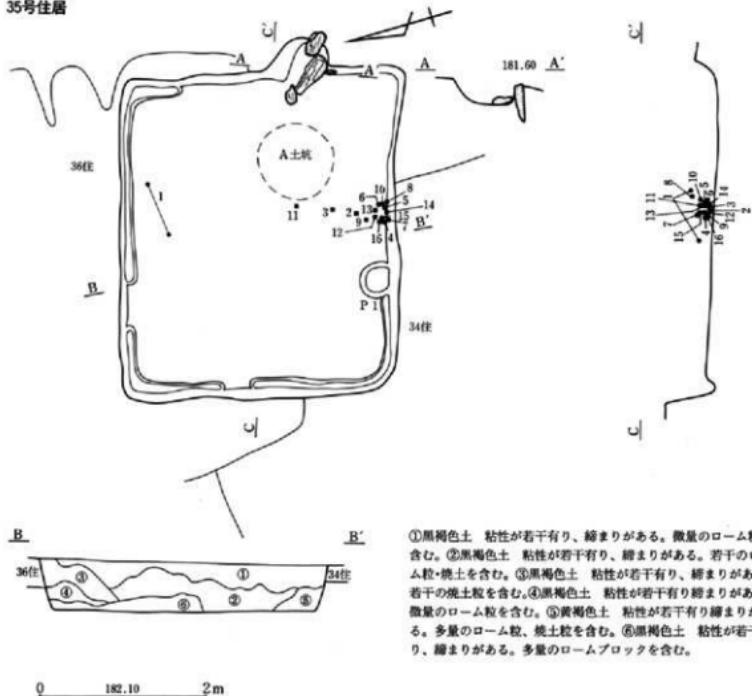


図17

白倉A区30号住居跡

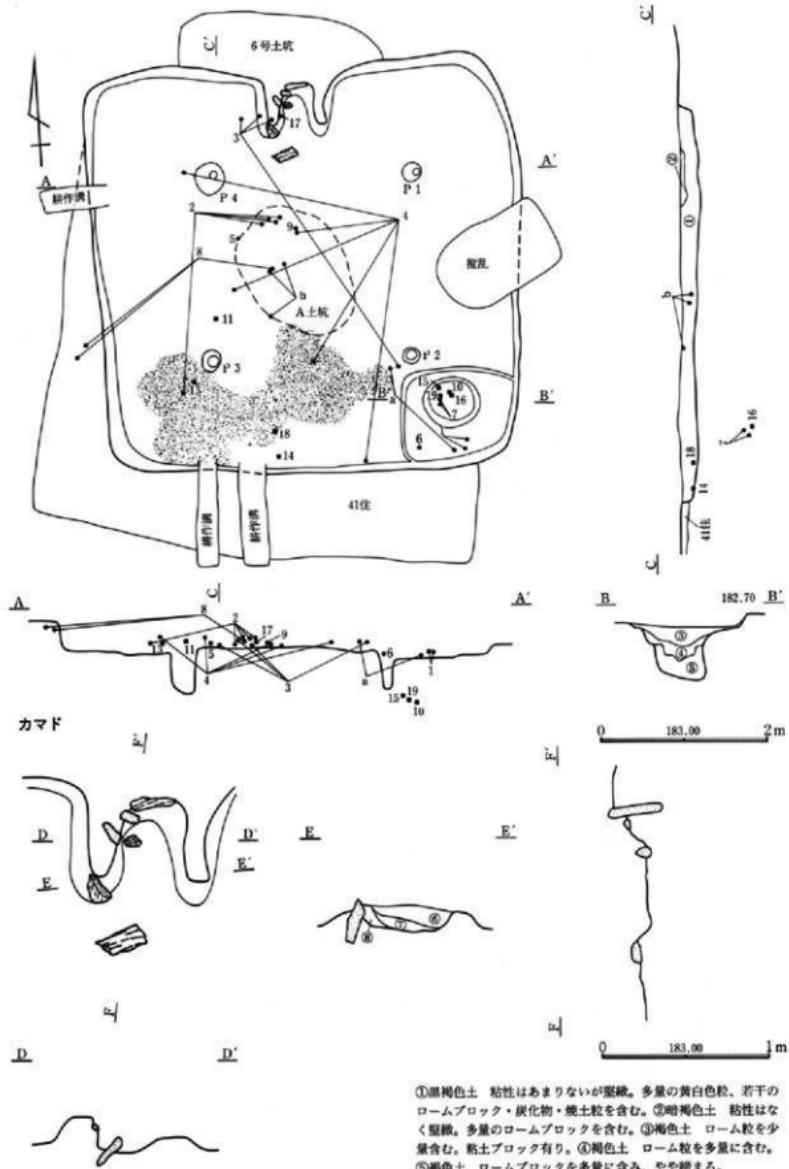
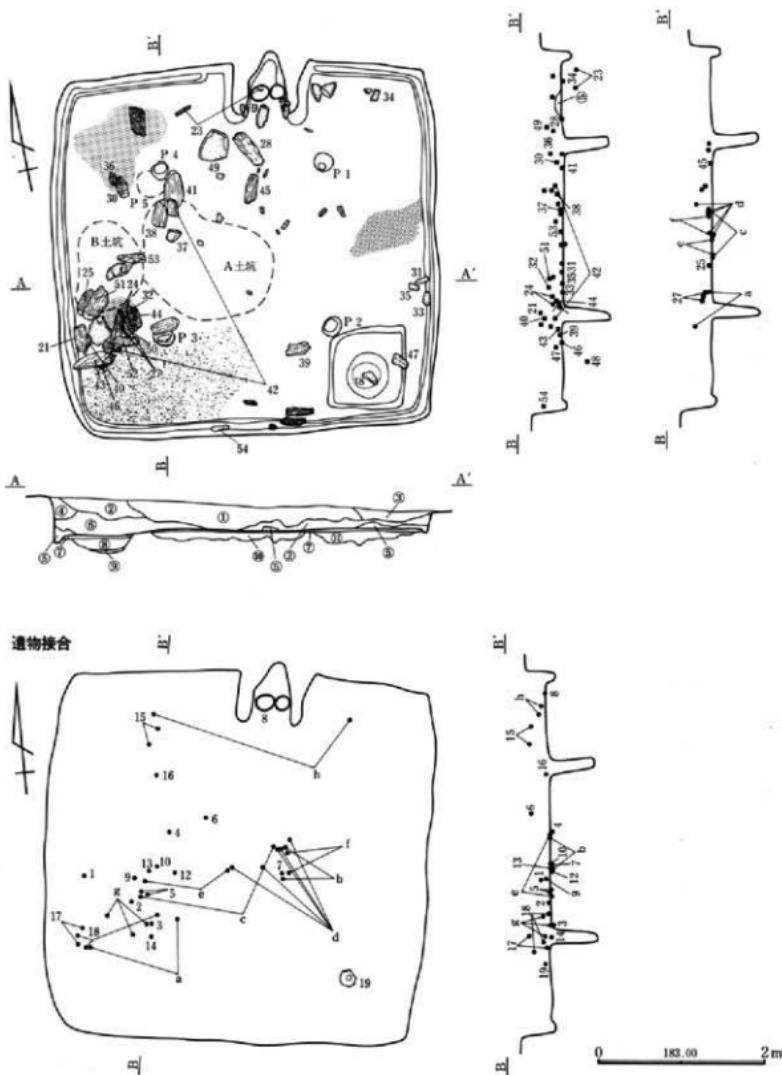


図18

白倉A区31号住居跡



南西部遺物出土状態

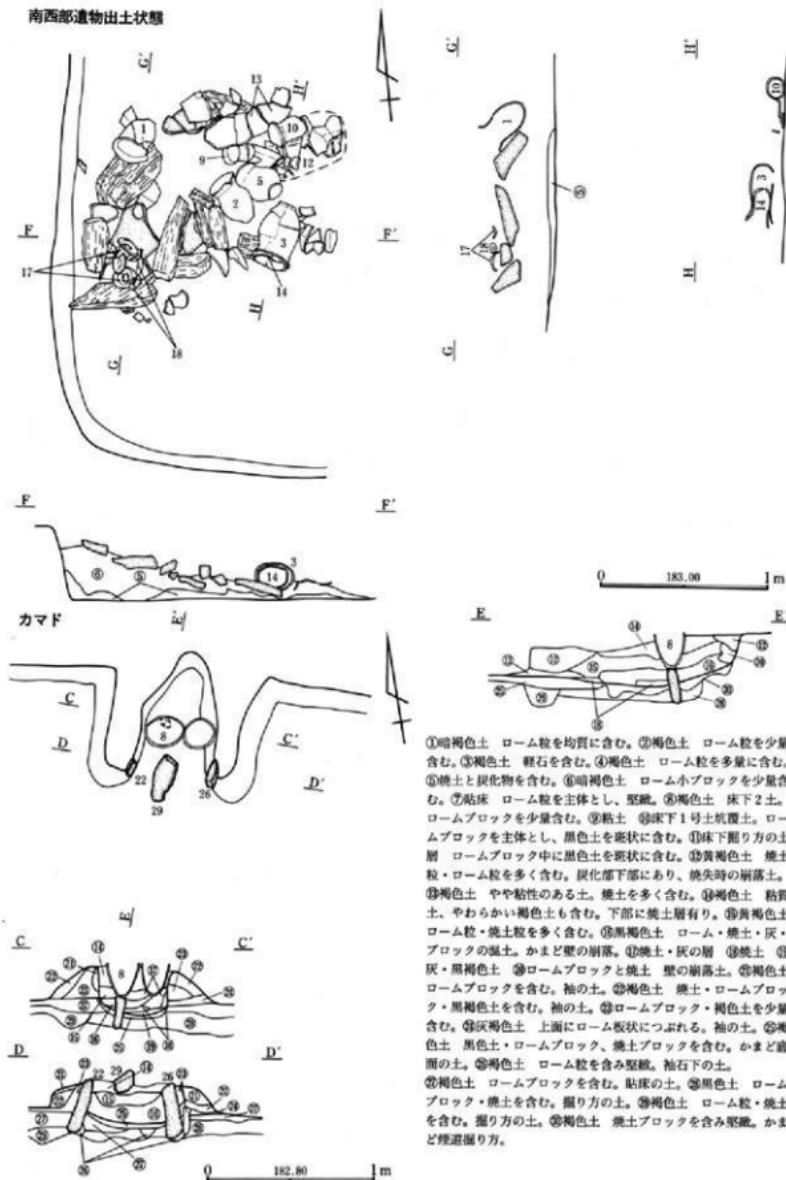


図20

白倉A区33号住居跡

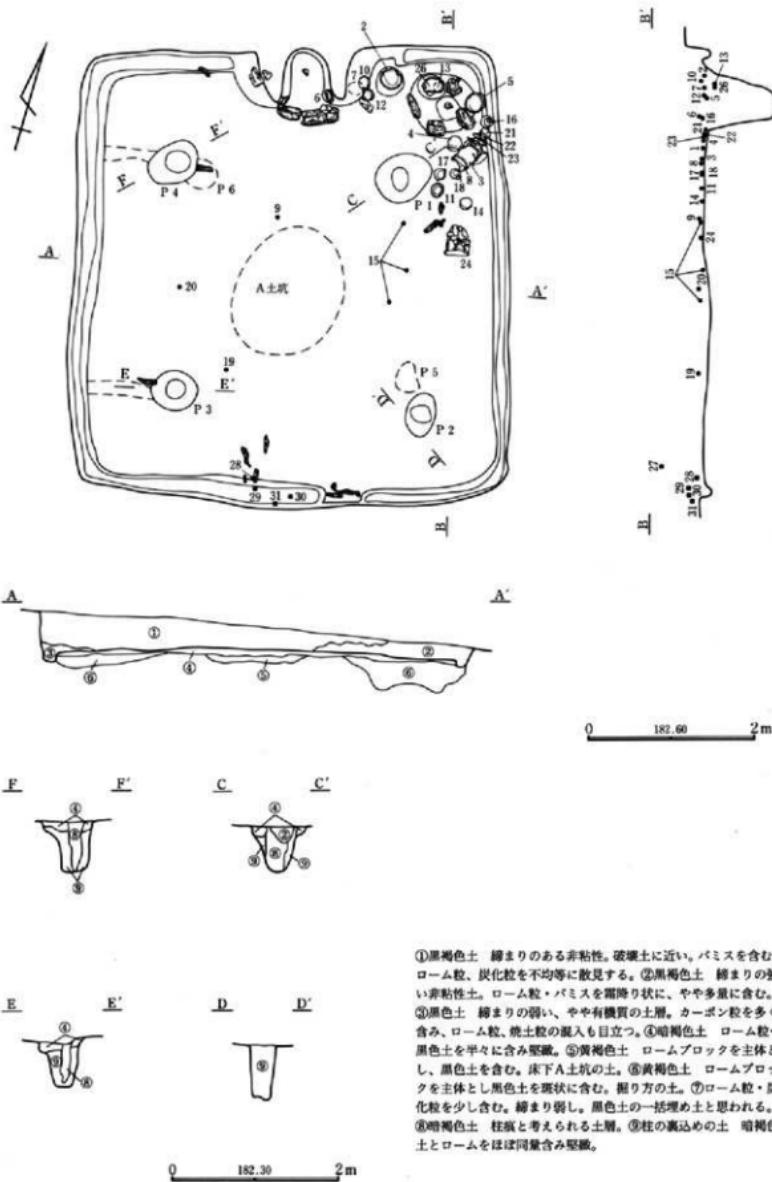
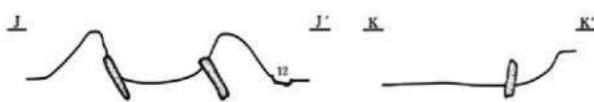
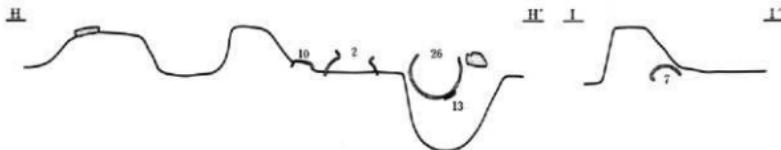
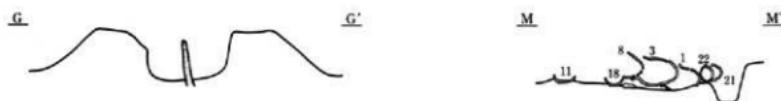
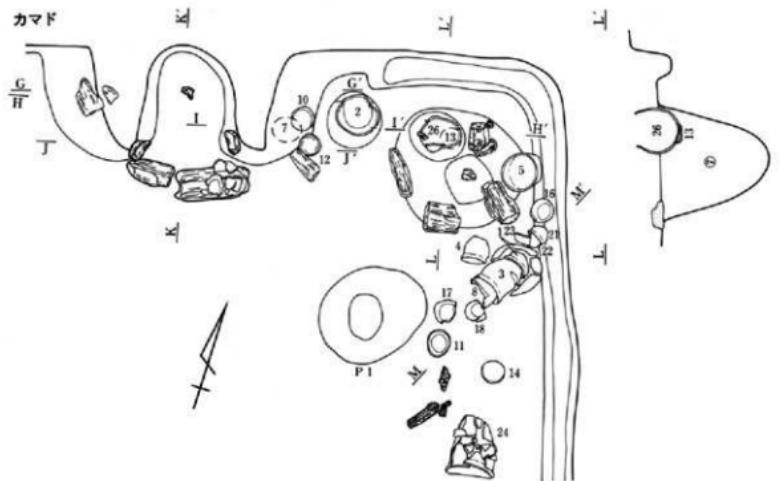


図21

白倉A区33号住居跡



0 182.30 1m

図22

白倉A区34号住居跡

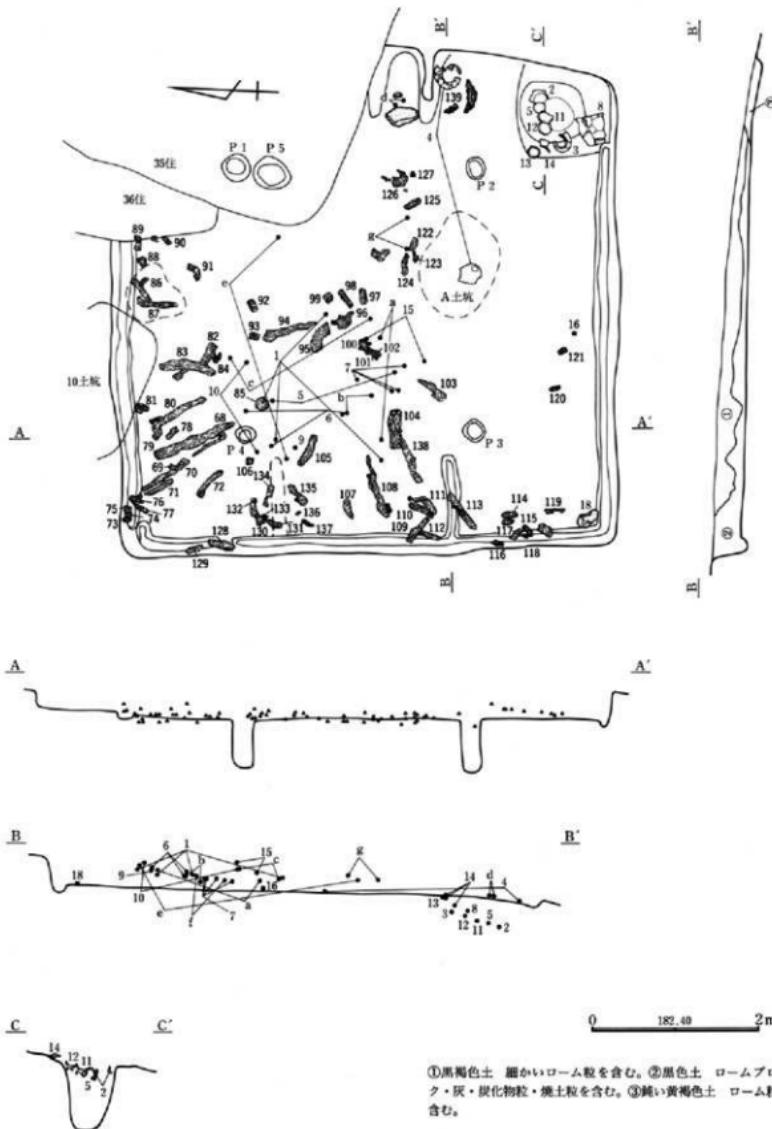
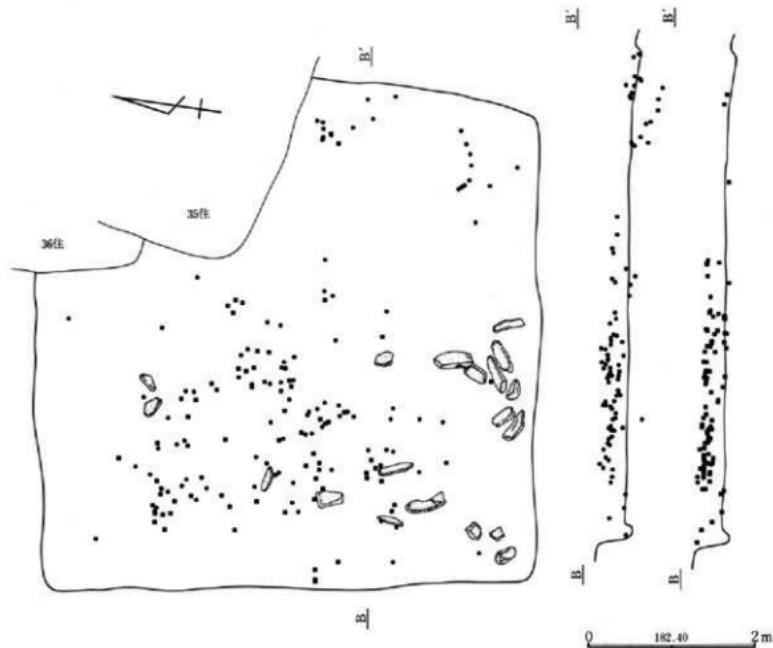


図23

白倉A区34号住居跡



カマド

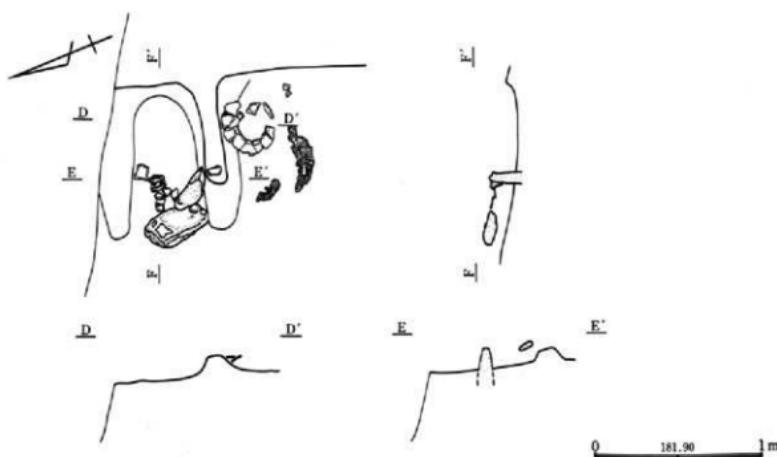


図24

白倉A区36号住居跡

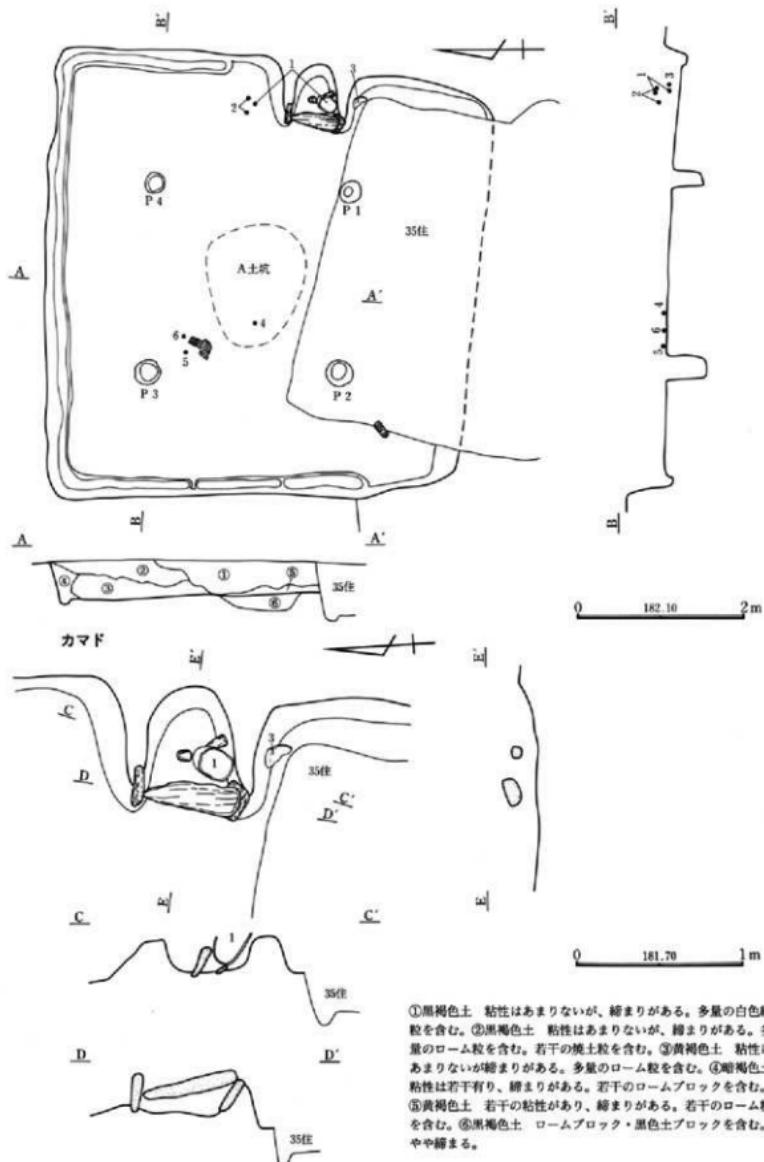
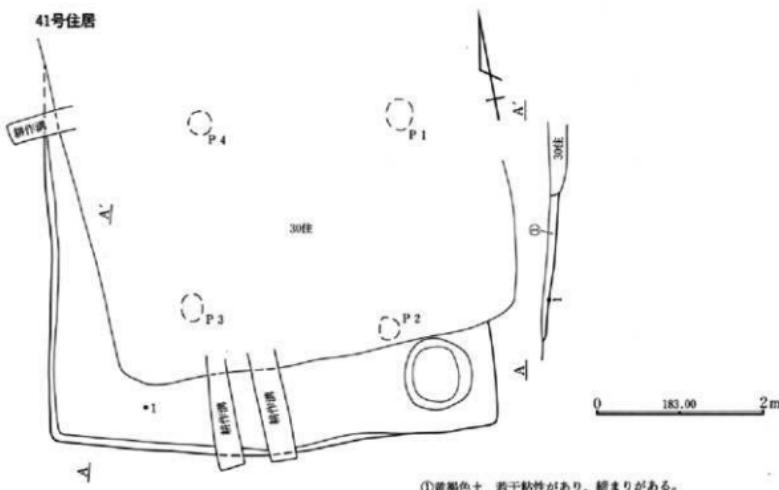


図25

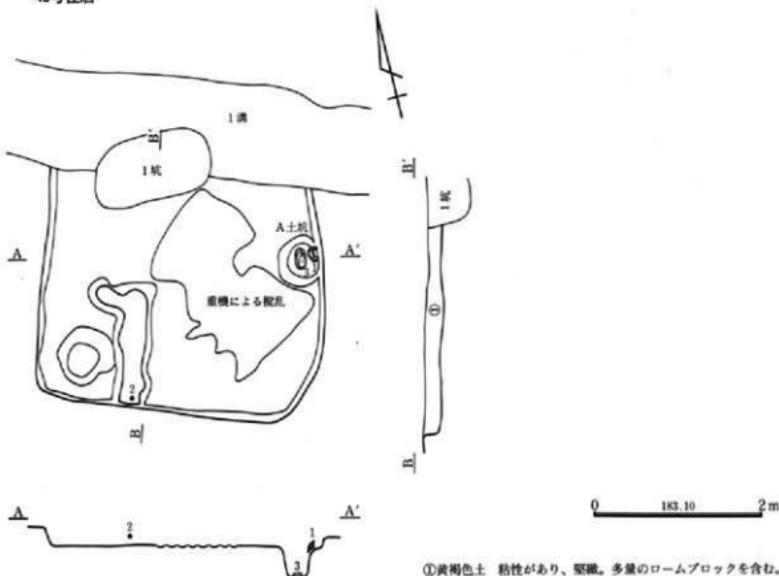
白倉A区41号・45号住居跡

41号住居



①黄褐色土 略粘性があり、結まりがある。

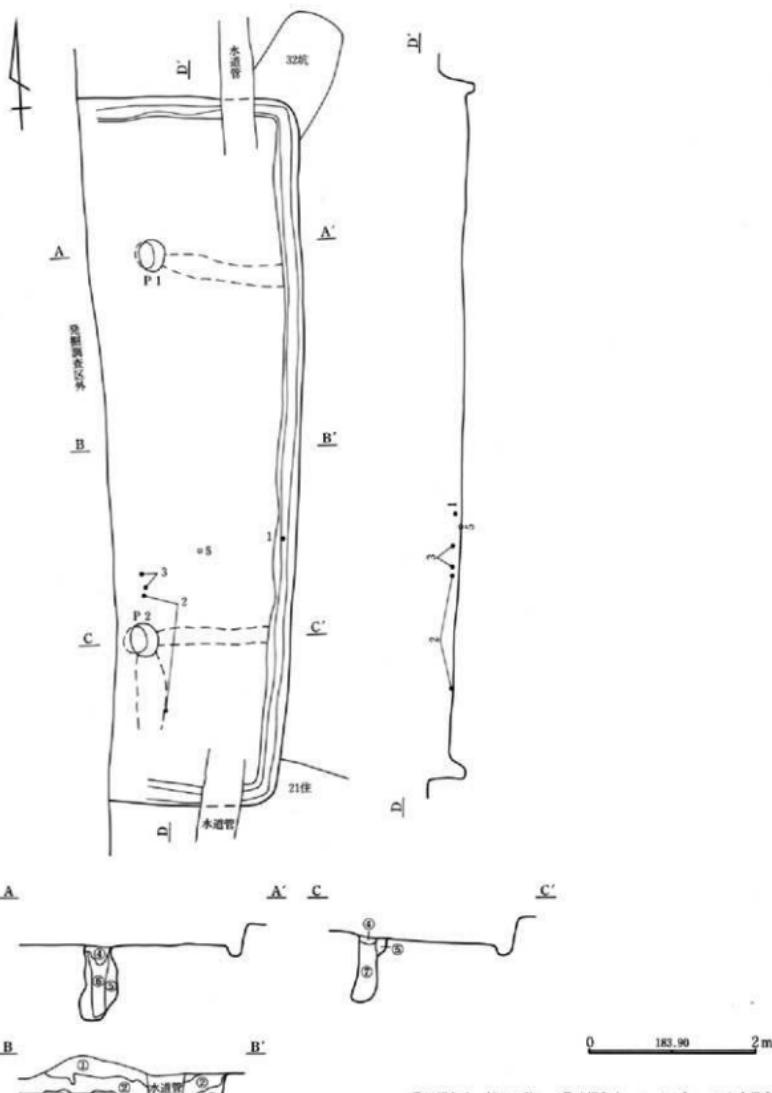
45号住居



①黄褐色土 略粘性があり、堅硬。多量のロームブロックを含む。

図26

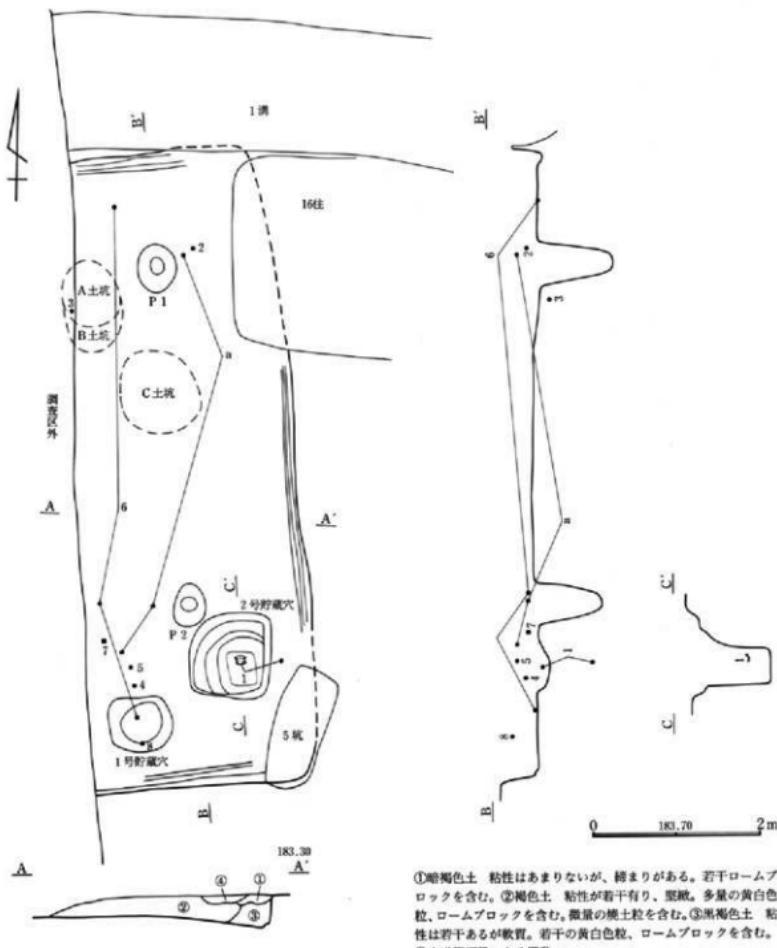
白倉A区42号住居跡



①黒褐色土 繊まり強い。②暗褐色土 ロームブロックを少量含む。③暗褐色土 ロームブロックを多量に含む。④上面はロームブロックと黒色土の混土。⑤柱の根がための土 黒色土とロームブロックの混土。堅緻。⑥柱底 ⑦弱い黄褐色土とロームブロック

図27

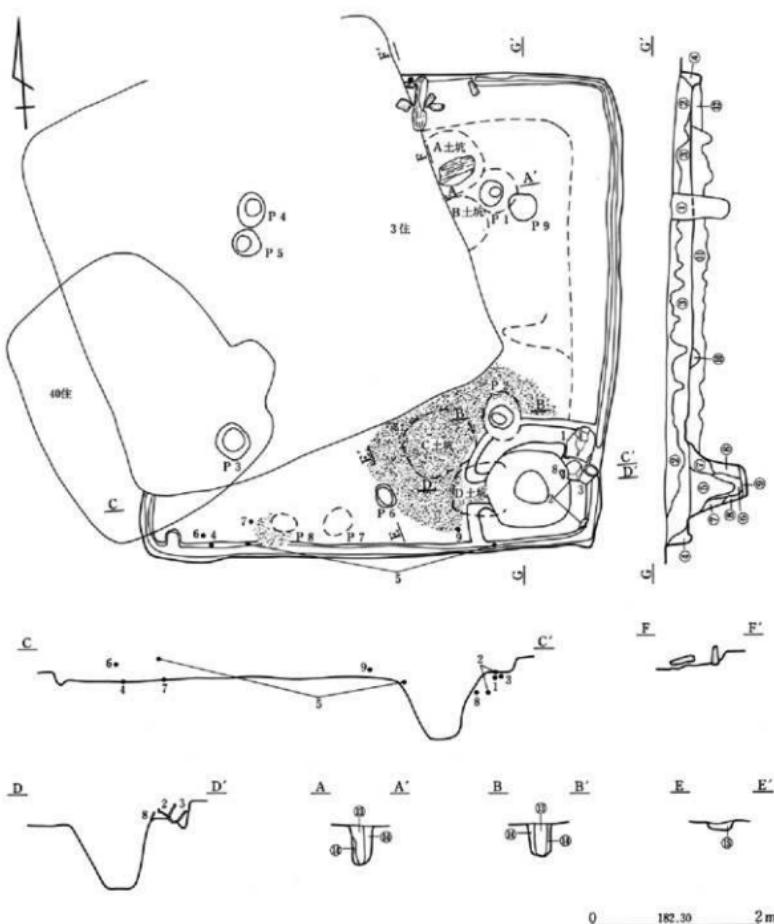
白倉A区44号住居跡



①暗褐色土 粘性はあまりないが、締まりがある。若干ロームブロックを含む。
 ②褐色土 粘性が若干有り、堅致。多量の黄白色粒、ロームブロックを含む。微量の焼土粒を含む。
 ③黒褐色土 粘性は若干あるが軟質。若干の黄白色粒、ロームブロックを含む。
 ④水管管理設による擾乱。

図28

白倉A区47号住居跡



① 黒褐色土 ロームブロックを含む。② 黒褐色土 若干の粘性があり、絆まりがある。若干のローム粒を含む。③ 黄褐色土 若干の粘性があるが、やや軟質。ロームブロックを含む。④ 黑褐色土とロームの混土 ⑤ 灰褐色土 煙土粒を含む。⑥ 灰褐色土 軟質。⑦ 灰褐色土 ⑧ ローム・灰褐色土・灰黄褐色土のブロック混

土。⑨ 暗灰色粘土砂粗かまどの焼土 ⑩ 暗褐色土 ロームブロック混土。旧住居の埋め戻し土。⑪ ⑫層に似るがローム多く堅緻。新住居の粘土。⑬ 黑褐色土 若干のローム粒を含む。⑭ 黄褐色土 若干の粘性がある。多量のローム粒を含む。⑮ 純い褐色土と暗褐色土の混土。

図29

白倉A区53号住居跡

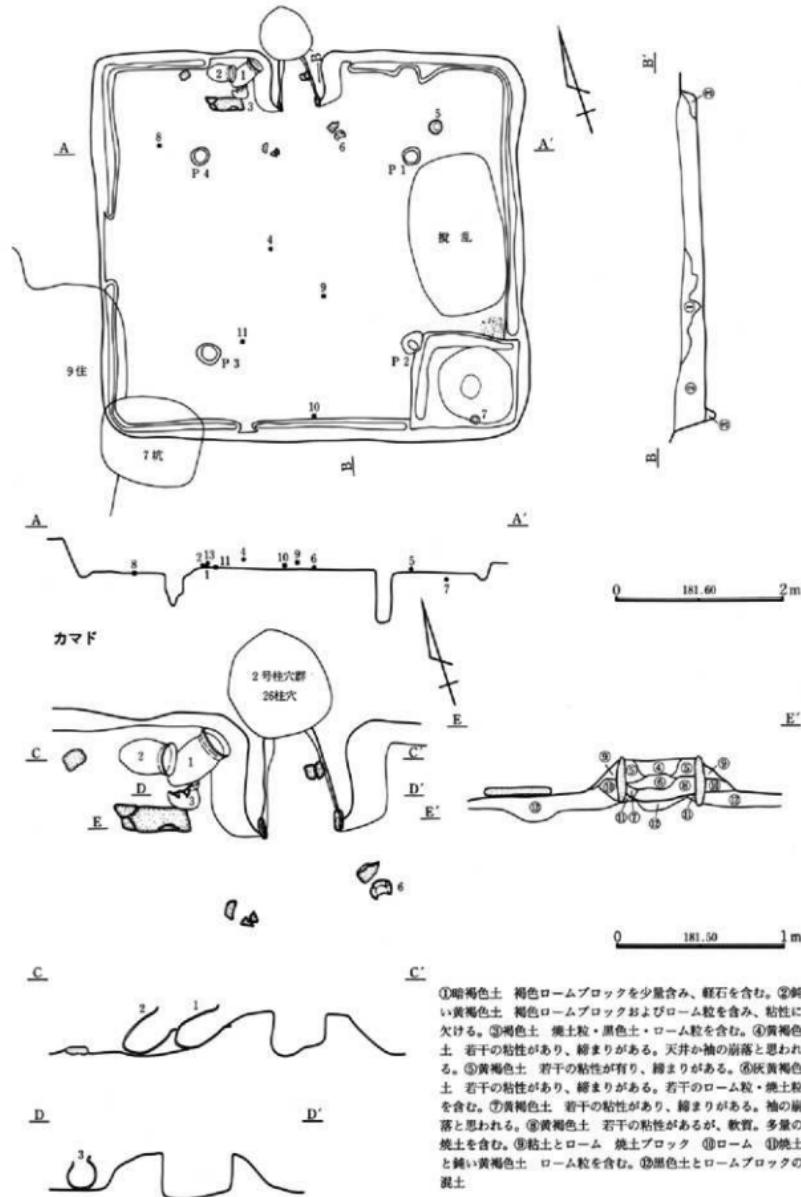


図30

白倉A区54号・55号・57号住居跡

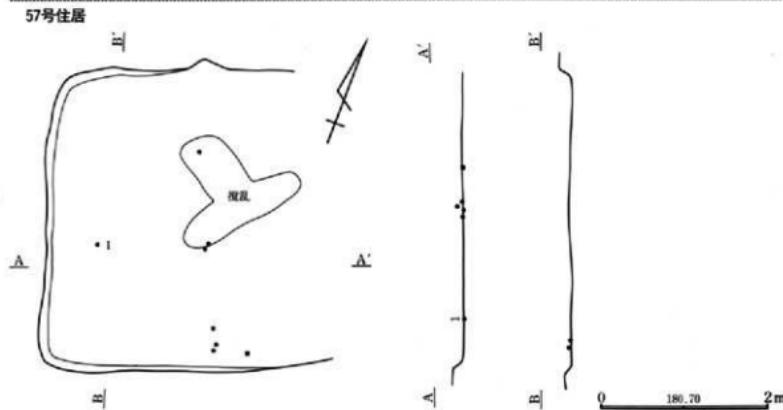
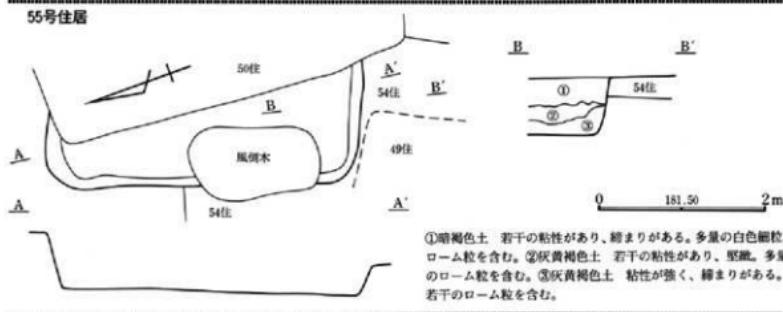
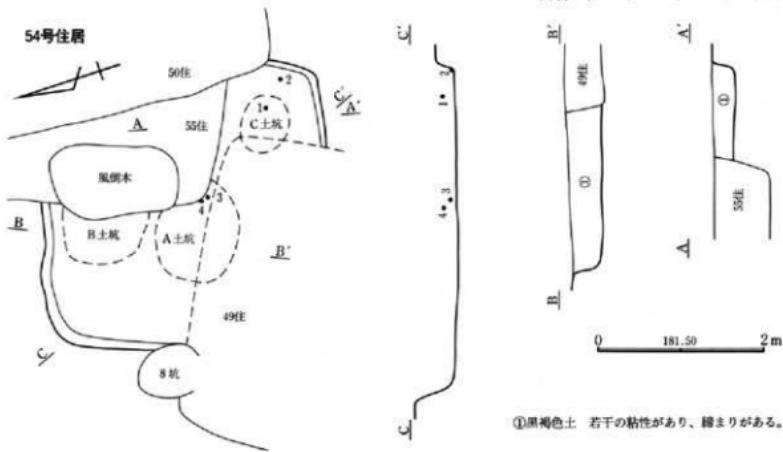
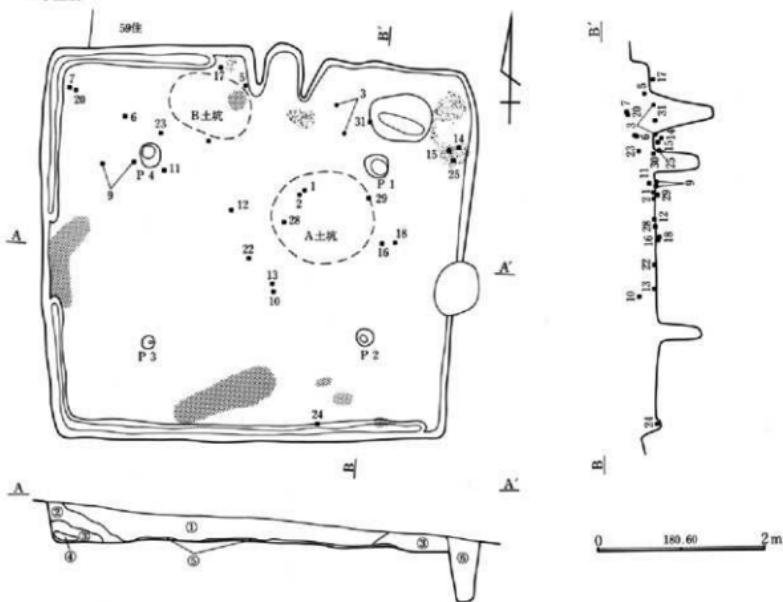


図31

白倉A区58号・59号・61号住居跡

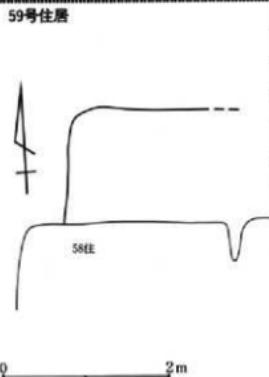
58号住居



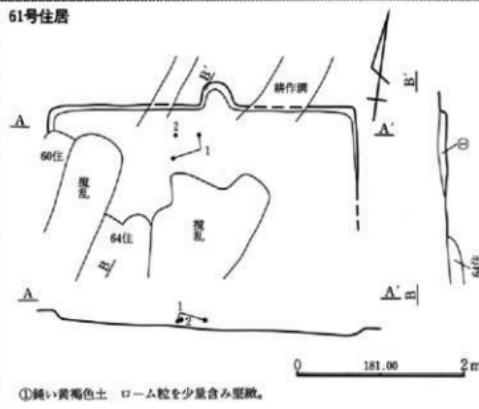
① 黒褐色土 若干の粘性があり堅致。多量のローム粒を含む。② 暗褐色土 粘性がやや強く堅致。若干のロームブロック・炭化物を含む。③ 黄褐色土 若干の粘性がある。多量の黄白色粒・微量の焼土粒、炭化物を含む。④ 焼土および炭化物を主体とする。⑤

黒褐色土 若干の粘性があり、非常に堅致。若干のローム粒を含む。⑥ 黒褐色土 時期不明のPit。若干の粘性があるが軟質。若干のローム粒を含む。

59号住居



61号住居

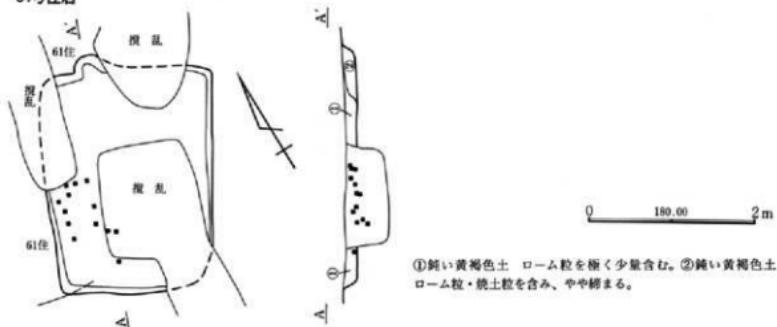


① 純い黄褐色土 ローム粒を少量含み堅致。

図32

白倉A区64号・66号住居跡

64号住居



66号住居

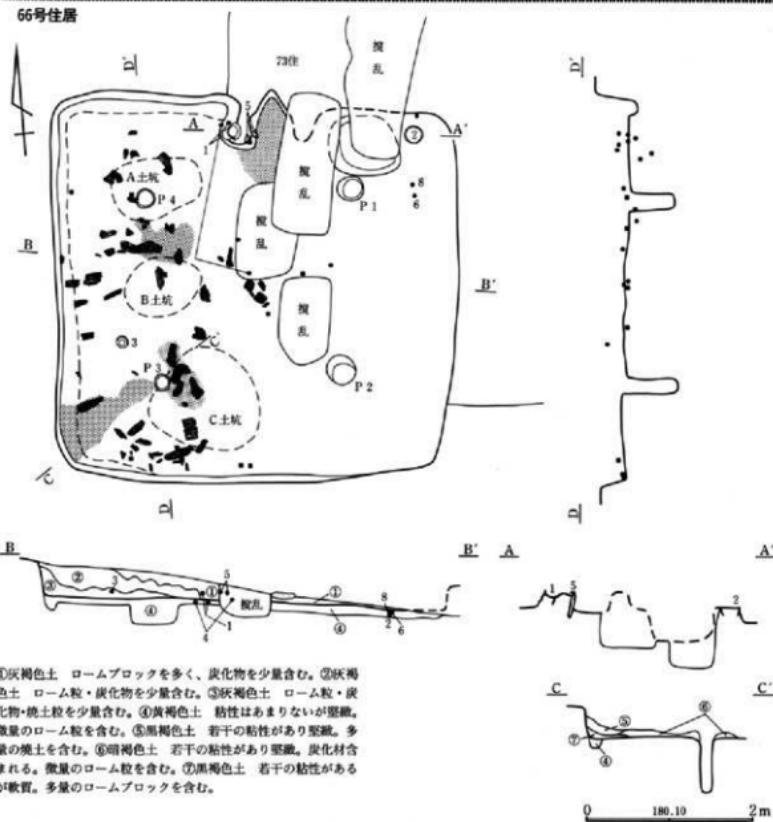


図33

白倉A区62号・72号・74号住居跡

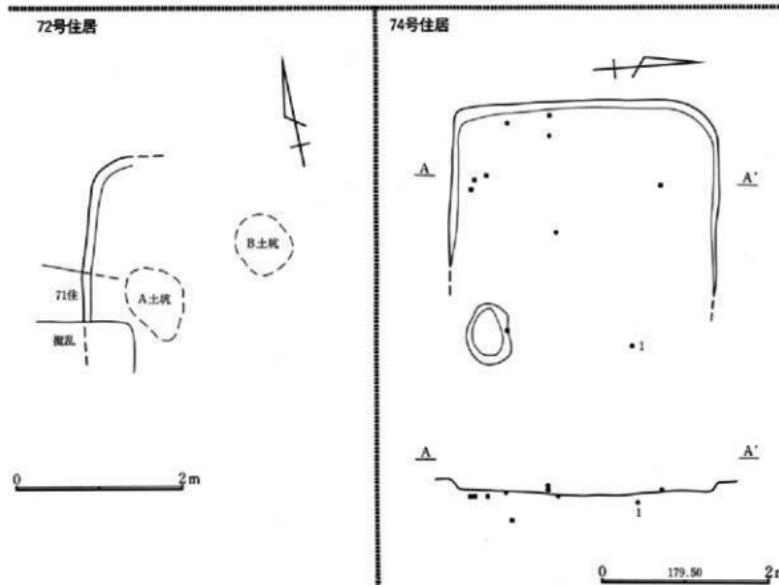
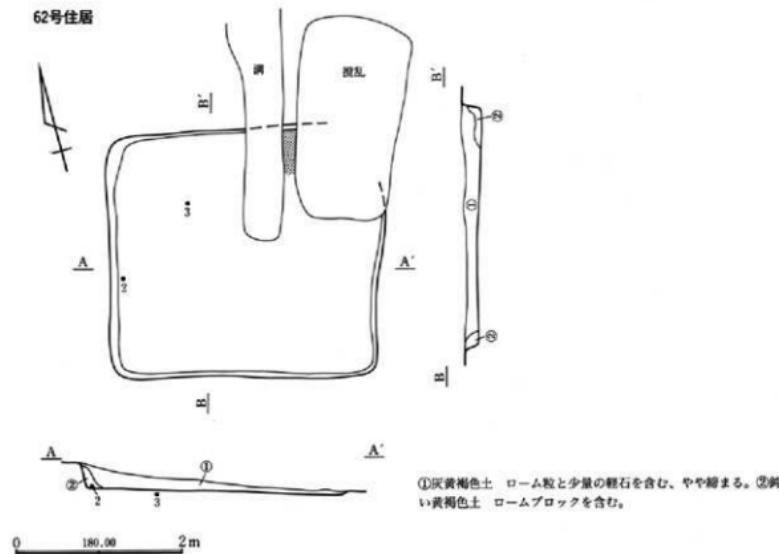


図34

白倉A区65号住居跡

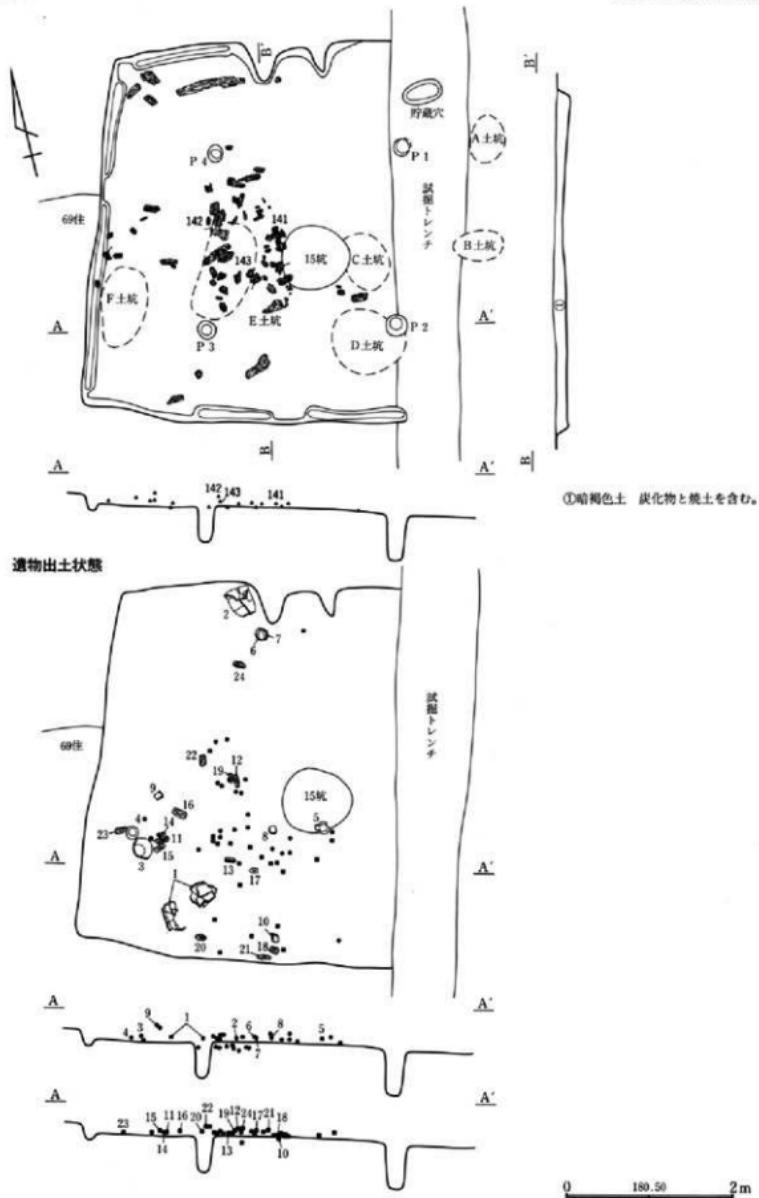
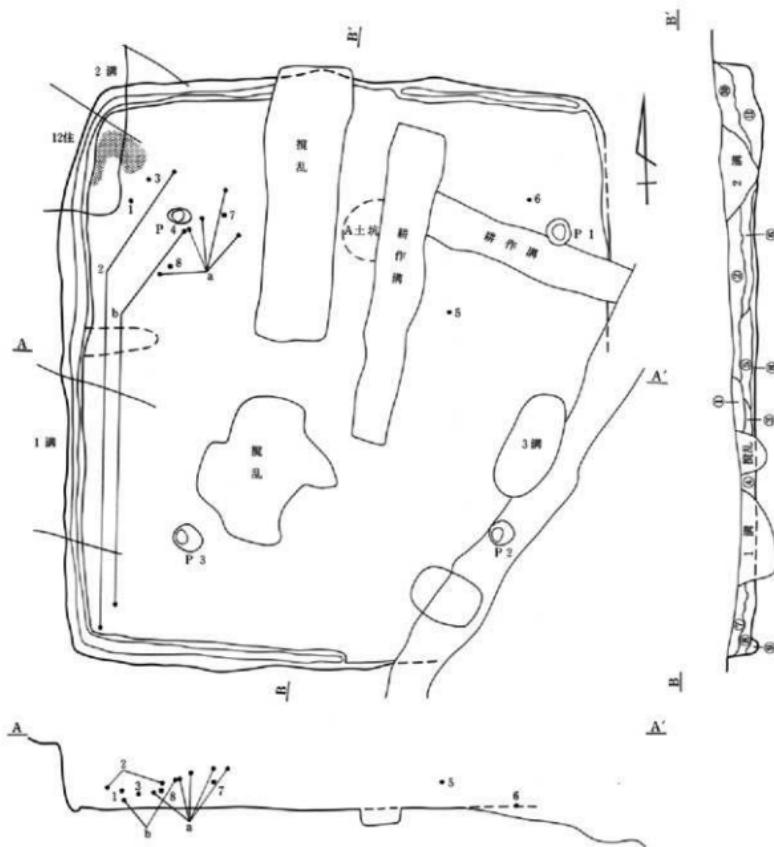


図35

白倉A区67号住居跡



- ①灰黄褐色土 ローム粒を均一に含む。②灰黄褐色土 ローム粒と褐色土を含み堅緻。③黒褐色土 ローム粒と褐色土ブロックを少量含む。④灰黄褐色土 多量のローム粒と黒色土ブロックを含み、やや堅緻。⑤灰黄褐色土 ローム小ブロックと黒色土ブロックを均一に含み、やや堅緻。⑥灰黄褐色土 ローム粒と極く少量の焼土粒を含み堅緻。⑦ロームと褐色土の混土。⑧灰黄褐色土 少量のローム粒を含む。⑨灰黄褐色土 ローム粒を含む。⑩灰褐色土 ローム粒を少量含む。⑪灰褐色土 多量の焼土とローム粒を含む。

0 181.70 2m

図36

白倉A区73号住居跡

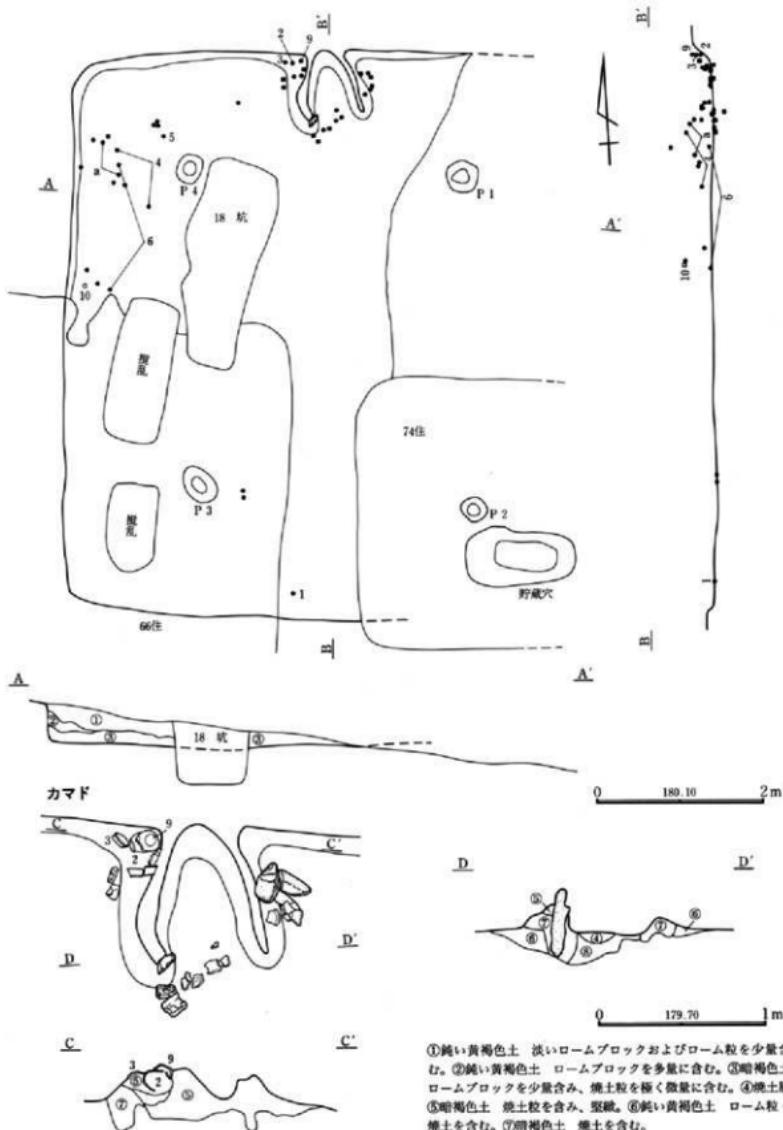
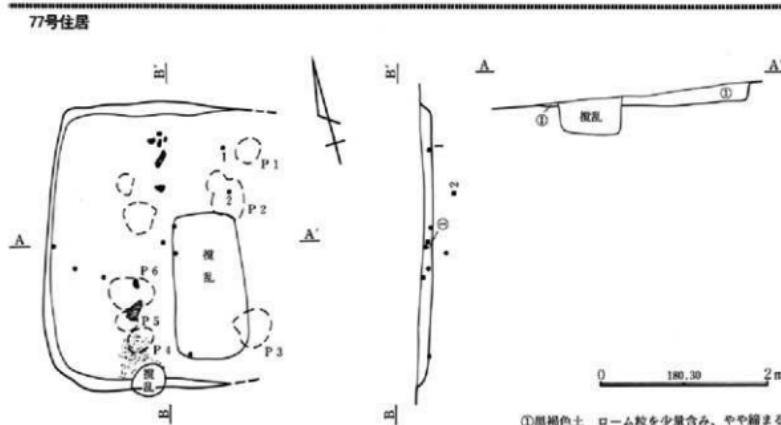
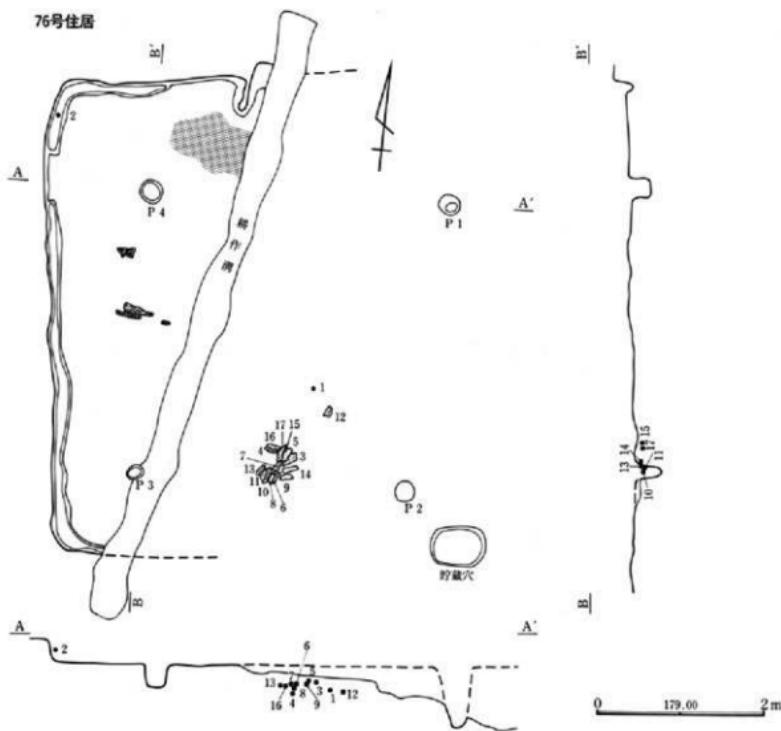


図37

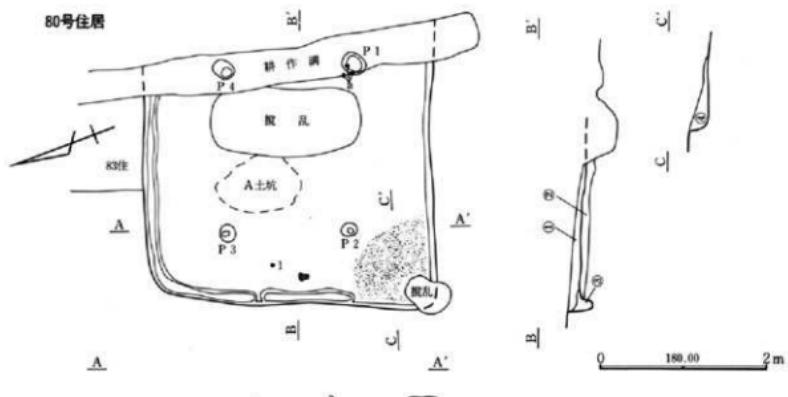
白倉A区76号・77号住居跡



①黒褐色土 ローム粒を少量含み、やや縮まる。

図38

白倉A区80号・81号住居跡

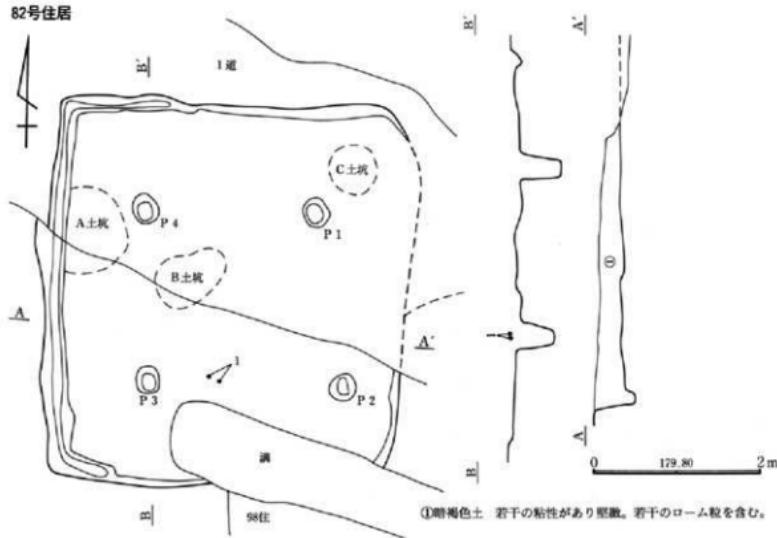


- ①灰黄褐色土 ローム粒を少量と炭化物を含み、堅緻。
 ②灰黄褐色土 ロームブロックを含む。
 ③黄褐色土 若干の粘性があり堅緻。多量のロームブロックを含む。
 ④褐灰色粘土層

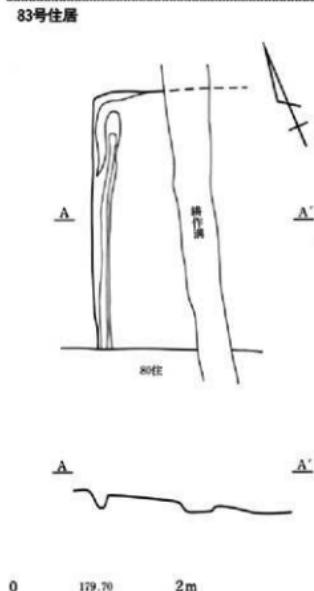
図39

白倉A区82号・83号・84号住居跡

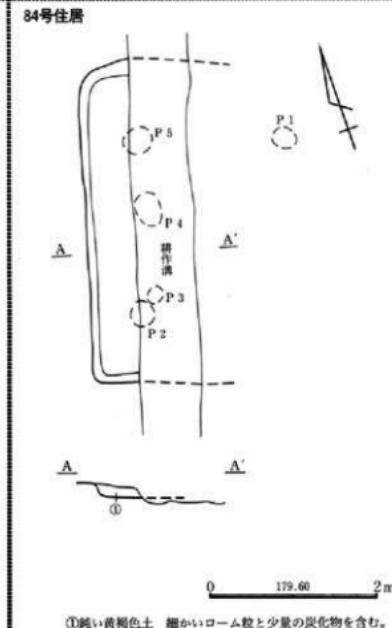
82号住居



83号住居



84号住居



①純い黄褐色土 細かいローム粒と少量の炭化物を含む。

図40

白倉A区85号住居跡

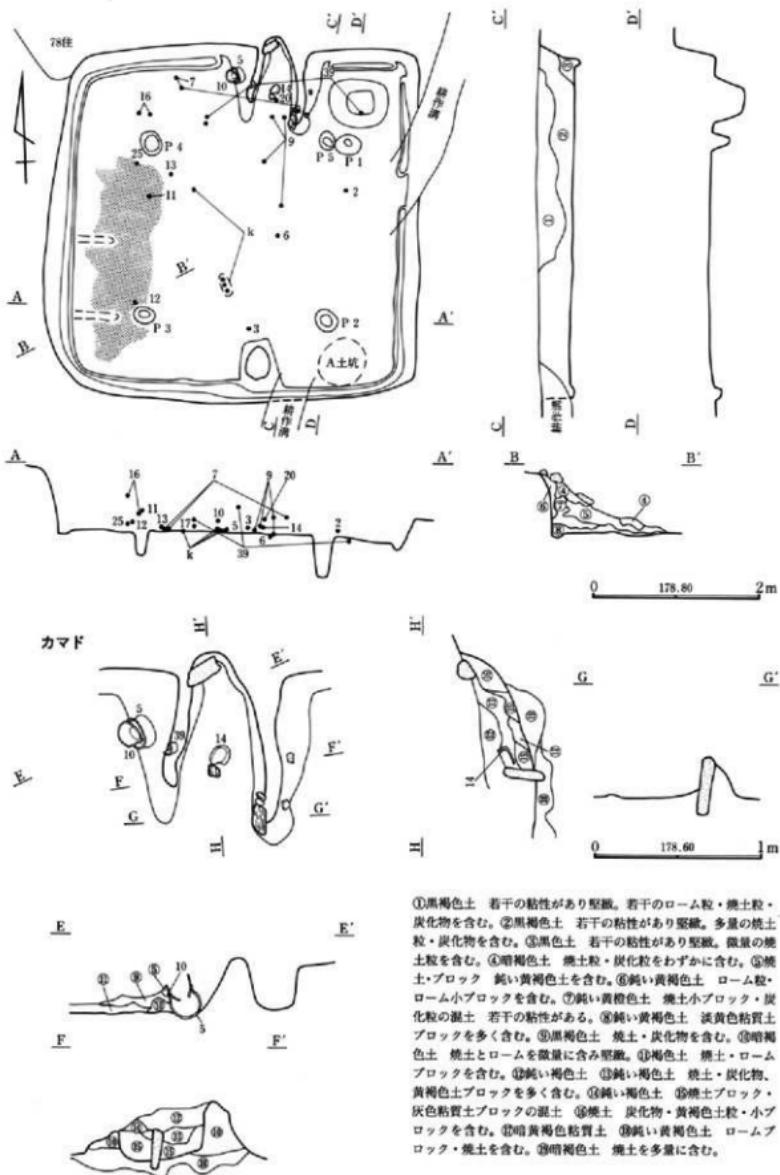
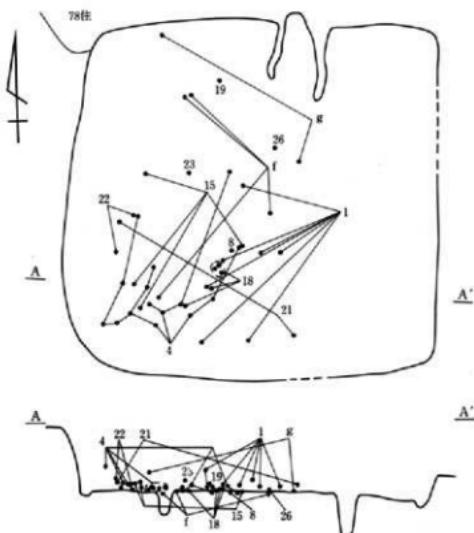


図41

白倉A区85号住居跡

遺物接合関係



遺物接合関係

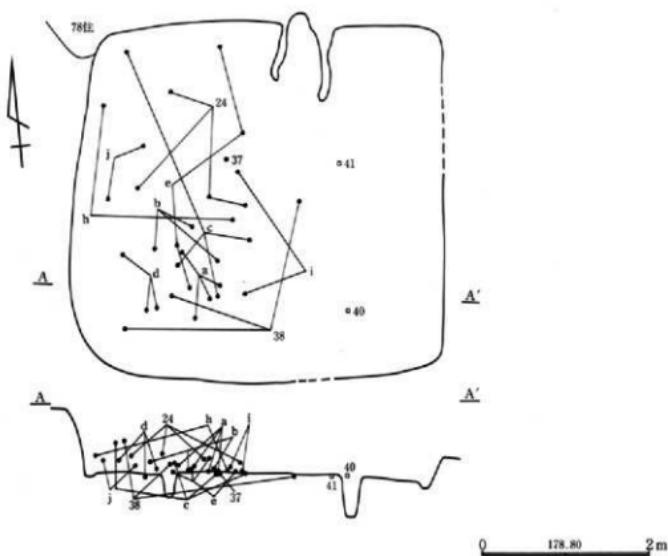
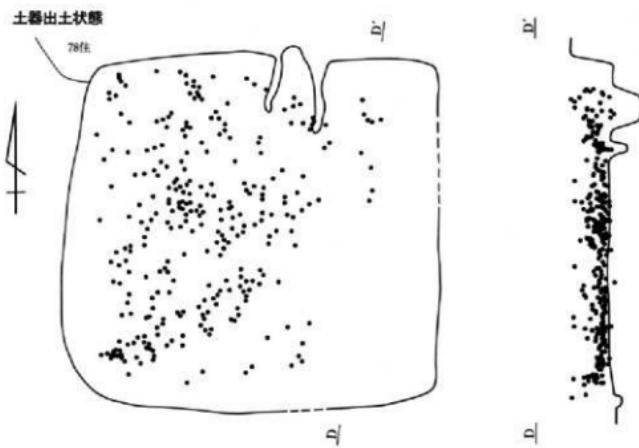
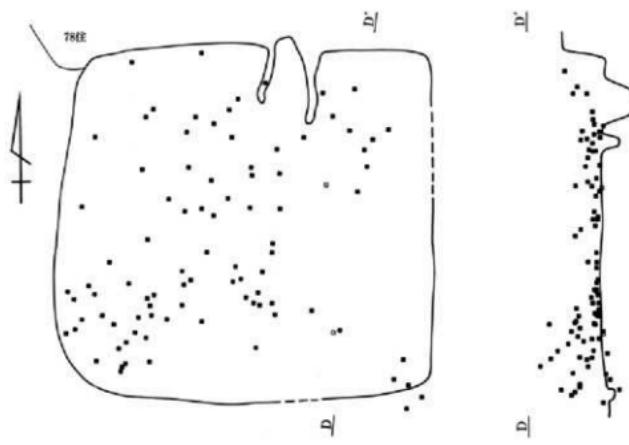


図42

白倉A区85号住居跡



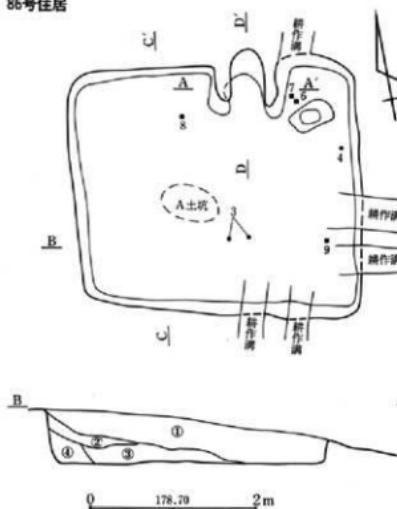
石製品・礫出土状態



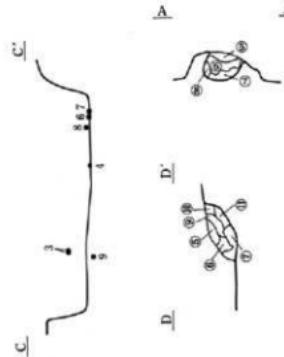
0 178.80 2m

図43

86号住居

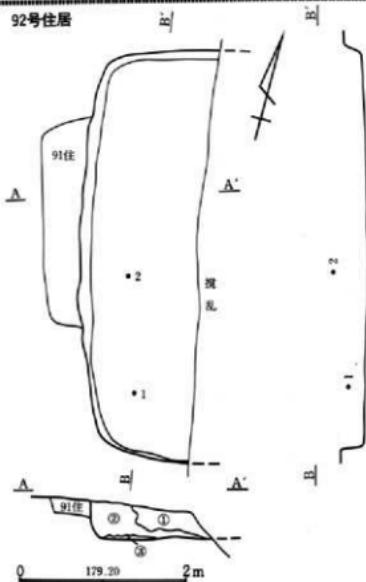


白倉A区86号・92号・95号住居跡

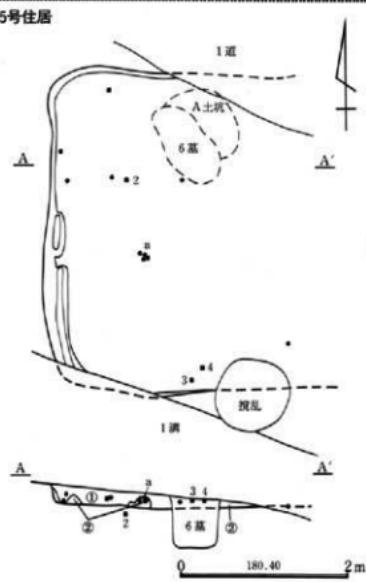


①黒褐色土 粘性はあまりないが堅硬。若干の燒土粒、炭化物、ローム粒を含む。②黒褐色土 若干の粘性があり堅硬。微量のローム粒を含む。③暗褐色土 若干の粘性があり堅硬。若干の燒土粒、ロームブロックを含む。④黄褐色土 若干の粘性があり堅硬。⑤純い黄褐色土 粘性があり、ローム粒、炭化物を含む。⑥灰色土 若干の粘性があり、燒土粒を含む。⑦灰土 若干の粘性があり、燒土を含む。⑧層にロームブロックの混じった土層 ⑨燒土ブロック、ローム粒、純い黄褐色土の混土 ⑩純い黄褐色土 灰色土 ⑪層に近似する。⑫層にローム粒の混じた土層

92号住居



95号住居



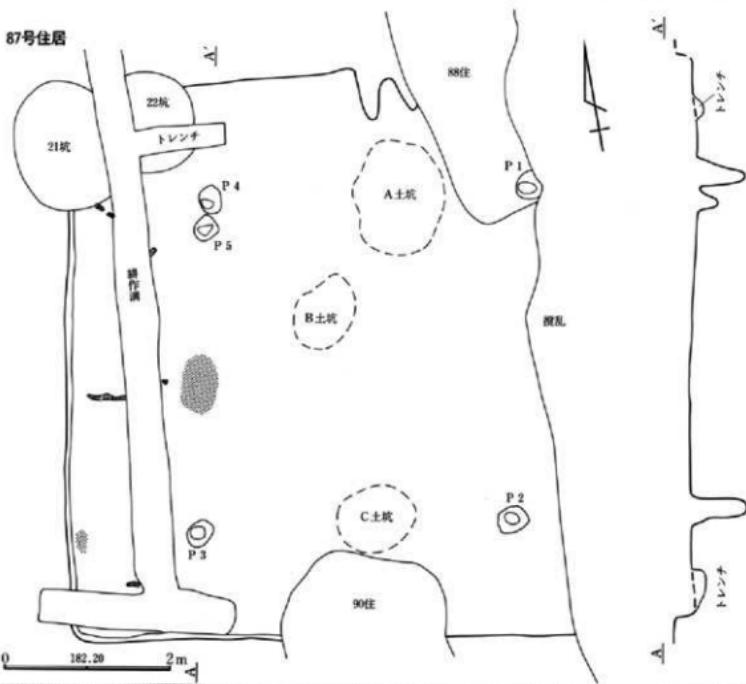
①暗褐色土 蔽入物はあまりない。②暗褐色土 极く少量のローム粒を含み、上層よりかためである。③純い黄褐色土 ロームブロックを含む。やや緑まる。

①黒褐色土 ローム粒を極く少量含み、やや軟質。②黒褐色土 ロームブロック粒を含み、軟質。

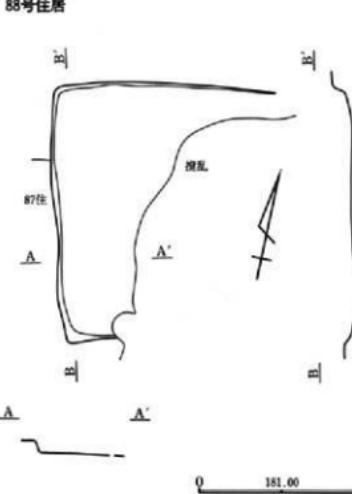
図44

白倉A区87号・88号・91号住居跡

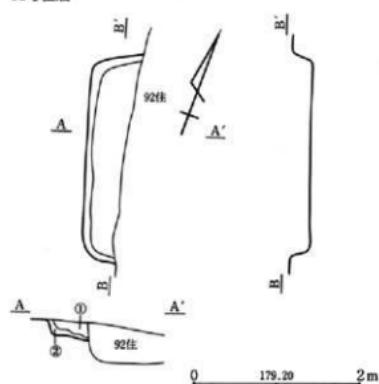
87号住居



88号住居



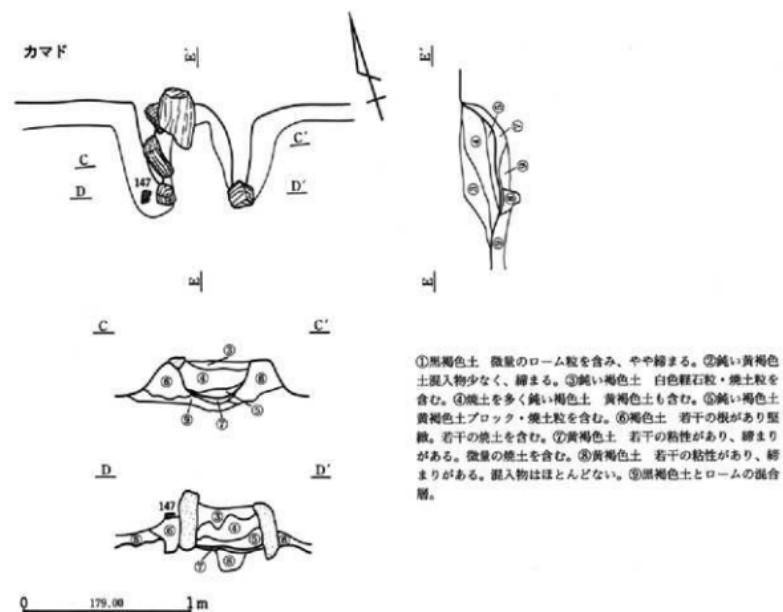
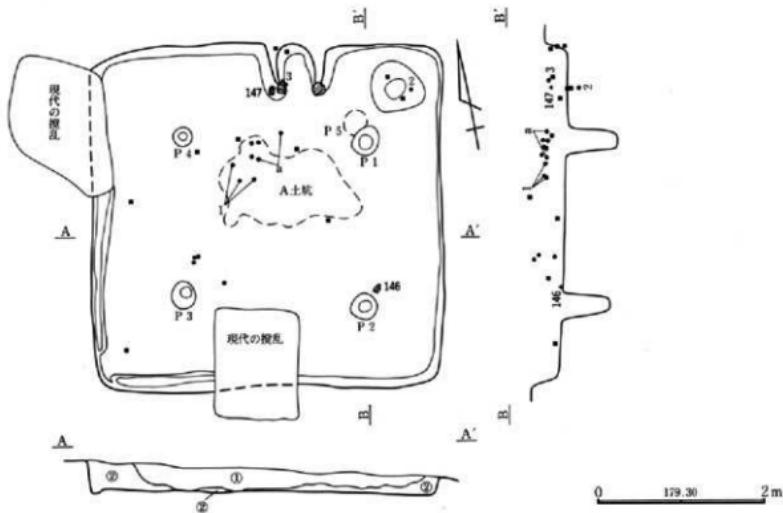
91号住居



①ロームブロックを少量含みやや堅緻。②褐色土 ローム粒ブロックを多量に含む。

図45

白倉A区93号住居跡



①黒褐色土 微量のローム粒を含み、やや緑まる。②純い黄褐色土混入物少なく、緑まる。③純い褐色土 白色軽石粒・無土粒を含む。④焼土を多く純い褐色土 黄褐色土も含む。⑤純い褐色土 黄褐色土ブロック・焼土粒を含む。⑥褐色土 若干の根があり堅緻。若干の焼土を含む。⑦黄褐色土 若干の粘性があり、緑まりがある。微量の焼土を含む。⑧黄褐色土 若干の粘性があり、緑まりがある。混入物はほとんどない。⑨黒褐色土とロームの混合層。

図46

白倉A区94号住居跡

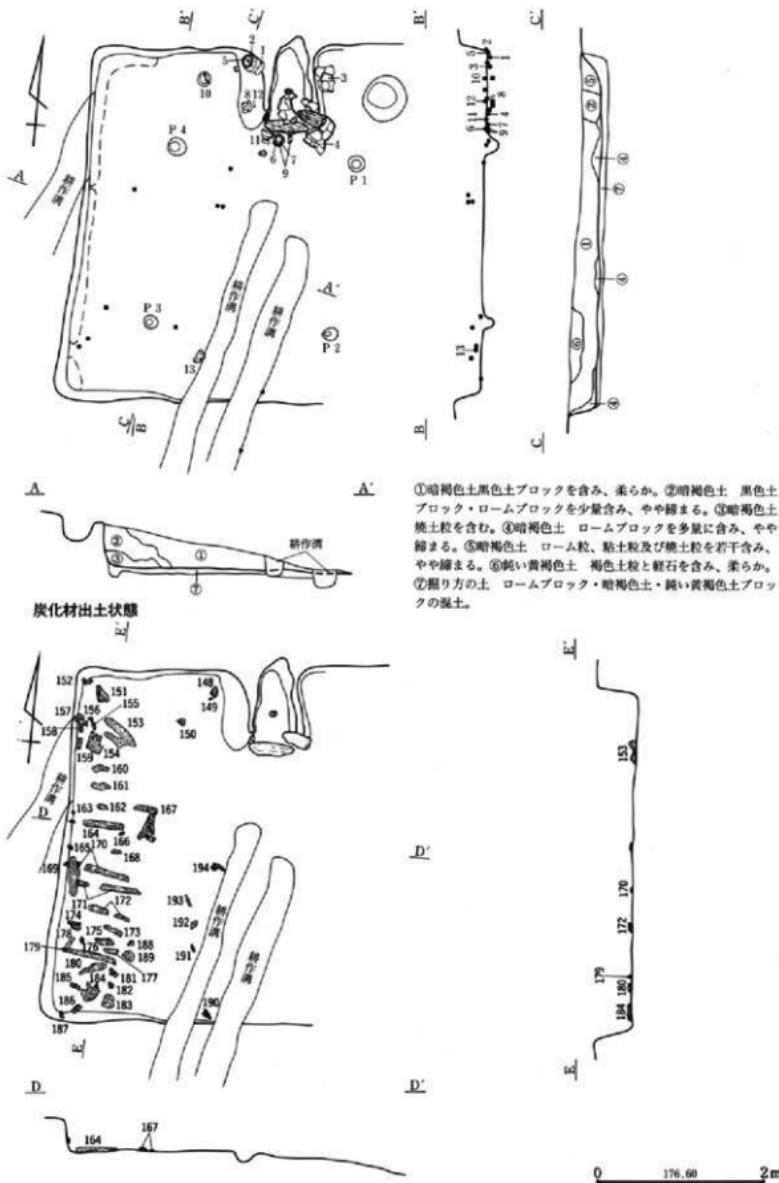
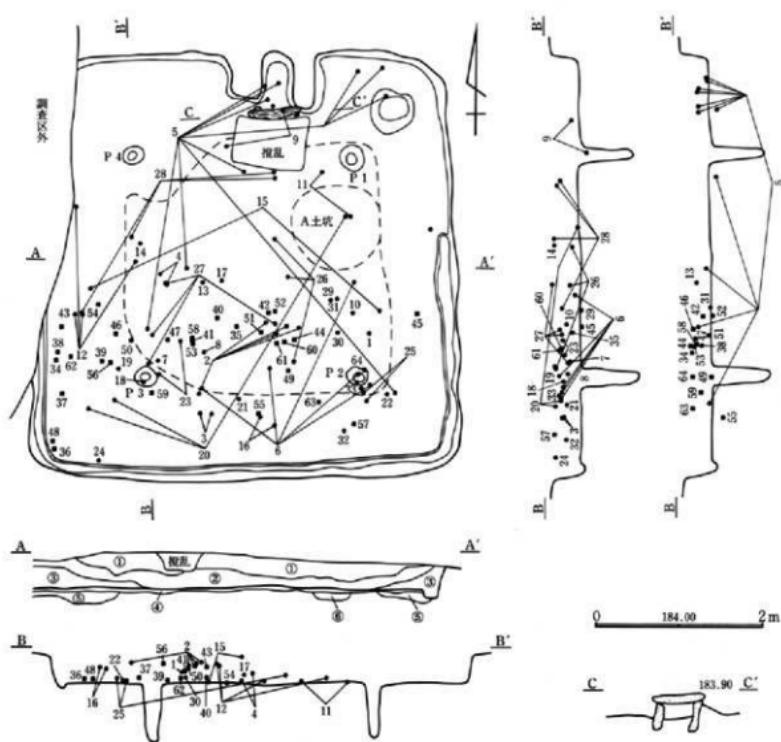
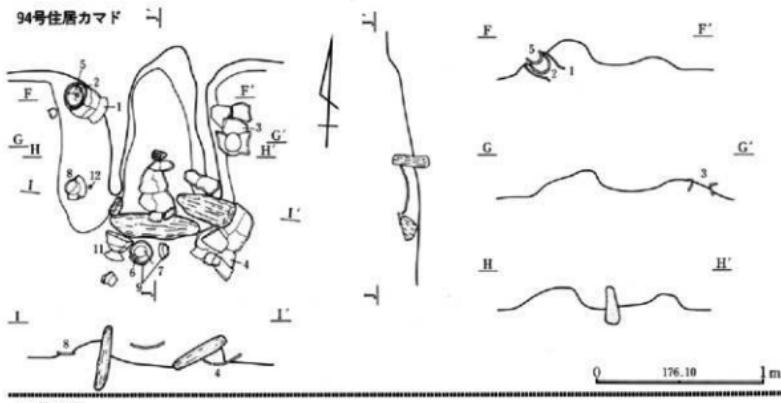


図47

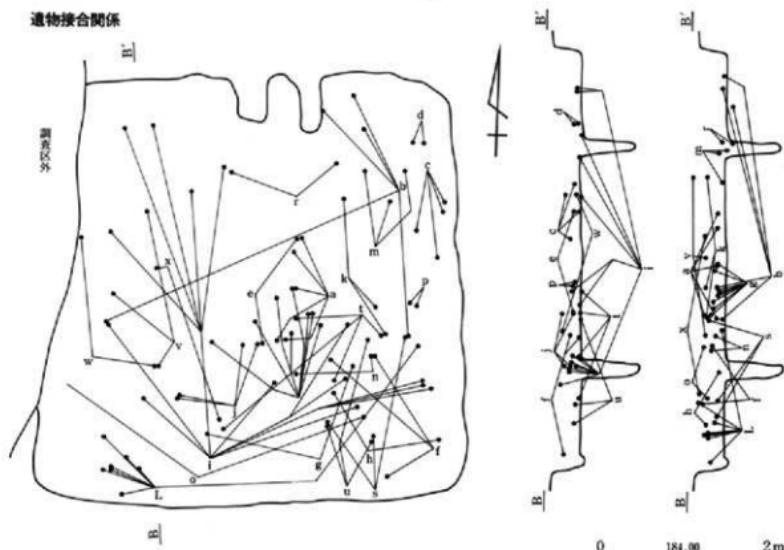
白倉A区94号・99号住居跡



遺物出土状態



遺物接合関係



①黒褐色土 粒子の粗い非粘性土。②黒褐色土 若干の粘性がある。不規則のローム層を不均等に含む。焼土・炭化粒もやや多い。
③黒褐色土 他の層に比べると、縛まりやや乏しい。バミス・ロー

ム粒等が散見するが、混入物は少ない。④貼床 ローム粒・褐色土の混土。堅致。⑤黒色土 ロームブロック、褐色土ブロックを若干含み、やや締まる。⑥褐色土ロームブロックを含む。

0 184.00 2m

図49

白倉A区101号住居跡

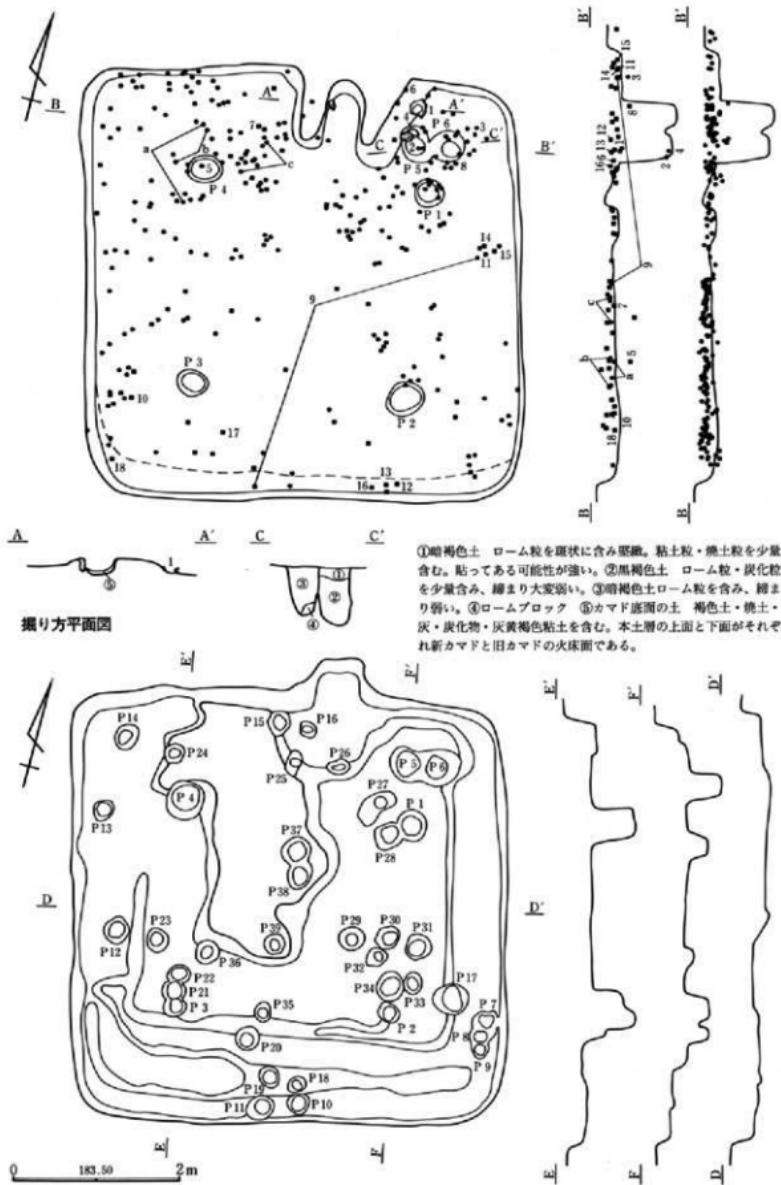
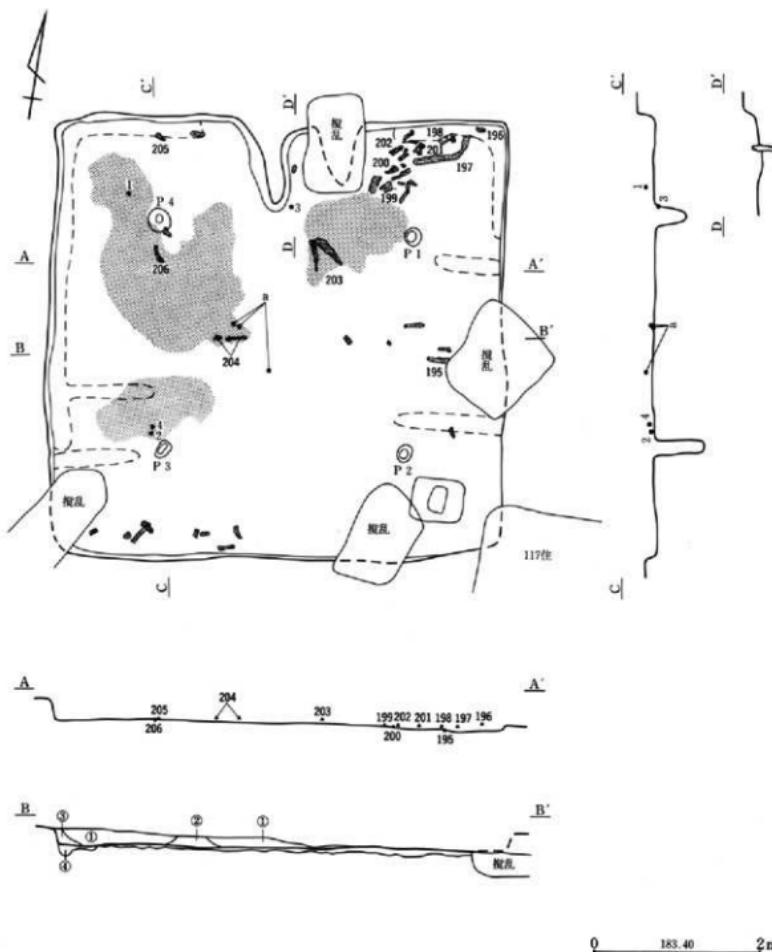
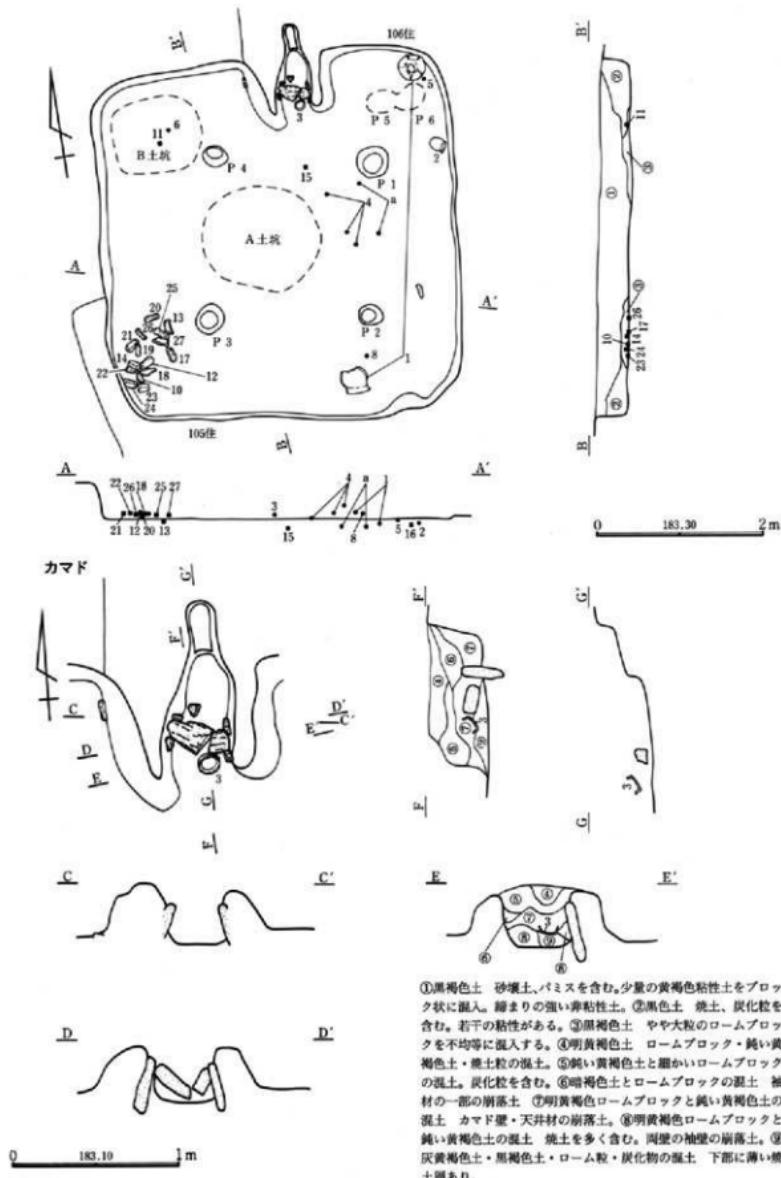


図50

白倉A区103号住居跡



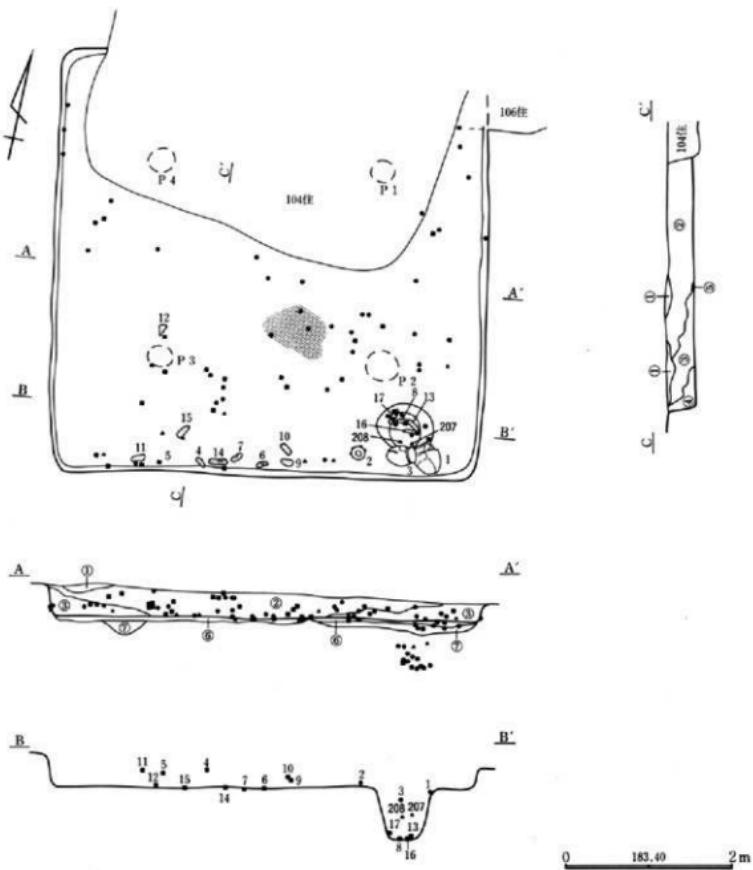
①暗褐色土 ローム粒を均一に含み堅致。②暗褐色土 ローム粒と多量の炭土・炭化物を含み粘性は乏しい。③暗褐色土 ロームブロックを含む。④掘り方の土 ロームがつぶれ堅致。



- ① 黒褐色土 砂壤土、バミスを含む。少量の黄褐色粘性土をブロック状に混入。繊毛の強い非粘性土。
- ② 黒色土 焼土、炭化粧を含む。若干の粘性がある。
- ③ 黑褐色土 やや大粒のロームブロックを不均等に混入する。
- ④ 明黒褐色土 ロームブロック・純い黄褐色土・焼土粒の混土。
- ⑤ 純い黄褐色土と細かいロームブロックの混土。炭化粧を含む。
- ⑥ 噴出物とロームブロックの袖材の一部の崩落土。
- ⑦ 明黄褐色ロームブロックと純い黄褐色土の混土 焼土を多く含む。
- ⑧ 明黄褐色ロームブロックと純い黄褐色土の混土 焼土を多く含む。壁際の袖壁の崩落土。
- ⑨ 灰黒褐色土・黒褐色土・ローム粒・炭化物の混土 下部に薄い燒土層あり。

図52

白倉A区105号住居跡



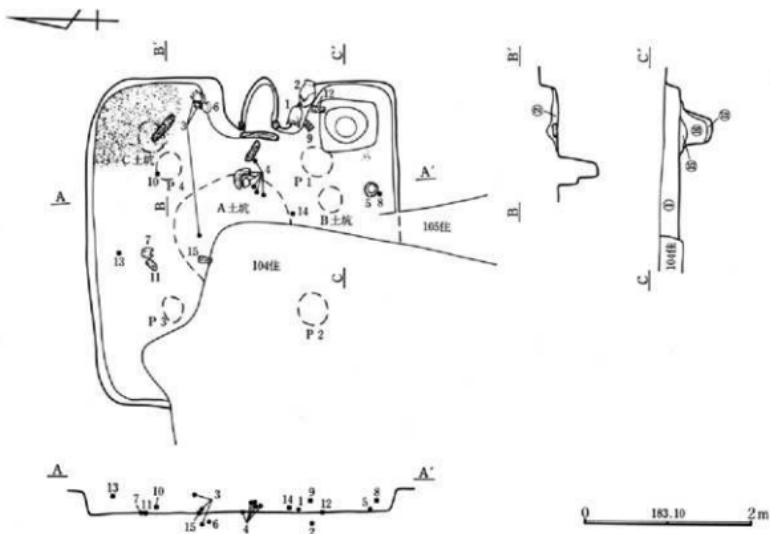
①浅間A軽石を含む耕作土 ②黒褐色土 人為的な埋没土層。

ロームブロックと黑色土を斑状に含む。③黄褐色土 ロームブロックを主体とする。④黒褐色土 黑色土を主体とする。⑤埴土ブロック

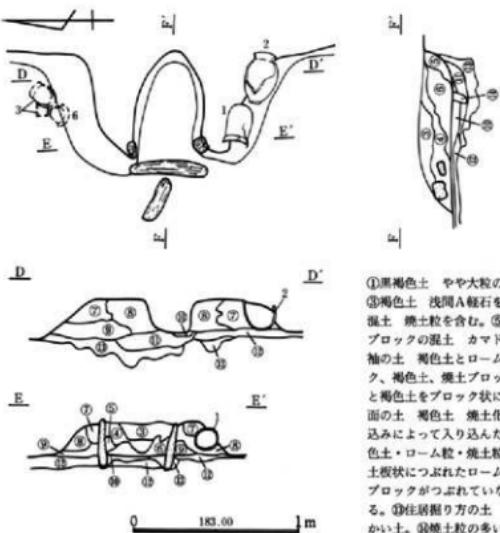
⑥貼床の土層 塗締。⑦掘り方の土 ロームブロックと黑色土を含む。

図53

白倉A区106号住居跡



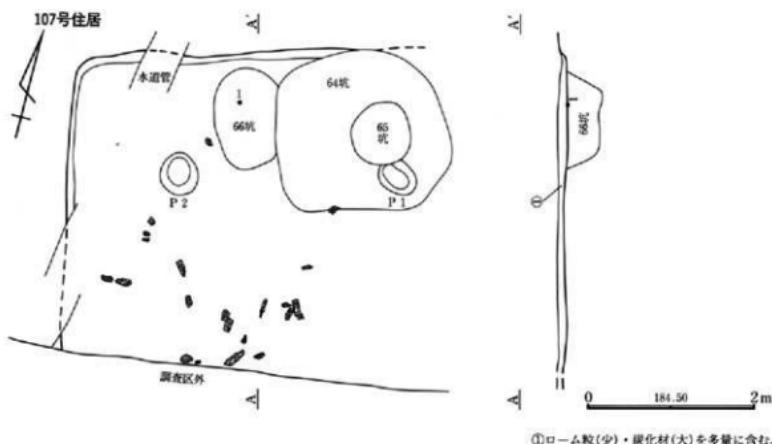
カマド



- ①黒褐色土 やや大粒のロームブロックを均一に含む。②粘土層
 ③褐色土 深闊A軽石を含む耕作土 ④純い黄褐色土と褐色土の混土 燐土を含む。⑤純い黄褐色土 ⑥ローム・焼土・褐色土ブロックの混土 カマド材の崩落土 下面に燒土面が広がる。⑦袖の土、褐色土とローム粒を多く含む。⑧袖の土、ロームブロック、褐色土、燒土ブロックを多く含む。堅緻。⑨袖の土、ロームと褐色土をブロック状に混合する。やや締まりなし。⑩カマド床面の土、褐色土、焼土化している。軽石隙の内側の土は軽石打ち込みによって入り込んだ土か。石の下は堅い土。⑪褐色土、灰褐色土・ローム粒・燒土粒を含み、やわらかい。⑫床の土、貼床の土板状につぶれたロームと褐色土が互層となる。左側は、ロームブロックがつぶれていないが上面で堅い面があり床と認められる。⑬住居掘り方の土、褐色土とロームブロックを含み、やわらかい土。⑭燒土粒の多い褐色土支脚位置 ⑮褐色土、ローム粒を多く含む。⑯暗褐色土 黒色土中にロームブロックを含む。⑰闇褐色土 黑色土を主体とする。器入物は少ない。

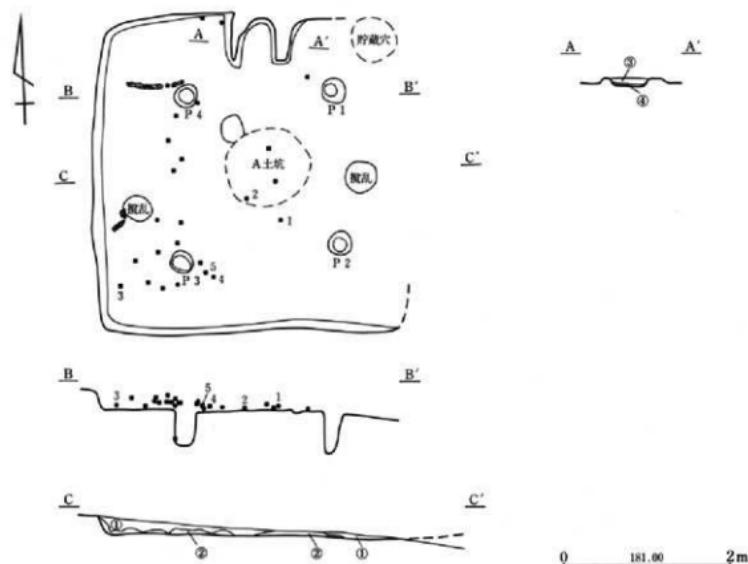
図54

白倉A区107号・109号住居跡

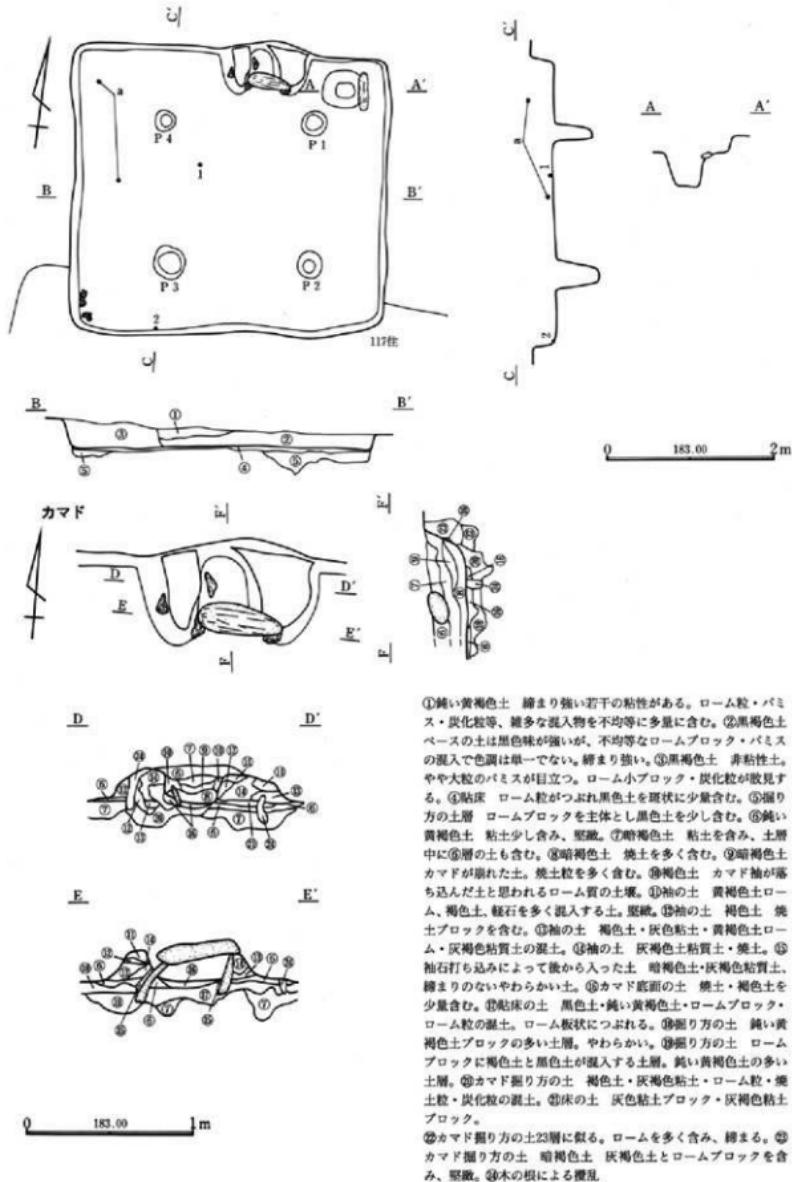


①ローム粒(少)・硬化材(大)を多量に含む。

109号住居



①黒褐色土 バミス等を含む。②暗灰黄色土③層にやや多量のロームブロックを含む。③褐色土 焙土ブロック・カマド崩壊土と思われる。④暗褐色土 焙土粒が多く含み、緻まりは弱い。崩落以前のカマド内に堆積した土層と思われる。

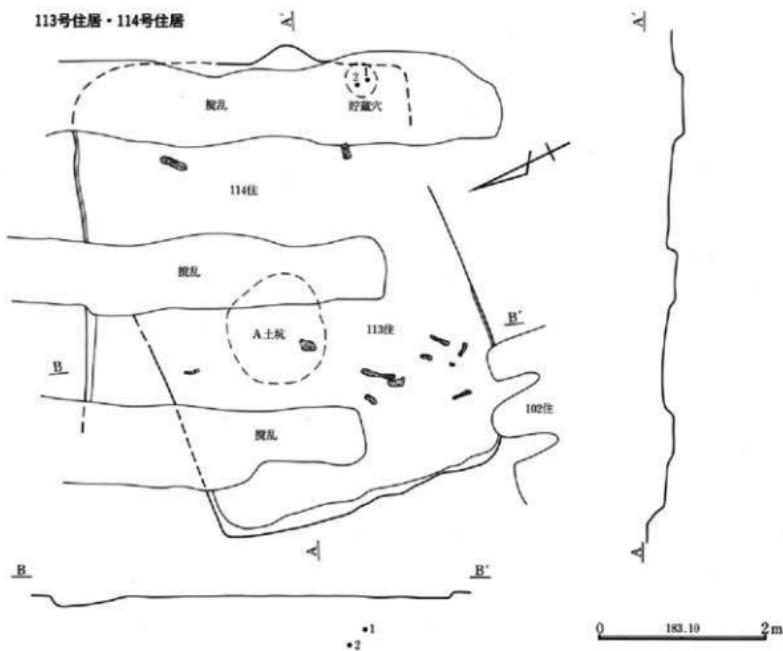


①純い黄褐色土 繰まり強い若干の粘性がある。ローム粒・バミス・炭化粒等、雜多な混入物を不均等に多量に含む。②黒褐色土ベースの土は黒色味が強いが、不均等なロームブロック・バミスの混入で色調は單一でない。繰まり強い。③黒褐色土 非粘性土。やや大粒のバミスが目立つ。ローム小ブロック・炭化粒が散見する。④點床 ローム粒がつぶれ黒色土を斑状に少數含む。⑤掘り方の土層 ロームブロックを主体とし黒色土を少く含む。⑥純い黄褐色土 黒土少し含み、堅緻。⑦暗褐色土 黒土を多く含む。⑧暗褐色土 土中に⑦の層も含む。⑨暗褐色土 焙土を多く含む。⑩暗褐色土 カマドが崩れた土。焼土粒を多く含む。⑪褐色土 カマド袖が落ち込んだ土と思われるローム質の土壤。⑫袖の土 黄褐色土ローム、褐色土、鈍石を多く混入する土。堅緻。⑬袖の土 褐色土、焼土ブロックを含む。⑭袖の土 褐色土、灰色粘土、黄褐色土ローム・灰褐色粘質土の混土。⑮袖の土 灰褐色土粘質土・焼土。⑯袖石打ち込みによって後から入った土。暗褐色土・灰褐色粘質土、繰まりのないやわらかい土。⑰カマド底面の土 焙土・褐色土を少量含む。⑱點床の土 黑色土・純い黄褐色土・ロームブロック・ローム粒の混土。ローム板状につぶれる。⑲掘り方の土 純い黄褐色土ブロックが多い土層。やわらかい。⑳掘り方の土 ロームブロックに褐色土と黒色土が混入する土層。純い黄褐色土の多い土層。㉑カマド掘り方の土 黑色土・灰褐色粘土・ローム粒・焼土粒・炭化粒の混土。㉒床の土 灰色粘土ブロック・灰褐色粘土ブロック。

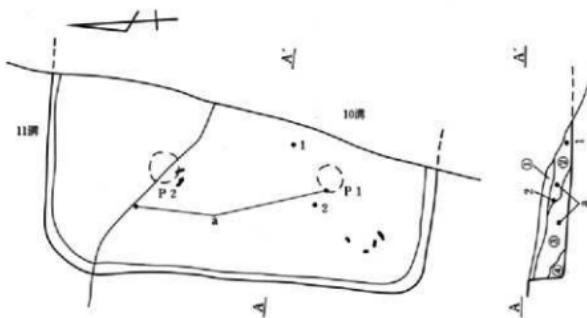
㉓カマド掘り方の土23層に似る。ロームを多く含み、織まる。㉔カマド掘り方の土 暗褐色土、灰褐色土とロームブロックを含み、堅緻。㉕木の根による擾乱。

図56

白倉A区113号・114号・115号住居跡



115号住居



①黒褐色土 淡青B輕石と思われる軽石の細粒を多く含む。締まり弱い。②暗褐色土 細かいローム粒(少)を含む。③明褐色土 ロームブロックを少し含む。④暗褐色土 壁からの崩落土、ローム粒をやや多く含む。

图57

白倉A区117号住居跡

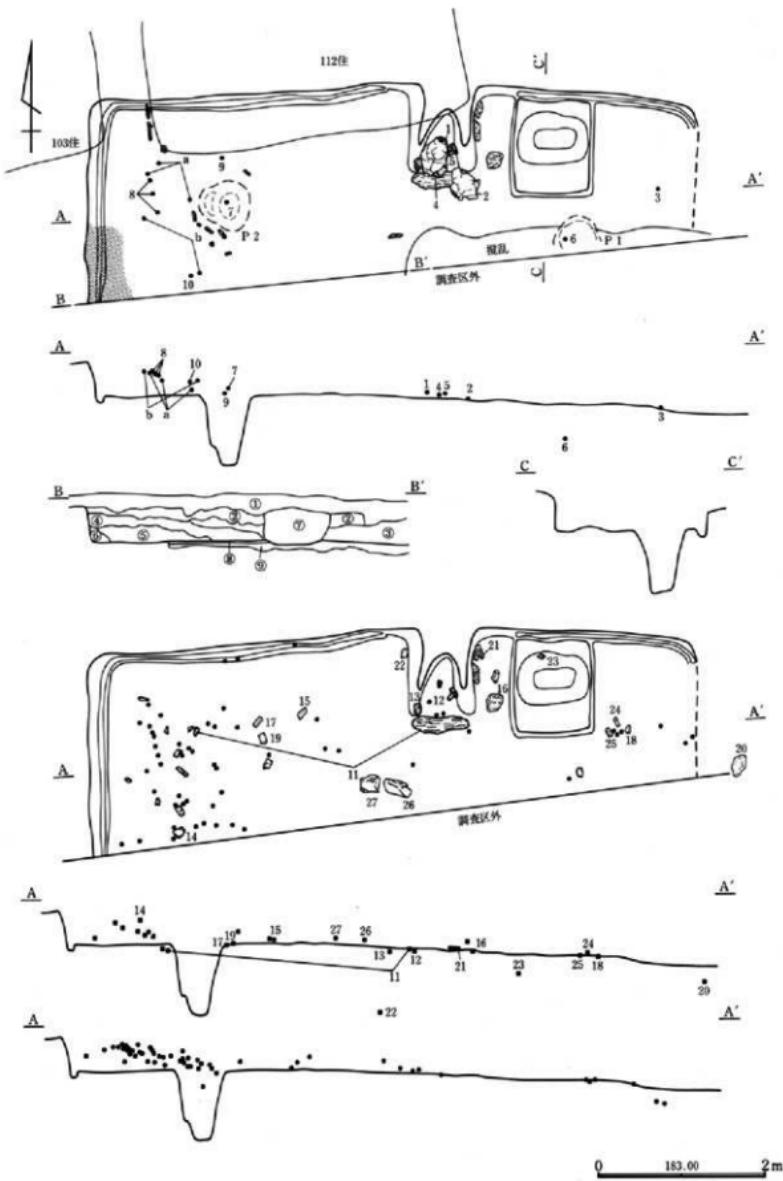
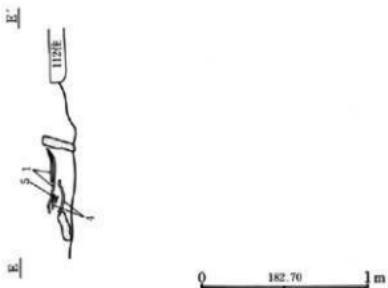
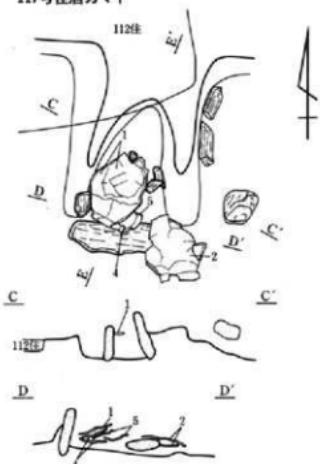


図58

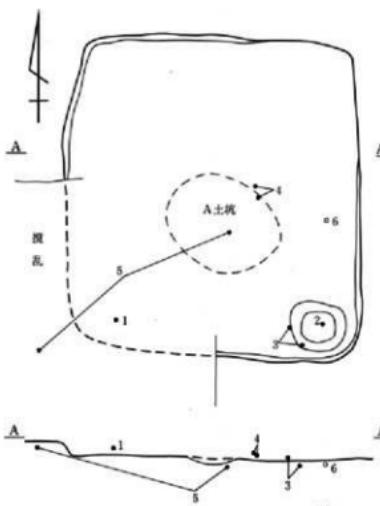
白倉A区117号・116号・120号住居跡

117号住居カマド



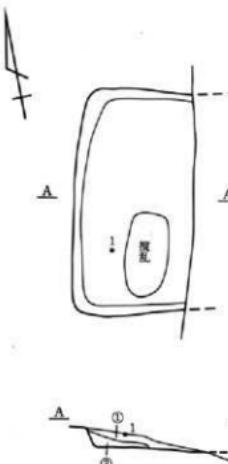
- ①褐色土 軽石を多く含む。かたく締まった土。②暗褐色土 117住の覆土だが、浅間A軽石が少し潜り込む。炭化粒・焼土粒(少)を含む。③褐色土 ローム質土壌。炭化粒(少)含む。④暗褐色土②層に色目が似るが、ロームブロック及び、焼土粒を多く含む。⑤褐色土 ③層に似る。ローム粒(1cm)が多く、下面には炭化粒が目立つ。⑥黒褐色土 焼土ブロックを既に起因する黒色土中に含む。締まり弱い。⑦暗褐色土 浅間A軽石(少)含む。擾乱、イモ穴状のものか。⑧掘り方の土層 ⑨振り方の土層

116号住居



0 182.90 2m

120号住居



0 177.20 2m

- ①暗褐色土 暗褐色土中にロームブロックを少し含む。②黄褐色土 ロームブロックを主体とし、暗褐色土を少し含む。

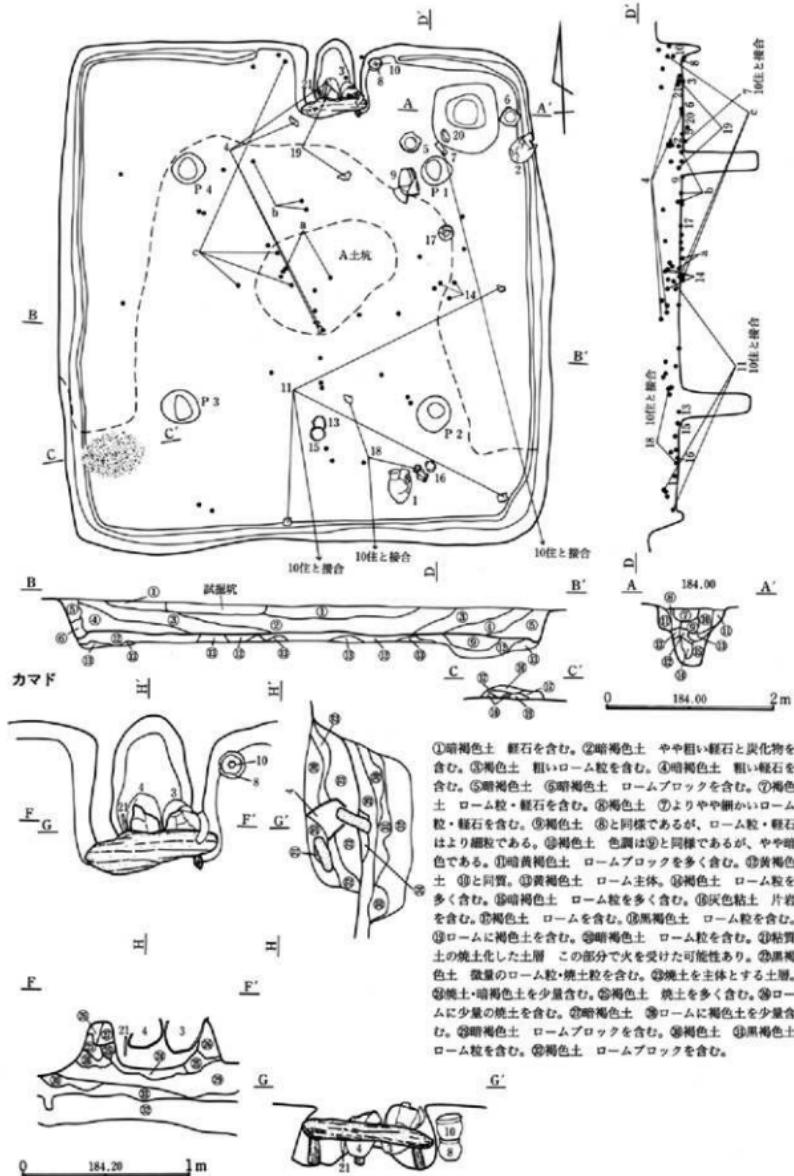
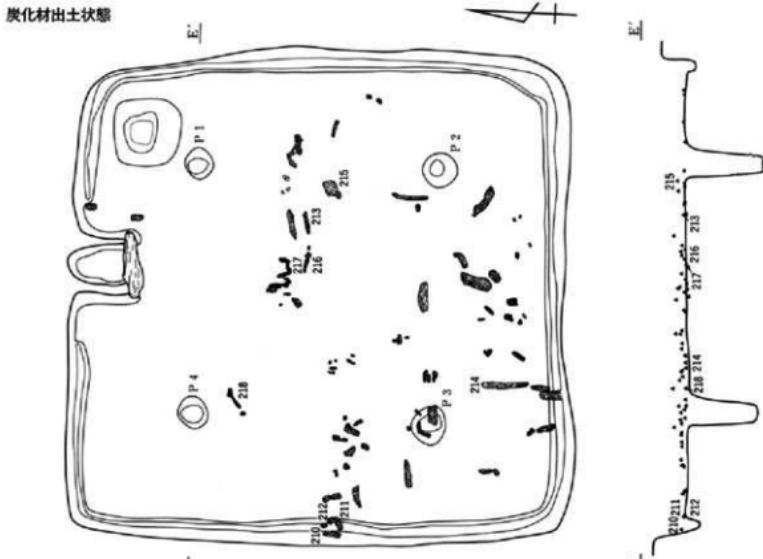


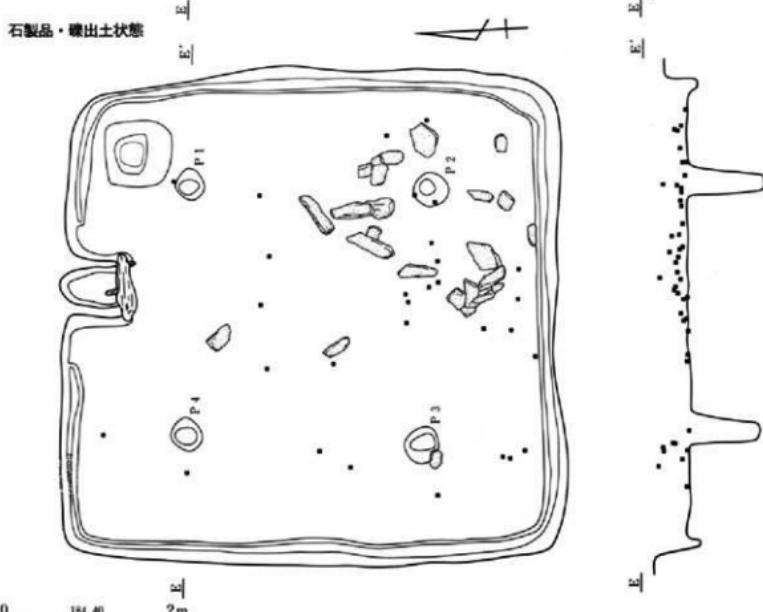
图60

白倉B区3号住居跡

炭化材出土状態



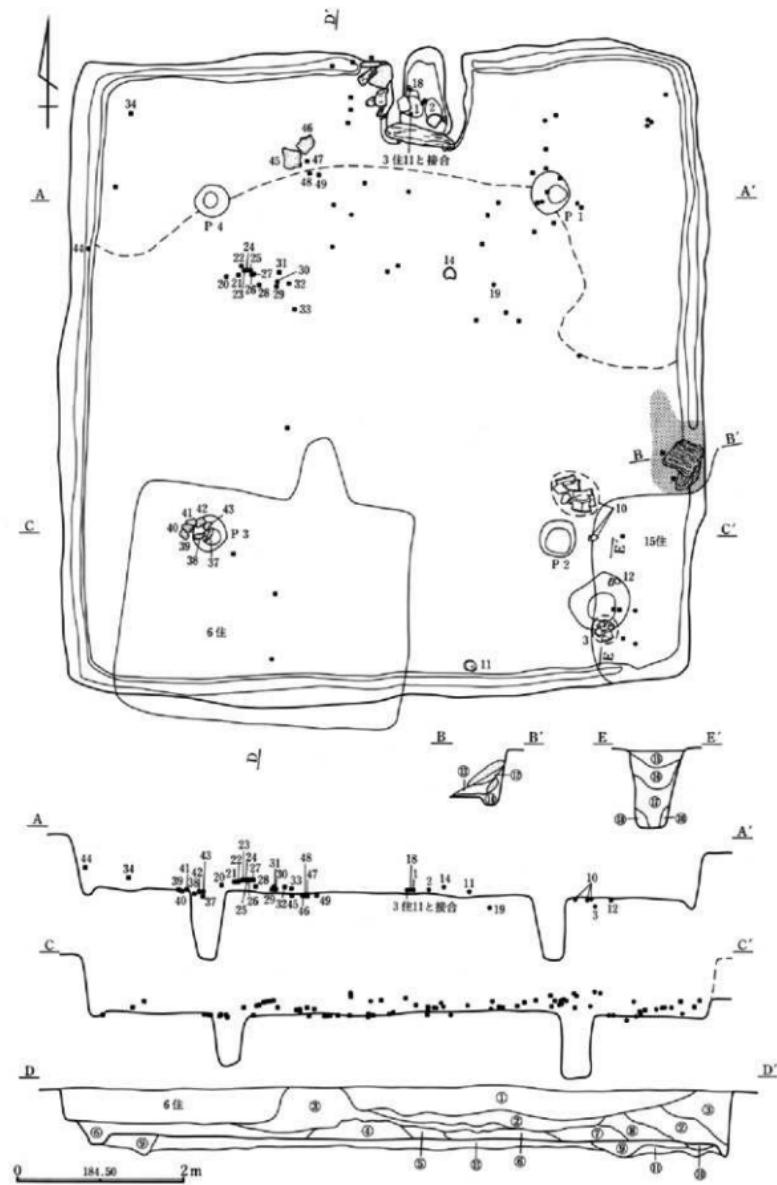
石製品・磚出土状態



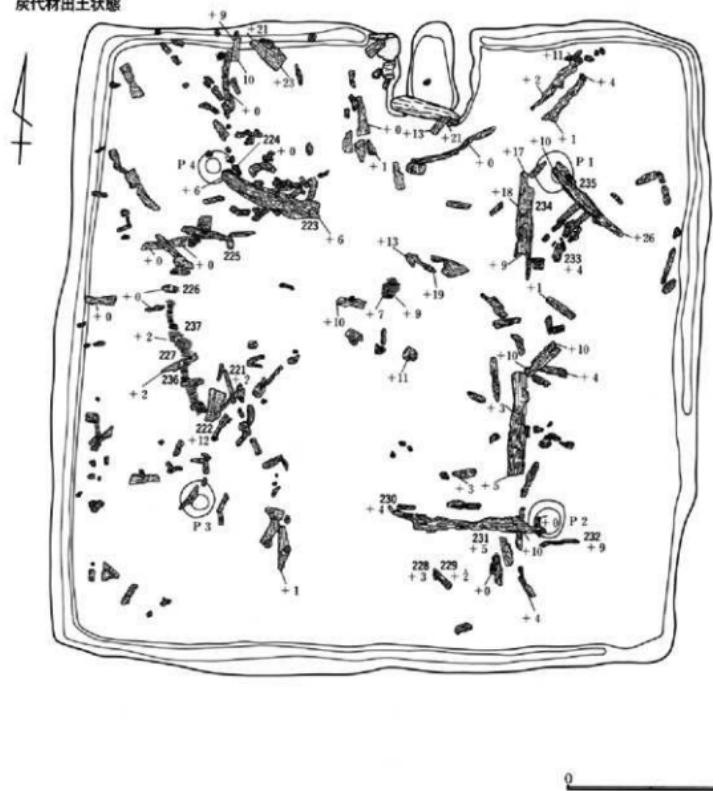
0 184.40 2m

图61

白仓B区10号住居跡



炭代材出土状態



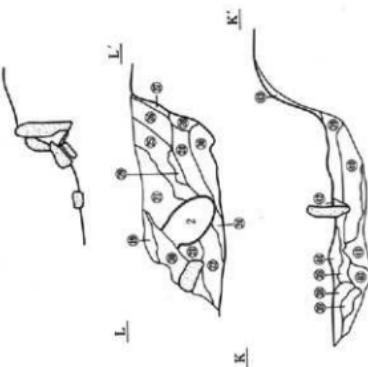
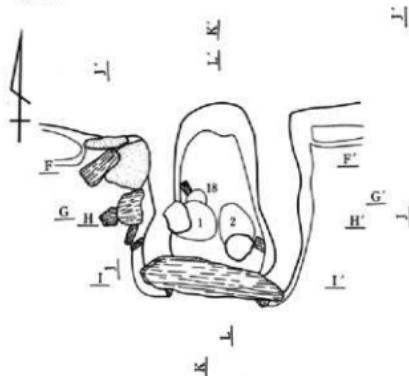
①暗褐色土 粒子やや粗い。②黒褐色土 暗褐色土・ローム粒・燒土・炭化物を含む。明らかに埋め戻した土と思われる。③暗褐色土 ローム粒を含む。④褐色土 ローム粒を少量含む。⑤暗褐色土 ローム粒を含む。⑥褐色土 燃土・炭化物を多量に含む。⑦褐色土 ローム粒を含む。⑧暗褐色土 ローム粒を含む。⑨暗褐色土 ローム粒を含む。⑩暗褐色土・暗褐色土ブロック・燒土を含む粘土層。⑪灰褐色土層 ⑫暗褐色土 粗いローム粒を含む。⑬褐色土 粘石とローム粒を少量含む。⑭褐色土 ロームブロックを多く、炭化物を若干含む。⑮褐色土 緩まりが弱い。若干のローム粒を含む。⑯褐色土 灰色粘土粒を少量含む。⑰褐色土 ローム粒と燒土粒を少量含む。やや粗粒。⑱褐色土 粘石を全体に、燒土粒・ローム粒を若干含む。⑲褐色土 燃土ブロックとロームブロック

を少量含む。⑲褐色土 燃土ブロックを多く含む。⑳焼土ブロック ㉑暗褐色粘土 燃土を含む。㉒褐色土 燃土粒・ローム粒少量含む。㉓褐色土と粘土の混土。㉔褐色土 燃土ブロックを含む。㉕暗褐色土 粘石と焼土粒を少量含む。㉖褐色土 黒褐色土・粘性を持つ。㉗褐色土 燃土を含む。㉘褐色土 燃土粒を多く含む。㉙ロームと粘土との境が若干境けている。よく締まる。㉚ロームと褐色土の混土。㉛褐色土 少量の燃土・炭化物・ローム粒を含む。㉜黒褐色土 多量のローム粒・若干の焼土粒・ローム粒を含む。㉝褐色土 多量の燃土・少量のローム粒を含む。㉞貼床 褐色土とロームブロックの混土。かたく締まる。㉟黒褐色土 ロームブロックを少量含む。㉟ロームに黒褐色土を少量含む。㉟明るいローム ㉟暗褐色土 ㉟褐色土 多量の燃土粒・少量のY,Pを含む。㉟燃土

図63

白倉B区10号住居跡

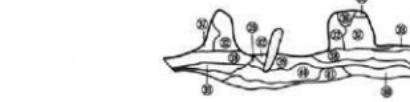
カマド



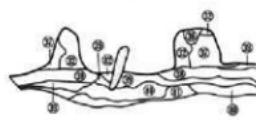
F



F'

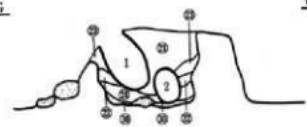


H

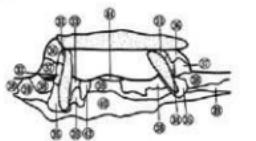


H'

G



G'

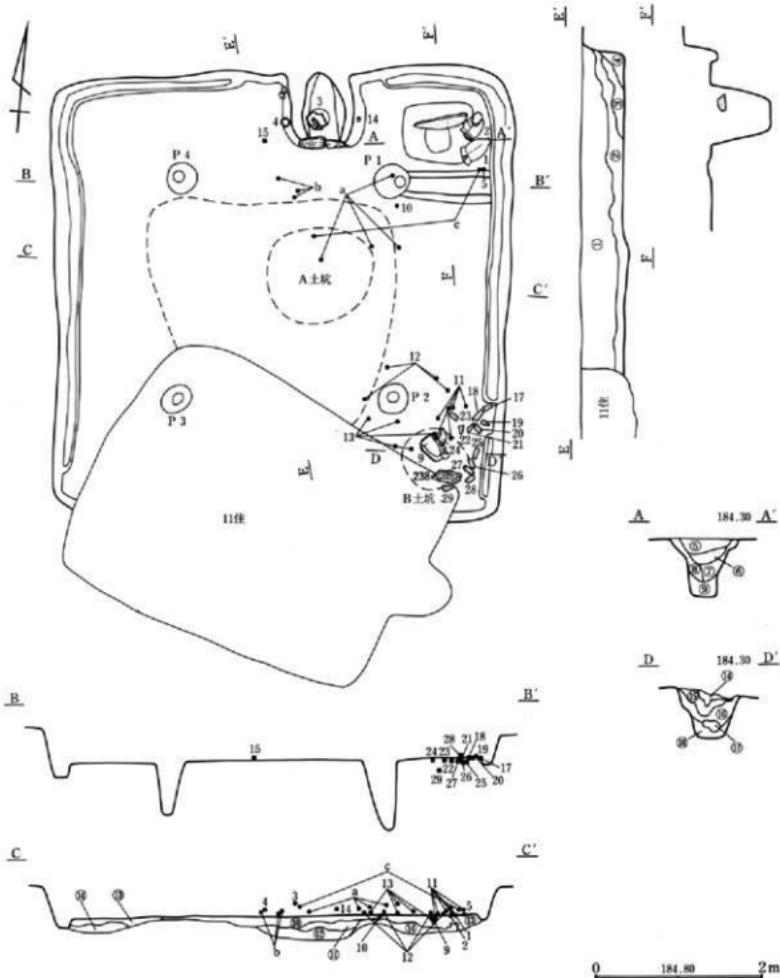


I'

0 184.30 m

図64

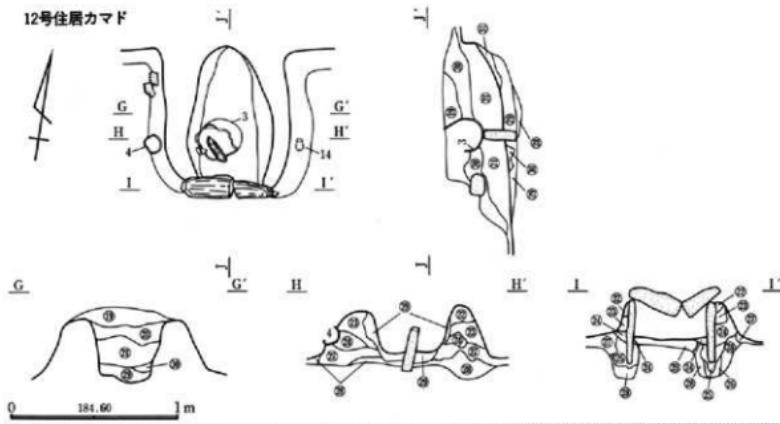
白倉B区12号住居跡



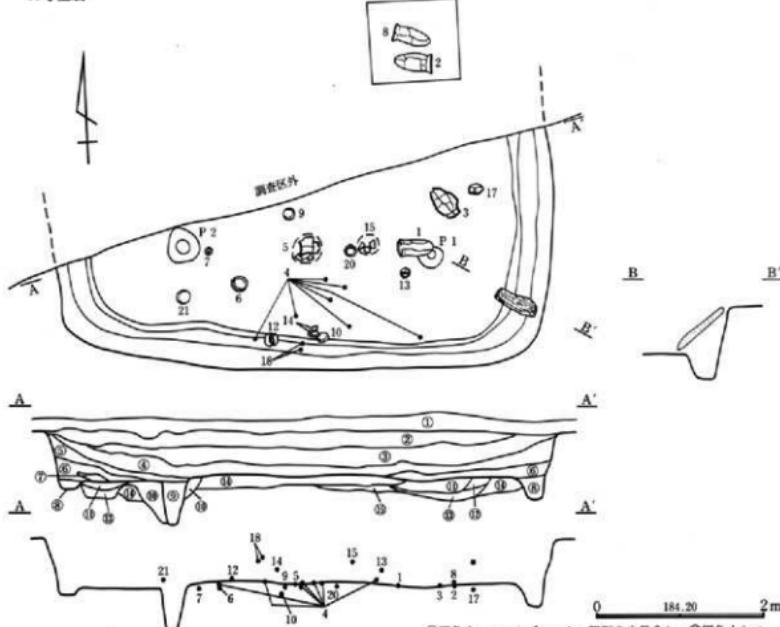
①暗褐色土 軽石を含む。②褐色土 ローム粒を少量含む。③褐色土 ロームブロックを含む。④褐色土 若干の焼土粒・炭化物、多量のローム粒を含む。⑤暗褐色土 ローム粒・焼土粒を含む。⑥暗褐色土 ⑤より暗色でローム粒も少ない。⑦暗褐色土 ローム粒を多く含む。⑧暗褐色土 ローム粒を⑦より多く含む。⑨褐色土 ローム粒・ロームブロックを多く含む。⑩褐色土 ロームブロックを含む。⑪褐色土 多量のローム・若干の焼土を含む。⑫暗褐色土 ローム・褐色土を多く含む。⑬褐色土 若干の焼土粒・ローム・ローム粒を含む。⑭ローム質の土塊 ⑮暗赤褐色土 ローム

粒を含む。⑯褐色土とロームの混土 ⑰ロームブロック ⑱暗褐色土 若干のローム粒・炭化物を含む。⑲褐色土 微細なローム粒・軽石を若干含む。⑳褐色土 焼土粒を含む。㉑赤褐色土 焼土を主体とする。㉒褐色土 若干の焼土粒を含む。㉓褐色土 粘土土を含む。㉔褐色土 多量の粘土・少量の焼土を含む。㉕暗褐色土 焼土粒・粘土粒を含む。㉖褐色土 ロームを含む。㉗暗褐色土 ロームを含む。㉘ロームに暗褐色土が混じる。㉙暗赤褐色土 ローム粒を含む。㉚明茶褐色土 多量の焼土粒・ロームブロックを含む。㉛暗褐色土 烧土粒を多量に含む。

12号住居カマド



16号住居

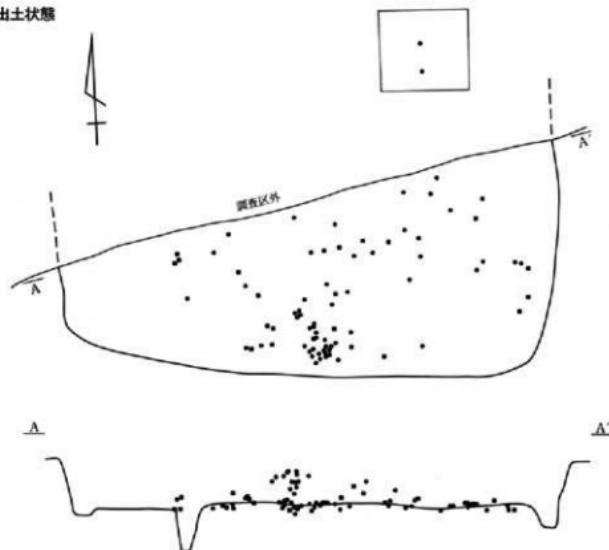


- ①灰土 浅間A軽石を多量に含む。②暗褐色土 軽石を含む。③暗褐色土 軽石を少量、炭化物と焼土を若干含む。④褐色土 軽石を全体に含む。⑤暗褐色土 多量の炭化物と少量の焼土を含む。⑥褐色土 軽石を全体に、焼土・炭化物を若干含む。⑦暗灰褐色土 粘土を若干の焼土を含む。⑧黒褐色土 少量のローム粒を含む。
- ⑨褐色土 ロームブロック・軽石を少量含む。⑩褐色土とロームブロックの混土 締まるがある。⑪褐色土とロームブロック・ロームの混土 軽石・焼土粒を少量含む。⑫褐色土 ローム粒を少量含む。締まり弱い。⑬ロームに褐色土のブロックを多量に含む。⑭ロームに暗褐色土ブロック・褐色土ブロック・B. Pらしき軽石を少量含む。⑮ロームに褐色土を少量含む。

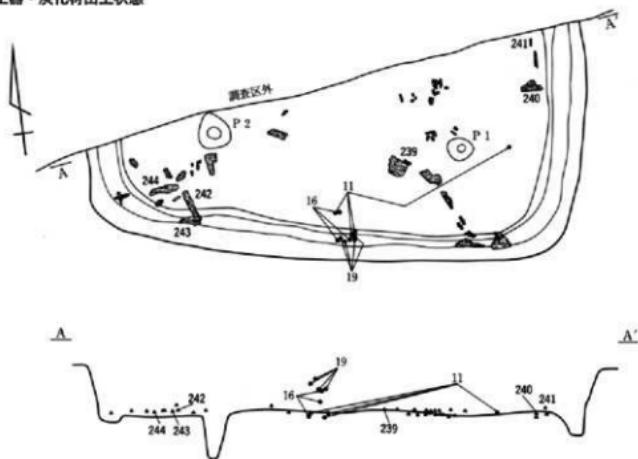
图66

白仓B区16号住居跡

遗物出土状態



土器・炭化材出土状態



0 184.20 2m

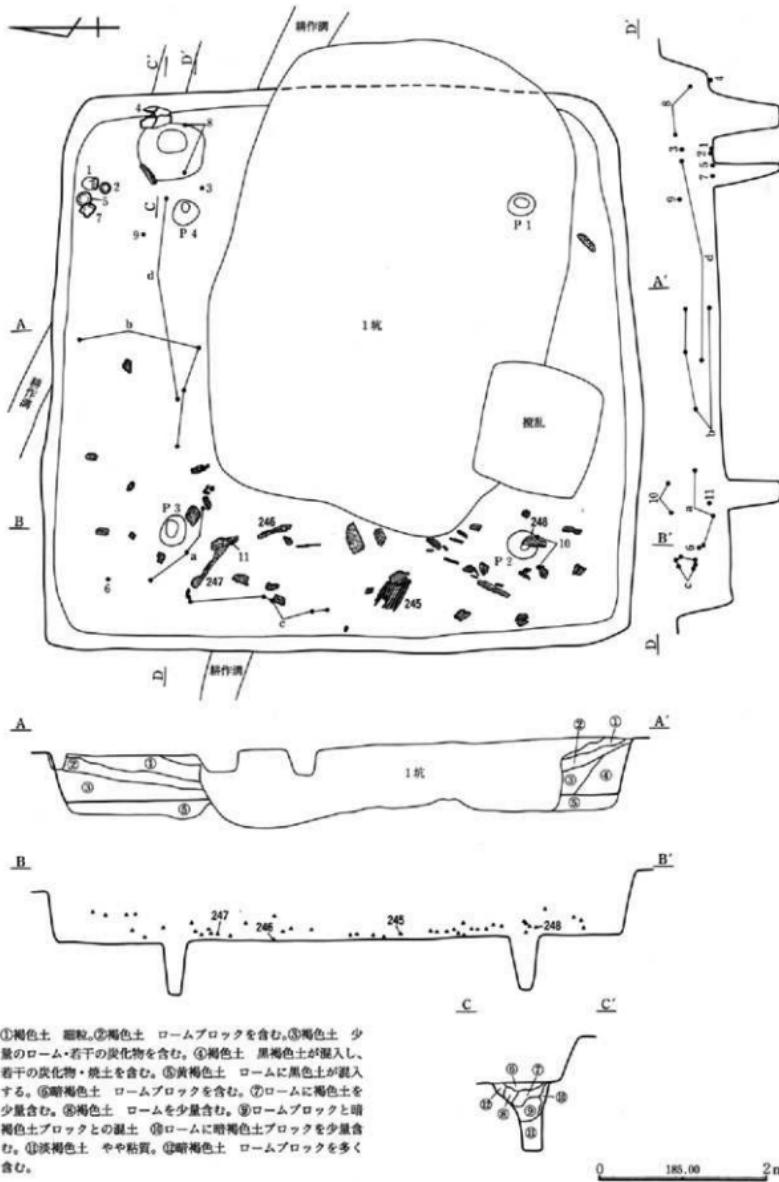
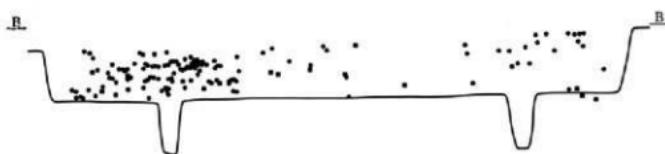
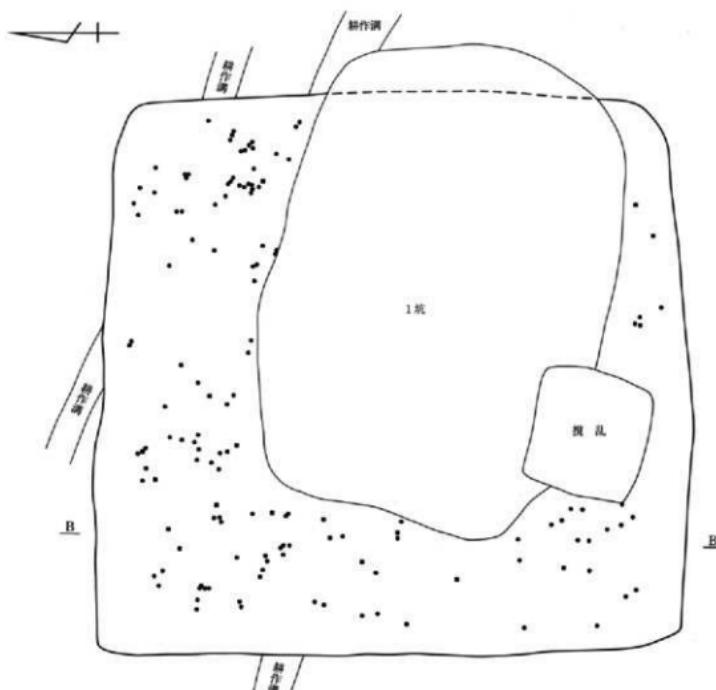


図68

白倉B区17号住居跡

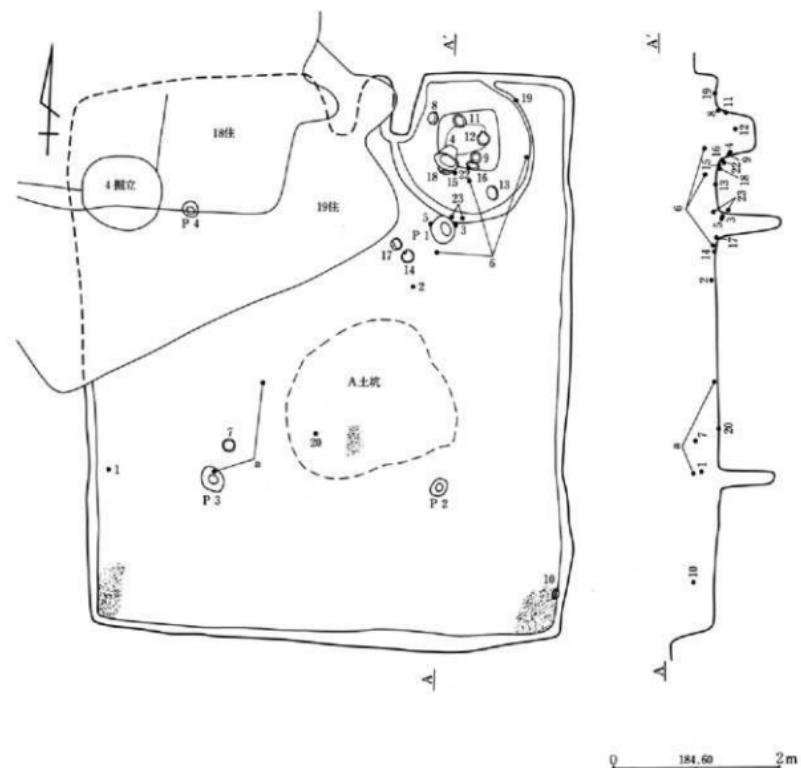
遺物出土状態



0 185.00 2m

図69

白倉B区20号住居跡



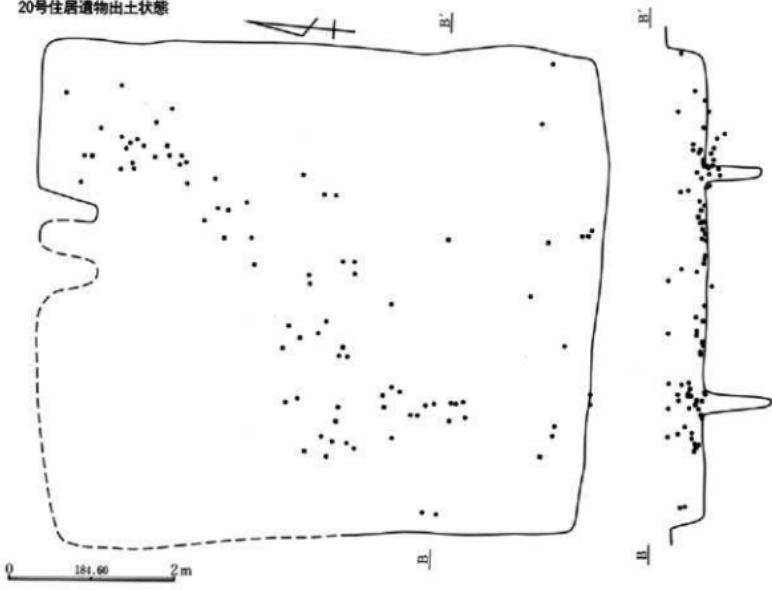
①暗褐色土 細かいローム粒・礫石を含み、炭化物を少量含む。
 ②明褐色土 ローム粒・ロームブロックを多量に含む。
 ③褐色土 ローム粒とロームブロックを多量に含み、黒褐色土をブロック状に含む。炭化物も含む。
 ④明褐色土 ロームブロック・ローム粒を主体とする。
 ⑤暗褐色土 ③と同質の褐色土と黒褐色土ブロックを

クで構成された土層。
 ⑥暗褐色土 ローム粒を含む。
 ⑦褐色土 ローム粒を多量に含む。
 ⑧暗褐色土 ローム粒・焼土粒を多量に含む。
 ⑨灰褐色土 黏土粒を多量に含む。
 ⑩黄褐色土 ローム主体で褐色土を若干含む。
 ⑪褐色土 ロームブロックを含む。
 ⑫ロームに暗褐色土ブロックを少量含む。

図70

白倉B区20号・21号跡

20号住居遺物出土状態



21号住居

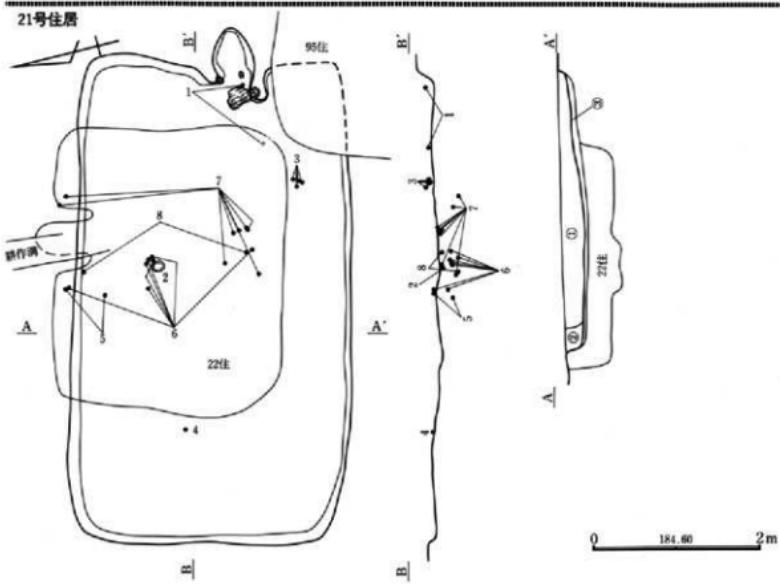


図71

白倉B区20号・21号住居跡

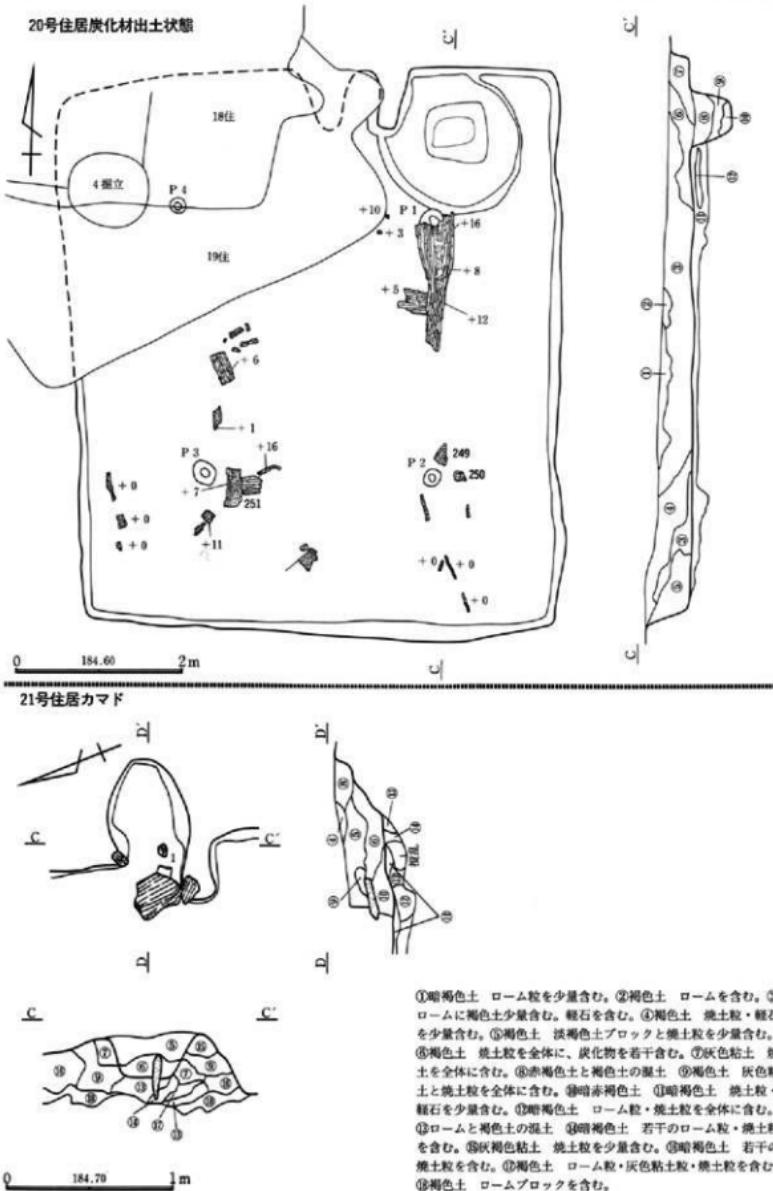
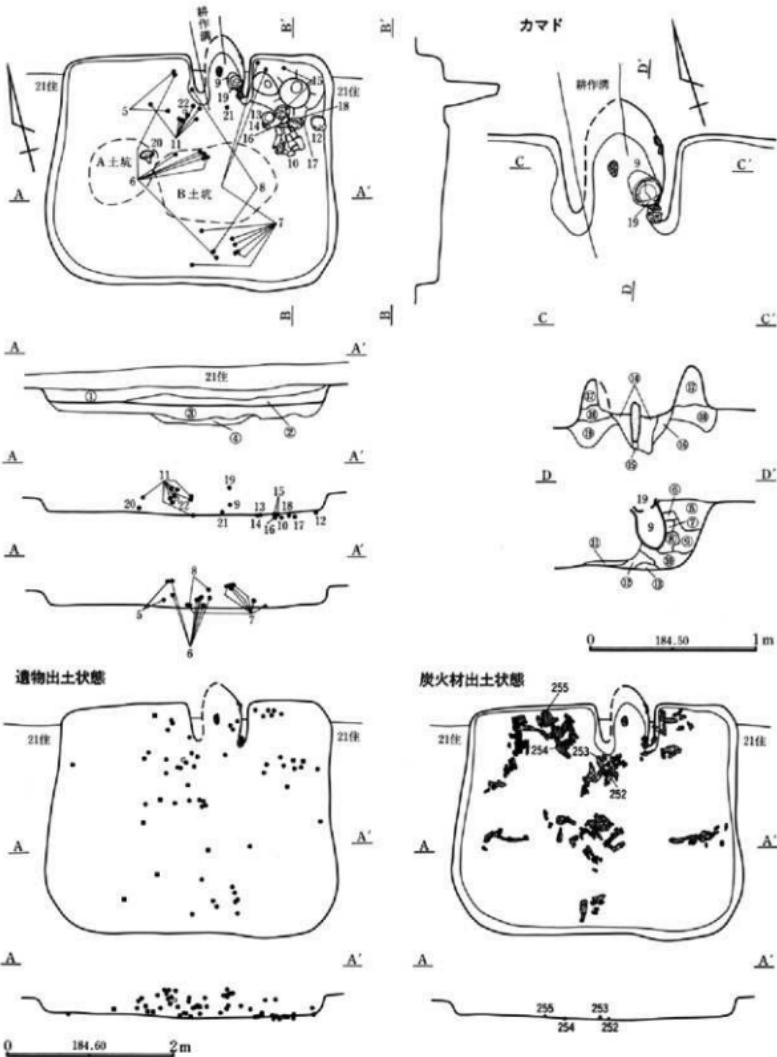


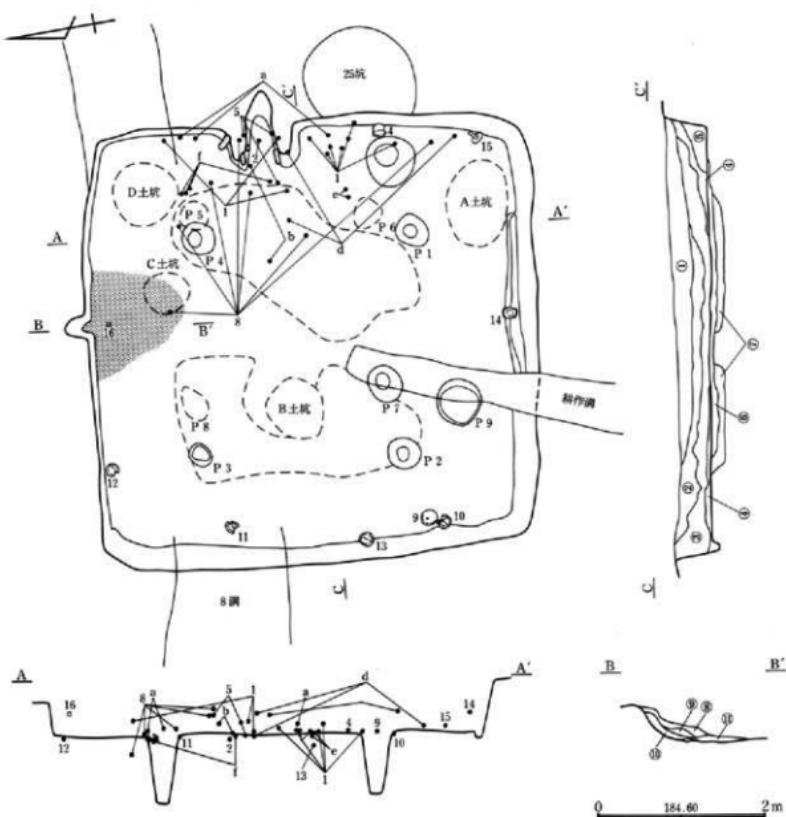
図72

白倉B区22号住居跡



①褐色土 ローム粒を全体に炭化物を少量・焼土を若干含む。②褐色土とロームの混土。③褐色土 ロームブロックを少量含む。軽石も含む。縛まりがある。④ロームに褐色土を少量含む。縛まりがある。⑤褐色土 焼土粒を少量含む。⑥ロームに少量の焼土ブロックを含む。⑦褐色土と焼土粒の混土。⑧淡褐色土に焼土粒を少量含み、やや粘性を持つ。⑨ロームと焼土ブロックの混土。⑩

褐色土・焼土粒・ローム粒の混土 炭化物を若干含む。⑪焼土ブロックに褐色土を含む。⑫赤褐色土 焼土粒を多量に含む。⑬焼土ブロック ⑭黒色土にロームブロックを含む。⑮褐色土 ⑯暗褐色土 焼土粒・ロームブロックを少量含む。⑰粘性のあるロームに若干の焼土粒を含む。⑲褐色土ブロックと暗褐色土ブロックの混土 ⑳暗褐色土ブロックとロームブロックの混土



①黒褐色土 黄褐色土を含む。粒子やや粗い。②黒褐色土と褐色土の混土 ローム粒を少量含む。③ロームブロックをふくむ褐色土 人為的な埋土と思われる。④褐色土 ローム粒を含む。⑤焼土を多量に含む。⑥褐色土 ロームブロック・焼土粒・粘土粒を含む。縫まりがある。⑦褐色土 ロームブロックを多量に含む。黄色軽石・焼土粒を少量含む。⑧褐色土 焼土粒・ローム粒を少量含む。⑨褐色土 焼土粒を少量、灰を若干含む。⑩褐色土 焼土を若干、ローム粒を少量含む。⑪赤褐色土 軽石・褐色土・暗褐色土・炭化物を若干含む。⑫褐色土 焼土を少量含む。⑬暗褐色土 烧土粒・ローム粒を少量含む。⑭褐色土 烧土を多量に含む。⑮褐色土 多量の焼土粒、少量のローム粒、灰色粘土粒、若干の灰を含む。⑯赤褐色土 ⑰褐色土 多量の焼土を含む。⑱ロームに褐色土と若干の焼土を含む。⑲黒褐色土 ロームを含む。⑳ロームに軽石と若干の焼土粒を含む。㉑褐色土 縫まりがありやや粘質。軽石と若干の焼土粒を含む。㉒褐色土 ロームを含む。

図74

白倉B区23号住居跡

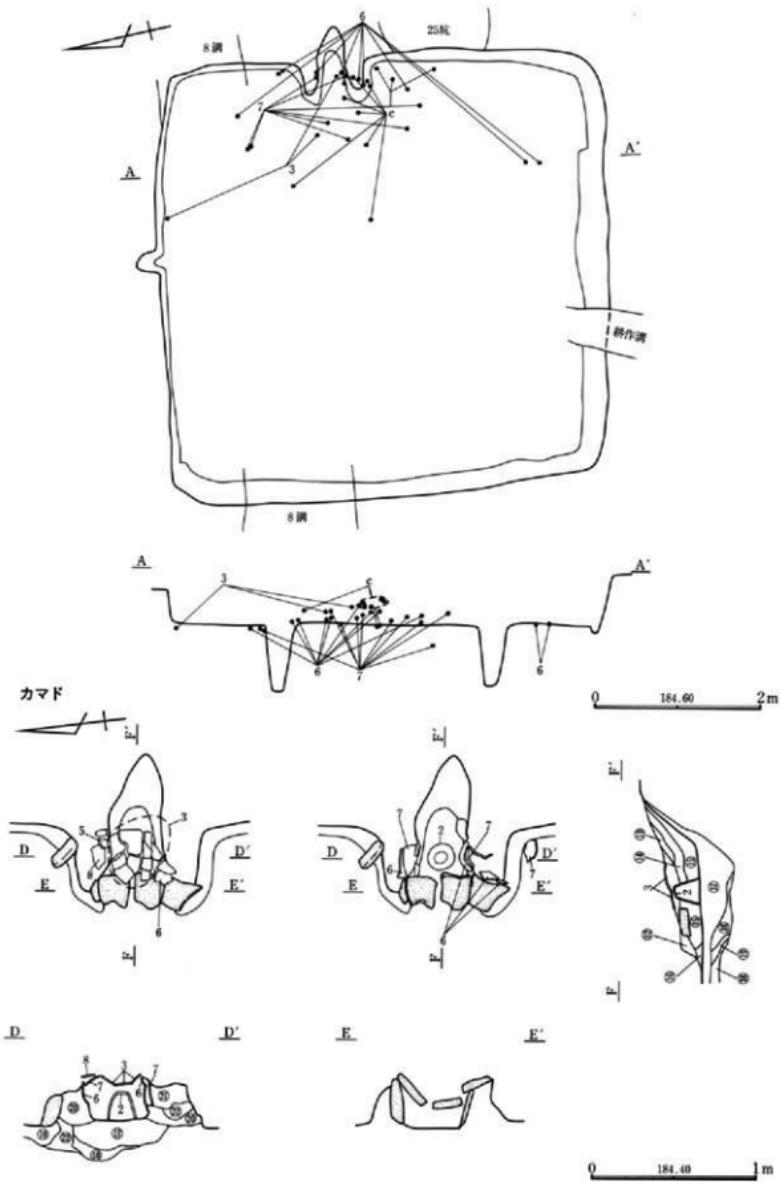
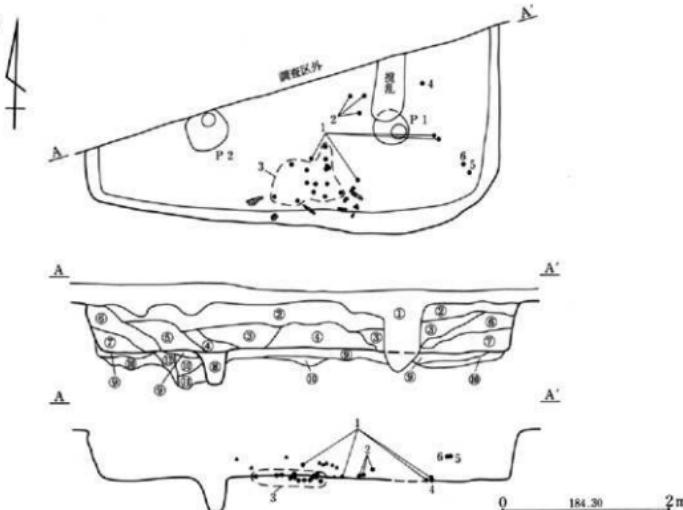


図75

白倉B区24号・28号住居跡

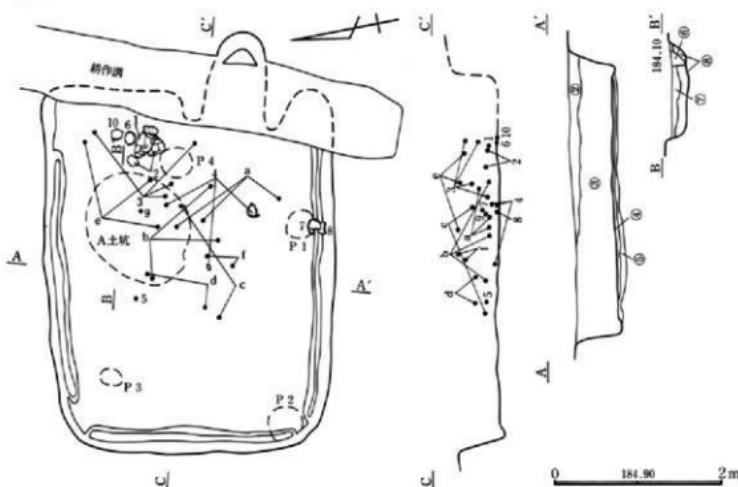
24号住居



①表土層 ②暗褐色土 細かいローム粒、軽石を含む。③褐色土 ローム粒を多量に含む。④褐色土 多量のローム粒と、ロームブロックを含む。⑤褐色土 ③層と同じ。⑥暗褐色土 ②層と同様であるが、粗いローム粒と、炭化物を含む。⑦褐色土 ③層と同

じ。⑧柱穴底 ロームと暗褐色土の混土。⑨ロームと褐色土の混土 締まりがあり、軽石を含む。⑩ロームに褐色土が混じる。⑪ロームに褐色土が少量混じる。⑫褐色土とローム粒の混土 柱穴底か。

28号住居



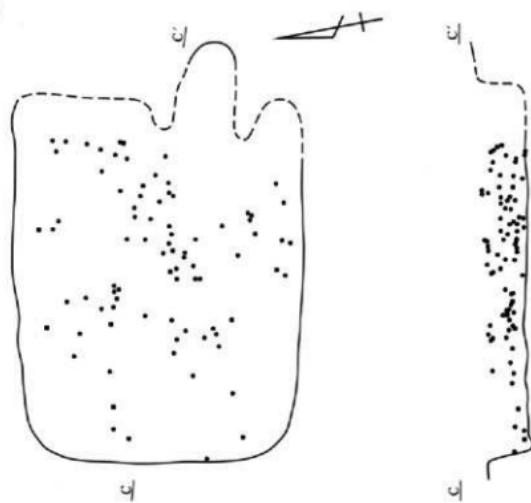
①黒褐色土 浅間A軽石を含む。締まり弱い。②暗褐色土 白色軽石・ローム粒を含む。締まり弱い。③暗茶褐色土 ローム粒・ロームブロック・炭化物を含む。④暗褐色土 黄褐色土を含む。

締まりがある。粘床。⑤黄褐色土 暗褐色土ブロックを含む。⑥黒褐色土と淡褐色土の混土 ⑦暗褐色土 黄褐色土ブロックを含む。⑧淡褐色土 黄褐色土を含む。締まりがあり粘質。

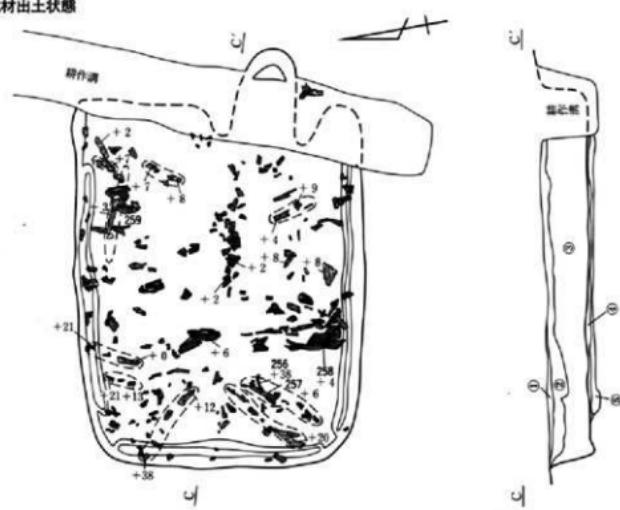
図76

白倉B区28号住居跡

遺物出土状態



炭化材出土状態



0 184.90 2m

図77

白倉B区29号住居跡

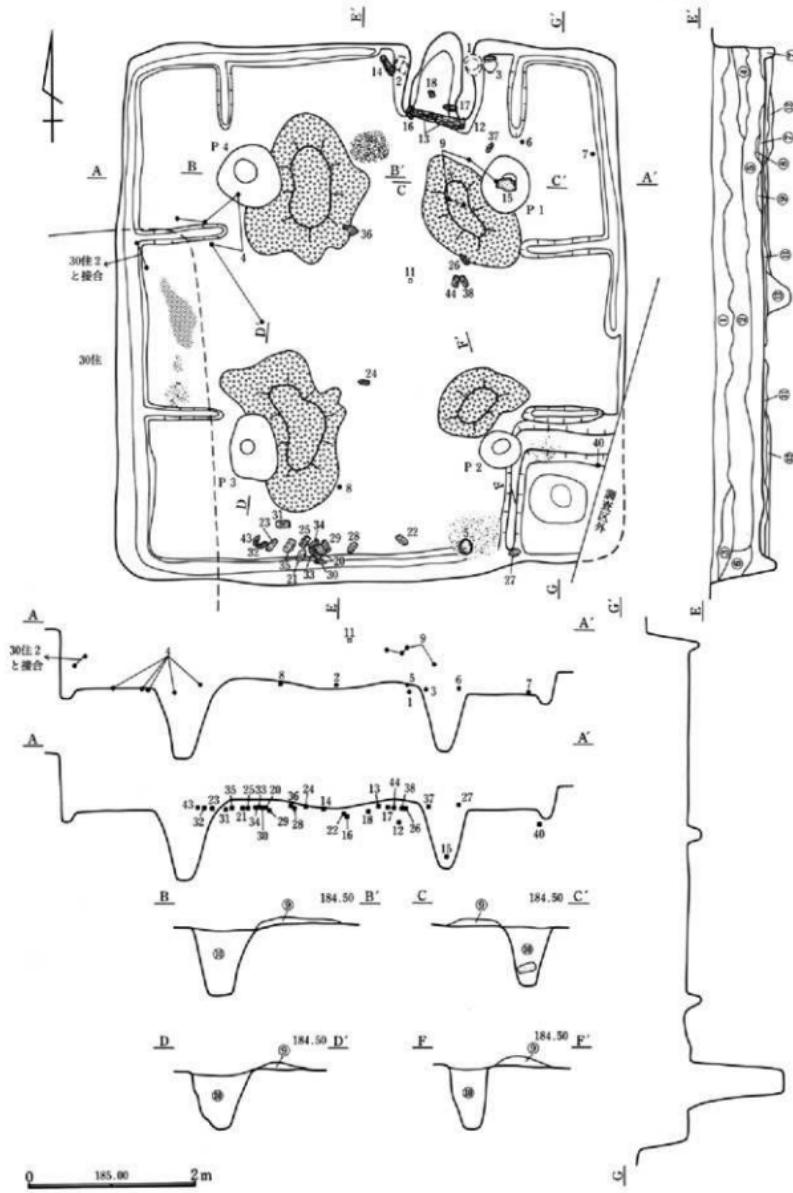
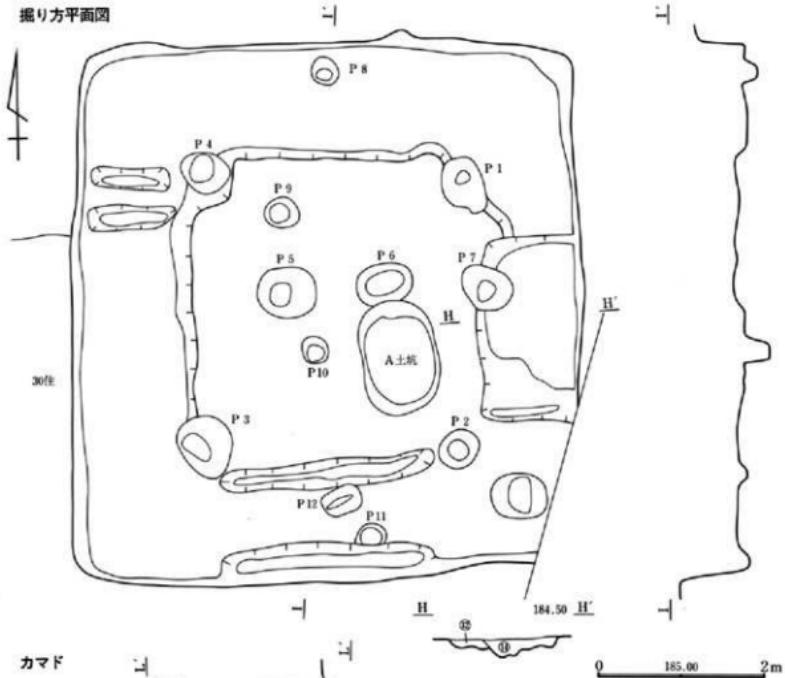


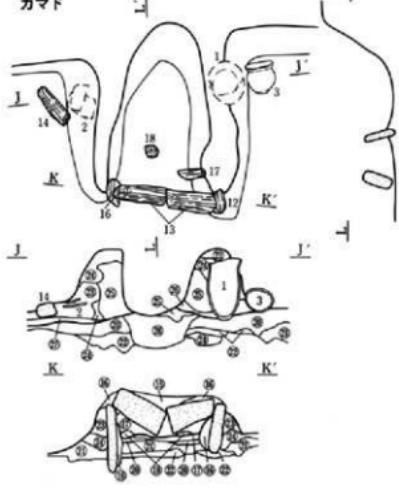
図78

白倉B区29号住居跡

掘り方平面図



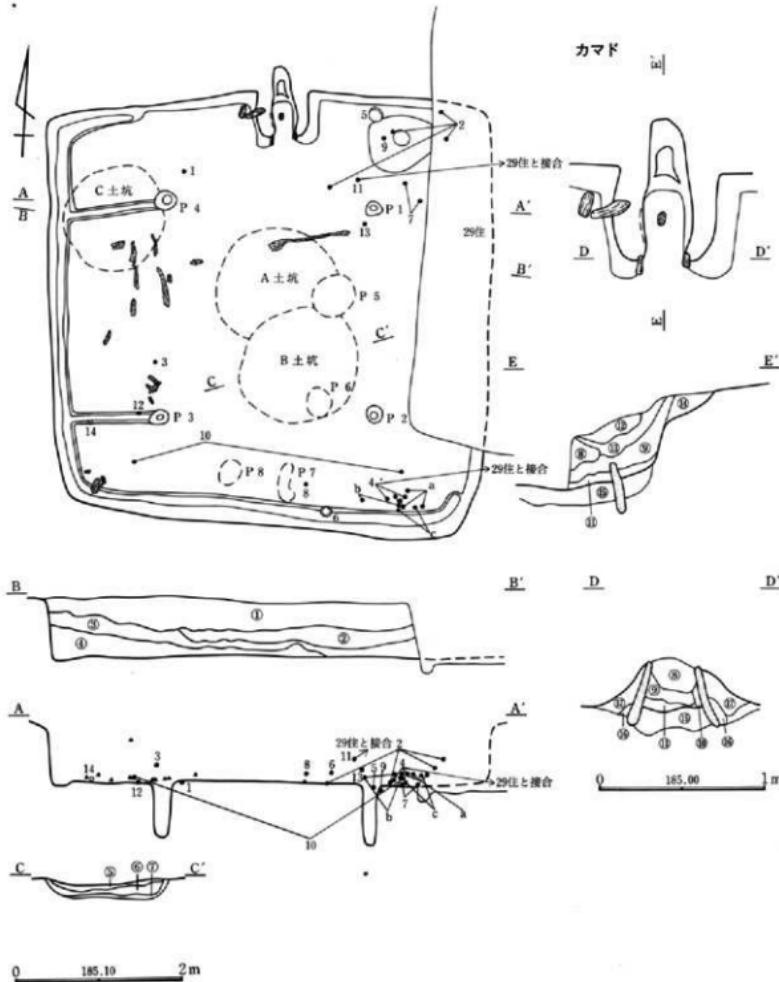
カマド



- ①暗褐色土 少量のローム粒を含み、緻まりがある。
- ②暗褐色土 多量のロームブロックと、下部に黒色土ブロックを含む。
- ③暗褐色土 ローム粒を①層より多く含み、黒色土ブロックはわずかに含む。
- ④暗褐色土 ロームブロック・黒色土ブロックを半々に含む。
- ⑤暗褐色土 ロームブロックを多く含み、黒色土ブロックは僅かに含む。
- ⑥黒褐色土 ローム粒を僅かに含み緻りやや弱い。
- ⑦明茶褐色土 細織りあり。ローム粒・黒色粒を極くわずかに含む。
- ⑧褐色粘土 ロームに褐色土を含む。
- ⑨暗褐色土 ローム・黒色土小ブロックを多量に含む。
- ⑩粘床 暗褐色土・ローム・黒色土の混土、ブロックは扁平。かたく緻まる。
- ⑪ロームに黒色土ブロックを含む。
- ⑫黒褐色土 ローム・褐色土ブロックを含む。
- ⑬暗褐色土 ロームブロック・焼土・粘土粒を含む。田カマドの痕跡か。
- ⑭灰茶褐色土 粘性あり。粘土・ロームブロックを含む。
- ⑮明茶褐色土 ローム粒・黒色土ブロック・茶色粘土ブロックと少量の燒土粒・ロームブロックを含む。
- ⑯赤褐色土 焼土ブロックを含む。
- ⑰燒土 天井部崩落土。
- ⑱暗褐色土 烧土ブロックを含む。
- ⑲燒土 大床面。
- ⑳住居床部分 ⑳掘り方の土層 黒褐色土 ローム粒を含む。
- ㉑黒褐色土 ㉑黒褐色土 粘土・ローム粒を含み、緻まる。
- ㉒黒褐色粘土 ややざらついた粘土・砂・小石・ロームブロックを含む。
- ㉓美しい黄褐色粘土 棕褐色土・焼土ブロックを含む。
- ㉔粘床の上にのった土 黒褐色土 ㉔黒褐色土 ロームブロックを含む。上面に火床面あり。床を掘り込んだ土。

図79

白倉B区30号住居跡

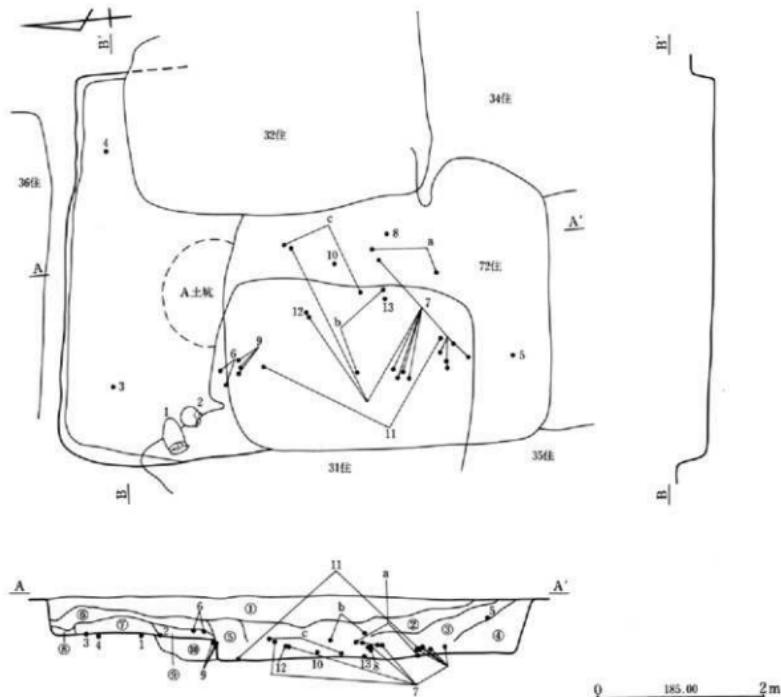


①暗褐色土 白色粒・ローム粒を含む。②暗褐色土 ロームブロック・黒色土ブロックを多量に含む。③暗褐色土 ②よりロームブロック・黒色土ブロックを多量に含む。④黒褐色土 ロームブロック・炭化物を含む。⑤ロームと暗褐色土との混土 やや縮まる。⑥ロームと黒褐色土との混土に焼土粒が少量混じる。やや縮まる。⑦ロームに青灰色粘土を含む層 ⑧褐色土とロームの混土

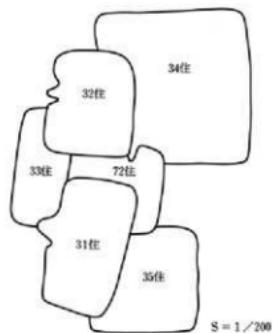
灰色粘土のブロックを含む。⑨褐色土 若干のロームを含む。⑩褐色土 ローム粒・焼土粒・粘土粒を少量含む。⑪燒土粒・灰・炭化物を含む。⑫淡褐色土 灰色粘土ブロックを含む。⑬淡褐色土 暗褐色土が混じり、若干の焼土粒を含む。⑭褐色土 烧土粒を含む。⑮淡褐色土 黑色土・焼土を含む。⑯⑯層に似るが、黑色土は含まない。⑰褐色土 ローム・粘土粒を含み、縮まる。

図80

白倉B区33号住居跡



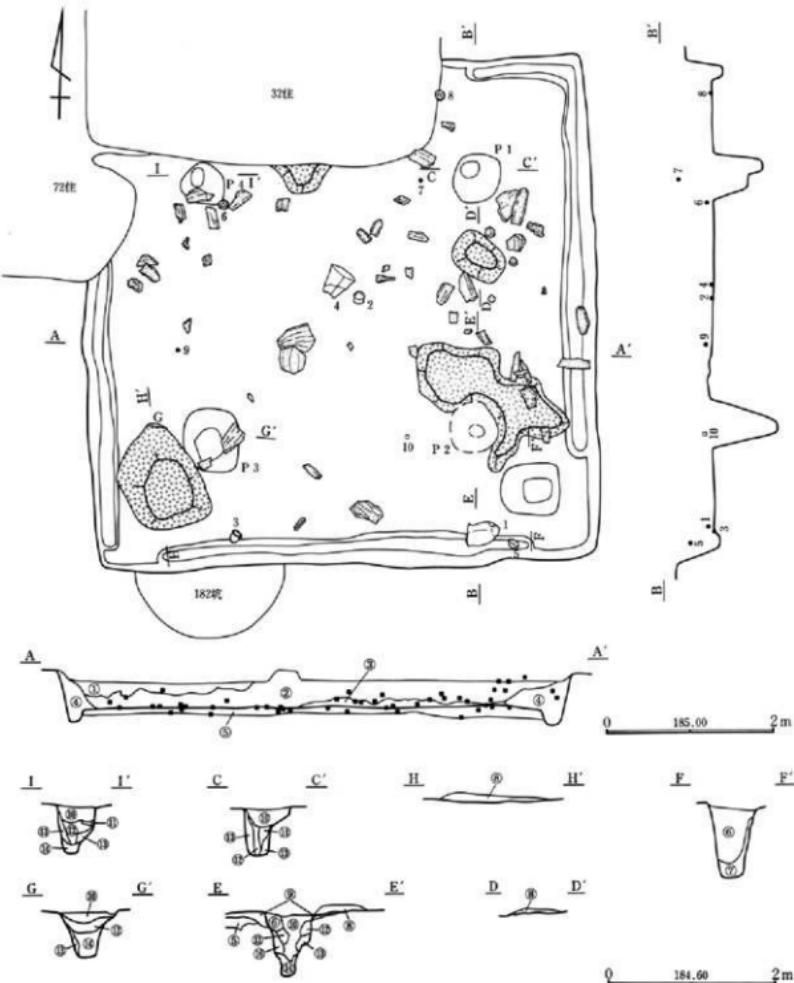
住居重複状況



① 黒褐色土・白色経石をやや多量に、ロームブロックをわずかに含む。② 黒褐色土・ロームブロックを多量に含む。③ 黒褐色土・ロームブロック・黒色土ブロックを多量に含む。④ 暗茶褐色土・黒色土ブロックを多量に含む。⑤ 暗褐色土・白色経石・ローム粒・炭化物を少量含む。⑥ 暗褐色土・ロームブロックを多量に含む。縦まりがある。⑦ 茶褐色土・ロームを⑥層より多量に含む。⑧ 黑褐色土・黒色土ブロック・ロームブロックを含む。⑨ 黑褐色土・ロームブロック・炭化物をわずかに含む。⑩ 黑褐色土・ローム質の土塊。A土坑の覆土。

図81

白倉B区34号住居跡

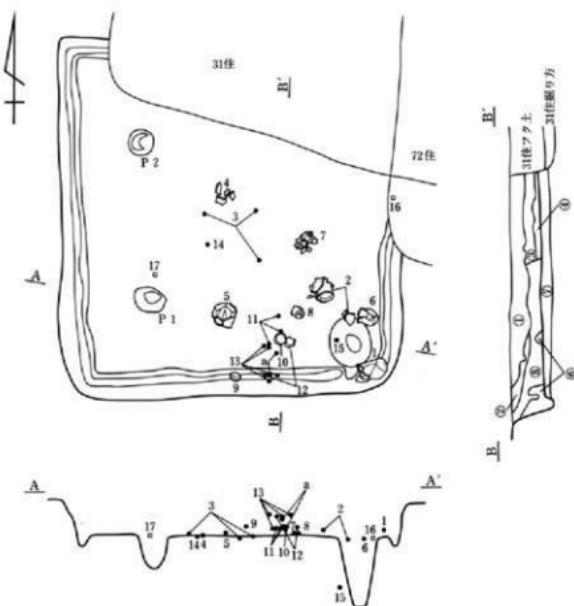


①黒褐色土 ロームブロック・白色粒を含む。締まりあり。
 ②暗褐色土 ロームブロックを多量に含む。
 ③暗褐色土 ロームブロックを多量に含む。
 ④黒色土 ロームブロックを多量に含む。
 ⑤ロームと褐色土の混土 振り方。
 ⑥褐色土 ローム粒・暗褐色土ブロックを少量含む。
 ⑦ロームに褐色土を含む。
 ⑧褐色土とロー

ムとの混土 ⑨茶褐色土 締まりがあり軽石を含む。貼床。巻褐色土 ローム粒を含む。
 ⑩ローム質の土塊 ⑪褐色土 ロームブロックを少量含む。
 ⑫褐色土とロームブロックとの混土 ⑬淡褐色土 ロームが覆じる。
 ⑭ロームと褐色土との混土 ⑮締まりがあり軽石を含む。
 ⑯⑯層よりも明色 軽石を含む。

図82

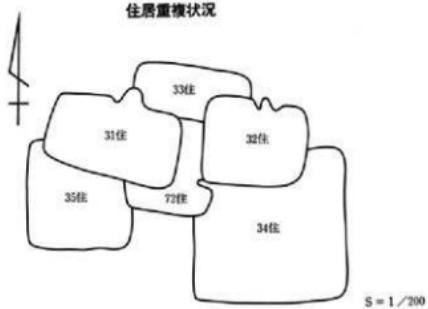
白倉B区35号住居跡

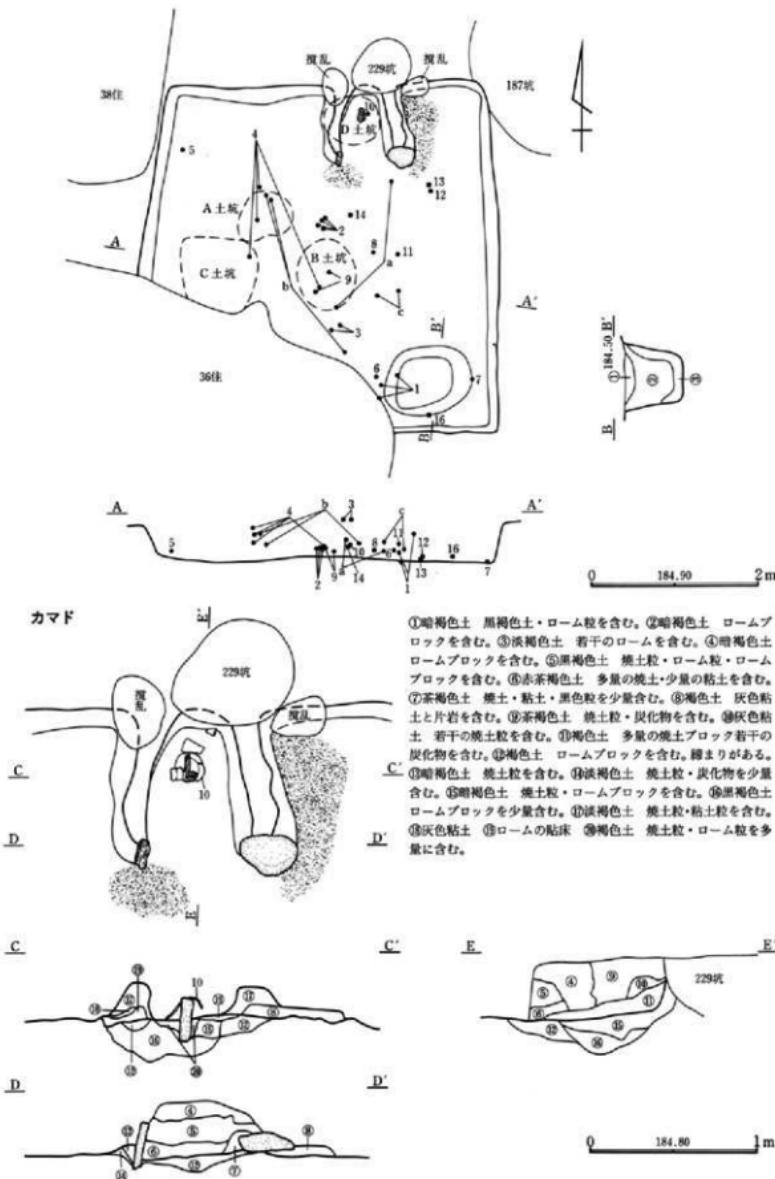


- ①明茶褐色土 ロームブロックを多量に含む。②暗褐色土 白色
軽石・ロームブロックを含む。③暗褐色土 ロームブロックを若干含む。④明茶褐色土 ロームブロック多量に含む。⑤暗褐色土
ローム粒を多量に含む。⑥明茶褐色土 ロームブロック・黒色土
ブロックを含む。

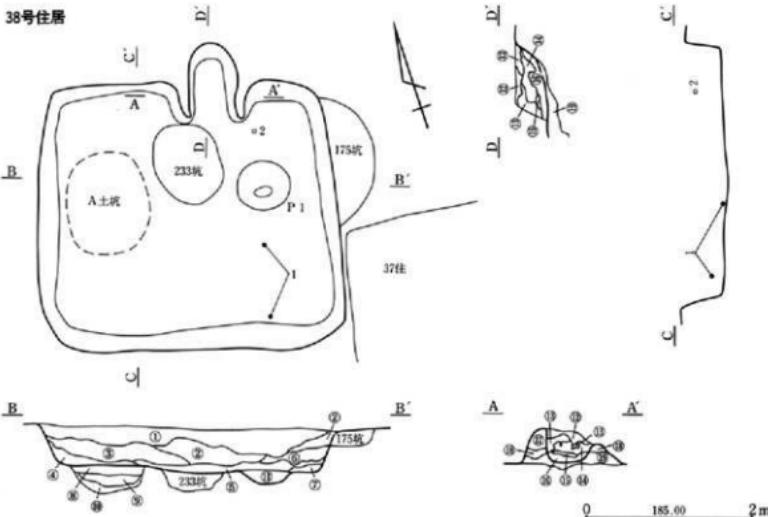
0 185.20 2m

住居重複状況





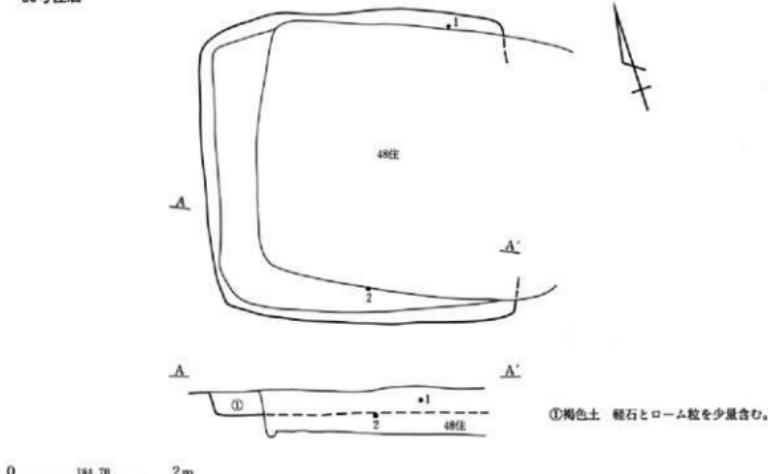
38号住居



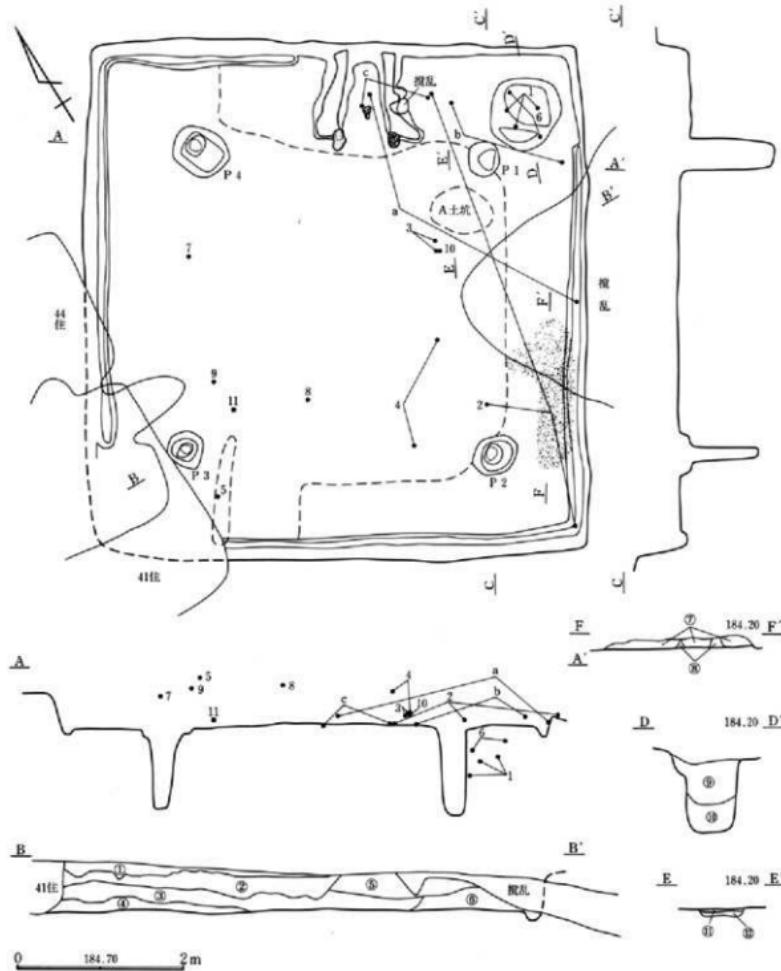
①暗褐色土 ローム粒を多量に含み、締まり強い。②黒褐色土 ローム粒・ロームブロックを多量に含む。③黒色土ローム粒・ロームブロックを少量含む。④暗茶褐色土 ローム粒を多量に含む。⑤暗茶褐色土 ローム粒・ロームブロック・炭化物・焼土を多量に含む。⑥黒色土 ③より黒が強く、含有物少ない。⑦明黒色土 ⑥よりやや明るく、含有物少ない。⑧暗褐色土 ローム粒を含む。⑨墨削に似るが粘

土粒を含み、締まる。⑩黒褐色土 ローム小ブロックを少量含み、土坑の底面を灰褐色粘土が覆う。⑪暗褐色土 ロームを含む。⑫褐色土 若干のローム粒・焼土粒を含む。⑬貴褐色粘土 下部に焼土を含む。天井及び壁の落ちたものと思われる。石を含む。⑭焼土ブロック ⑮ロームに焼土を含む。⑯ローム 若干の焼土粒を含む。⑰ローム 若干の粘土粒を含む。⑱褐色土とロームブロックの混土 焼土粒を少量含む。

50号住居



①褐色土 軽石とローム粒を少量含む。



①黒褐色土 深間八軒粒を含む。締まり強い。②暗褐色土 白色
軽石・ローム粒を多量に含む。③暗褐色土 ローム粒・炭化物を
多量に含む。④暗褐色土 ロームブロックを多量に含む。やや粘
性あり。⑤明茶褐色土 ローム粒を④割り多く含み、締まり強
い。⑥明茶褐色土 ローム粒・ロームブロック⑤割り多く、締
まりが強い。⑦青灰色粘土 ⑧暗褐色土 ローム粒・青灰色粘土
を含む。⑨明茶褐色土 ローム粒を多量に含み、締まり弱い。⑩
淡褐色土 B. Pらしき軽石を多量含む。⑪黃褐色土 青灰色粘
土・片岩を多量に含む。⑫黃褐色土 黑色土ブロックを若干含む。
⑬暗褐色土 片岩を多量に、焼土粒・粘土粒を若干含む。⑭淡褐

色土 粘土・片岩の小片を含む。⑮赤褐色土 焼土に片岩の小片
を多量に含む。⑯暗赤褐色土 締まりがある。⑰赤褐色土 焼
土を含む。⑱暗褐色土 焼土粒・粘土粒を含む。⑲褐色土 ローム
粒・焼土粒を少量含む。⑳褐色土とロームの混土 磚石と
焼土を少量含む。㉑黄褐色土 黑色土ブロックと白色粒を少量含
む。㉒明黄褐色土 黑色土ブロックを若干含む。㉓黒褐色土 ロー
ムブロックと粘土を少量含む。㉔黄褐色土 片岩を多量に含む。
㉕明茶褐色土 ロームに黑色土が混じる。

図86

白倉B区45号住居跡

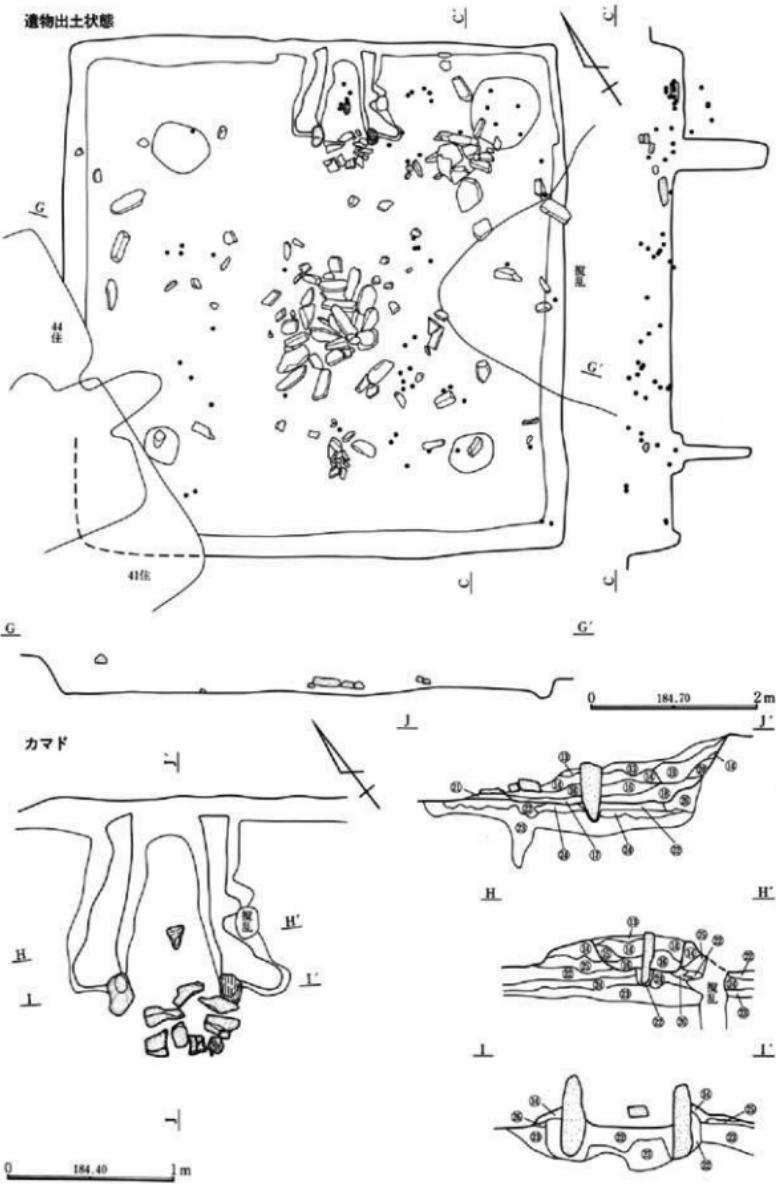
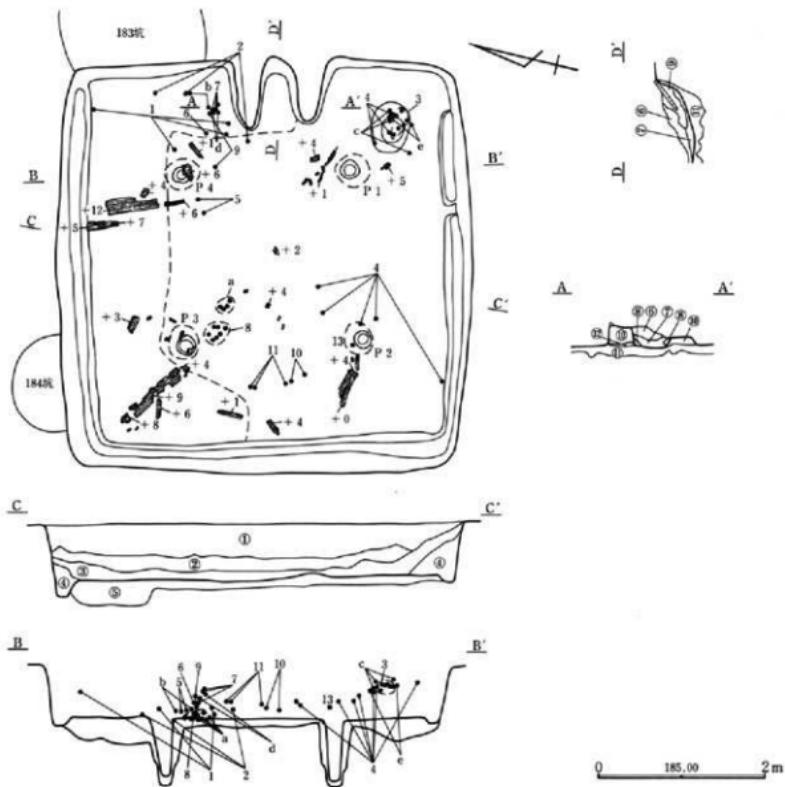


図87

白倉B区47号住居跡

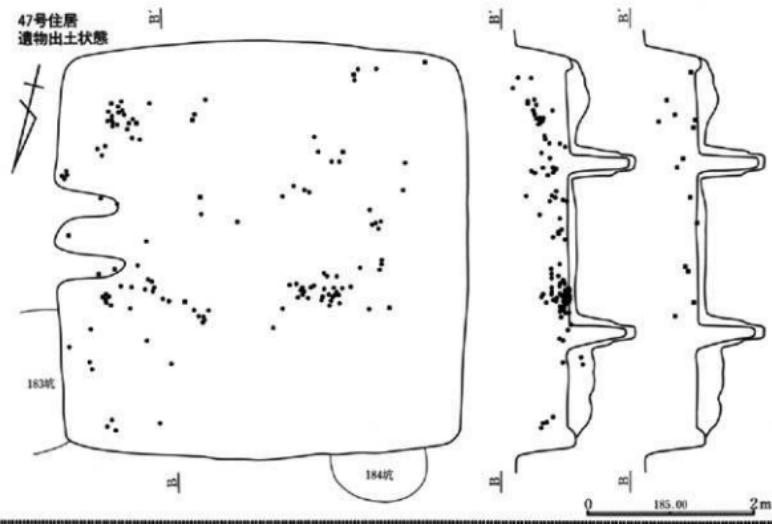


①暗褐色土 軽石を含む。締まりがある。
②褐色土 ローム粒・炭化物を若干含む。
③褐色土とロームとの混土 炭化物を若干含む。
④褐色土 ロームブロックを含む。
⑤黄褐色土 ロームブロックと黒色土ブロックが斑に含む。
⑥褐色土 焼土粒・軽石を含む。

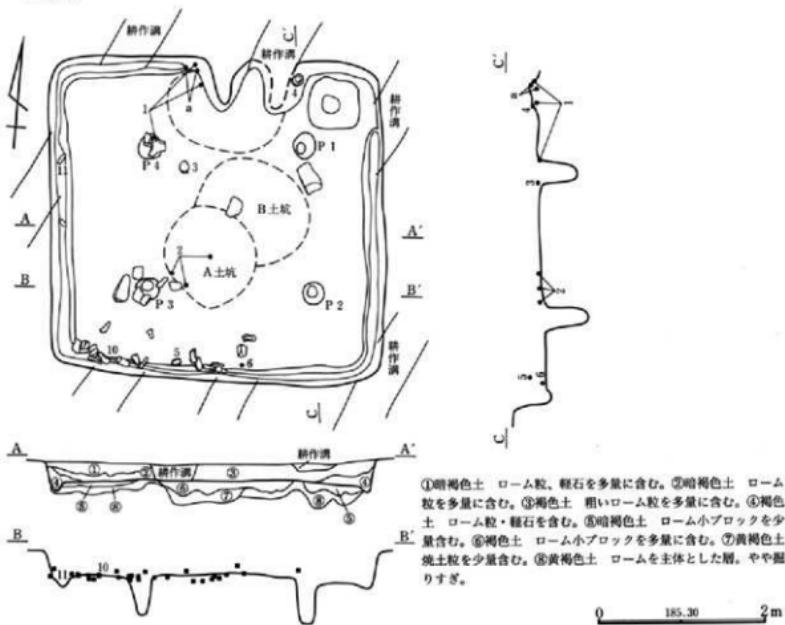
⑦褐色土 焼土粒・ローム粒を多量に含む。
⑧灰色粘土 焼土粒を含む。
⑨淡褐色土を主とし焼土を含む。
⑩褐色土 焼土粒・粘土粒・炭化粒を含む。
⑪暗褐色土 ロームブロックを多く、焼土を若干含む。
⑫暗褐色土 焼土粒・ローム粒を若干含む。

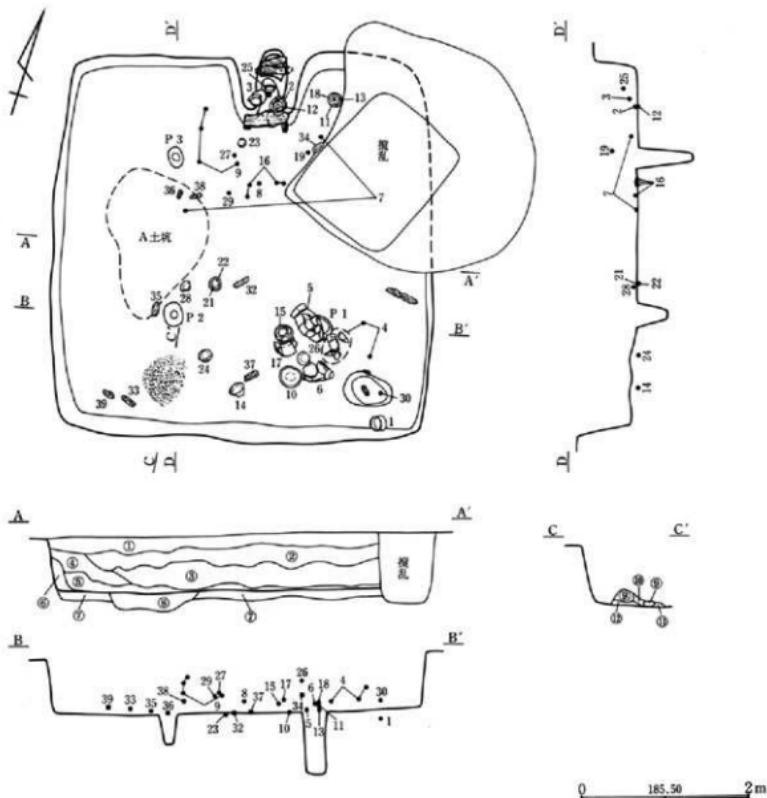
図88

白倉B区47号・51号住居跡



51号住居





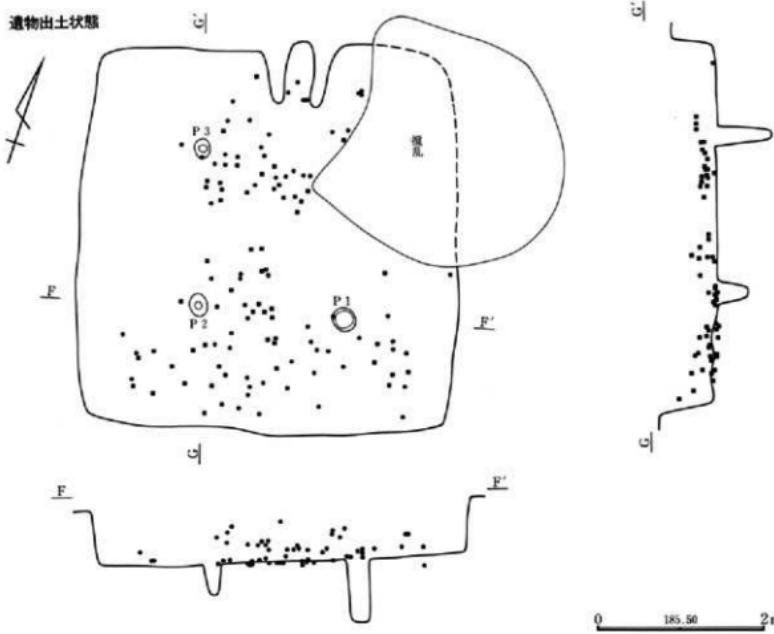
①暗褐色土 白色軽石を少量含む。②黒褐色土 ローム粒を少量含む。
③褐色土 黄色軽石を少量、ローム大ブロックを含む。緑色
より弱い。④暗褐色土 ①層より色調は明るい。ロームブロック
をやや多めに含む。⑤暗黄褐色土と暗褐色土との混土 ロームを
主体とする。⑥黄褐色土 ロームを主体とする。⑦暗黄褐色土
ロームブロックを多量に含む。⑧黄褐色土 ロームを主体とする。

⑨灰白色粘土小石を多く含む。⑩褐色土 ⑪褐色土 ⑫褐色土
ローム粒を多量に含む。⑬暗褐色土 多量のローム粒と若干の
焼土粒を含む。⑭暗赤褐色土 焼土粒を多量に含む。⑮赤褐色土
焼土を含む。⑯褐色土 焼土・ローム粒を少量含む。⑰暗褐色土
ローム粒を少量含む。

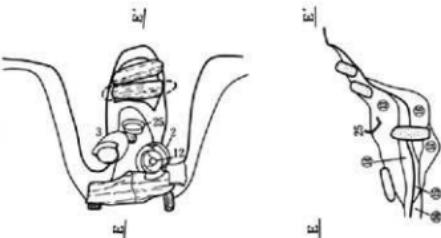
図90

白倉B区52号住居跡

遺物出土状態



カマド



0 185.20 1m

図91

白倉B区54号住居跡

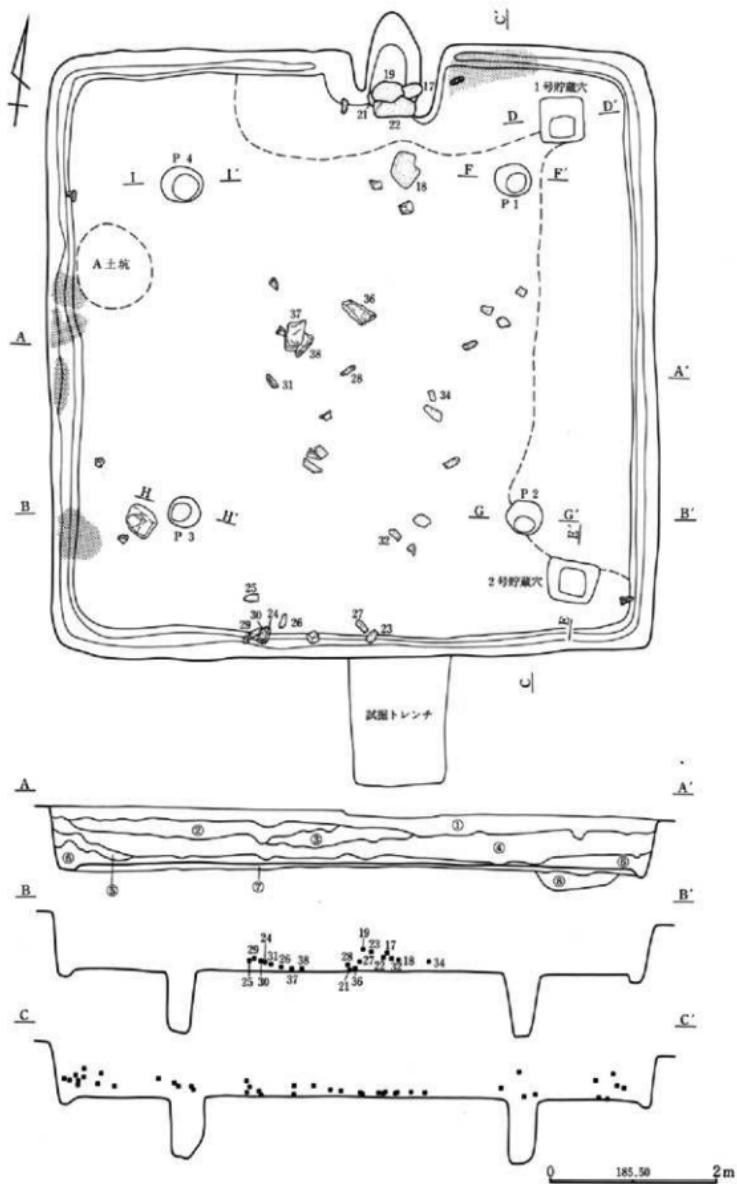
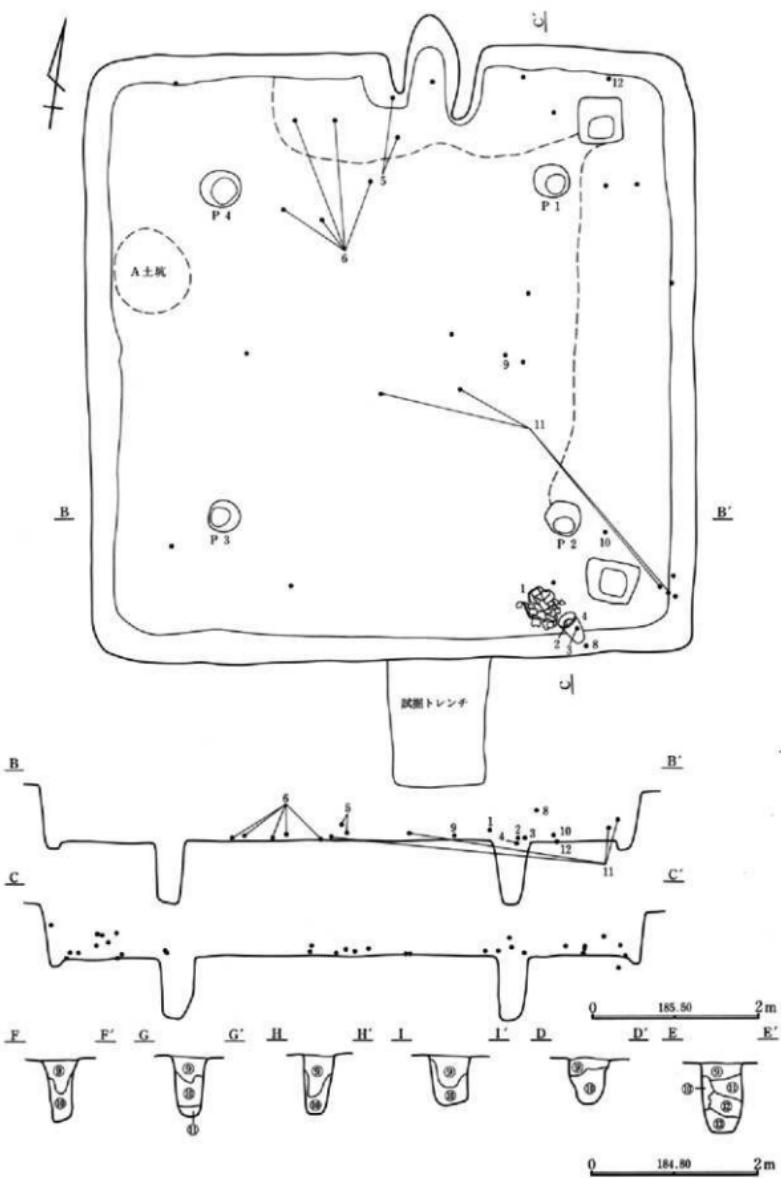
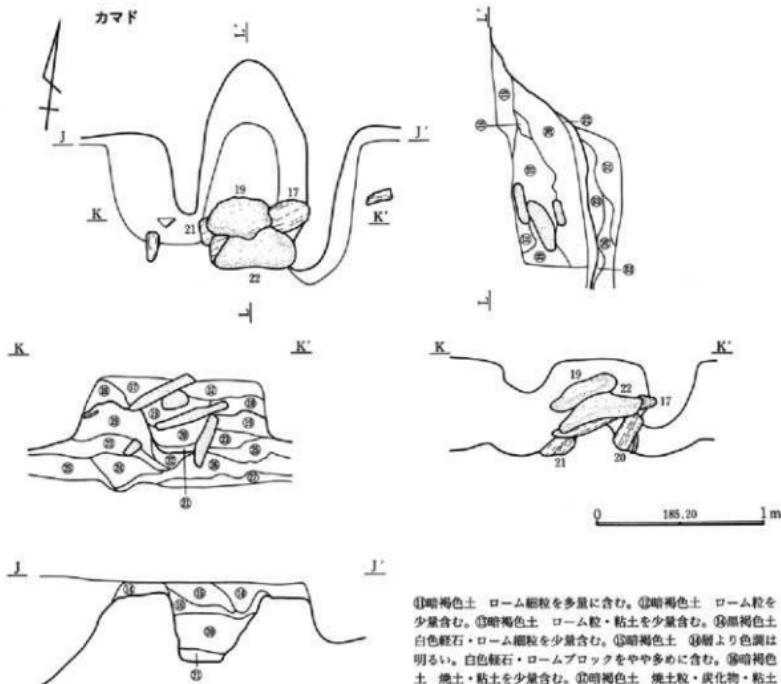


図92

白倉B区54号住居跡





①黒褐色土 粘石・ローム粒を含む。②暗褐色土 ローム粒・ロームブロックを含む。③褐色土 ローム粒・ロームブロックを含む。④暗黄褐色土 ローム粒・ロームブロックを主体とする。⑤黒褐色土 粘石・ローム粒を少量含む。⑥暗茶褐色土 ローム粒を含む。⑦暗黄褐色土・ロームブロックを多量に含み、堅く締まる。⑧暗褐色土 ロームと暗褐色土との混土。⑨暗褐色土 ローム小ブロックを多量に含む。⑩明黄褐色土 ロームを主体とした層。

⑪暗褐色土 ローム細粒を多量に含む。⑫暗褐色土 ローム粒を少量含む。⑬暗褐色土 ローム粒・粘土を少量含む。⑭暗褐色土 白色軽石・ローム細粒を少量含む。⑮暗褐色土 ⑯刷毛より色調は明るい。白色軽石・ロームブロックをやや多めに含む。⑯暗褐色土 粘土・粘土を少量含む。⑰暗褐色土 焼土粒・炭化物・粘土を少量、ローム小ブロックをやや多めに含む。⑱暗褐色土 焼土粒・粘土を少量、ローム小ブロックを多量に含む。⑲暗褐色土 焼土粒・粘土を多量に含み、締まっている。⑳暗赤褐色土 焼土を主体とした層。㉑焼土粒を主体とし、ロームヒシ量の粘土を含む。㉒暗褐色土 粘土を主体とし、焼土粒を多量に含む。締まりあり。㉓暗褐色土 ㉔層の中间的な層。㉕暗褐色土 焼土粒・炭化物・粘土を少量、ローム小ブロックを多量に含む。㉖暗褐色土 焼土粒・粘土を多量に含み、締まっている。㉗暗褐色土 ロームと黒褐色土が混入した層。㉘黄褐色土 ロームを主体とする。締まりあり。㉙黒褐色土 ロームと黒褐色土を混入した層。締まりあり。

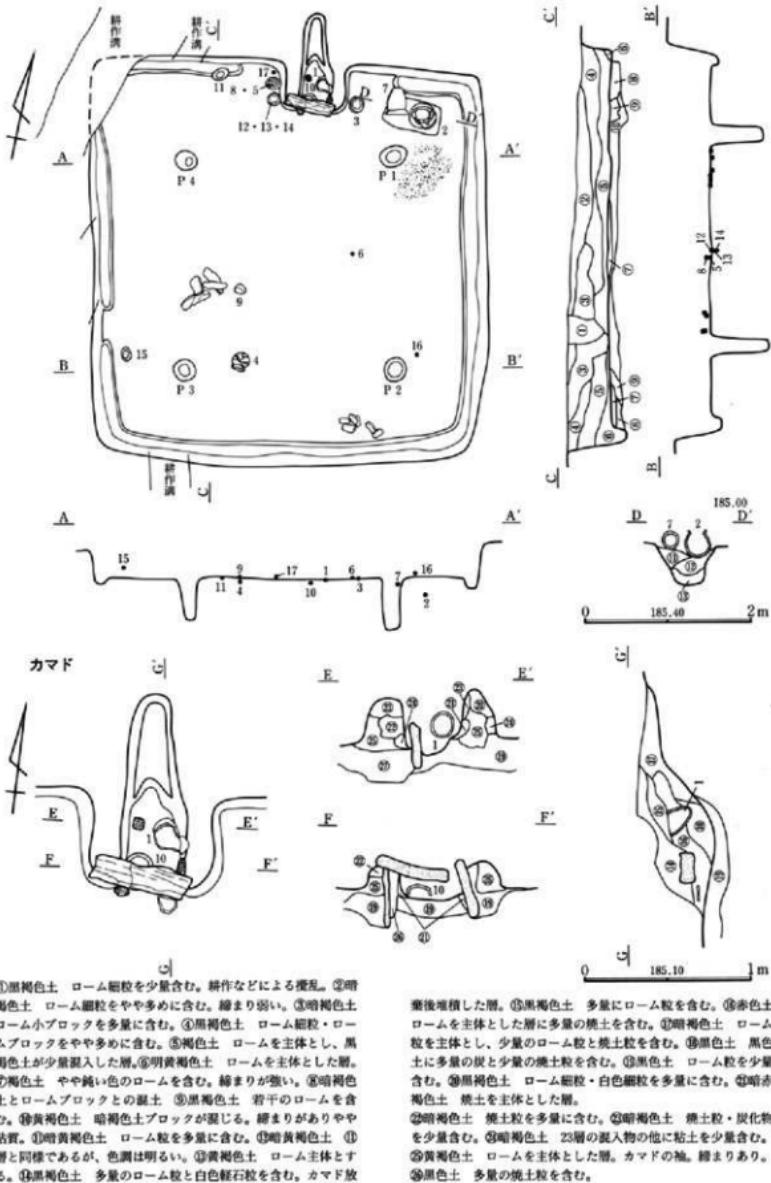
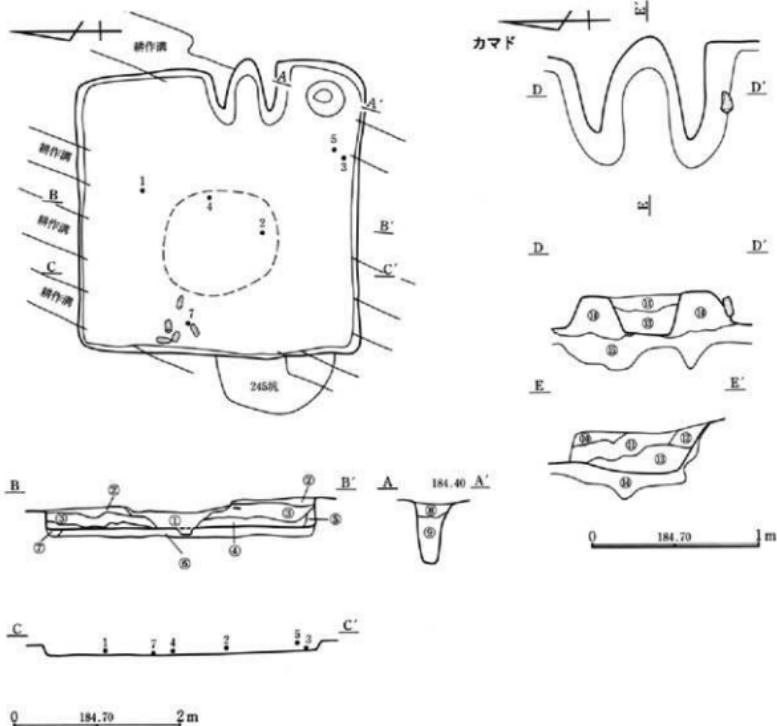


図95

白倉B区56号住居跡



①暗褐色土 稲作による擾乱。ローム小ブロックを多量に含む。
 ②暗褐色土 白色軽石・ローム小ブロック・ローム細粒を少量含む。
 繋まり弱い。③黒褐色土 ローム細粒。ローム小ブロックを
 少量に含む。色調は暗い。④暗褐色土 ローム小ブロックを多量
 に含む。⑤暗褐色土 ローム大ブロックを含む。⑥褐色土 ロー
 ムを主体とした層。少量の暗褐色土を含む。⑦暗褐色土 ローム

を主体とし、やや多くの黒褐色土を含む。⑧暗褐色土 ローム粒を含む。⑨黄褐色土 ロームを主体とし、締まりはない。⑩黄褐色土 ロームを主体とする。⑪暗褐色土 ローム粒・焼土粒を多量に含む。⑫褐色土 焼土粒を多量に含む。⑬暗赤褐色土 焼
 土粒を主体とする。⑭黄褐色土 ロームを主体とする。⑮黑色土
 ローム小ブロックと、若干の焼土粒を含む。

図96

白倉B区58号・59号住居跡

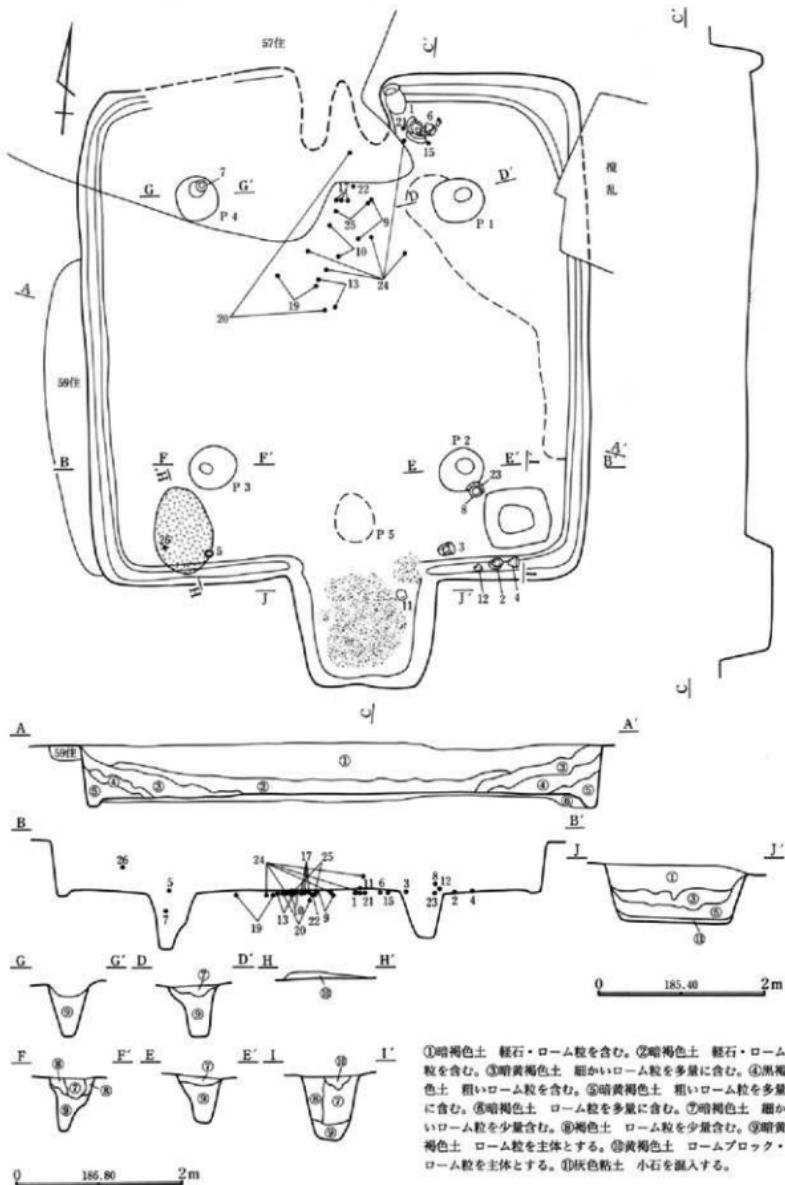
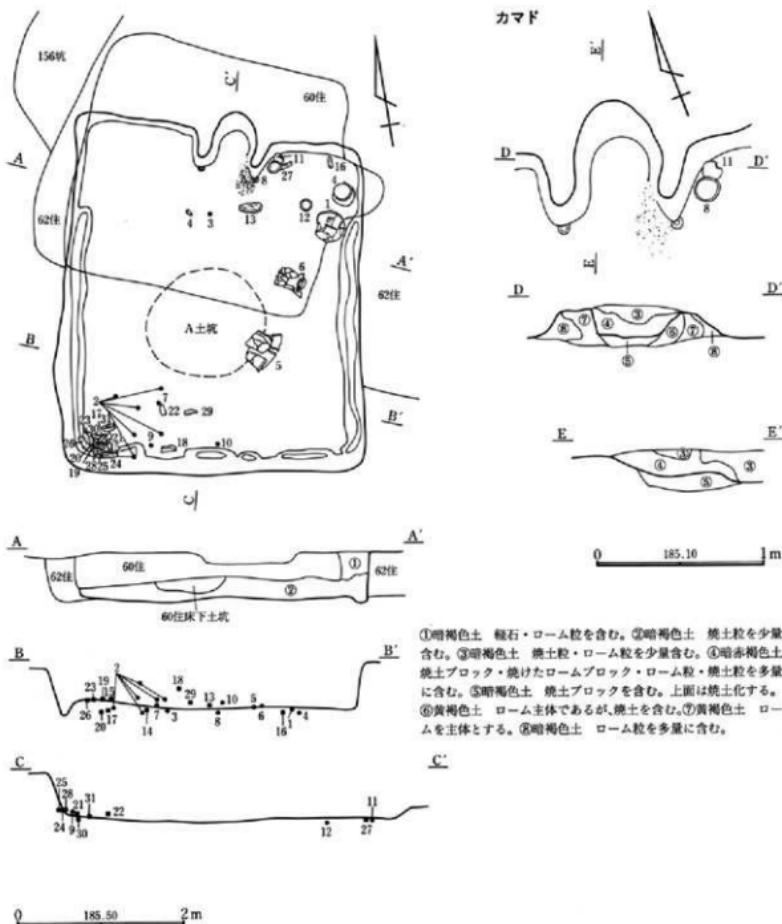
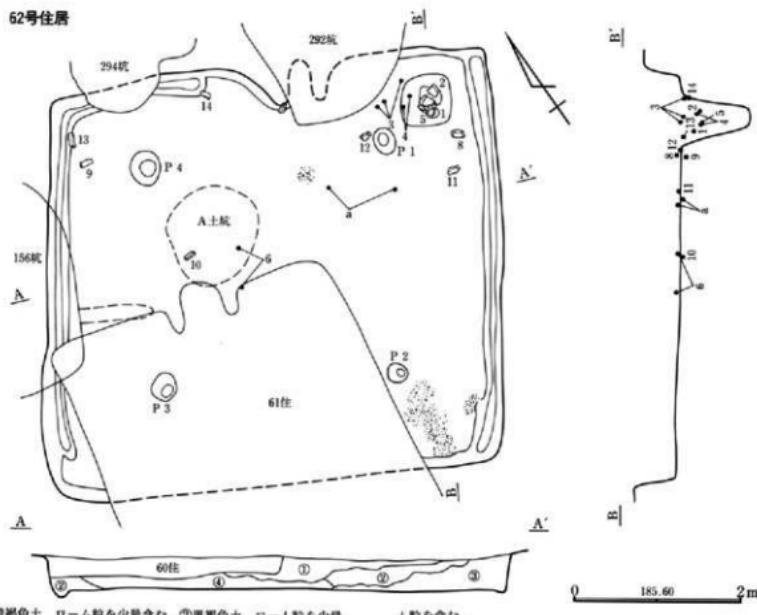


図97

白倉B区61号住居跡



62号住居



70号住居

遺物出土状態

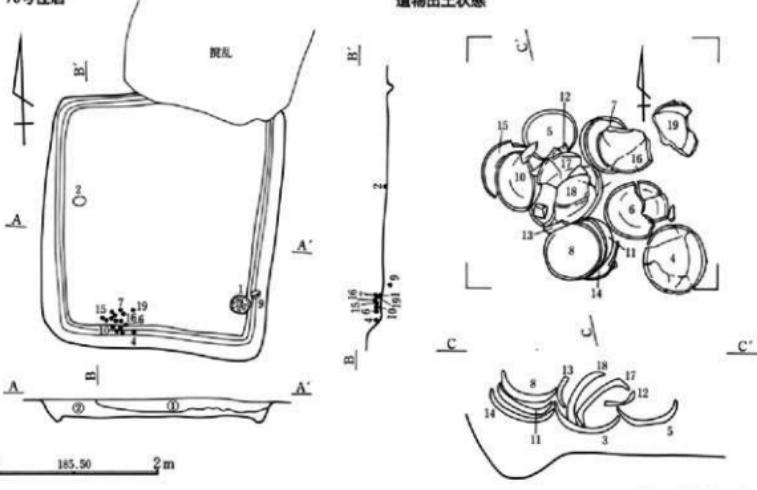


図99

白倉B区65号住居跡

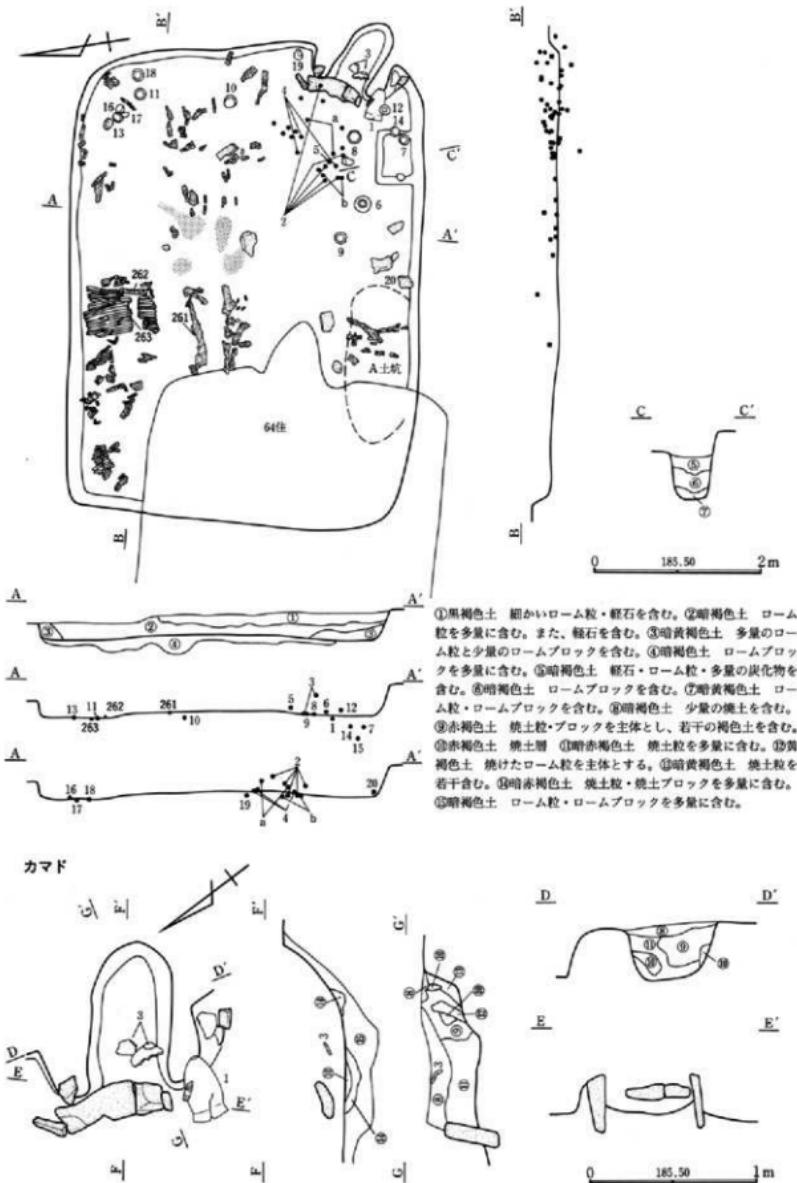
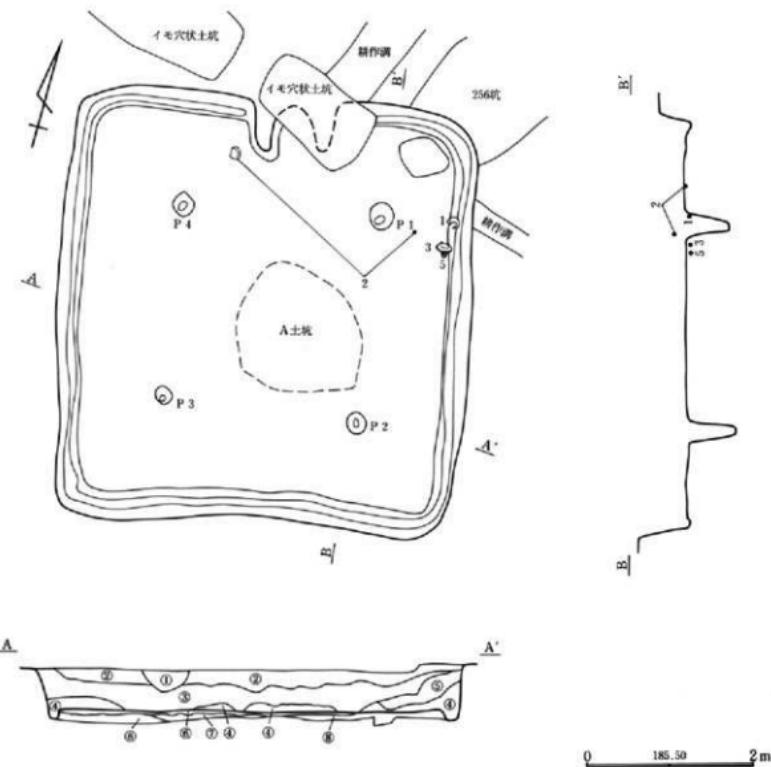


図100

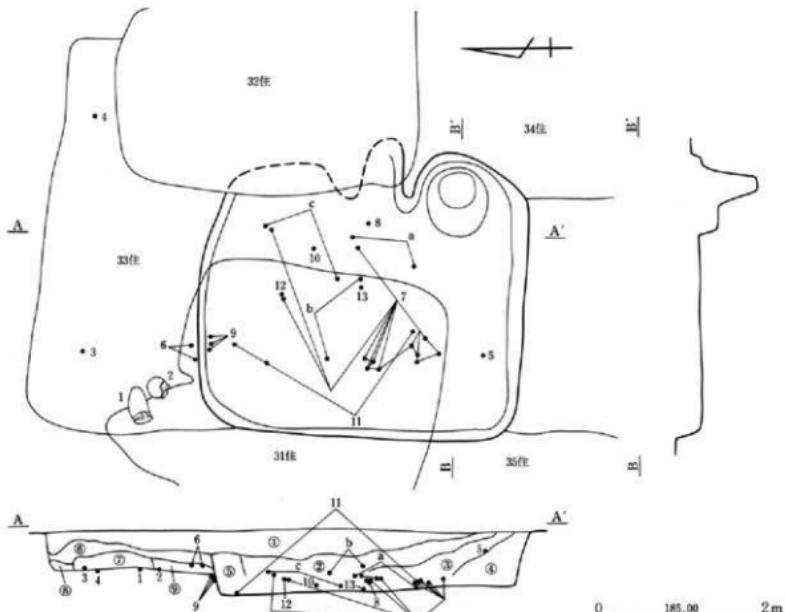
白倉B区69号住居跡



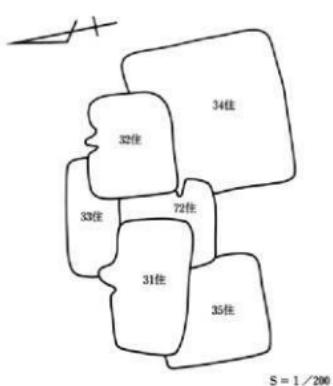
① 黒褐色土 ローム粒を若干含む。耕作溝の覆土。② 暗褐色土 ローム粒・白色粒を少量含む。③ 暗褐色土 黒色ブロック・ロームブロックを多量に含む。④ 明茶褐色土 ロームブロック粒を多量含む。⑤ 暗茶褐色土 ローム粒を少量含む。きめが細かい。⑥ 淡褐色土 暗褐色土のブロックを含む。⑦ 暗黄褐色土 暗褐色土のブロックを含む。⑧ 明黄褐色土 暗褐色土のブロックを含む。

図101

白倉B区72号住居跡



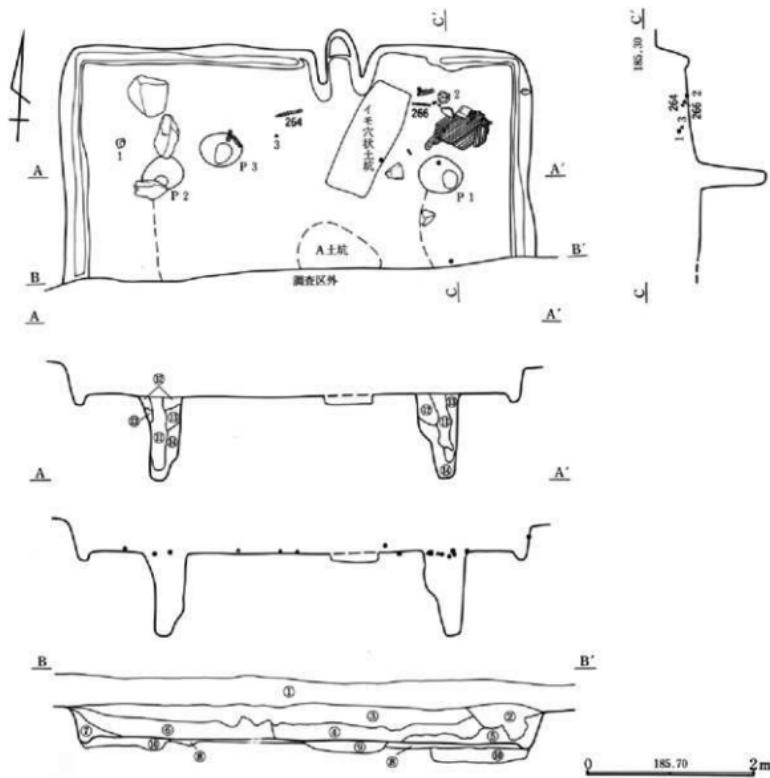
住居重複状況



①黒褐色土 やや多めの白色錆石・ロームブロックを含む。②黒褐色土 ロームブロックを多量に含む。③黒褐色土 ロームブロック・黒色ブロックを多量に含む。④暗茶褐色土 黒色ブロックを多量に含む。さめが細かい。⑤暗褐色土 白色錆石・ローム粒・炭化物を少量含む。⑥暗褐色土 ロームブロックを多量に含む。網まりあり。⑦茶褐色土 ロームを⑥層より多量に含む。⑧黒褐色土 黒色ブロック・ロームブロックを含む。⑨黒褐色土 ロームブロック・炭化物を若干含む。

図102

白倉B区73号住居跡



①暗褐色土 純粋土。②黒褐色土 ローム粒を少量含む。③暗褐色土 ロームブロックと炭化物を少量含む。④暗褐色土 ロームブロック・黒色ブロックをやや多く含む。⑤暗茶褐色土 ローム粒を少量含む。⑥明茶褐色土 ロームを多量に含む。⑦黒褐色土 白色細粒・ローム粒を少量含む。⑧ロームと褐色土の貼床。⑨茶褐色土 細まりがある。床下土坑。⑩暗褐色土とロームブロックとの混土⑪暗褐色土 ローム粒を多く含む。細まり弱い。⑫青褐色土 黒色土やや多く、ロームブロックを多く含む。⑬黄褐色土 ⑫層より黒色土は少ないが、ロームは⑫層より多い。⑭黄褐色土 黑色土が⑬層より少ない。⑮暗褐色土 ローム粒・白色粒を少しある。⑯暗褐色土 白色粒を少し、ローム粒を⑮層より多く含む。⑰暗褐色土 ローム粒⑯層より少なく、白色粒・炭化物は少しある。⑱暗褐色土 焙土粒・ローム粒を少しある。⑲黄色土 ロームブロックを含む。⑳明茶褐色土 ローム粒・黒色ブロックを多量に含む。㉑明茶褐色土 焙土粒を⑳層より多く、黒色ブロックも多量に含む。㉒明茶褐色土 ロームブロックを少量含む。細まり弱い。㉓暗褐色土 ローム粒を含む。㉔暗褐色土 23層よりもローム粒少なく、少量の炭化物・焙土粒を含む。㉕ローム やや明るい。㉖赤褐色土と黄褐色土 ㉗褐色土 ローム粒を含み、やや粘質。

図103

白倉B区75号住居跡

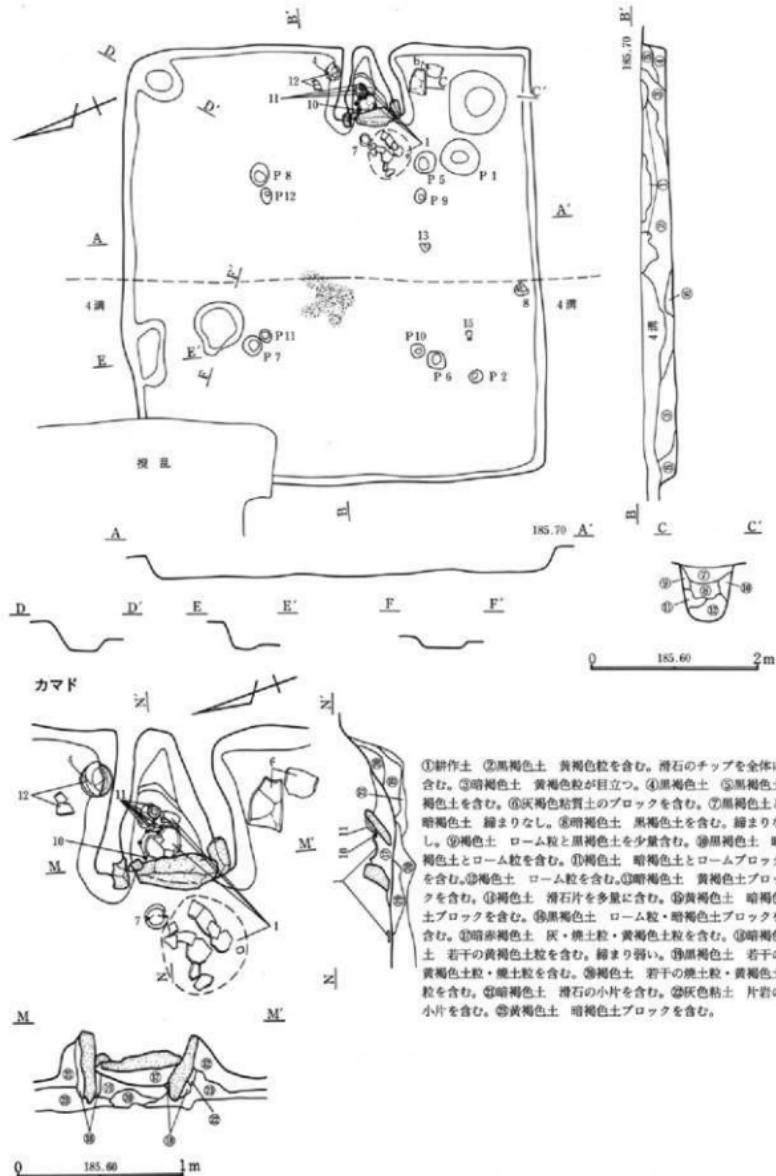


図104

白倉B区75号住居跡

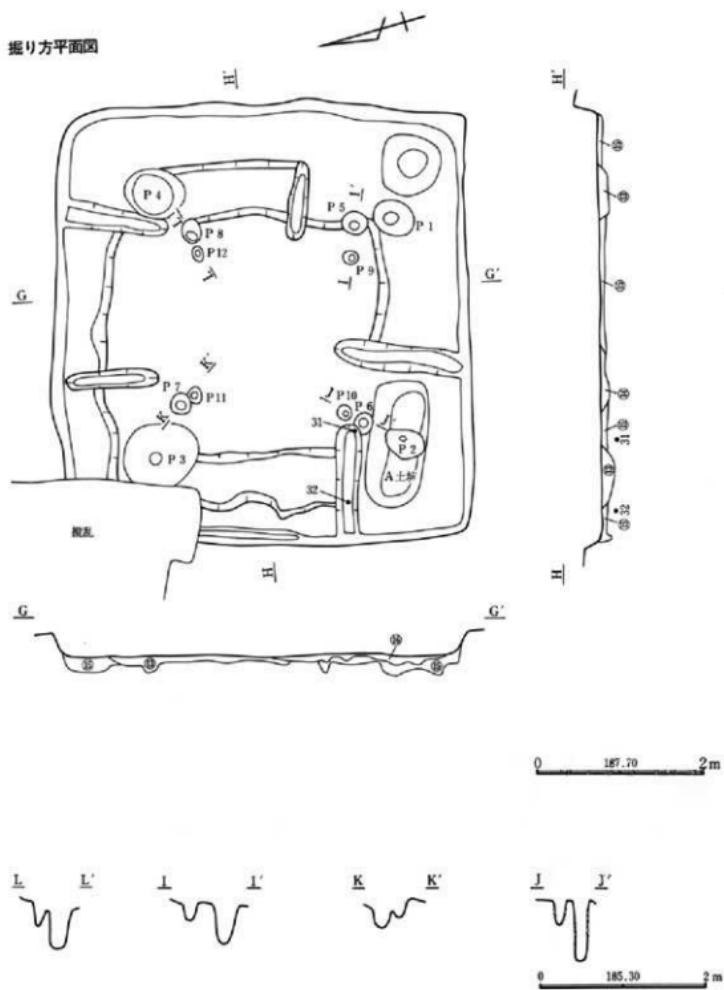
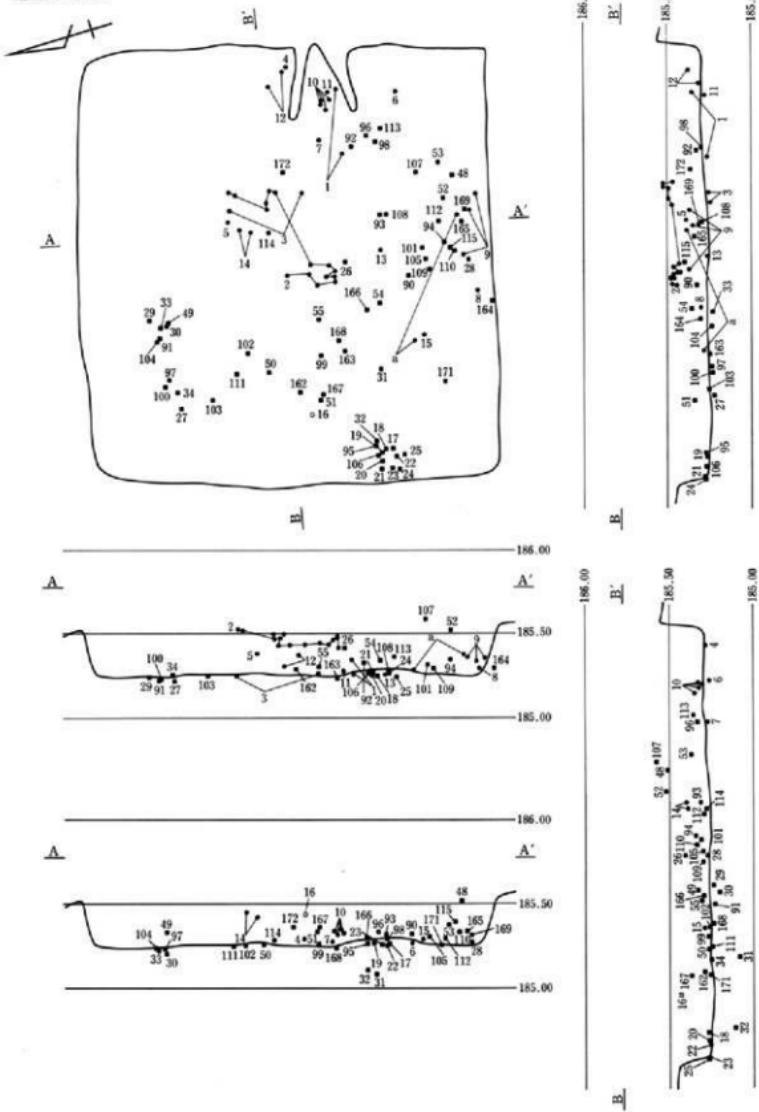


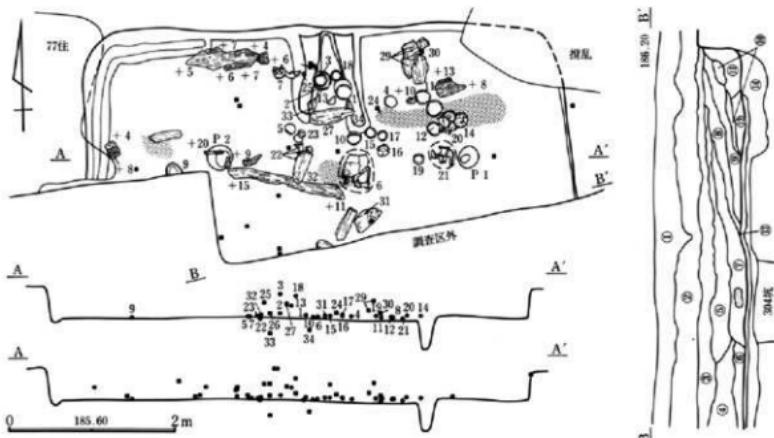
図105

遺物出土状態



剖面分布は1:30

白倉B区78号住居跡



①耕作土 浅間A種石を多く含む。②黒褐色土 若干の浅間A種石を含む。③黒褐色土 黄褐色土を若干の黄褐色土粒を含む。④暗褐色土 黄褐色土・黒褐色土のブロックを少量含む。⑤褐色土 黄褐色土粒を多量に、黒褐色土ブロックを少量含む。⑥褐色土 黄褐色土ブロックを多量に含む。⑦褐色土 黄褐色土ブロックを多量に含む。⑧褐色土 黄褐色土ブロックと黒褐色土ブロックを含む。⑨褐色土 若干の焼土粒と黄褐色土粒・黒褐色土粒を全体に含む。⑩黒褐色土 焼土粒・黄褐色土粒を少量含む。⑪褐色土と黒褐色土の混土 焼土粒を少量含む。⑫赤褐色土 焼土粒を含む。⑬褐色土 強まり強い。⑭褐色土 黑褐色土ブロック・黄褐色土ブロックの混土。⑮褐色土 ローム粒・焼土粒を多量に含

む。⑯赤褐色土 多量の焼土ブロックと少量のローム粒を含む。⑰黒褐色土 黒褐色土ブロック・焼土粒・ローム粒を含む。⑱暗赤褐色土 多量の焼土と少量のロームを含む。⑲暗褐色土 ロームブロックを少量含む。⑳灰褐色土 粘土を多量に、焼土ブロックをやや多く含む。㉑黒褐色土 若干の焼土を含み、粘性がある。㉒黄褐色土 烧土粒を含む。㉓赤褐色土 黄褐色土粒を少量含む。㉔褐色土 烧土粒・黄褐色土粒を含む。㉕黒褐色土 黄褐色土ブロックを含む。㉖褐色土 黑褐色土ブロックを若干含む。㉗褐色土 黑褐色土・黄褐色土粒を含む。やや強さが弱い。

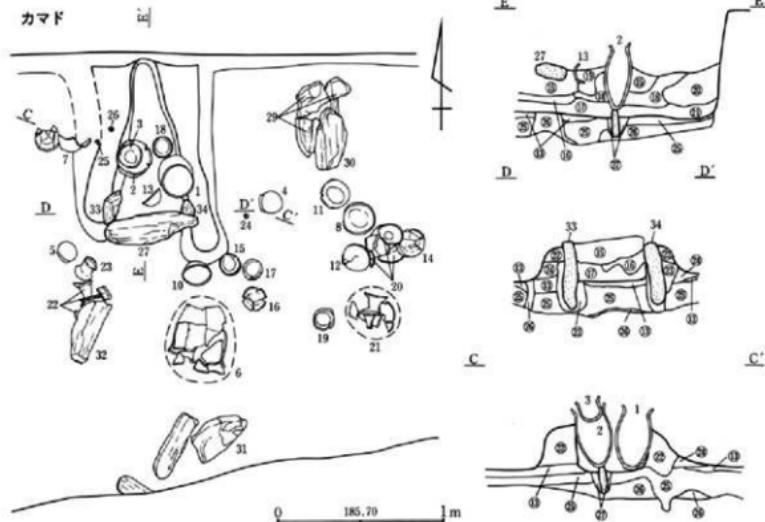
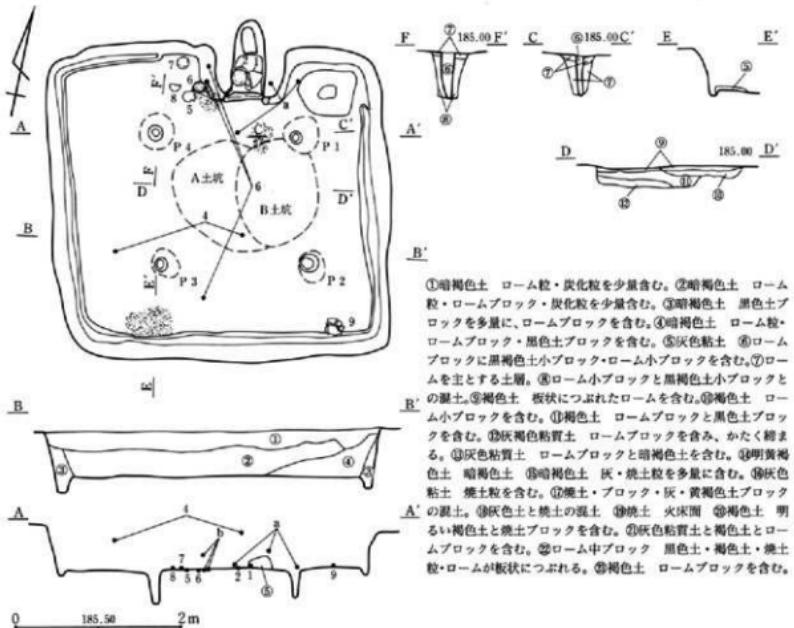
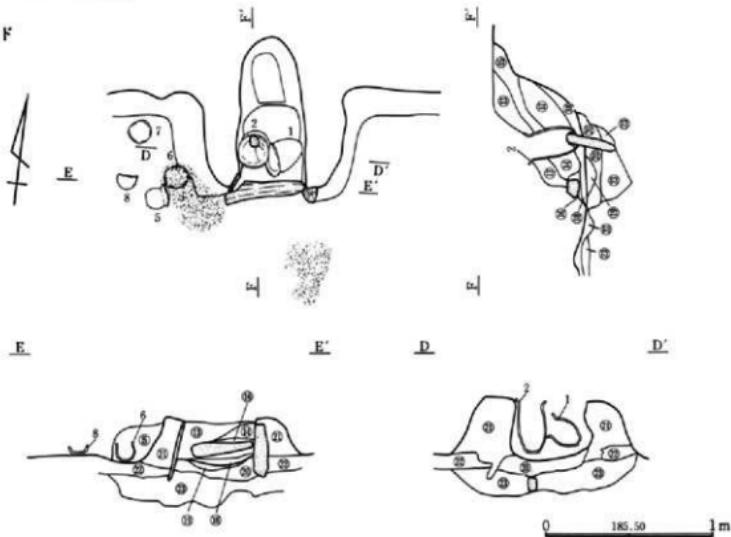


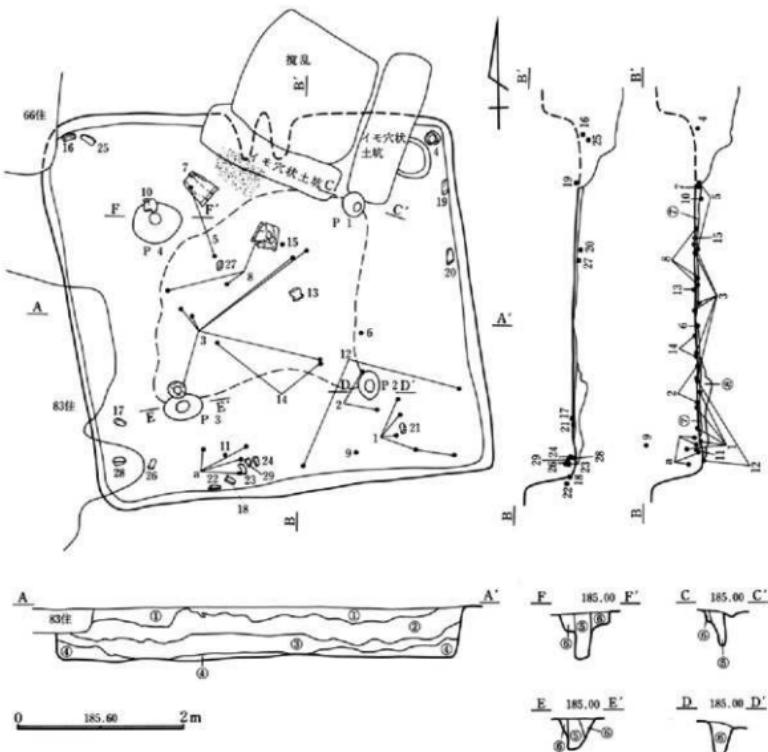
図107

白倉B区82号住居跡



カマド



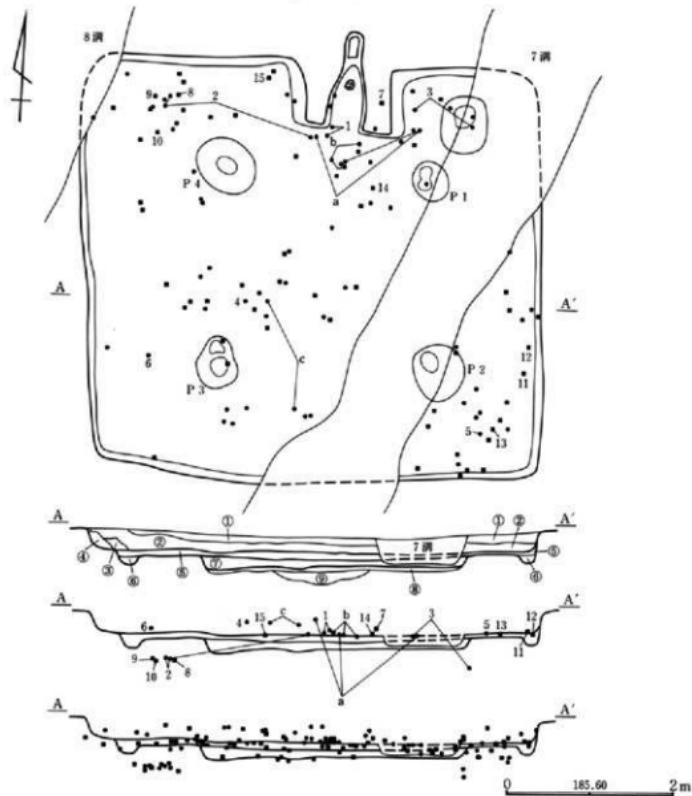


①褐色土 棕色土とローム粒を含む。②褐色土と黄褐色土ブロックとの混土 ローム小ブロックと黑色土を少量含む。③黒色土 黄褐色土ロームブロックの混土 ④棕色土と黑色土の混土 ⑤黒褐色土 ロームブロックを含み、やわらかい。柱痕部分。⑥ロー

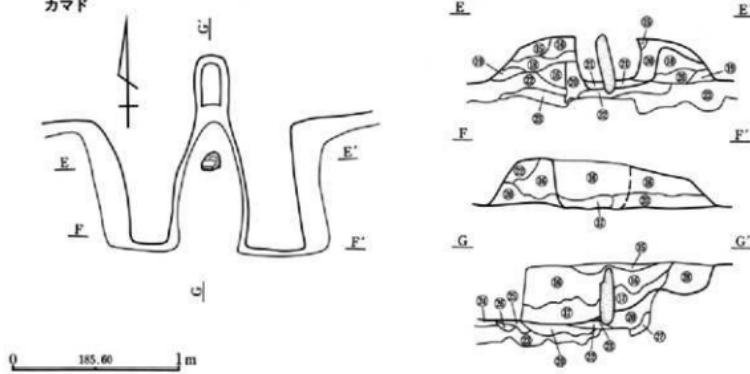
ム小ブロックと黒色土ブロックとの混土 根固め。やや締まる。
⑦粘床の土層 かたく締まる。⑧掘り方の土層 ロームブロック
を含む。

図109

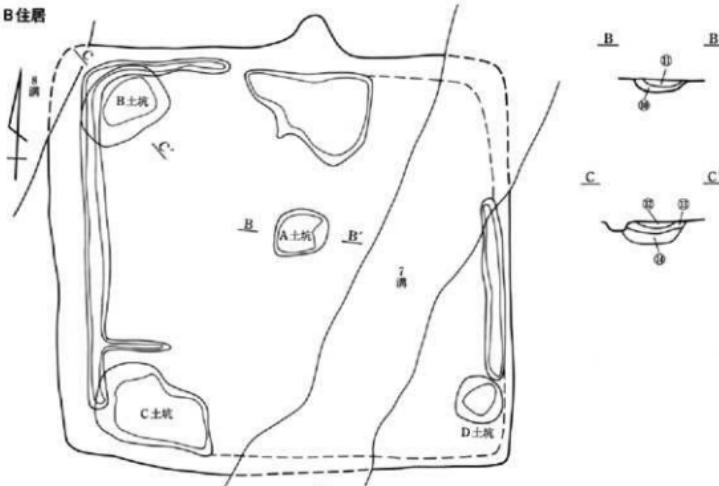
白倉B区85号A住居跡



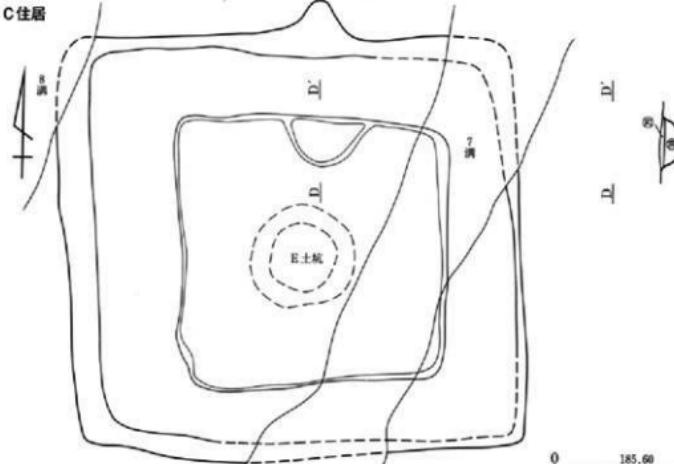
カマド



B住居



C住居



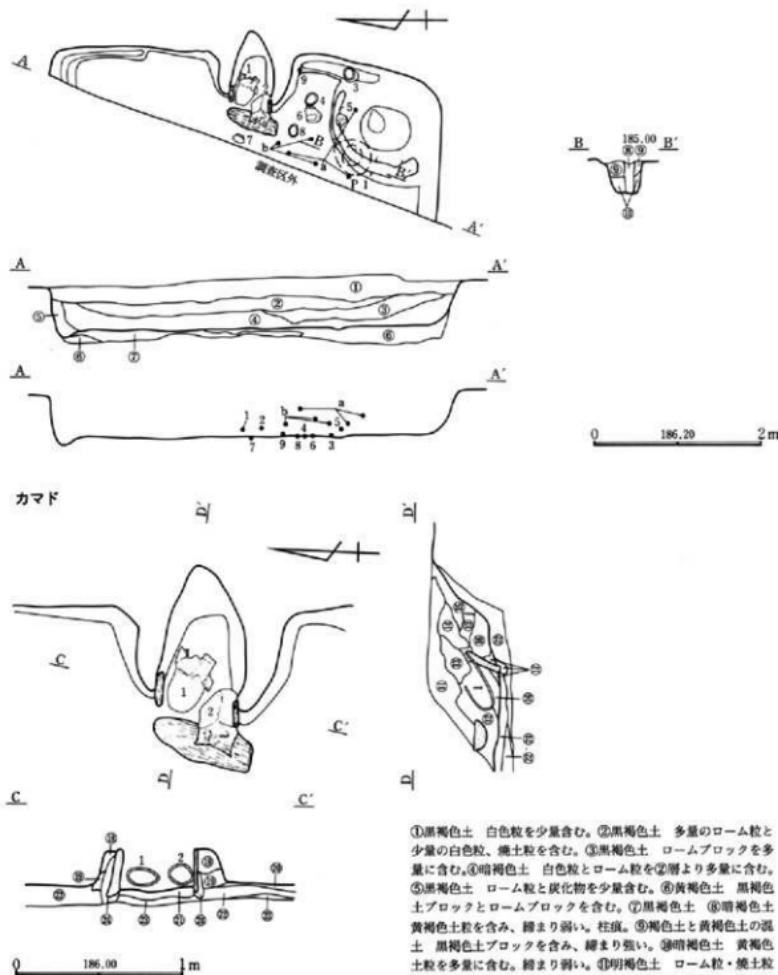
0 185.60 2m

①暗褐色土 白色化したローム粒を含み、かたく締まる。②暗褐色土 ローム粒及び小ブロックと炭化物を微量に含み、やや締まる。③暗褐色土 ロームブロックを含む。堅崩落土。④暗褐色土 ロームブロックを含む。堅崩落土。⑤暗褐色土 黒色土とロームの混土でかたく締まる。⑥暗褐色土 ⑦黒色土 ロームブロックを少量含む。⑧粘質土 黑色土とロームの混土。かたく締まる。⑨ロームブロックと褐色粘質土の混土。締まる。⑩褐色粘質土 締まる。⑪ローム・粘土・ブロックの混土 少量の燒土粒を含み、やや締まる。⑫黒褐色土 褐色土ブロックとローム粒を含み、やや軟質。⑬黒褐色土 多量のローム粒を含む。⑭黒褐色土 微量の燒土粒とロームブロックを含む。⑮黒褐色土 粘土粒を含む。やや粘質をもつ硬い土。⑯灰褐色粘質土 褐色土を含む。⑰灰褐

色土 灰褐色粘質土、焼土、下部に灰を含む。カマド燃焼室内の土。⑲褐色土 黄褐色粘質土と灰褐色土粒を含む。⑳褐色土 黑色土と燒土粒を含む。㉑灰褐色土 灰褐色土ブロック・焼土ブロック・ロームブロックを含む。㉒燒土 カマド火床面。㉓燒土 旧カマド火床面。㉔黑色土・ロームブロックと焼土ブロックを含む。㉕粘质土の土 ロームブロックと褐色土を含む。㉖黑色土 旧カマド掘り方の土。㉗褐色土 ローム粒を含む。カマド掘り方。㉘褐色土 ロームブロック・焼土・黑色土ブロックを含む。燒道の土。崩落の状態。㉙燒土粒 ローム粒を多量に含む。㉚褐色粘質土 ロームブロック・黑色土ブロックと少量の焼土粒の混土。やや軟質。

図111

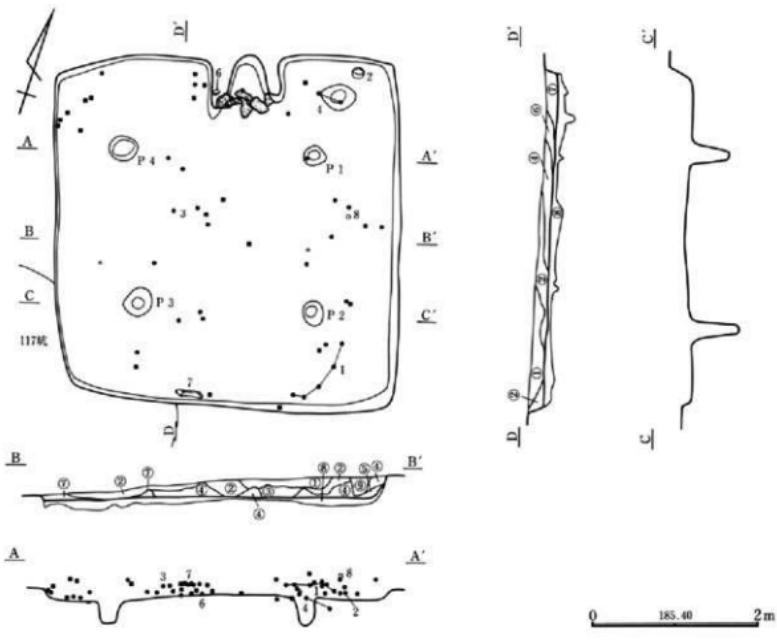
白倉B区94号住居跡



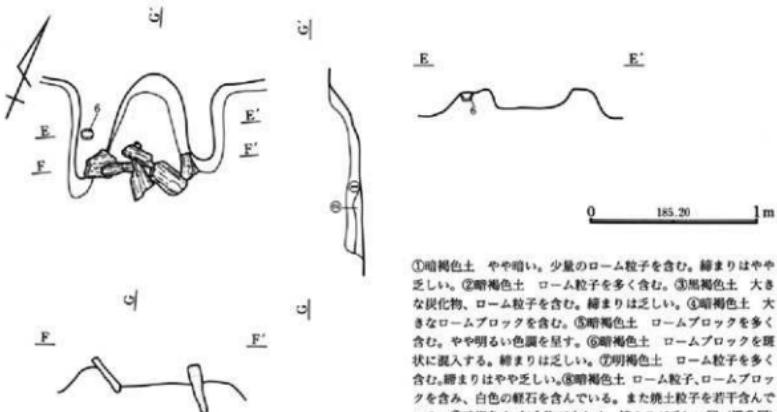
①黒褐色土 白色粒を少量含む。②黒褐色土 多量のローム粒と少量の白色粒、燒土粒を含む。③黒褐色土 ロームブロックを多量に含む。④暗褐色土 白色粒とローム粒を②層より多量に含む。⑤黒褐色土 ローム粒と炭化物を少量含む。⑥黄褐色土 黑褐色土ブロックとロームブロックを含む。⑦黒褐色土 ⑧暗褐色土 黄褐色土粒を含み、縛まり弱い。柱底。⑨褐色土 褐色土の混土 黑褐色土ブロックを含み、縛まり強い。⑩暗褐色土 黄褐色土粒を多量に含む。縛まり弱い。⑪明褐色土 ローム粒・燒土粒を少量含む。⑫暗褐色土 ローム粒・灰色粘土粒を含む。⑬黒褐色土 やや多量の燒土ブロック・粘土ブロックと、少量の炭化粒を含む。⑭明褐色土 烧土ブロック・粘土ブロックを含む。⑮暗褐色土 ローム粒、黑色土ブロックを少量含む。⑯赤褐色土 燃土を含む。⑰暗黄褐色土 烧土粒を多量に含む。⑱暗褐色土 黄褐色土・粘土粒・焼土粒を少量含む。⑲黄褐色土 烧土粒・粘土粒を少量含む。⑳黄褐色土 褐色土の混土 縛まり強い。貼床。㉑暗褐色土 烧土粒・炭化物を少量含む。㉒黒褐色土 黄褐色土粒を少量含む。㉓黄褐色土 黑褐色土粒を少量含む。㉔淡褐色土 烧土粒を少量含む。粘性あり。

図112

白倉C区2号住居跡



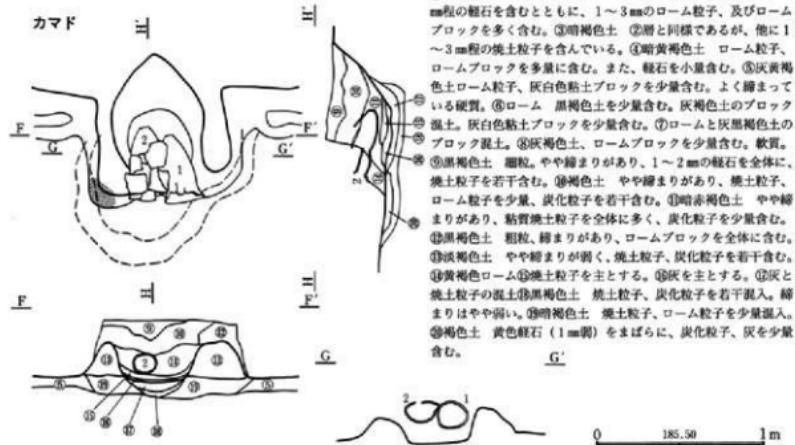
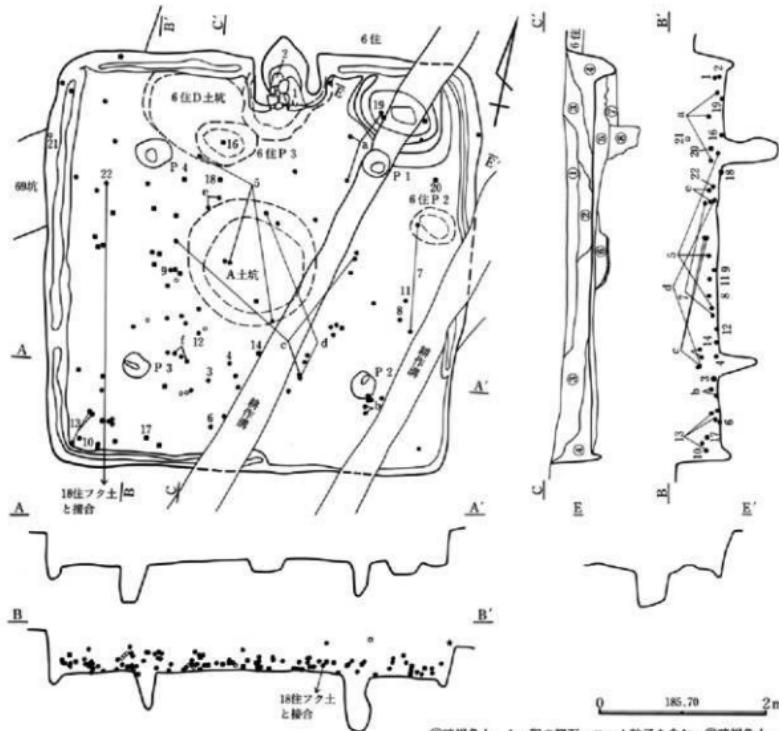
カマド



(1)暗褐色土 やや暗い。少量のローム粒子を含む。締まりはやや乏しい。(2)暗褐色土 ローム粒子を多く含む。(3)暗褐色土 大きな炭化物、ローム粒子を含む。締まりは乏しい。(4)暗褐色土 大きなロームブロックを含む。(5)暗褐色土 ロームブロックを多く含む。やや明るい色調を呈す。(6)暗褐色土 ロームブロックを斑状に混入する。締まりは乏しい。(7)明褐色土 ローム粒子を多く含む。締まりはやや乏しい。(8)暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを含み、白色の軽石を含んでいる。また桃土粒子を若干含んでいる。(9)暗褐色土 包含物が少なく、締まりが乏しい層(漂瓦層)

図113

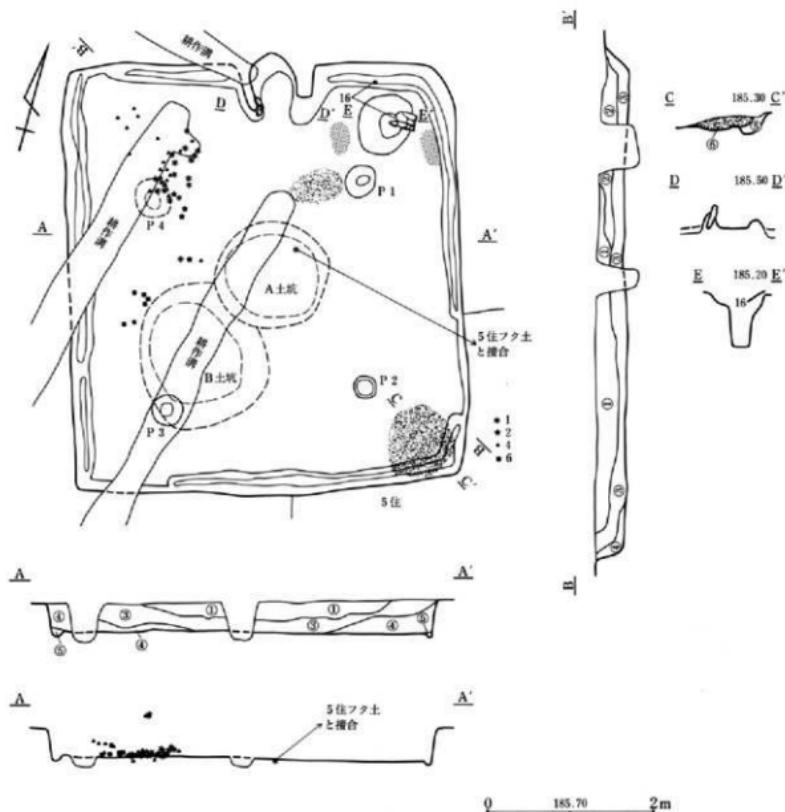
白倉C区3号住居跡



①暗褐色土 1mm程の粗石、ローム粒子を含む。②暗褐色土 1mm程の粗石を含むとともに、1~3mmのローム粒子、及びロームブロックを多く含む。③暗褐色土 ②層と同様であるが、他に1~3mm程の焼土粒子を含んでいる。④暗黄褐色土 ローム粒子、ロームブロックを多量に含む。また、粗石を小量含む。⑤灰黄褐色土ローム粒子、灰白色粘土ブロックを少量含む。よく縛まっている硬質。⑥ローム 灰褐色土を少量含む。灰褐色土のブロックを混じる。灰褐色粘土ブロックを少量化する。軟質。⑦白色粘土ブロックを少量化する。⑧ロームと灰黒褐色土のブロックを混じる。⑨灰褐色土、ロームブロックを少量化する。軟質。⑩暗褐色土、細粒。やや縛まりがあり、1~2mmの粗石を全体に、焼土粒子を若干含む。⑪暗褐色土、やや縛まりがあり、焼土粒子、ローム粒子を少量、炭化粒子を若干含む。⑫暗褐色土、やや縛まりがあり、ロームブロックを全体に含む。⑬灰褐色土、やや縛まりがあり、焼土粒子、炭化粒子を若干含む。⑭暗褐色ローム ⑮焼土粒子を主とする。⑯灰を主とする。⑰灰と焼土粒子の混土 ⑱灰褐色土 焼土粒子、炭化粒子を若干混入。縛まりはやや弱い。⑲暗褐色土 焼土粒子、ローム粒子を少量混入。⑳褐色土 黄色粗石 (1mm程) をまばらに。炭化粒子、灰を少量含む。

図114

白倉C区4号住居跡



①暗黒褐色土 やや粗粒。締まりが強く、2mm程の軽石を全体に含む。
 ②暗褐色土 やや粗粒。5mm程のロームブロック、黒褐色土のブロック（こぶし大）を全体に含む。
 ③暗褐色土 1~2mmの軽石を少量、2~5mmのロームブロックを全体に含む。
 ④黒褐色土

細粒。やや締まりがあり、ロームブロックを若干含む。
 ⑤暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを多く含む。周溝内堆積土層である。
 ⑥灰褐色粘土。

図115

白倉C区4号住居跡

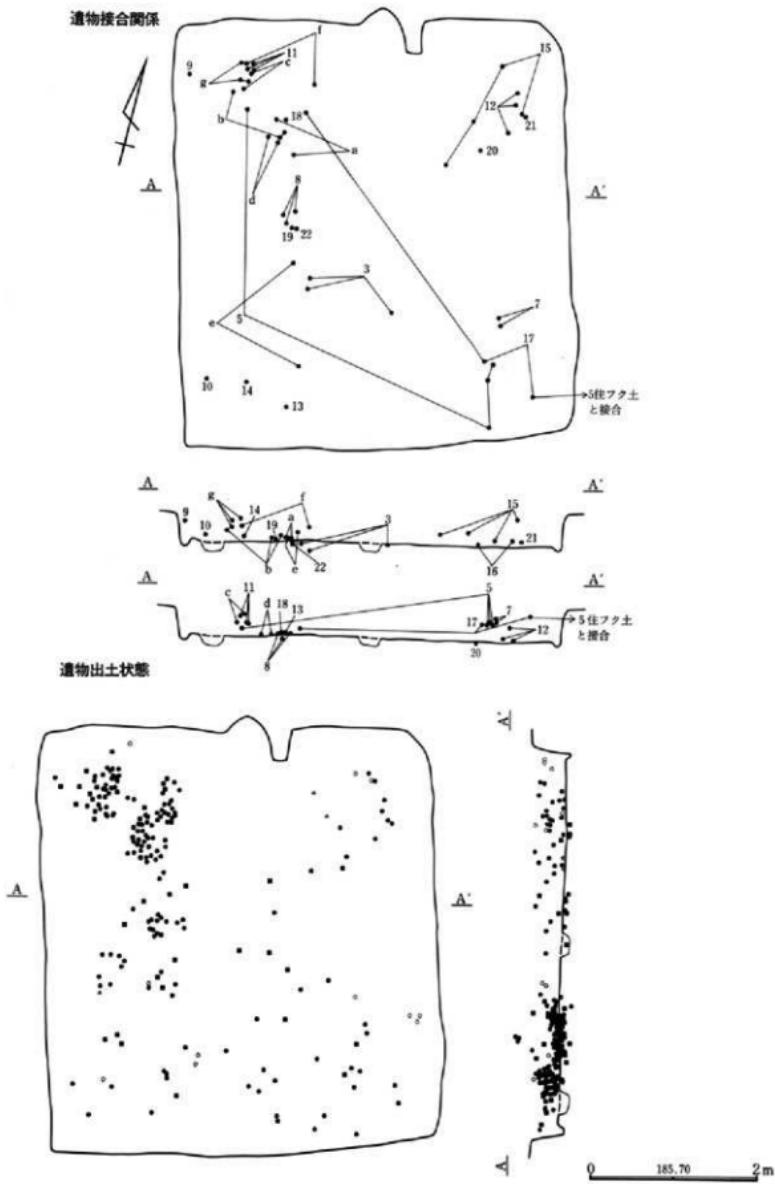
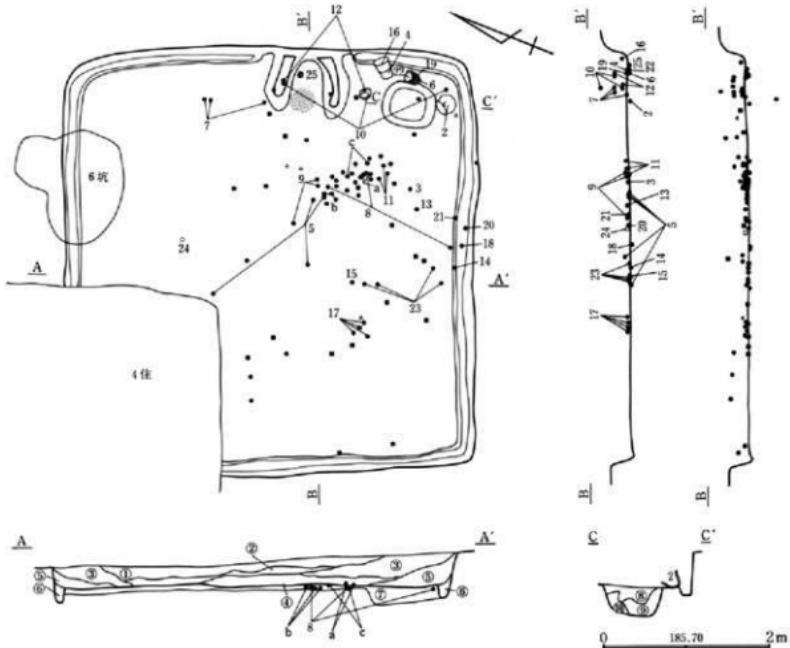
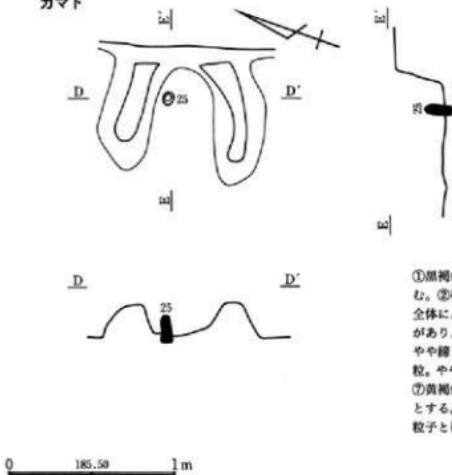


図116

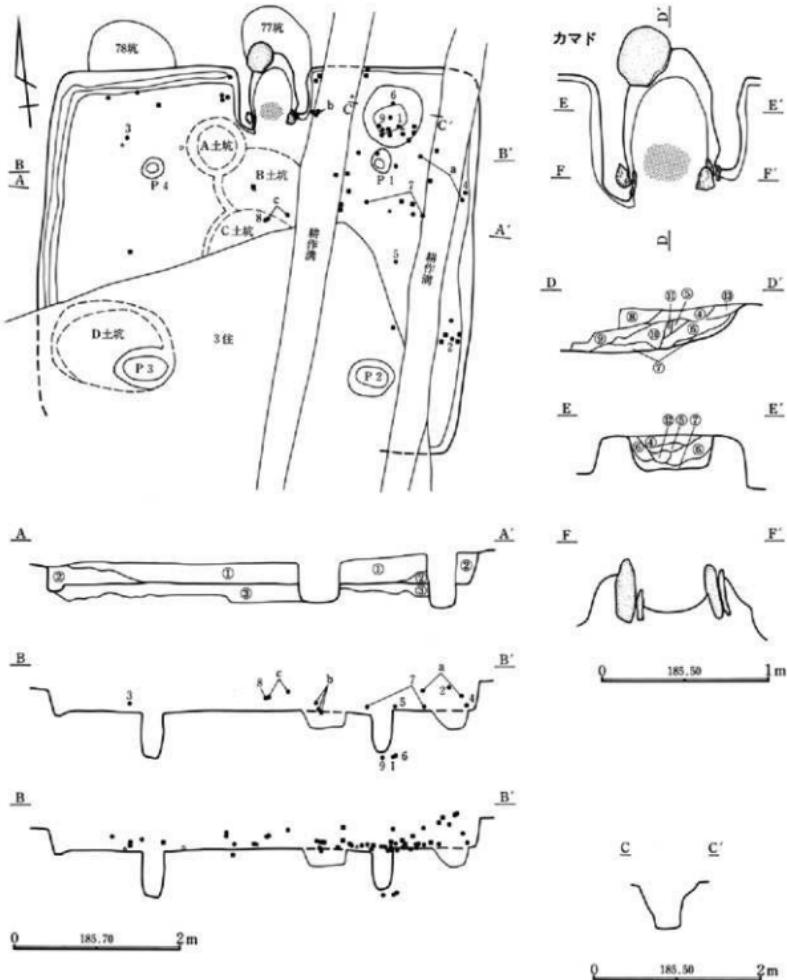
白倉C区5号住居跡



カマド



- ①黒褐色土 やや粗粒。締まりが強く、2~3mmの軽石を少量含む。
- ②赤褐色土 粗粒。締まりがあり、5mm程のロームブロックを全体に、ローム粒子も多く混入する。
- ③暗褐色土 粗粒。締まりがあり、5mm程の軽石、ロームブロックを全体に含む。
- ④褐色土 やや締まりが弱く、ローム粒子が全体に多く混入。
- ⑤褐色土 細粒。やや締まりが弱く、ローム粒子が全体に混入。
- ⑥凹溝の土層。
- ⑦黄褐色土 ローム粒子の間に褐色土が若干混入。
- ⑧褐色土を主とする。褐色土にローム粒子、黑色土粒子を混じる。
- ⑨ローム粒子と褐色土の混土。



①褐色土にロームブロック、黒色土ブロックを含む。埋土の可能性あり。黒色土を主とし、褐色土、ローム粒子を少量含む。②褐色土を主とする。③黄褐色土 ロームブロック、ローム粒子を中心とする。④淡褐色土 粗粒。縛まりが強く、焼土粒子を少量含む。やや粘質。⑤褐色土 縛まりが強く、やや粘質。焼土粒子を全体に含む。⑥淡褐色土 縛まりが強く、炭化粒子、焼土粒子を全体に含む。⑦暗赤褐色土 やや粘質。焼土粒子を全体に含む。⑧暗

褐色土 縛まりが強く、1~2mmの黄色軽石を全体に、焼土粒子を若干含む。⑨暗褐色土 縛まりが強く、3mm程度の焼土粒子を全体に、炭化粒子を少量含む。⑩赤褐色土 烧土粒子の塊。⑪暗褐色土 縛まりが強く、やや粘質。焼土粒子を若干含む。⑫淡褐色土 縛まりがあり、炭化粒子を全体に、焼土粒子も若干含む。⑬淡褐色土 縛まりがあり、1~2mmの軽石を全体に含む。焼土粒子も少量含む。

图118

白倉C区11号住居跡

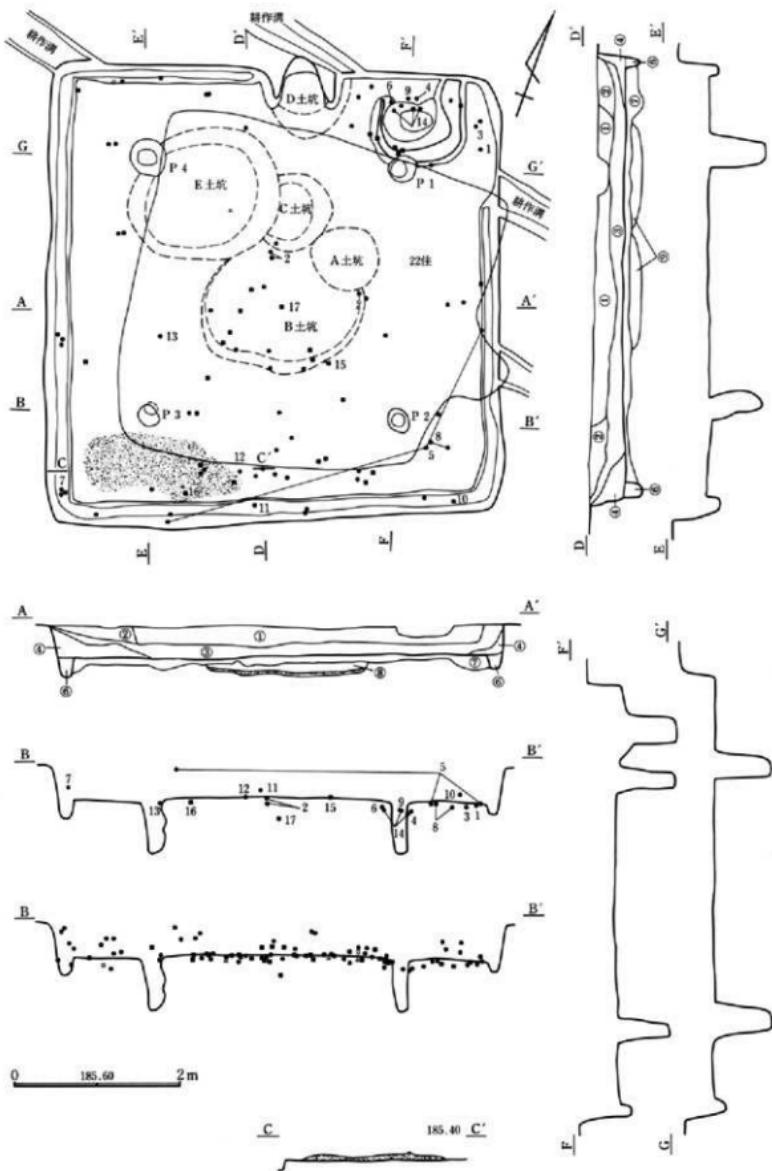
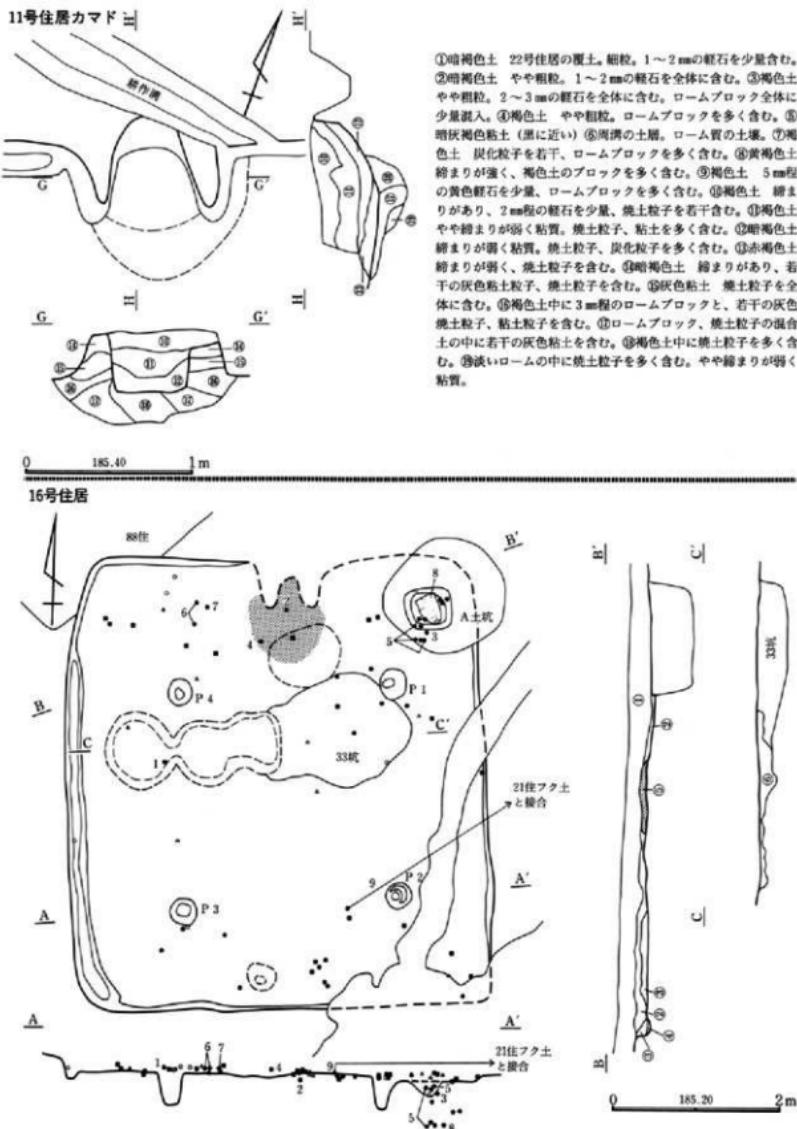


図119

白倉C区11号・16号住居跡

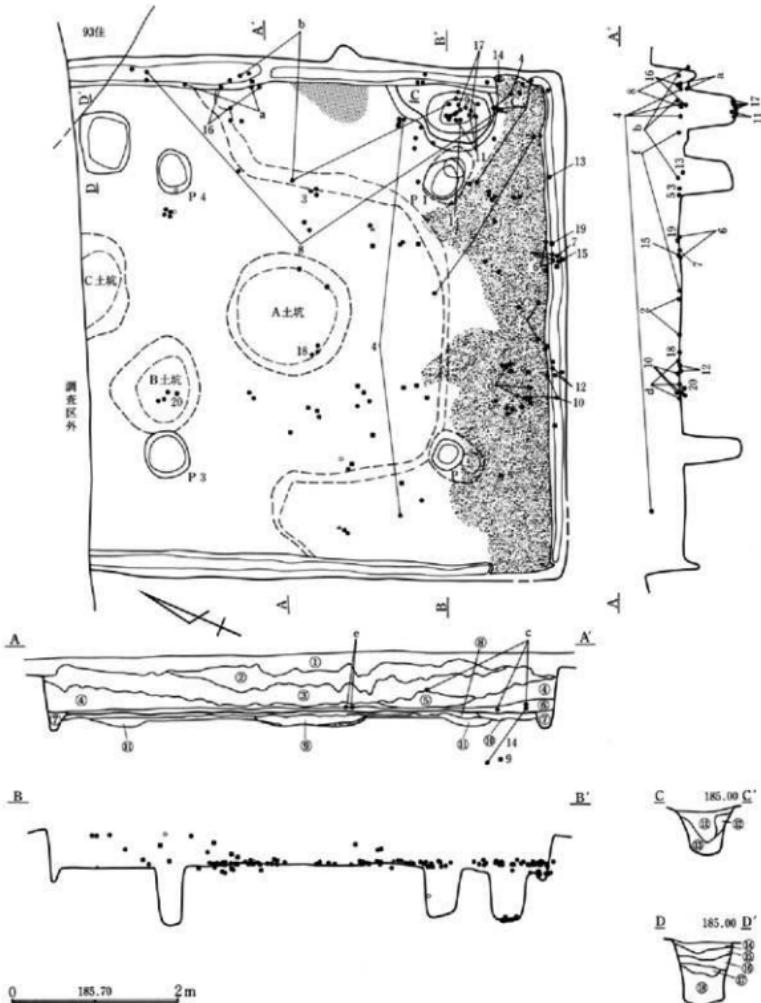


①表土層②暗褐色土 1~5mm大のローム粒子と、軽石を多く含む。
 ③暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを多量に含む。

また、塗化粒子を含む。④周溝の覆土⑤暗褐色土 焼土粒子を多量に含む。⑥褐色土 ロームブロックを含む。

図120

白倉C区12号住居跡



①表土 ②褐色土 ローム粒子を多量に含む。③褐色土 ローム粒子。ロームブロック、黒色土ブロックを多量に含む。④浅い褐色土 ロームブロック、黒色土ブロックを多量に含む。⑤浅い褐色土 ロームブロック、黒色土ブロックを少量含む。⑥褐色土 ロームブロックを若干含む。⑦褐色土 やや締まりが弱く、ロームブロックを全体に含む。⑧黄褐色土 締まりがあり、褐色土のブロックを全体に含む。⑨黄褐色土 ロームに灰色粘土ブロック、B、P粒子を少量含む。⑩灰色粘土 ⑪暗褐色土 1~3mmの大ローム粒

子、ロームブロック(1cm大)を多く含み、白色粘土粒子を含む。また若干の炭化粒子を含む。締まりは弱い。⑫暗黃褐色土 ロームブロックにより構成される。⑬暗灰褐色土 ローム粒子を含むとともに、白色粘土粒子を多量に含む。粘性は強い。⑭暗褐色土にローム粒子、焼土粒子を含み、堅く締まる。⑮黒褐色土 ロームブロックに暗褐色土を含む。⑯暗褐色土に黒褐色土、ロームブロックを含む。⑰灰色粘土にローム粒子、黒褐色土を含む。

图121

白倉C区13号住居跡

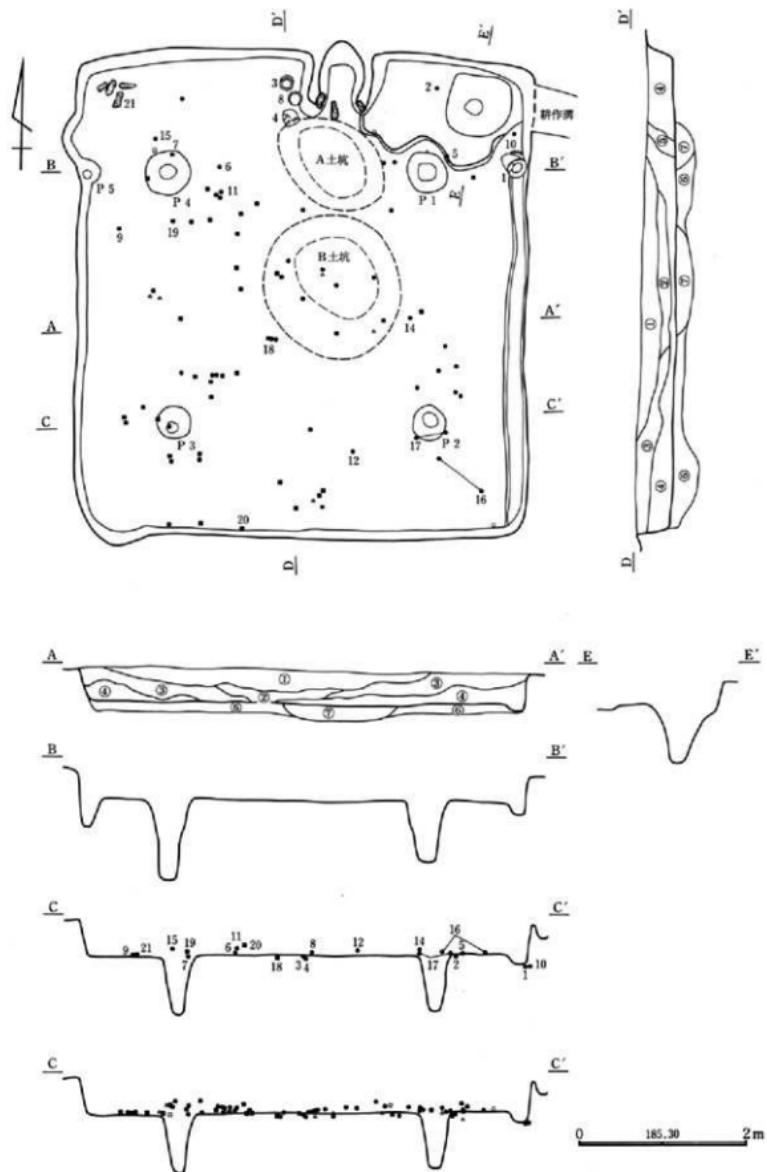
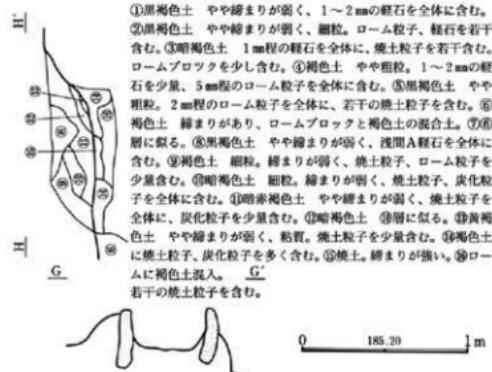
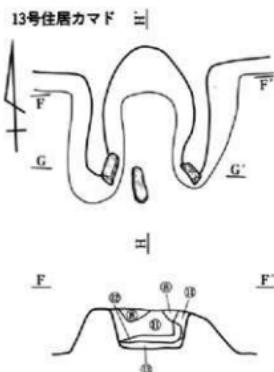


図122



21号住居

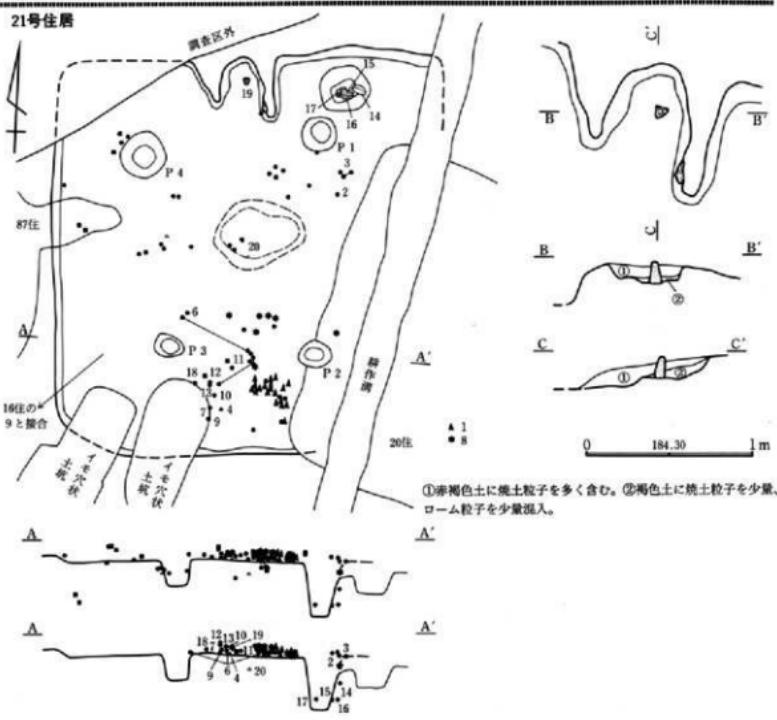
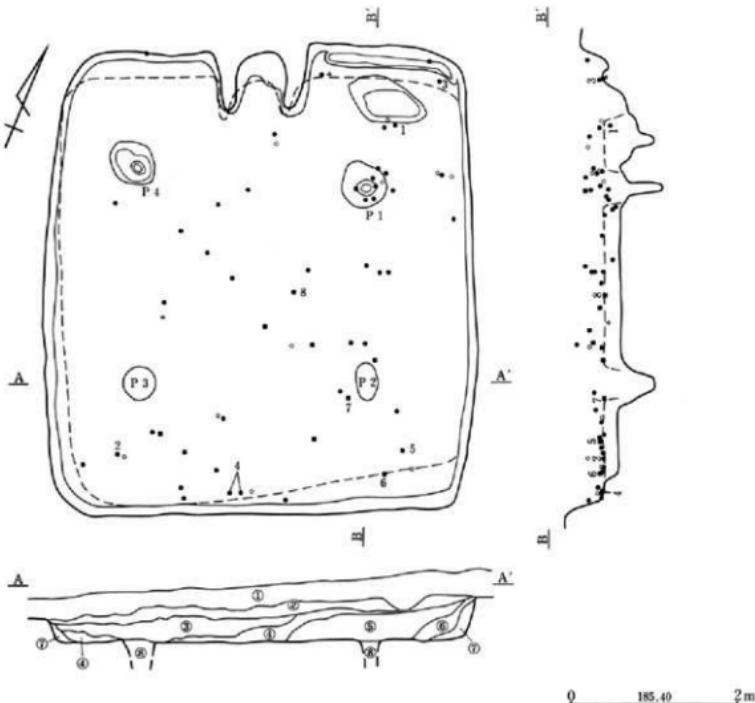


図123

白倉C区15号A住居跡



カマド

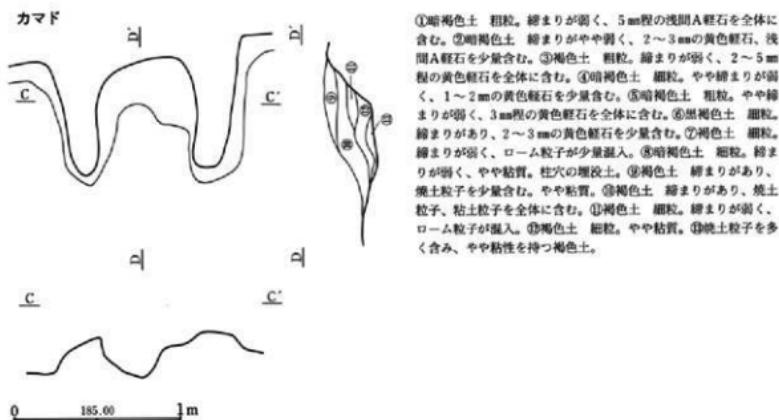


図124

白倉C区15号B住居跡

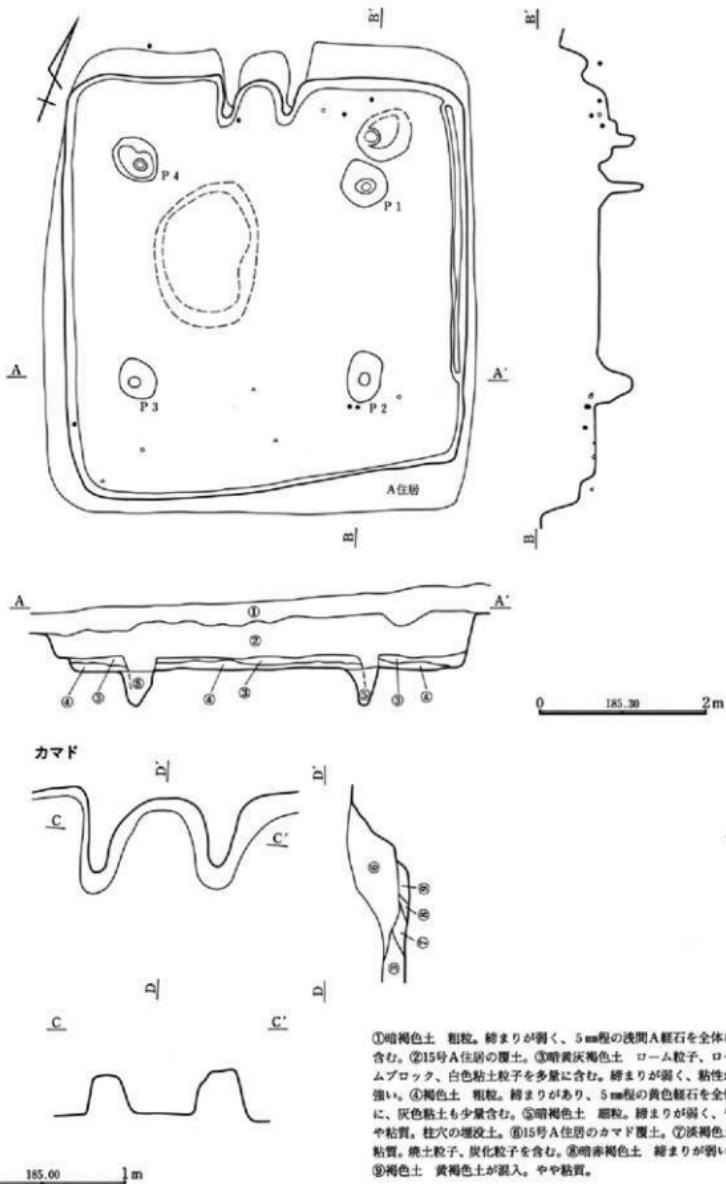
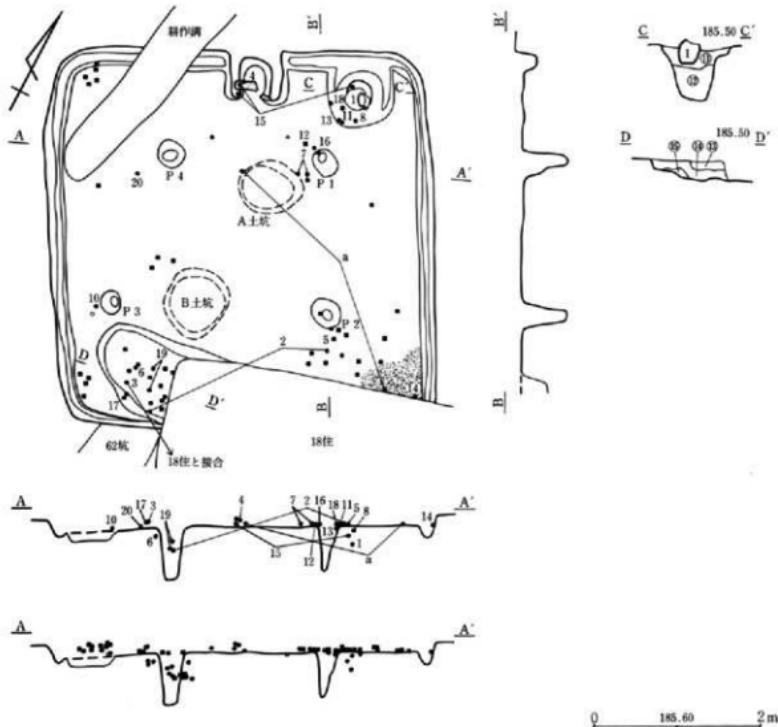
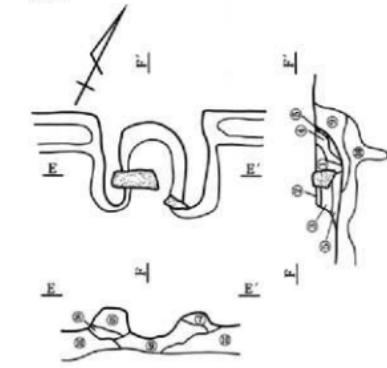


図125

白倉C区17号住居跡



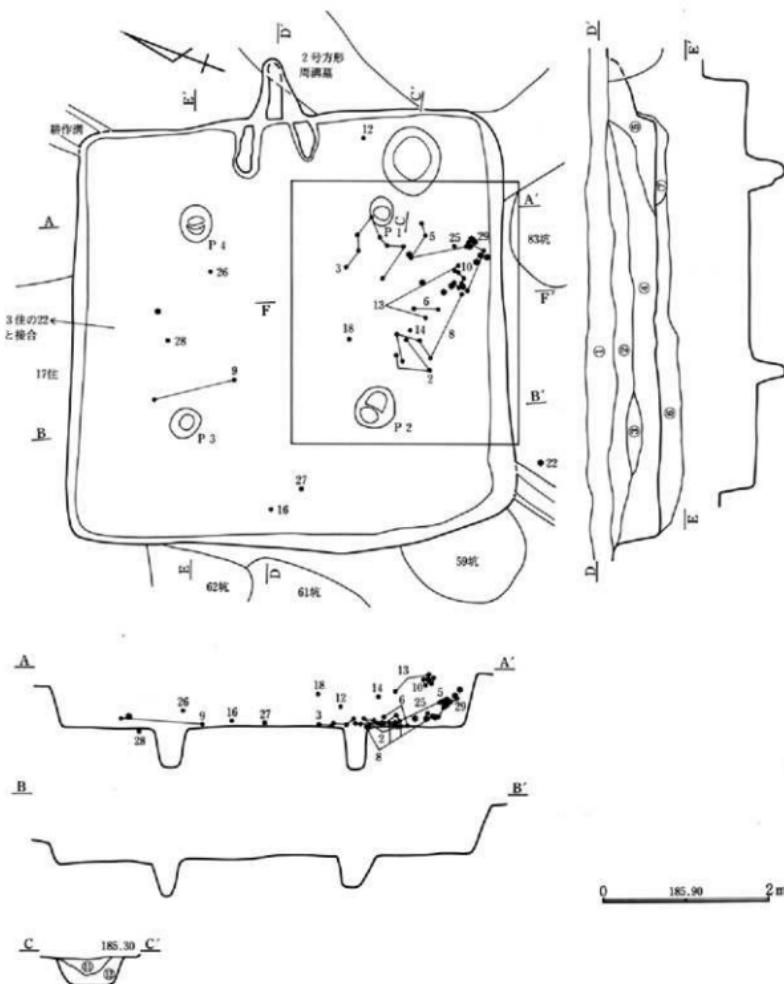
カマド



①複層A 粘石を含む土層。②褐色土③焼土粒子を主とする。④焼土粒子と灰からなる。⑤灰を主とする。カマド底面にあたる。⑥暗赤褐色土 烧土ブロック(1cm大)、焼土粒子を多量に含む。⑦灰褐色土 ローム粒子を多量に含み、粘土粒子を含む。また焼土粒子を若干含む。⑧暗灰褐色土 粘土粒子からなる。締まり、粘性は強い。⑨暗褐色土 ローム粒子を含む。⑩灰褐色土 ローム粒子、粘土粒子を少量含む。⑪暗褐色土を主とする。⑫黄褐色土を主とする。⑬褐色土 磨粒。締まりがやや弱く、1~2mmの粗石を少量含む。⑭暗褐色土 炭化粒子を若干、黄褐色土のブロックを含む。⑮黄褐色ローム やや粘性を持つ。

図126

白倉C区18号住居跡



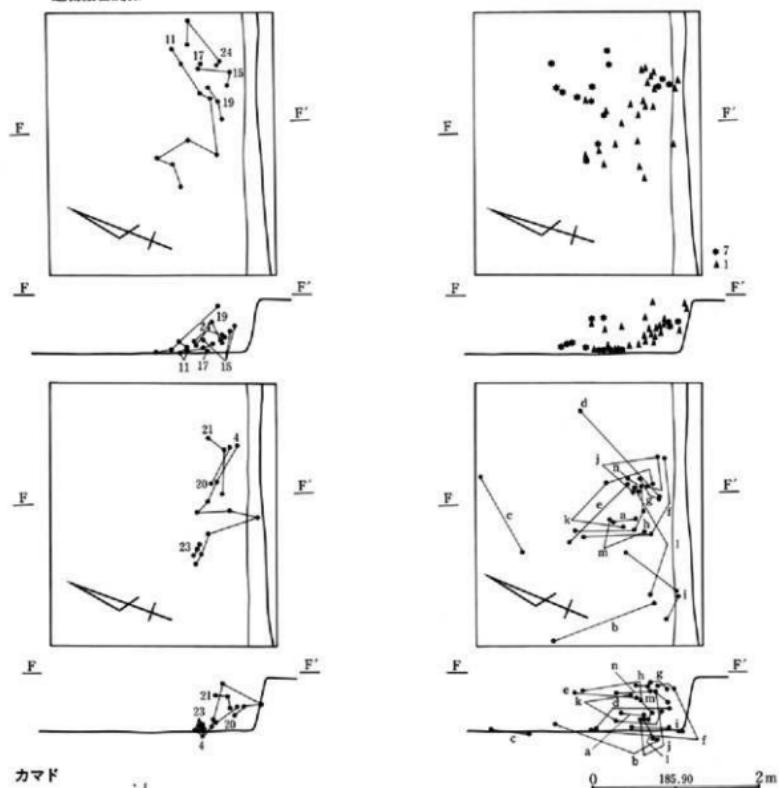
①暗褐色土 粗粒。5mm程の浅間A粗石を全体に含む。表土層。
耕作土。②暗褐色土 やや粗粒。2~3mmの砾石を全体に含む。
褐色土のブロック。③暗褐色土 やや粗粒。3mm程の粗石を全体に、焼土粒子を少量含む。④暗褐色土 緩まりがあり、2~3mmの粗石を少量含む。⑤カマド覆土⑥掘り方の土層⑦カマド掘り方の土層。暗褐色土。焼土粒子、ローム粒子を含む。⑧暗褐色土 粗

粒。緩まりがやや弱く、2~3mmの粗石を全体に、焼土粒子を若干含む。⑨淡褐色土 緩まりがやや強く、粘質。若干の焼土粒子を含む。⑩暗赤褐色土 緩まりがやや弱く、焼土粒子を全体に含む。⑪褐色土 やや緩まりがあり、5mm程のB, P粒子らしき粗石を少量、褐色土のブロックを含む。⑫褐色土 緩まりがやや強く、3~5mmのB, P粒子らしき粗石を全体に含む。やや粘質。

図127

白倉C区18号住居跡

遺物接合関係



カマド

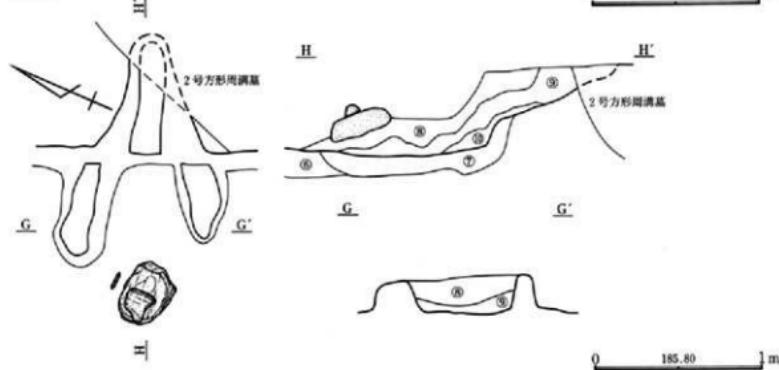
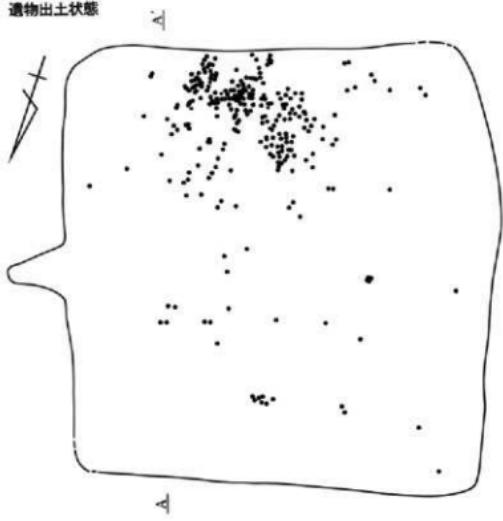
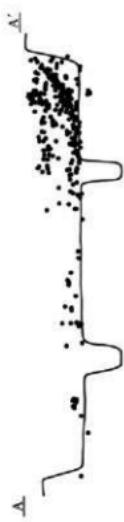


図128

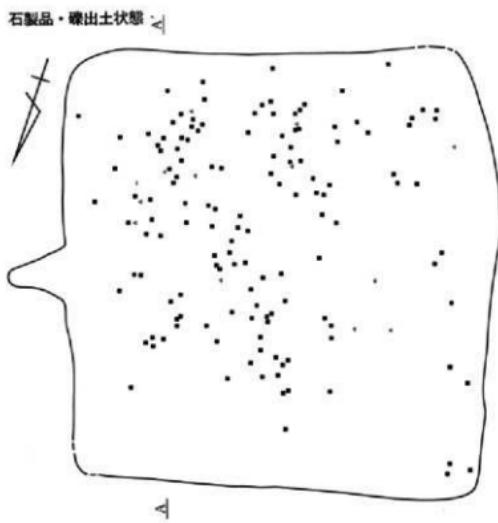
遺物出土状態



白倉C区18号住居跡



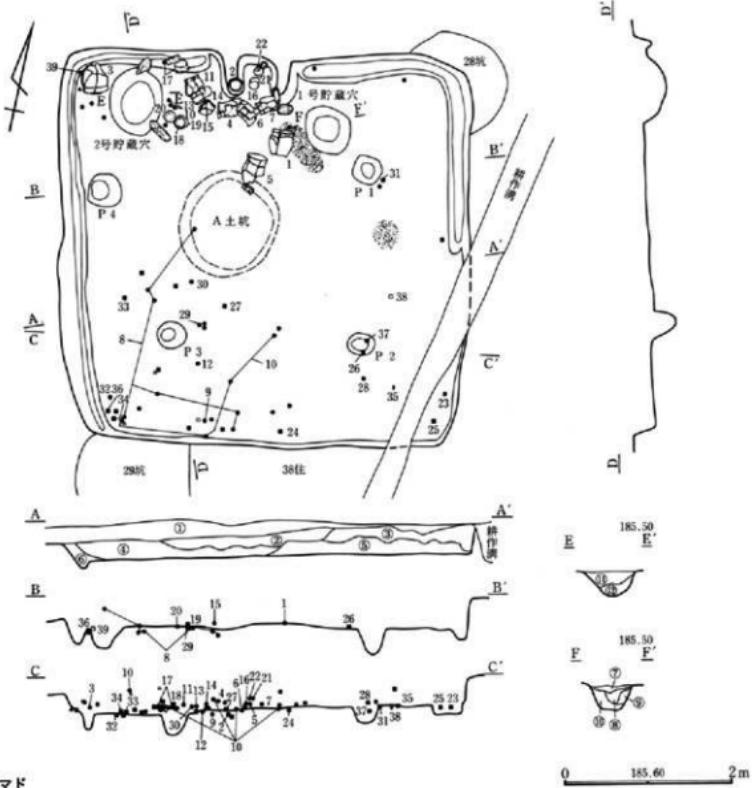
石製品・縄出土状態



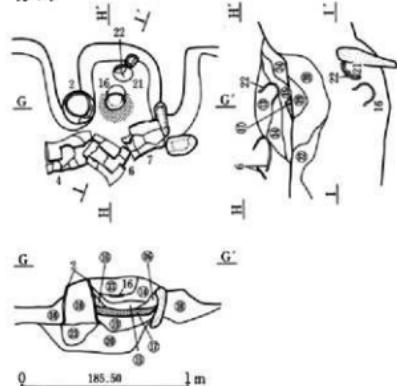
0 185.90 2m

図129

白倉C区19号住居跡



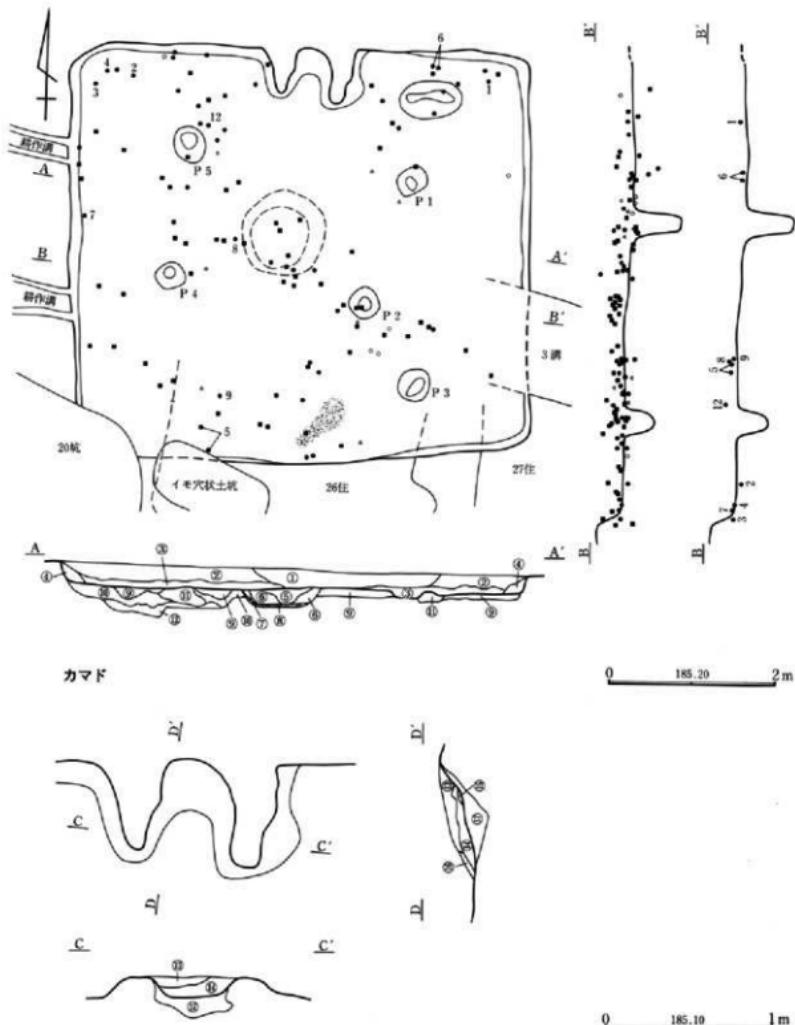
カマド



①浅間A軽石を多く含む。耕作土。②黒褐色土でやや粘質。③暗褐色土で粒子が細かい。④黒褐色土に暗褐色土を混じる。⑤⑥層に近い。⑦暗褐色土灰色粘土、焼土粒子を全体に、炭化粒子を少量含む。⑧褐色土 やや粘質。焼土粒子。黄褐色土に少量含む。⑨褐色土 やや粘質。ロームブロックを全体に、焼土粒子を少量含む。⑩暗褐色土 細粒。やや締まりが弱く、2~3mmの黄色軽石を少量含む。⑪暗褐色土 細粒。やや締まりが弱く、粘質。2~3mmの黄色軽石を全体に含む。⑫褐色土 烧土粒子、灰色粘土を全体に含む。⑬暗褐色土 締まりがあり、焼土粒子を少量、灰色粘土のブロックを全体に含む。⑭褐色土 細粒。締まりが弱く、粘質。焼土粒子を全体に含む。⑮褐色土 烧土粒子を多く含む。やや粘質。⑯赤褐色土 烧土粒子の塊。ガサガサしている。⑰灰色土 締まりがあり、焼土粒子、炭化粒子を少量含む。やや粘質。⑱ロームに焼土ブロック、灰色粘土ブロックを含む。やや粘質。暗褐色土にロームブロック、暗褐色土のブロックを含む。⑲暗褐色土に少量の灰色粘土ブロック、焼土粒子を含む。⑳暗褐色土 細粒。締まりが弱く、若干の焼土粒子を含む。

図130

白倉C区25号住居跡

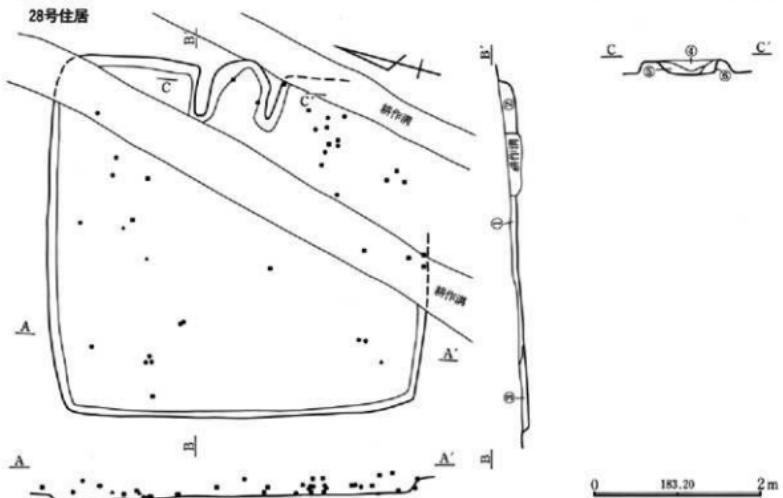


①暗褐色土 やや縁まりが弱く、2~3mmの軽石を少量含む。②褐色土 やや縁まりが弱く、1~2mmの軽石を少量含む。③褐色土 2mm程の軽石を少量、ロームブロックを含む。④褐色土の中にはロームブロックが既に混入。⑤褐色土 ロームブロック、ローム粒子を多く含む。また、粘土を若干含む。⑥褐色土 ⑤層と同じであるが、縁まりが強い。⑦褐色土 ローム粒子、軽石を少量含む。⑧灰褐色土 粘土⑨暗褐色土 ロームブロックからなる。

⑩暗褐色土 ローム粒子を少量含む。縁まりが弱い。⑪褐色土 粗いローム粒子を多く含む。⑫黄褐色土 粘土がぬみ状に混入するローム。⑬赤褐褐色土 粘土より成るが、焼土粒子を含んでいる。⑭赤褐褐色土 粘土、焼土ブロックより成る。⑮灰褐色土 粘土によって構成される。⑯暗灰褐色土 粘土ブロック、焼土粒子、炭化粒子を含む。⑰赤褐色土 焼土

図131

白倉C区28号・37号住居跡



①褐色土 緒まりがあり、焼土粒子、炭化粒子を少量含む。②暗褐色土 やや粘質。淡褐色粘土のブロックを少量含む。③淡褐色土 褐色粘土のブロックを多く含む。粘質。④黒褐色土 緒まり

があり、若干の焼土粒子を含む。⑤淡褐色土 粘質。焼土粒子を全体に含む。⑥褐色土 緒まりがあり、粘質。褐色の粘土ブロックを含む。

0 183.20 2m

0 186.00 2m

图132

白倉C区33号住居跡

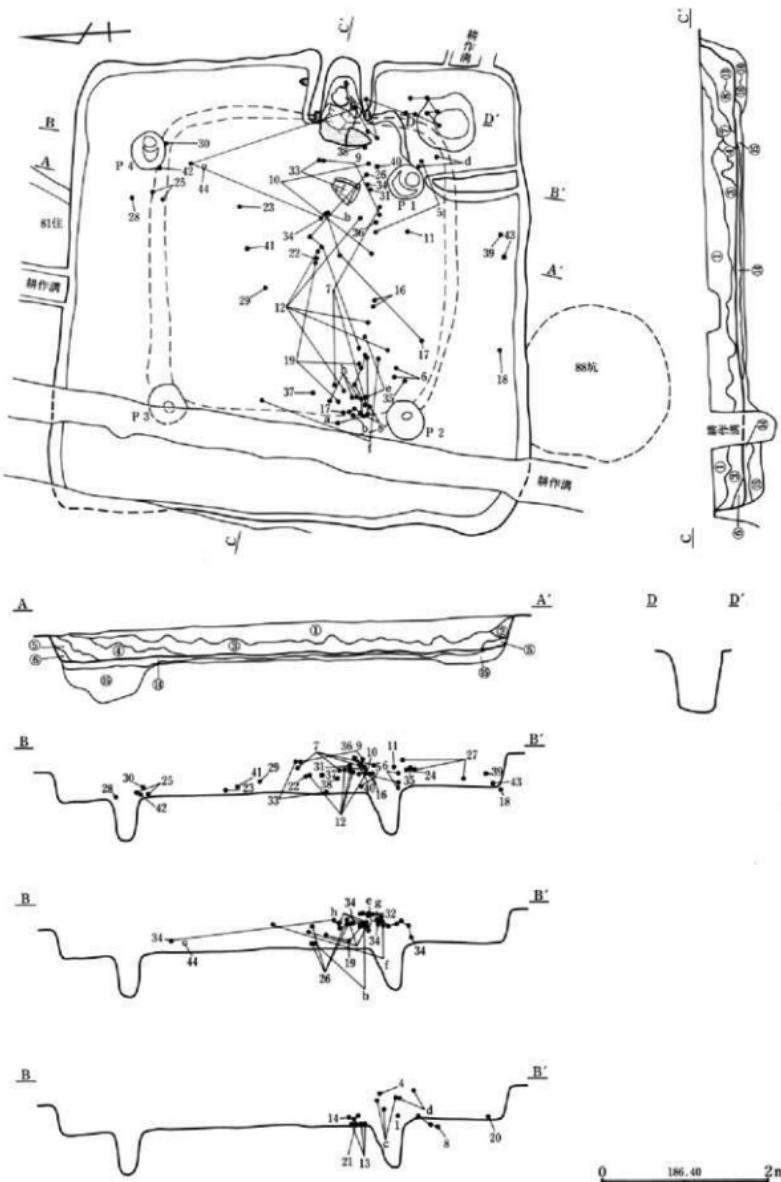
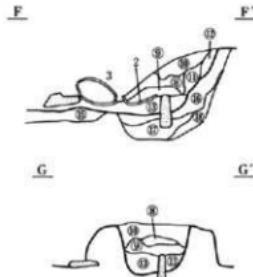
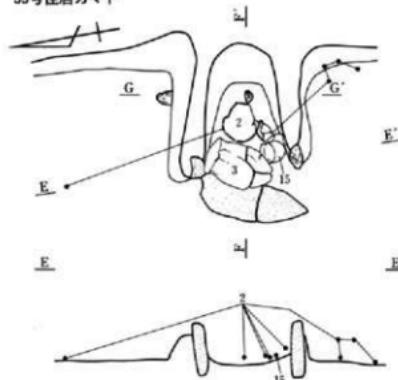


図133

白倉C区33号・58号住居跡

33号住居カマド

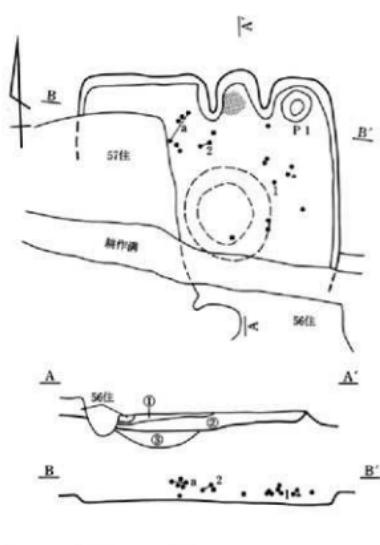


0 186.40 1m

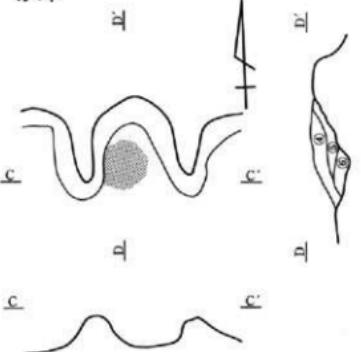
①暗褐色土 1~2 mmの大粒のローム粒子、軽石を多く含む。
 ②褐色土 ローム粒子を多量に含むとともに、それがブロック状に存在する。③褐色土 1 mm大のローム粒子、軽石を含む。また、炭化粒子、焼成材を床面近くに含んでいる。④褐色土 ⑤崩より明るい 1 mm大のローム粒子、軽石を多く含んでいる。⑥暗褐色土褐色土と暗色の強い暗褐色土によって構成される。また、ローム粒子を多く含んでいる。⑦暗褐色土 ローム粒子を多量に含ん

でいる。⑧褐色土 ⑨崩に似る。⑩褐色土 やや細まりが弱く、やや粘質。燒土粒子を全体に含む。⑪褐色土 やや細まりがあり、粘質。燒土粒子を全体に含む。⑫褐色土 やや細まりがあり、ローム粒子を多く含む。⑬褐色土 やや細まりが弱く、黄褐色土が混入。⑭褐色土に2 mm程の軽石を含み、燒土粒子を全体に、ローム粒子を少量含む。⑮暗褐色土 やや粘質。⑯褐色土とローム粒子の混合土。

58号住居



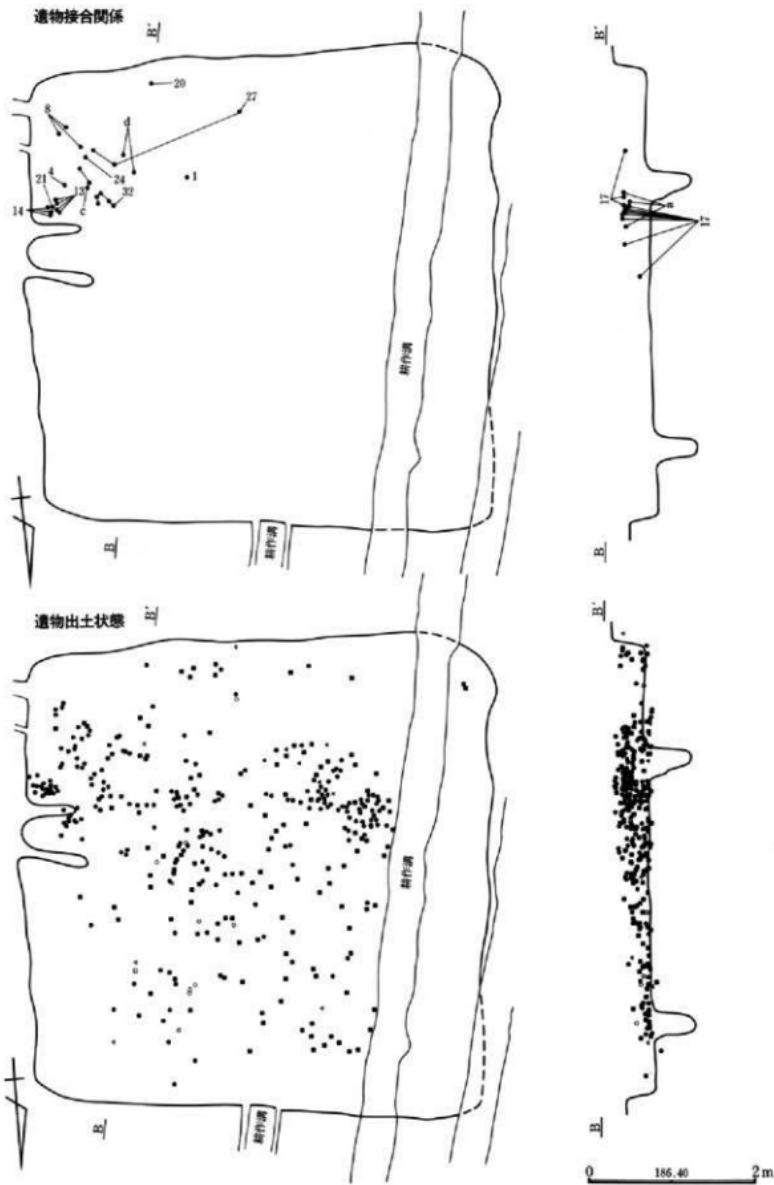
カマド



0 185.30 1m

図134

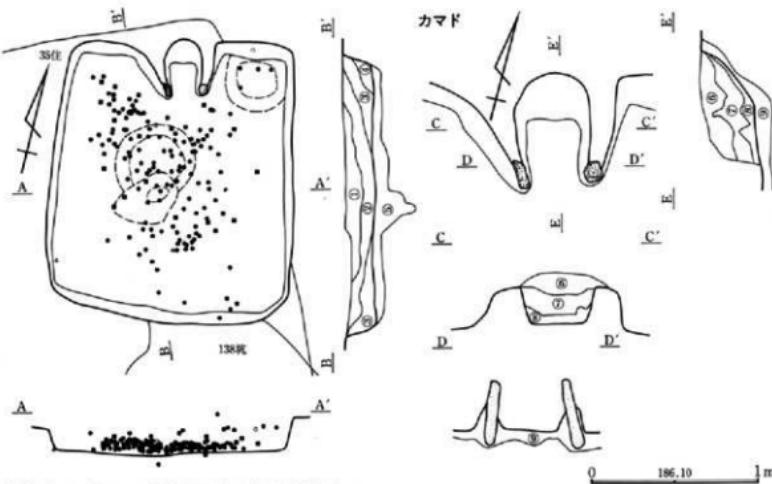
白倉C区33号住居跡



0 186.40 2 m

図135

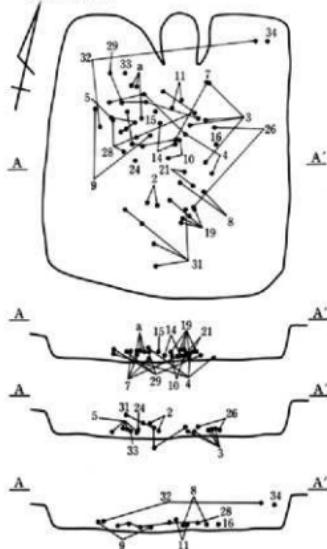
白倉C区36号住居跡



①褐色土 1mmの大ローム粒子、軽石を多く含む。②暗褐色土 1mm以下の微細なローム粒子、軽石を含む。陶器遺物は本層の下半に包含されている。③暗褐色土 ②層と同様であるが、色調は②層より暗色を呈している。また、焼土粒子を少量含んでいる。④暗黄褐色土 ローム粒子、ロームブロックを多量に含む。⑤黄褐色土 褐色土が多く混入。5mm程の黄色軽石を全体に含む。⑥褐色土 やや縮まりがあり、2mm程の軽石を少量、焼土粒子を若干含む。

色土 やや縮まりがあり、2mm程の軽石を少量、焼土粒子を若干含む。⑦暗赤褐色土 やや縮まりが弱く、5mm程の焼土粒子を全体に多く、3~5mmの黄褐色の軽石を少量、炭化粒子も少量含む。⑧暗褐色土 やや縮まりが弱く、焼土粒子、炭化粒子、ローム粒子を少量、若干の灰を含む。⑨暗褐色土 やや縮まりがあり、焼土粒子、ローム粒子を少量含む。

遺物接合関係



遺物接合関係

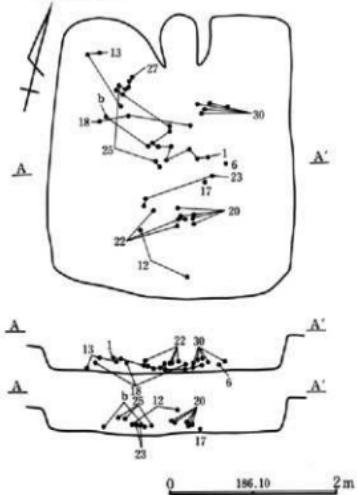
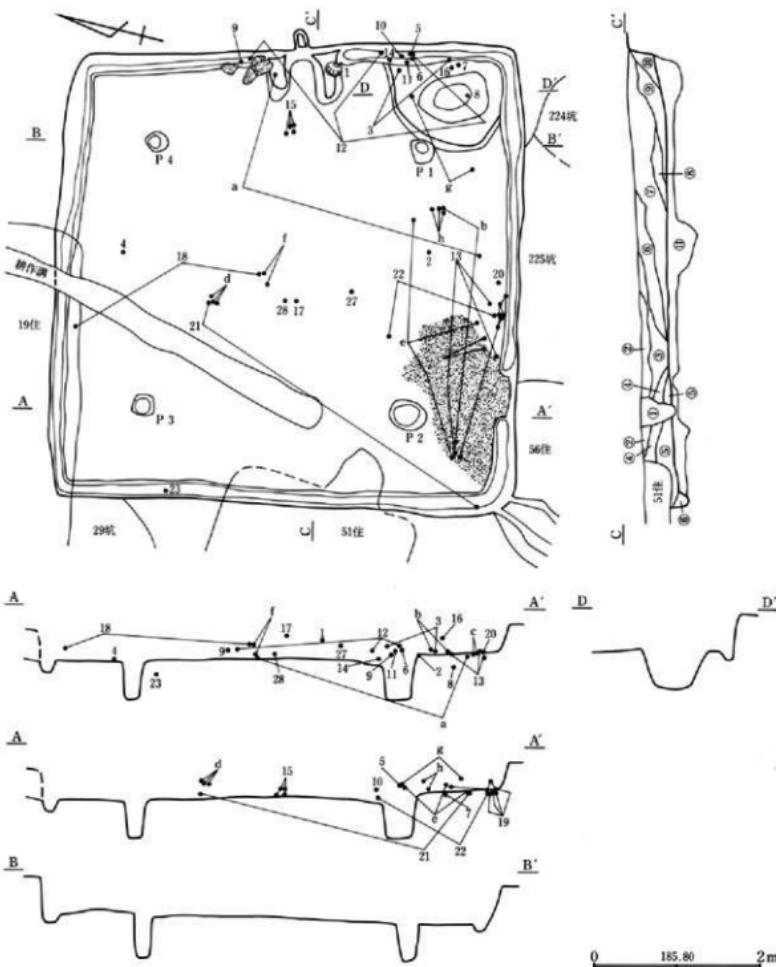


図136

白倉C区38号住居跡

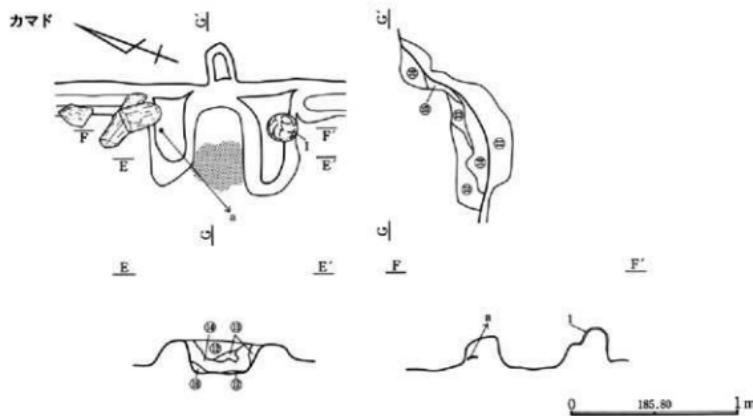


①暗褐色土 粗粒。浅間A軽石を全体に含む。②褐色土 やや粗粒。2~3mmの軽石を全体に含む。③褐色土やや粗粒。3~5mmの軽石を全体に含む。④褐色土 線まりが弱く、黄褐色土が混入。⑤黒褐色土 線まりが弱く、1~2mmの軽石を若干含む。⑥暗褐色土 やや縫まりがあり、2mm程の軽石を全体に、5mm~1cmの黄色軽石をまばらに含む。⑦褐色土 線まりがあり、粗粒。3mm程の黄色軽石を全体に、こぶし大のロームブロックを含む。⑧褐色土 線まりがあり、若干の焼土粒子、炭化粒子を含む。⑨褐色土 やや縫まりが弱く、3mm程の黄色軽石、焼土粒子、炭化粒子

を少量含む。⑩褐色土 やや縫まりが弱く、こぶし大の淡褐色土を含む。⑪暗褐色土 ロームブロック、暗褐色土により、構成される。⑫褐色土 5mm程の黄色軽石を少量、焼土粒子を若干含む。⑬褐色土 やや灰色がかっており、粘性を持つ。⑭淡赤褐色土 縫まりが弱く、灰褐色粘土、焼土粒子の混ざった土。⑮褐色土 やや縫まりが弱く、灰褐色粘土、焼土粒子の混ざった土。⑯褐色土 細粒があり、浅間A軽石を少量含む。⑰赤褐色土 烧土粒子の塊。⑱褐色土 縫まりが弱く、粘質。燒土粒子を少量含む。

図137

白倉C区38号住居跡



遺物出土状態

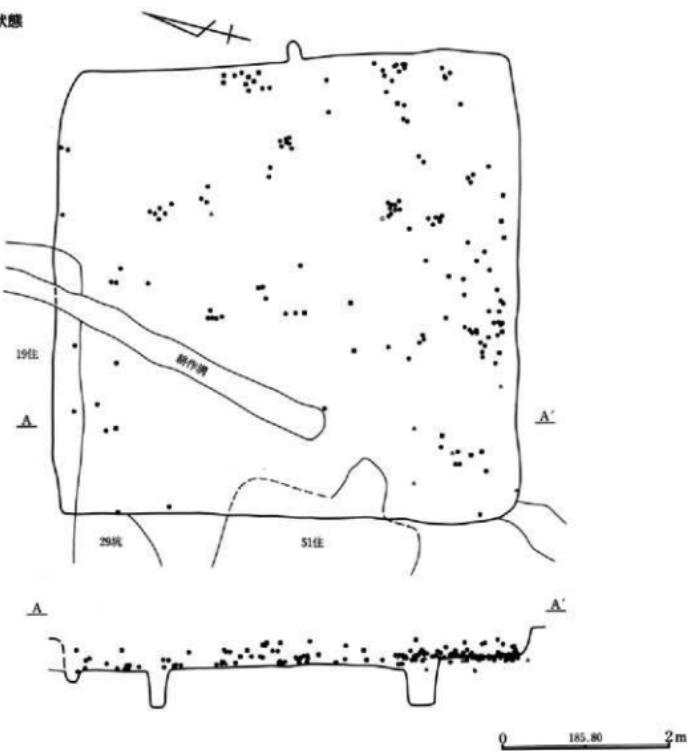
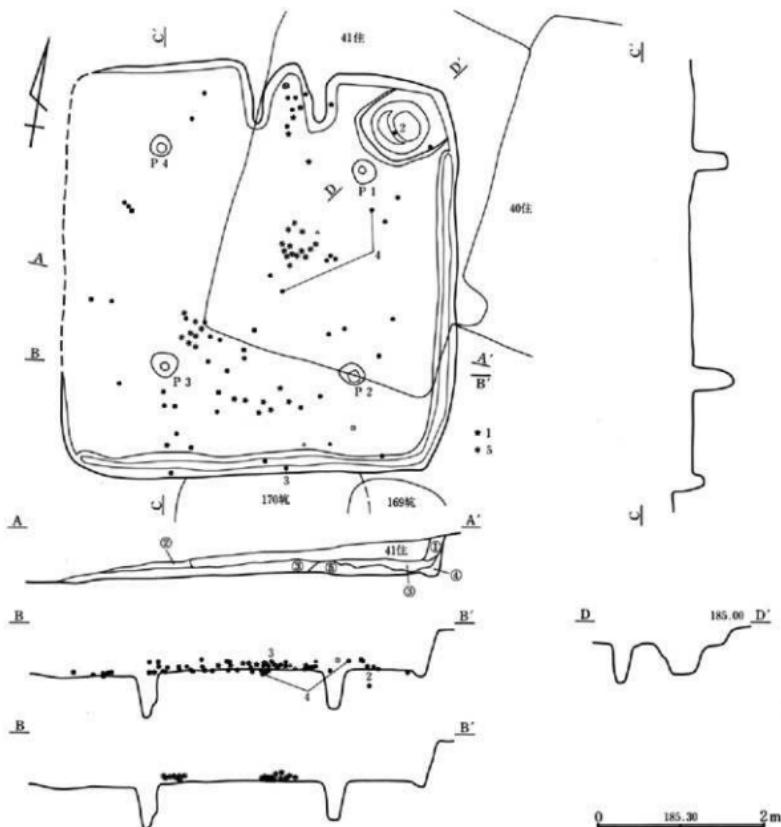
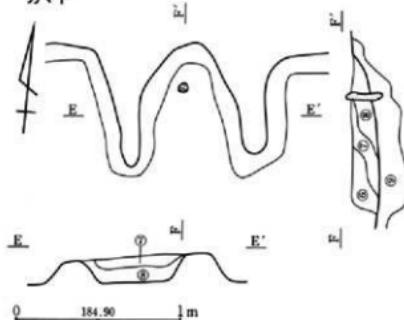


図138

白倉C区42号住居跡



カマド

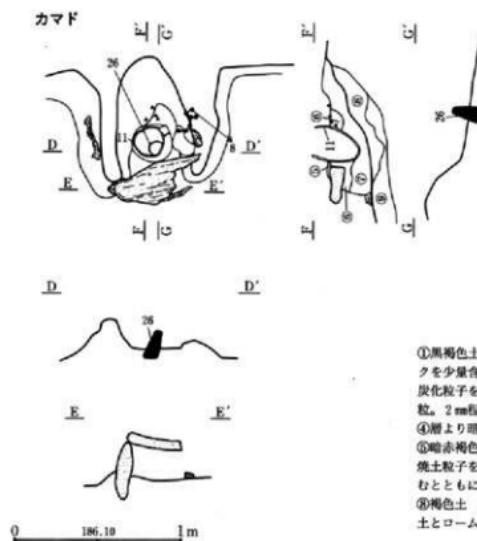
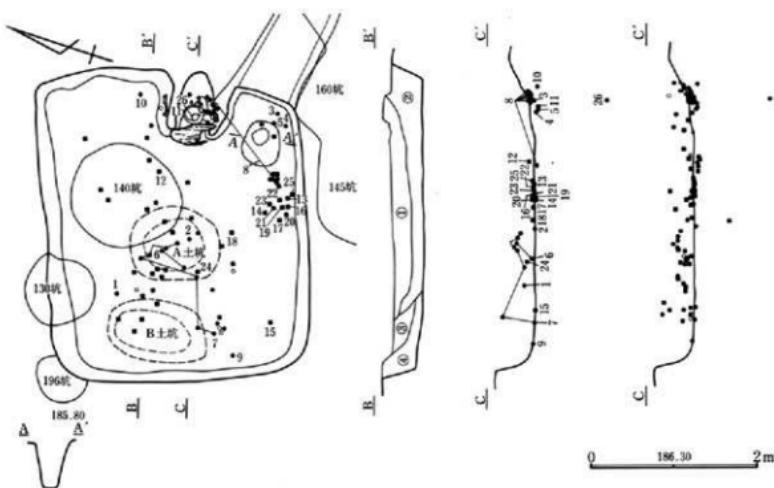


①褐色土 やや縫まりがあり、こぶし大のロームブロックを含む。
 ②褐色土 やや縫まりがあり、1~2 mmの軽石を若干含む。③褐色土 粗粒。やや縫まりがあり、5~1 cm大のロームブロックを含む。④褐色土 粗粒。縫まりが弱く、ロームが混入。⑤褐色土 3 mm程のロームブロックを全体に含む。⑥暗褐色土 縫まりがあり、焼土粒子、炭化粒子を少量含む。⑦淡褐色土 やや縫まりが弱く、焼土粒子を全体に、炭化粒子を若干含み、やや粘質。⑧褐色土 やや縫まりが弱く、焼土粒子、炭化粒子を少量含む。⑨褐色土 ローム粒子、焼土粒子を含む。

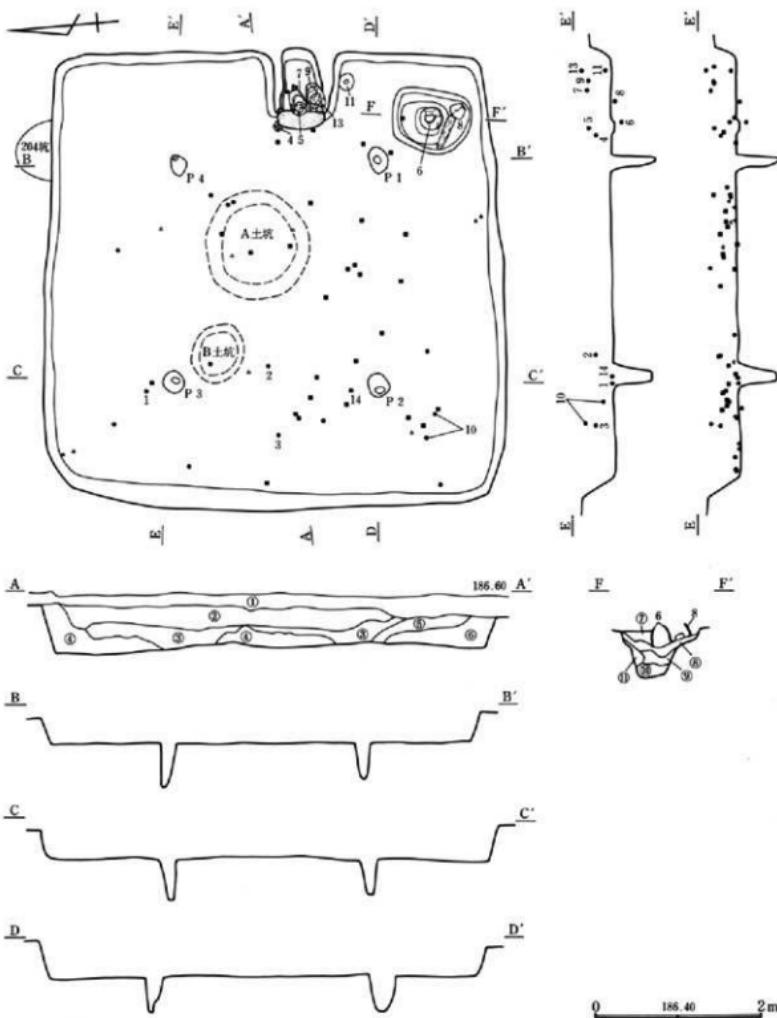
白C古墳住居土層その2

図139

白倉C区48号住居跡

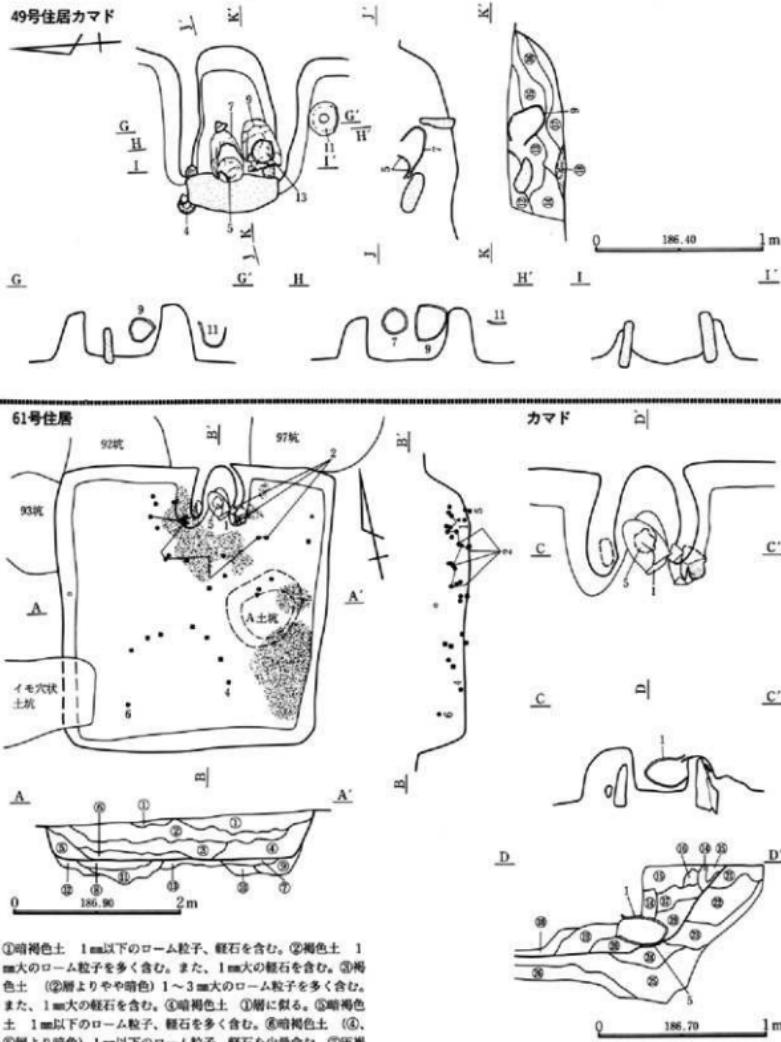


①褐褐色土 細粒。1mm程の軽石を若干。褐色土のロームブロックを少量含む。
 ②暗褐色土 2mm程の軽石を全体に、燒土粒子、炭化粒子を少量、ロームブロックを少量含む。
 ③褐色土 やや粗粒。2mm程の軽石、ロームブロックを全体に多く含む。
 ④褐より暗色。5mm程の軽石を少量、ロームブロックを少量含む。
 ⑤暗赤褐色土 燃土ブロックより成る。
 ⑥暗赤褐色土 1mm以下の燃土粒子を含むとともに、5mm大の焼土ブロック、炭化粒子（青色）を含む。
 ⑦褐色土 燃土粒子、炭化粒子、ローム粒子を少量含む。
 ⑧褐色土とロームの混合土。



①褐色土 耕作土。浅間A軽石を全体に含む。②黒褐色土 粗粒。縛まりがあり、1mm程の軽石、焼土粒子、炭化粒子を若干含む。③暗褐色土。2~3mmの軽石を少量、焼土粒子、炭化粒子を若干含む。④淡褐色土。2~3mmの軽石を全体に、ローム粒子が少量混入。⑤褐色土 縛まりがあり、5mm程の軽石、ローム粒子を全体に、焼土粒子を若干含む。⑥褐色土。やや縛まりがあり、3~5mmの軽石を少量、ロームブロックを全体に、焼土粒子を若干含む。⑦暗褐色土 1mm大のローム粒子、粘土粒子、炭化粒子を含む。

⑧暗褐色土 1~5mm大のローム粒子を多く含む。⑨暗褐色土 1~3mm大のローム粒子を多量に含む。⑩暗褐色土 1~3mm大のローム粒子、粘土粒子を含む。⑪黄褐色土 ロームブロック ⑫暗褐色土 1mm以下の微細なローム粒子、焼土粒子含む。⑬黄褐色土 ローム粒子、焼土粒子を含む。⑭暗褐色土 ⑮同じであるが、焼土粒子をやや多く含む。⑯灰褐色土 ローム粒子、焼土粒子を多く含む。⑰灰褐色土 焼土粒子、ローム粒子を少量化する。⑱褐色土 由焼土粒子、ローム粒子を含む。⑲褐色土

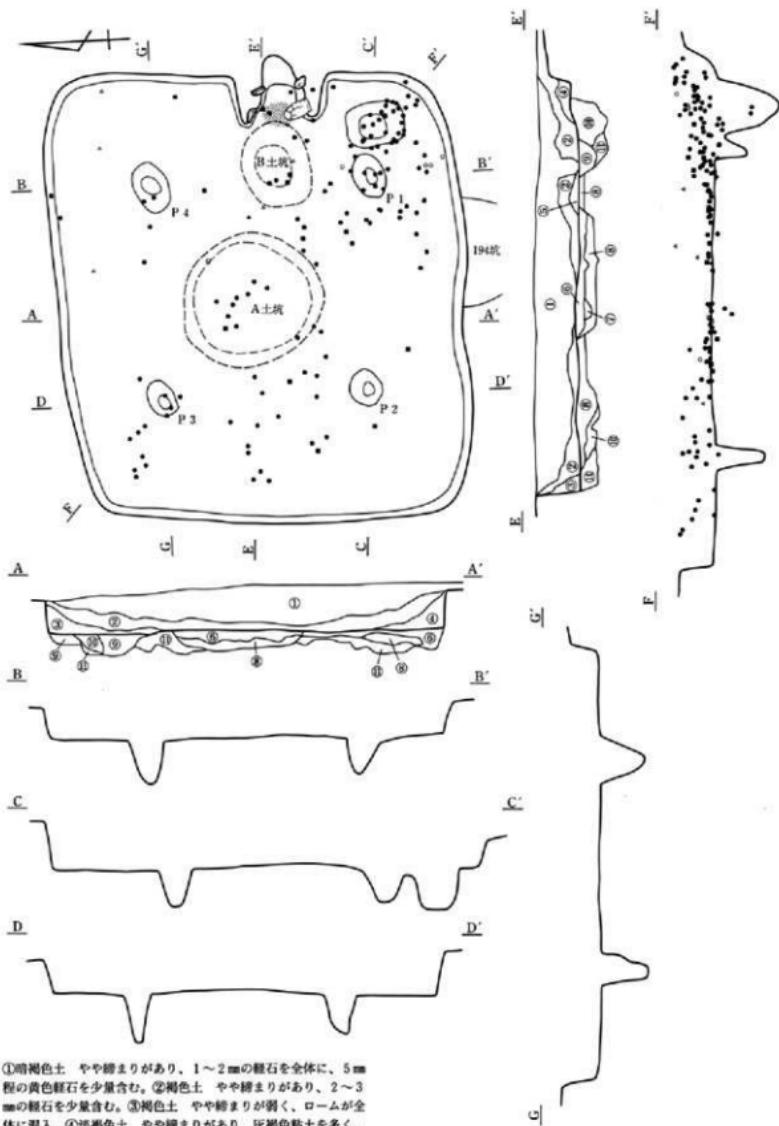


①暗褐色土 1mm以下のローム粒子、軽石を含む。②褐色土 1mm大のローム粒子を多く含む。また、1mm大の軽石を含む。③褐色土 (②層よりやや暗色) 1~3mm大のローム粒子を多く含む。また、1mm大の軽石を含む。④暗褐色土 ①層に似る。⑤暗褐色土 1mm以下のローム粒子、軽石を多く含む。⑥暗褐色土 (④、⑤層より暗色) 1mm以下のローム粒子、軽石を少量含む。⑦灰褐色土 粘土を主体とし、粗いローム粒子を含む。⑧暗褐色土 1cm大のロームブロックを含む。⑨暗褐褐色土 ローム粒子から成り、粘土ブロックを若干含む。⑩灰黄褐色土 粘土粒子を多量に含む。⑪暗黄褐色土 ローム粒子を多く含む。⑫灰褐色土 層間に似る。⑬暗褐色土 混乱。1mm程の軽石を若干含む。⑭暗褐色土 細まりがあり、1mm程の軽石を全体に含む。⑮褐色土 ローム粒子が

少量混入。⑯褐色土 やや灰色がかったり、やや粘性を持つ。⑰暗褐色土 灰色粘土のブロックを含む。⑱暗灰褐色土 焼土粒子を若干含み、やや粘性を持つ。⑲灰褐色土 焼土粒子を全体に含み、粘性を持つ。⑳灰褐色土 粘土ブロックを多く含む。㉑褐色土 粘土粒子を多く含む。また、焼土粒子を含む。㉒暗褐色土 21層に似る。㉓赤褐色土 焼土粒子を多量に含む。㉔暗黄褐色土 ㉕層に似る。㉖ローム地山

図142

白倉C区50号住居跡

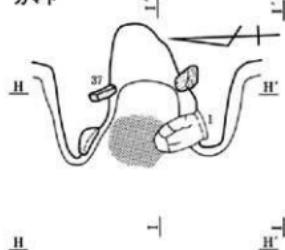


①暗褐色土 やや締まりがあり、1~2mmの粗石を全体に、5mm程の黄色粗石を少量含む。②褐色土 やや締まりがあり、2~3mmの粗石を少量含む。③褐色土 やや締まりがあり、ロームが全体に混入。④淡褐色土 やや締まりがあり、灰褐色粘土を多く、焼土粒子を若干含む。⑤褐色土 締まりがあり、焼土粒子、炭化粒子、ローム粒子を含む。⑥暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを含む。⑦暗黄褐色土 ローム粒子を主体とする。⑧灰褐色土

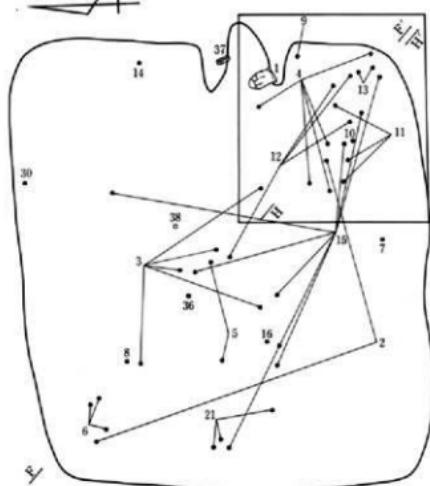
図143

白倉C区50号住居跡

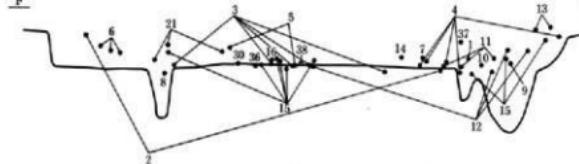
カマド



0 186.40 1m



F



0 186.60 2m

粘土を主体とし、ローム粒子、ロームブロックを少量含む。
④暗褐色土 ⑤層と同様であるが、締まりは弱い。
⑥暗黄褐色土 ローム粒子を主体とし、
暗色土が染み状に混入する。
⑦暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
⑧褐色土 焙土粒子(3mm大)、粘土粒子を含む。
⑨褐色土 焙土粒子(1~3mm大)を少量含む。
⑩灰褐色土 焙土粒子を多く含み、ローム粒子を少量含む。
⑪暗赤褐色土 焙土粒子を多量に含み、また、焼
土粒子を若干含む。
⑫暗褐色土 焙土粒子、粘土ブロックを含む。
⑬褐色土 ローム粒子を多く含む。
⑭暗褐色土 ローム粒子、焙土粒子を少
量含む。

⑮暗褐色土 硅石を少量含み、また、ローム粒子を含む。
⑯暗赤褐色土 焙土粒子を含む。
⑰暗黄褐色土
ロームブロックを含む。
⑱暗褐色土 ローム粒子を主体とする。

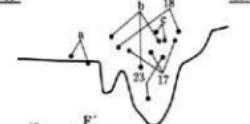
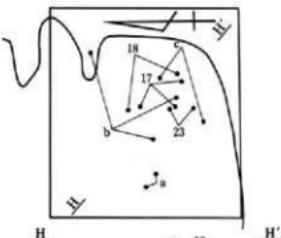
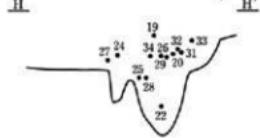
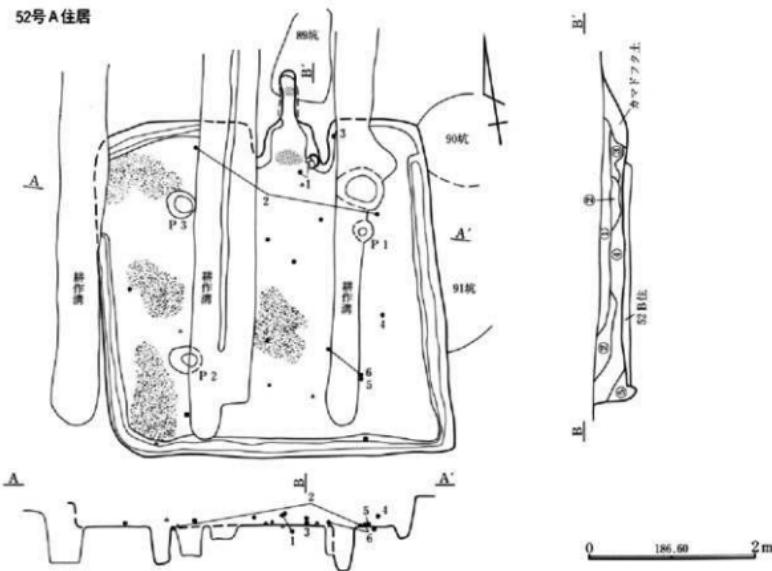


図144

白倉C区52号A・B住居跡

52号A住居



52号B住居

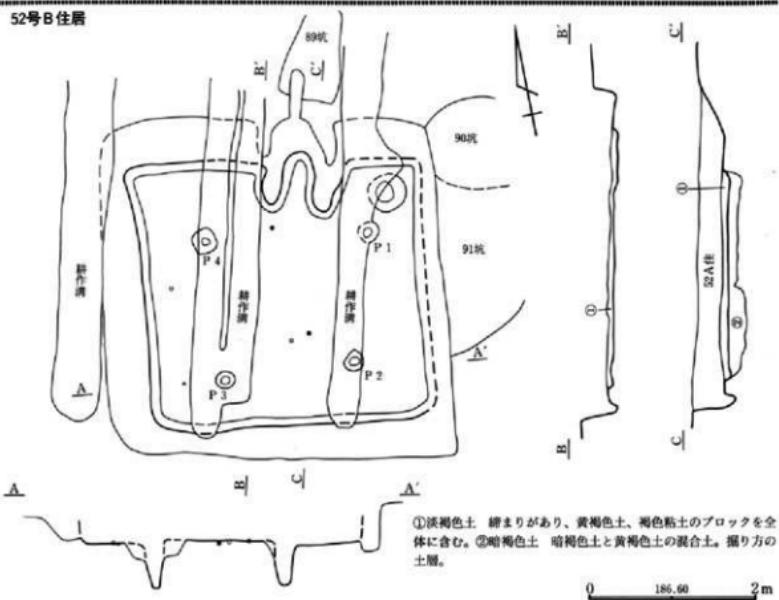
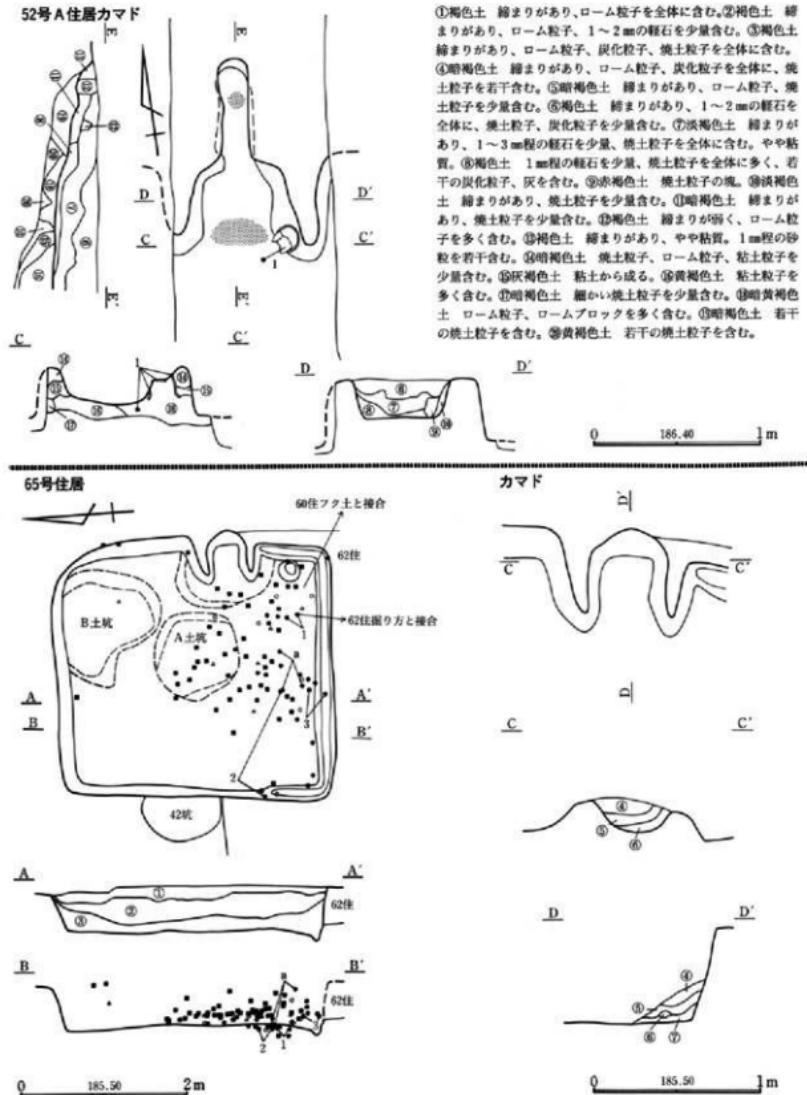


図145

白倉C区52号A住居跡・65号住居跡

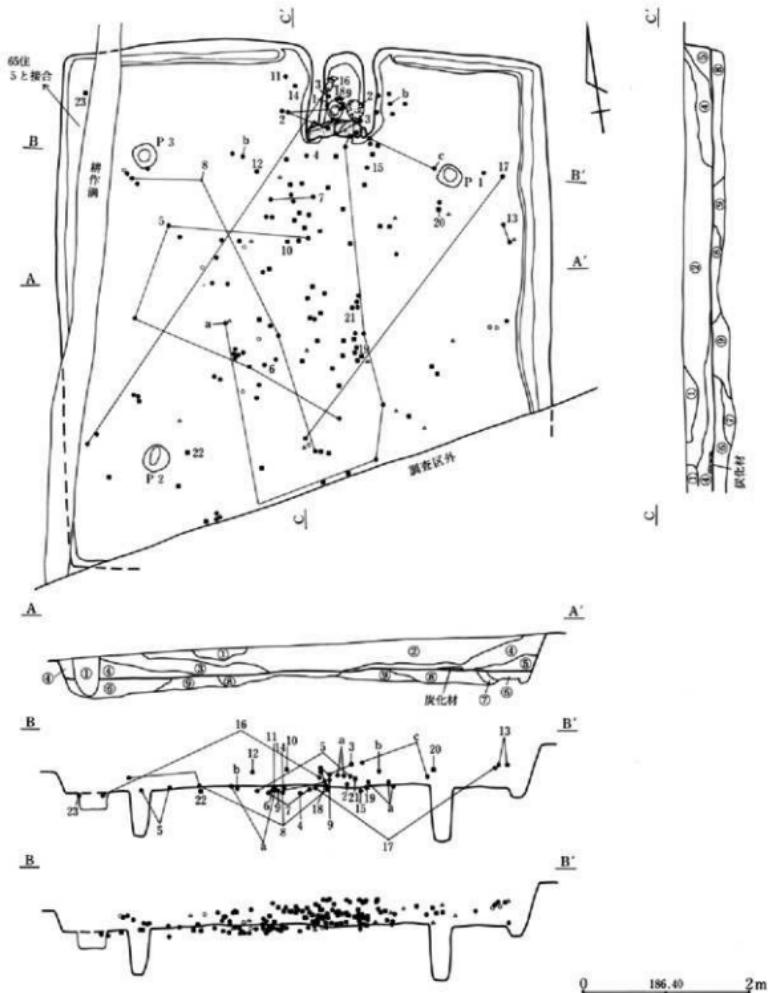


①褐色土 緒まりがあり、1～2mmの軽石を全体に含む。②暗褐色土 緒まりがあり、2～3mmの黄色軽石を少量含む。③暗褐色土 褐色土のブロックを含む。3mm程の黄色軽石を全体に含む。

④褐色土 に焼土粒子を若干含む。緒まりが弱い。⑤暗褐色土に焼土粒子を混入。粘質。⑥焼土ブロック⑦褐色土に焼土粒子を多く、若干の炭化粒子を含む。

図146

白倉C区60号住居跡



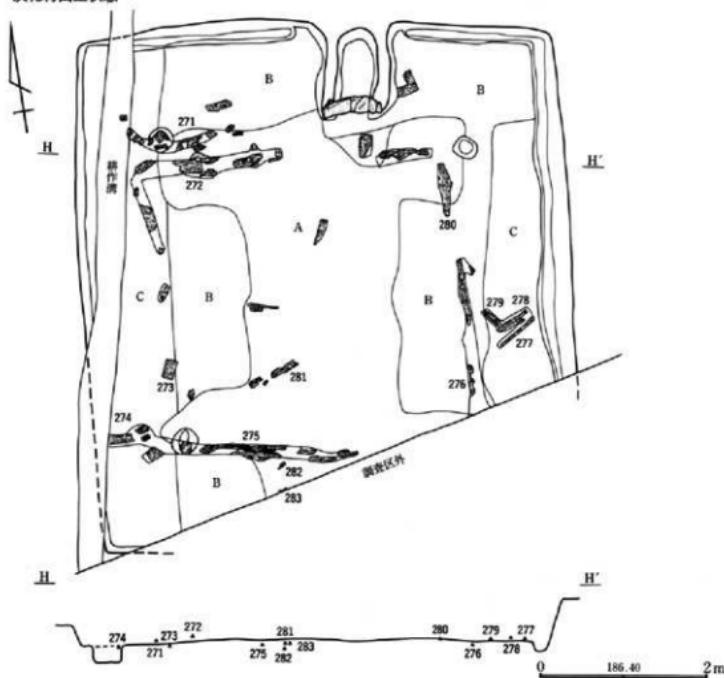
①褐色土(横丘) 繊まりが弱く、浅間A軽石を多く含む。②黒褐色土 やや繊まりがあり、2~3mmの黄色軽石を少量、燒土粒子を若干含む。③暗褐色土(埋土) やや繊まりがあり、1~3mm大的のロームブロックを全体に含む。④暗褐色土 やや繊まりが強く、5mm程の黄褐色軽石を少量、炭化粒子を全体に含む。⑤褐色土や繊まりがあり、壁のローム粒子が混入する。⑥暗褐色土にロームブロックを多く含む。⑦暗褐色土と褐色土の混合土に

ロームブロックを含む。⑧褐色土に2mm程の軽石を含む。⑨黄褐色土と褐色土の混合土。⑩褐色土 繊維があり、燒土粒子を若干含む。⑪暗褐色土 やや繊まりがあり、燒土粒子、炭化粒子を少量含む。⑫粘質。⑬褐色土 やや繊まりが弱く、燒土粒子、炭化粒子を少量含む。ロームが少量混入。⑭褐色土にロームブロック、燒土粒子を少量含む。⑮ロームに燒土粒子を若干含む。⑯ローム⑰層よりも暗いローム。

図147

白倉C区60号住居跡

炭化材出土状態



カマド

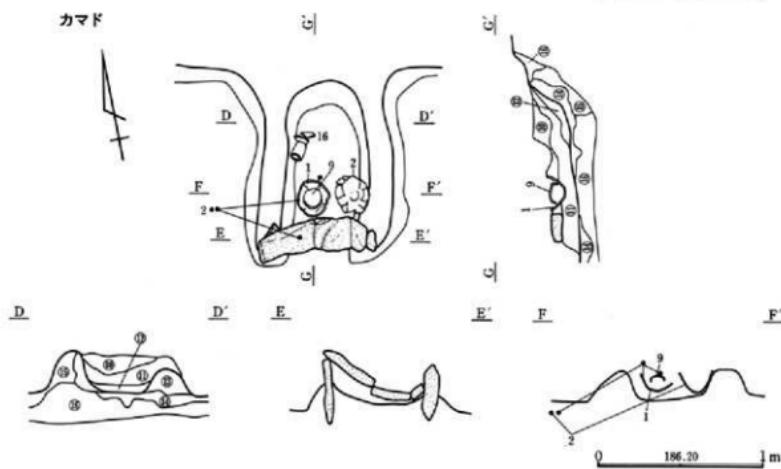
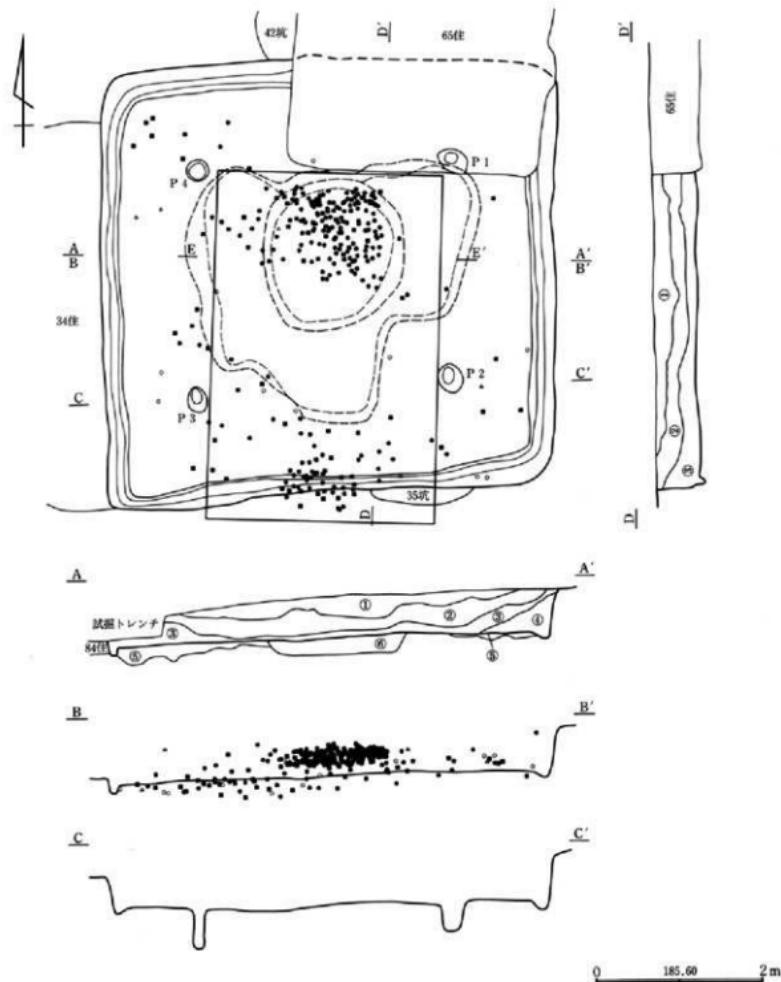


図148

白倉C区62号住居跡



①暗褐色土 繊まりがあり、2~3mmの軽石を若干含む。②暗褐色土 ③層より暗色。繊まりがあり、2~3mmの黄色軽石を全体に含む。④褐色土 やや粘質。⑤黒褐色土とローム。⑥黒褐色土 褐色土、粘質土がブロック状に混ざり、縦状に埋め戻した状態である。

含む。やや粘質。④褐色土 やや繊まりが弱く、2~3mmの軽石を全体に含む。⑤黒褐色土とローム。⑥黒褐色土 褐色土、粘質土がブロック状に混ざり、縦状に埋め戻した状態である。

図149

白倉C区62号住居跡

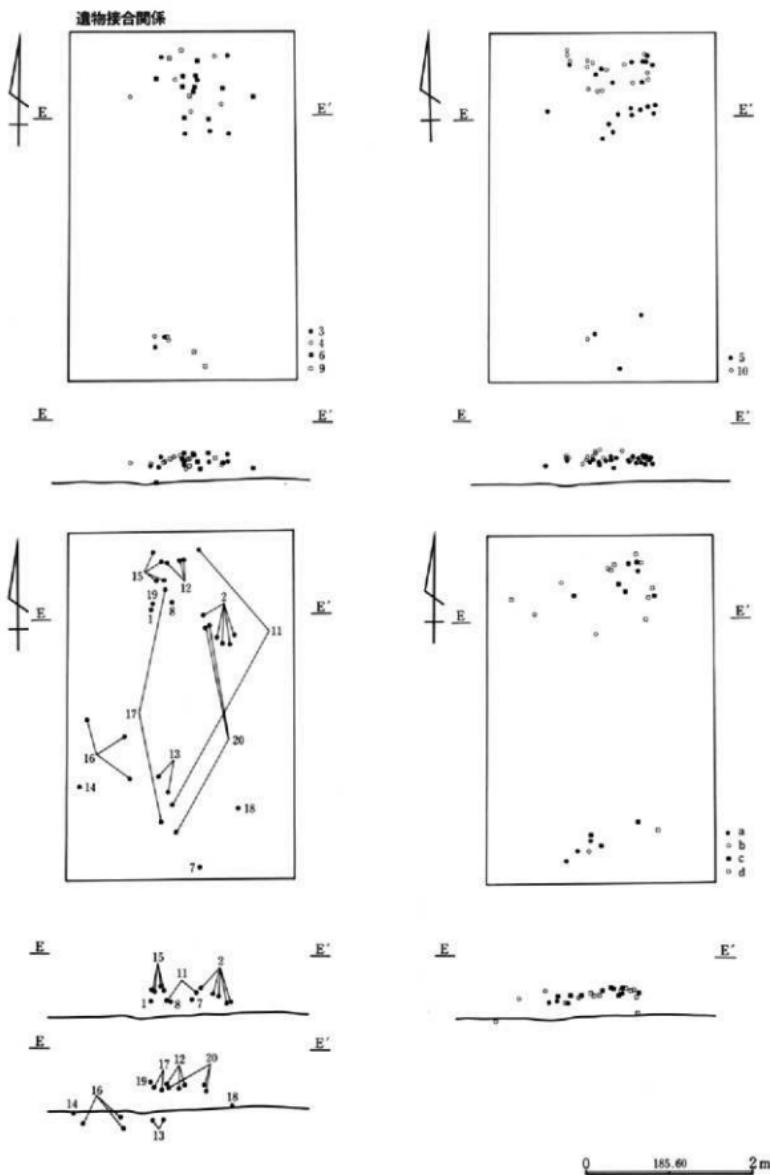
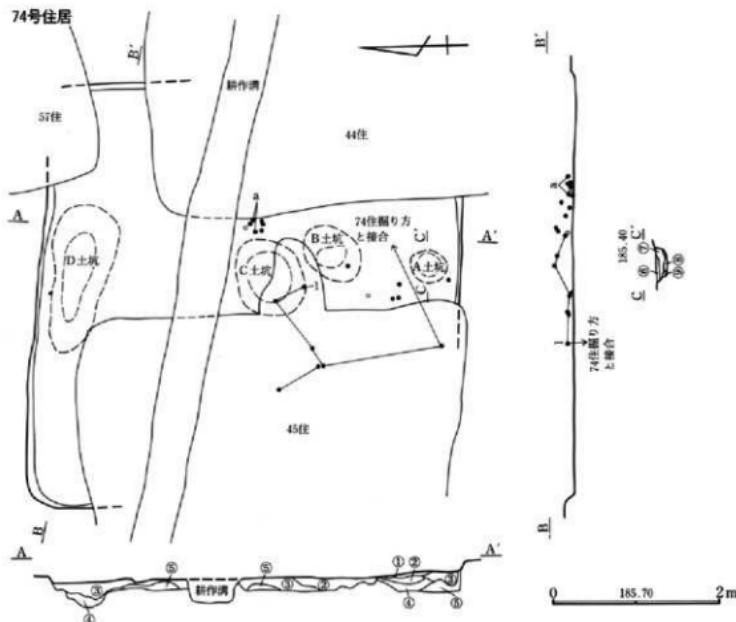


図150

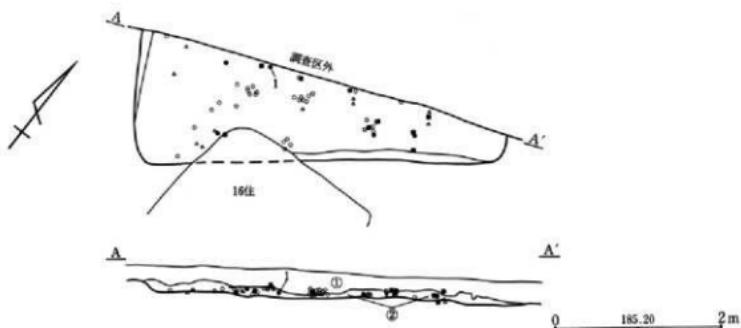
白倉C区74号・88号住居跡



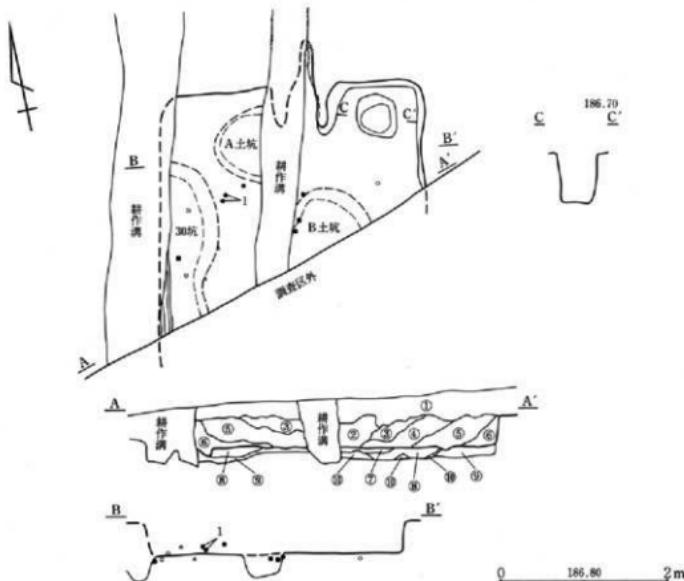
①黒褐色土に黄褐色ローム粒子を多く含む。締まりが強い。②黒褐色土に黄褐色ローム粒子、2mm程の軽石、焼土粒子を若干含む。③黒褐色土に黄褐色ロームブロックを多く含む。④褐色土に黄褐色ロームが混入。やや粘質。⑤褐色に近いローム。締まりがあり、

やや粘質。⑥暗赤褐色土に焼土粒子、褐色粘土粒子を多く、炭化粒子を若干含む。締まりが弱い。⑦焼土粒子、粘土粒子の混合土。締まりが弱い。土器器形を含む。⑧淡褐色土。締まりがあり粘質。焼土粒子を少量混入。⑨褐色に近いローム。

88号住居



①耕作土②粒子が細かく、締まりのある、やや赤味をおびた褐色土。この土中より、黒浜期の土器片がまとまって出土し、これより外には出土しないので、住居と認定した。



①耕作土 深間A軽石を全体に含む。②褐色土にローム粒子を多く含む。③暗褐色土に若干のローム粒子を含む。④黒褐色土にローム粒子を少量含む。⑤⑦層に似る。⑥褐色土にロームブロックを全体に含む。⑦ロームに褐色土を含む。縫まりが強い。⑧⑨層に似る。⑨ロームと褐色土が少量混入。特ロームに鉄分を多く含む。⑩暗褐色土に鐵土粒子を若干。灰色粘土粒子。ローム粒子を全体に含む。⑪灰色粘土に鐵土粒子を少量含む。⑫赤褐色土(燒土)に灰色粘土粒子を全体に含み、褐色土に鐵土粒子を多く、灰を少量含む。⑬褐色土に鐵土粒子を全体に含む。縫まりがある。⑭灰褐色土と鐵土粒子、ローム粒子、褐色土の混合土。⑮暗褐色土にローム粒子が多く、鐵土粒子を少量含む。⑯褐色土にロームブロックを多く含む。

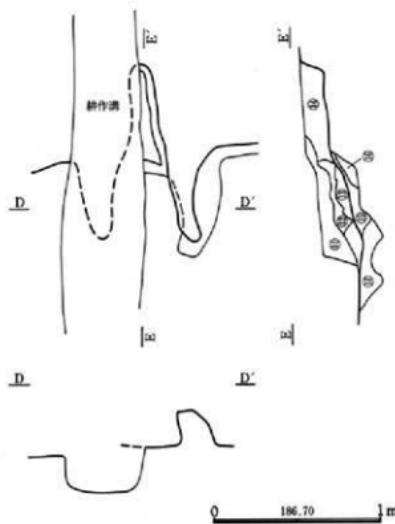
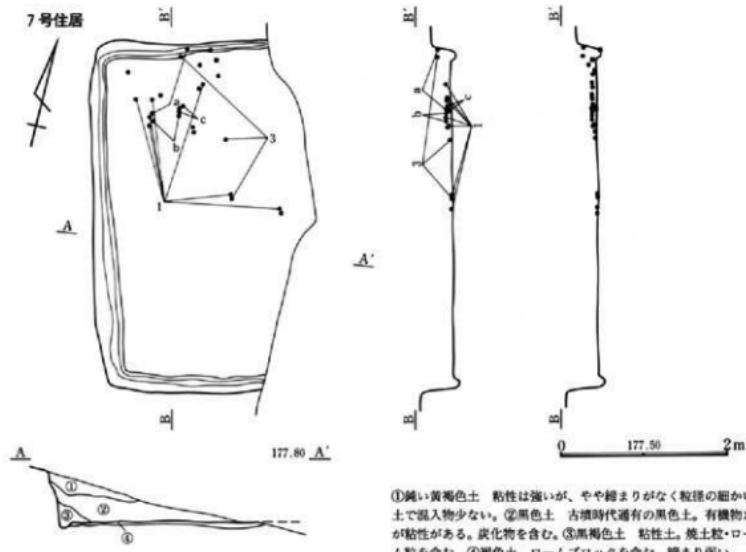
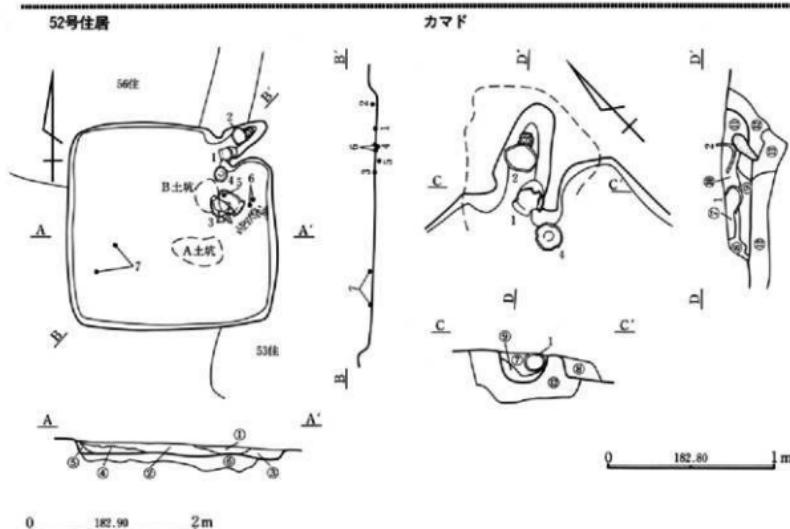


図152

天引地区 7号・52号住居跡



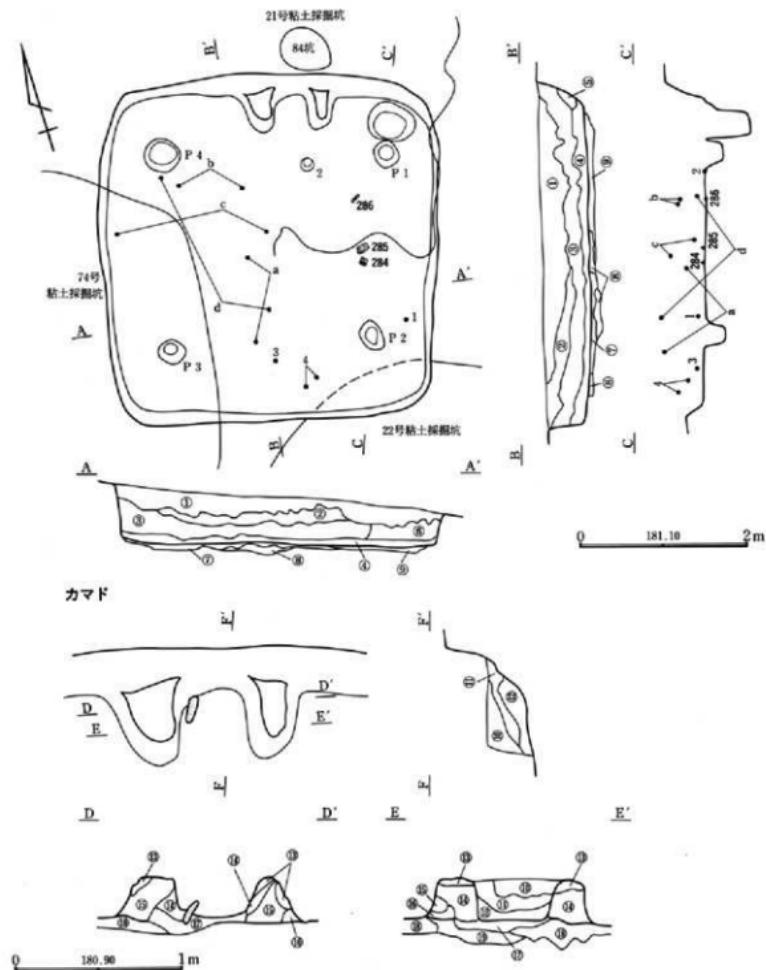
①純い黄褐色土 粘性は強いが、そや締まりがなく粒径の細かい土で混入物少ない。②黒色土 古墳時代通有の黒色土。有機物だが粘性がある。炭化物を含む。③黒褐色土 粘性土。焼土粒・ローム粒を含む。④褐色土 ロームブロックを含む。締まり弱い。



①暗褐色土 ローム粒・ロームブロック・黒褐色土の混土。②暗褐色土 ローム粒・焼土粒を多量に含む。③暗褐色土 ローム粒を①層より多く、炭化物を少量含む。④暗褐色土 ロームブロックを①層より多く、炭化物を少量含む。⑤暗褐色土 ローム粒を多量に、焼土粒は②層よりも多量に含む。⑥黒褐色土 ロームブロックを少量含む。

図153

天引地区44号住居跡



①黒褐色 土 量少のローム粒・若干の炭化物を含む。②黒褐色土 若干の粘性があり、多量のローム粒を含む。③黒褐色土 若干の粘性があり②層に比べ黒褐色少く少量のローム粒と炭化物、若干の焼土粒を含む。④暗褐色土 若干の粘性があり、多量のローム粒、若干の炭化物・焼土粒を含む。⑤暗褐色土 若干粘性があり、少量のローム粒を含む。⑥暗褐色土 若干の粘性があり、多量のローム粒、若干の炭化物を含む。⑦暗褐色土 若干の粘性があり若干のローム粒、若干の粘性と炭化物を含む。⑧暗褐色土 脆い粘性があり若干のローム粒を含む。⑨暗褐色土 若干のロームブロック・粘土・炭化物を含む。⑩褐色土 若干粘性があり、少量のローム粒・焼土粒、

若干の炭化物を含む。⑪褐色土 若干の粘性があり少量のローム粒若干の焼土粒・炭化物・粘土を含む。⑫褐色土 若干の粘性があり、少量の焼土・炭化物を含む。⑬褐色土 ローム粒白色粒を含む。かたく締まる。袖材の一部。⑭褐色土 ロームブロック・ローム粒・焼土粒を含む。袖材の芯。⑮ロームブロック・ローム粒・褐色土の混土。袖材の一部。⑯褐色土・焼土粒・ロームブロックの混土。燃焼部の底の土。⑰褐色土・ローム・灰黄色粘土・黒色土の混土。底下の土。⑱鈍い褐色土 ロームブロック・黒色土を含む。

図154

天引地区50号住居跡

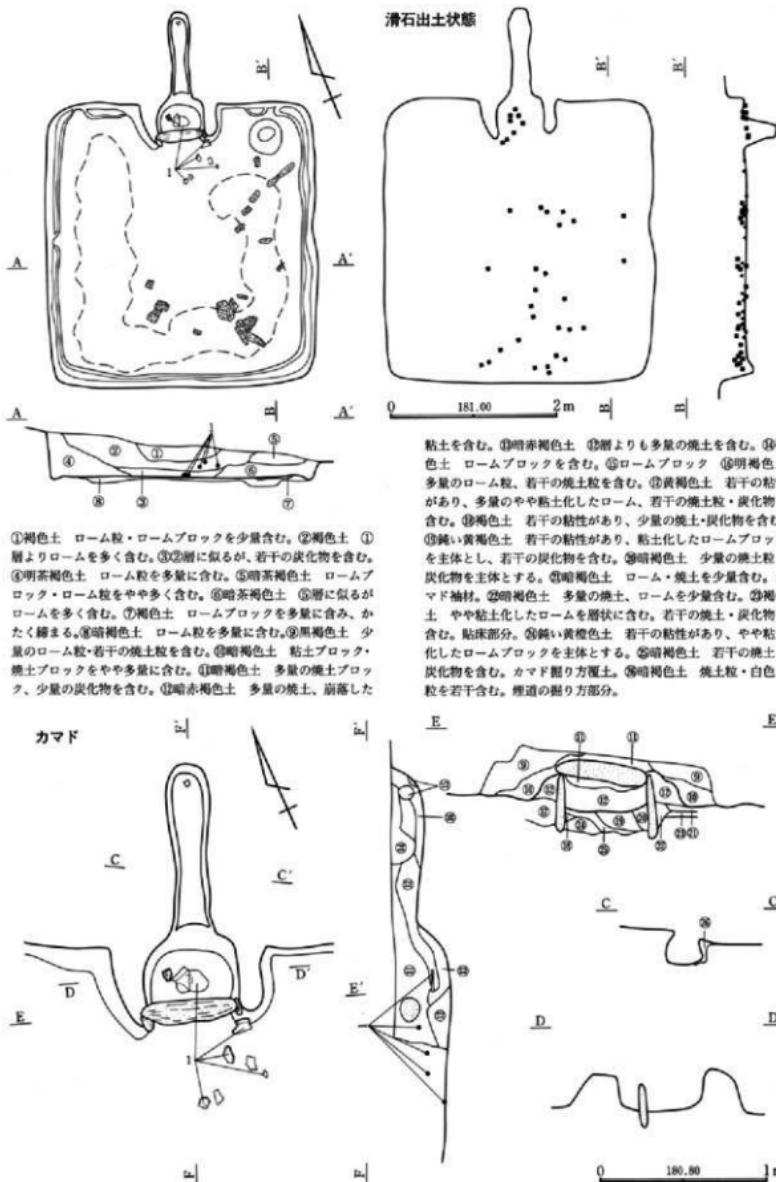


図155

天引地区57号住居跡

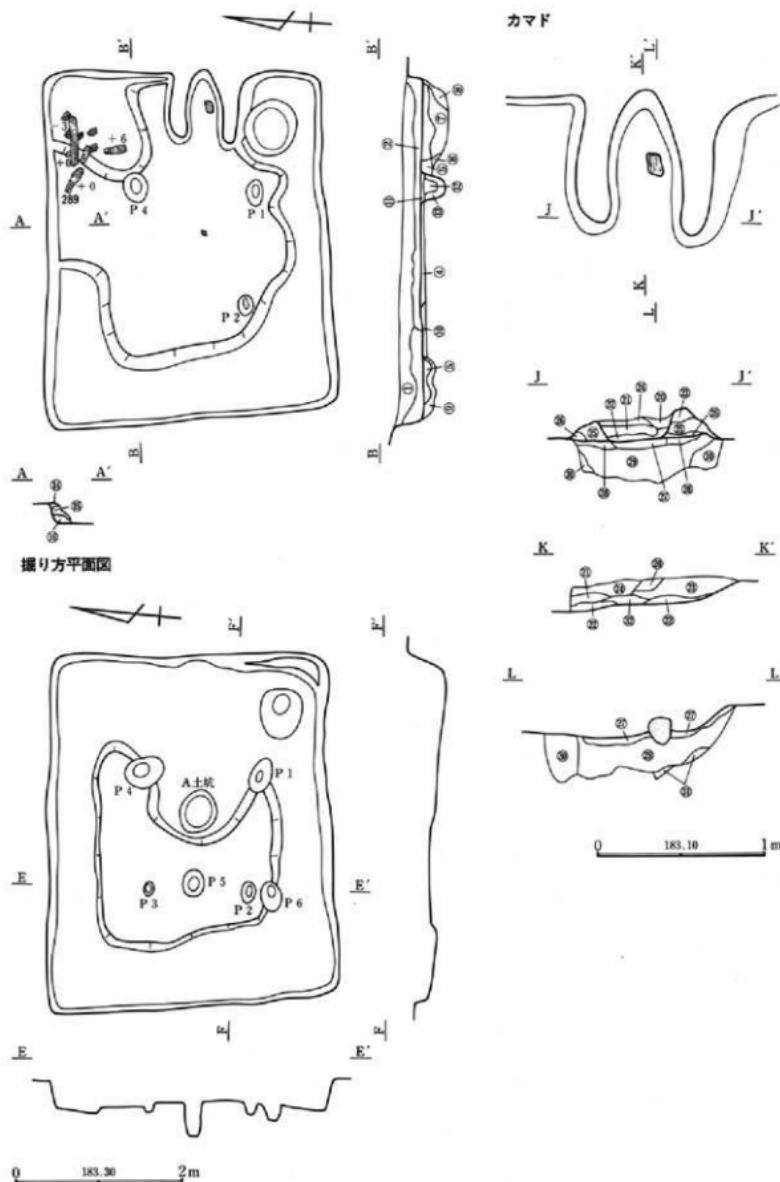
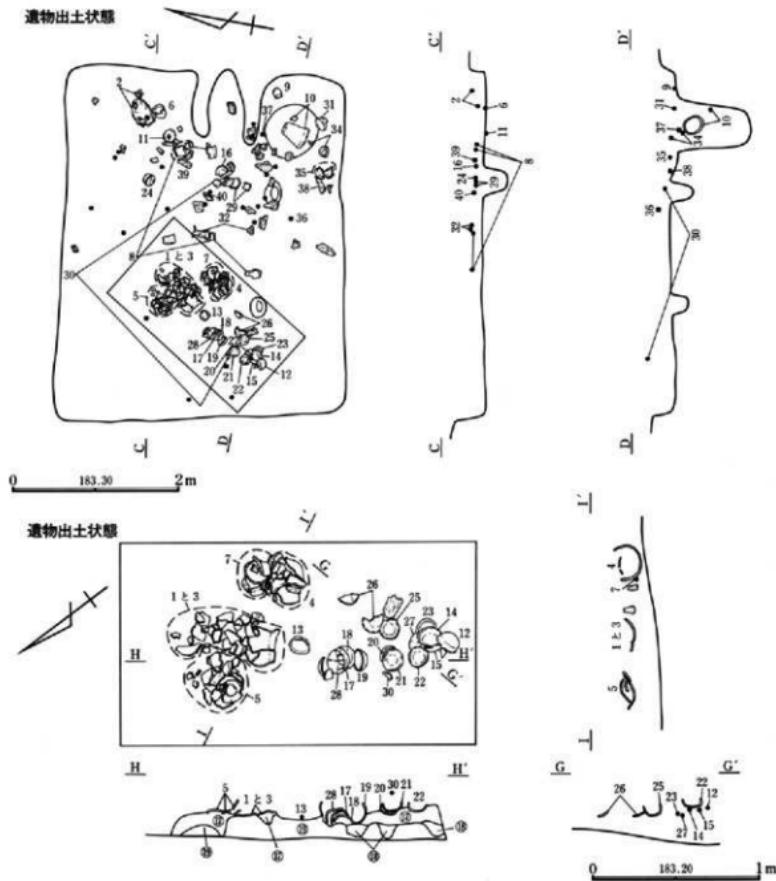


図156

天引地区57号住居跡



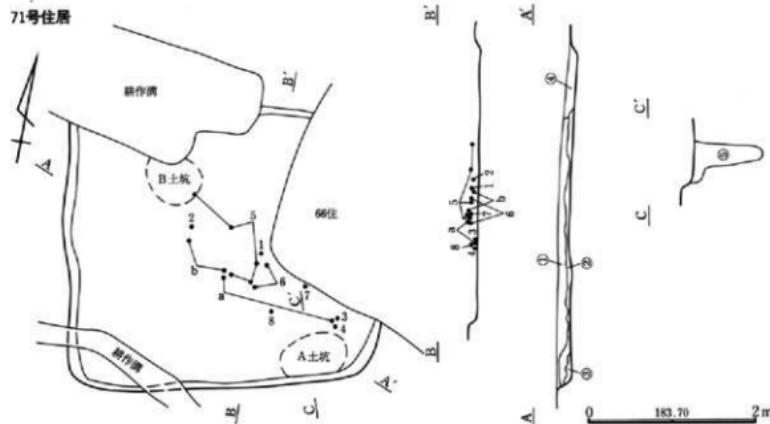
- ①褐色土 少量の淡褐色土ブロック、若干の淡白色微粒を含む。②淡褐色土 淡褐色土粒・ロームブロックを若干含む。③ロームブロックをやや多く含む。④暗黃褐色土 色調濃い。白色粒混じりのロームブロックと純い黄褐色土ブロックを含む。かたく締まり床面を形成する。⑤暗黃褐色土 ④に似る。ローム粒を多量に含む。⑥褐色土 ローム粒を若干含む。⑦褐色土 淡い暗褐色を帯び、若干のローム粒を含む。⑧暗黃褐色土 ⑨褐色土 ⑩黄褐色土 ⑪褐色土 同じブロックを若干含む。⑫褐色土 ローム粒を若干含む。⑬暗黃褐色土 多量のローム粒、若干のロームブロック・褐色土ブロックを含む。⑭暗黃褐色土 ⑮よりやや明るい。⑯褐色土 上部の壁の崩落土。⑰燒土と褐色土との混土、焼けた壁の崩落土。⑱褐色土 燃土粒・淡褐色土粒を含む。壁が落ちる以然に入り込んだと思われる。⑲淡い褐色土 ローム粒・燃土粒・淡褐色土粒を含む。⑳褐色土 ローム粒・炭化物を含む。㉑焼

褐色土 若干の粘性があり、灰褐色土を含む。㉒褐色土 灰褐色粘土ブロック・燃土粒を含む。袖粘土の崩れ。㉓燒土・灰色粘土・褐色土の混土 カマドの焚口部、天井部の粘土の崩落土。㉔褐色土 燃土粒・淡褐色土粒を含む。使用地点及び崩落前にたまつた土。㉕褐色土 粘土・ローム粒を含む。袖の土。㉖褐色土 ㉗純い黄褐色土 粘土を主体とし、褐色土・焼土粒・炭化粘土を含む。袖の芯材。㉘暗い黄褐色土 やや粘性を持つ。袖材。㉙褐色土・明黄褐色土・焼土粒の混土。使用面の下の土。㉚純い黄褐色土・ローム粒・黑色土・燃土粒の混土。床の土あるいは袖の基底部として置いた土。㉛黑色土 ロームブロックと褐色土を含む。カマド開口方の土。㉜褐色土 純い黄褐色土・ロームブロック・燃土粒を含む。住居床下の土。㉝淡茶褐色土 ㉞燒土と褐色土との混土 天井部の崩れか。粘土少なく、欠け口部分の可能性あり。

図157

天引地区71号・87号住居跡

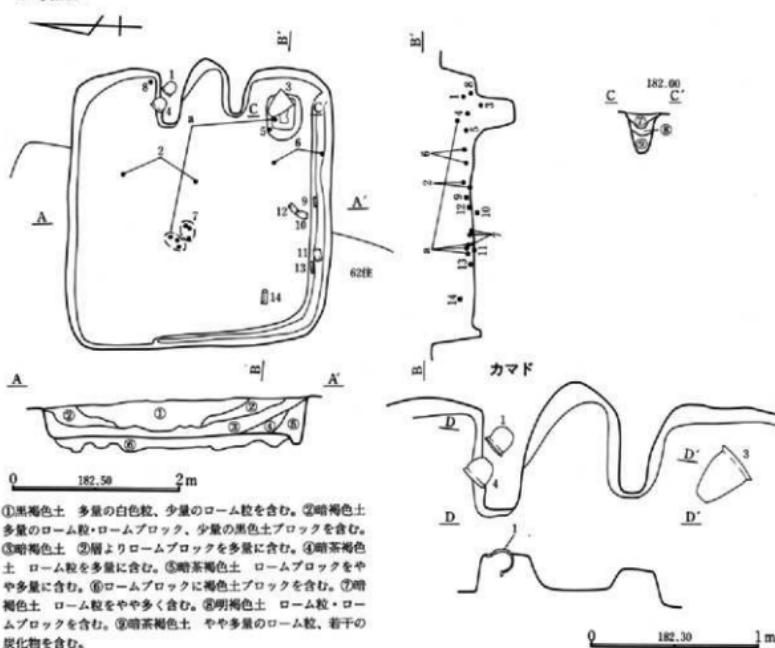
71号住居



①暗褐色土 白色粒・ロームブロックをやや多量に含む。②暗褐色土
色土 ③層よりロームブロックを多量に含む。④明茶褐色土 多

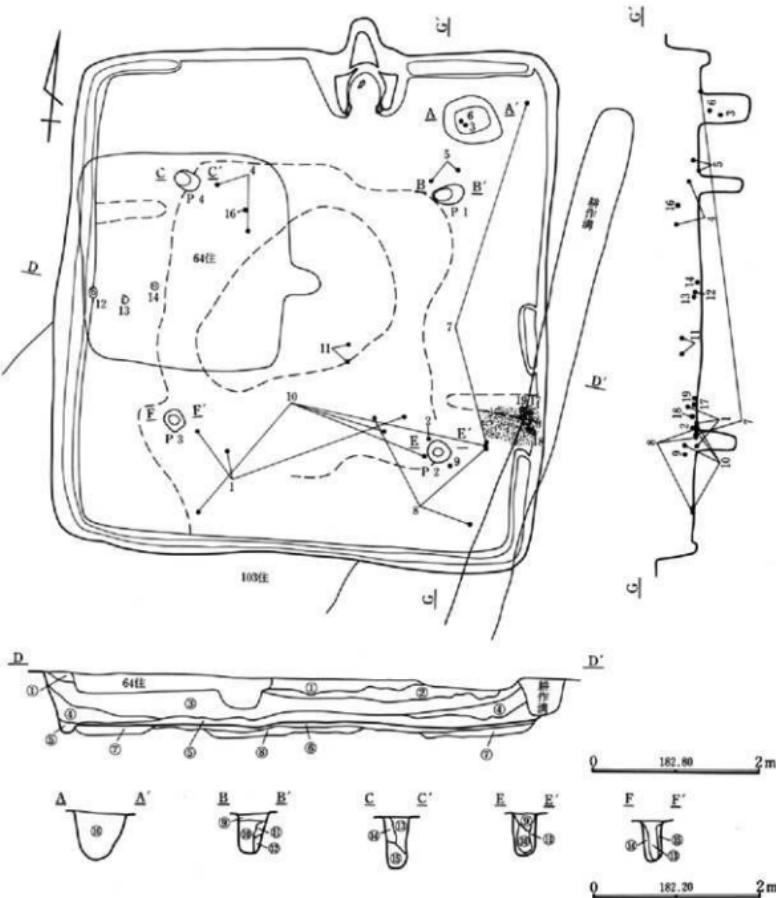
量のロームブロック、少量の褐色土を含む。⑤暗褐色土 白色粒
をやや多く含む。⑥暗褐色土 ロームブロックを含む。

87号住居



①黒褐色土 多量の白色粒・少量のローム粒を含む。②暗褐色土
多量のローム粒・ロームブロック、少量の黑色土ブロックを含む。

③暗褐色土 ④層よりロームブロックを多量に含む。④明茶褐色土
ローム粒を多量に含む。⑤暗茶褐色土 ロームブロックをや
や多量に含む。⑥ロームブロックに褐色土ブロックを含む。⑦暗
褐色土 ローム粒をやや多く含む。⑧明褐色土 ローム粒・ロー
ムブロックを含む。⑨暗茶褐色土 やや多量のローム粒、若干の
炭化物を含む。

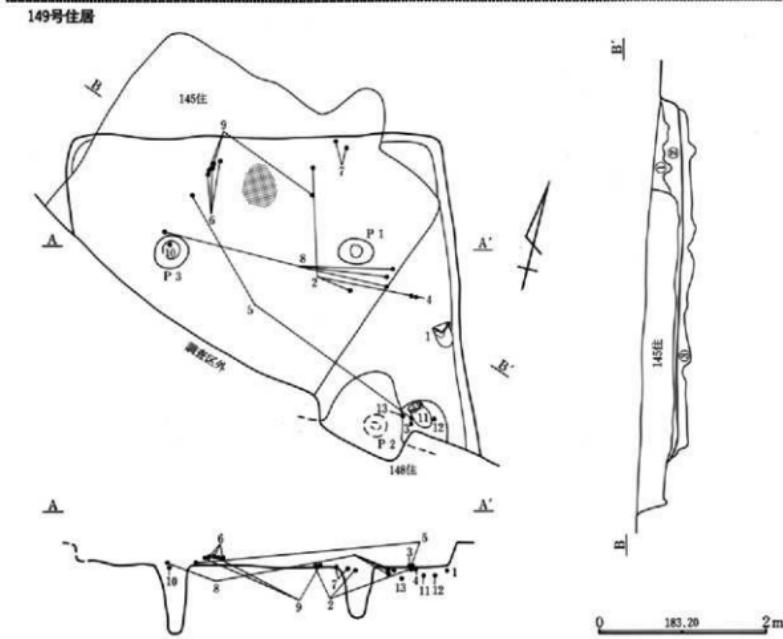
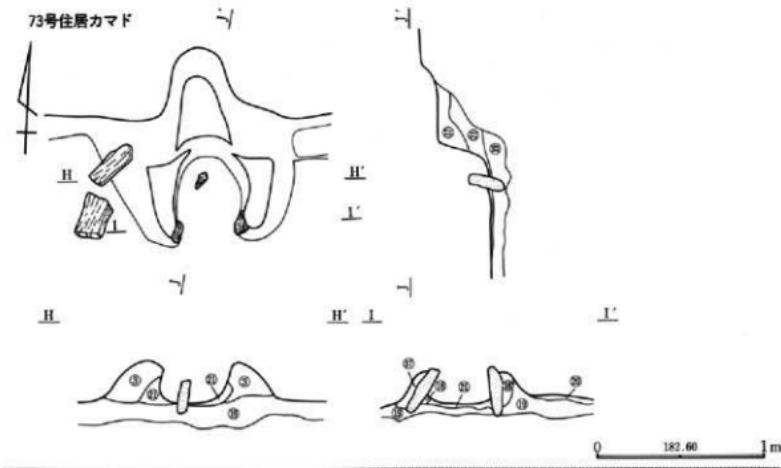


① 黒褐色土 精石を少量含み、縦まりやや弱い。② 喰茶褐色土 ローム粒・白色粒を少量含む。③ 茶褐色土 多量のロームブロック・ローム粒を含む。④ 茶褐色土。⑤ 縦よりロームブロックを多く含む。⑥ 黄褐色土 多量のロームブロック、少量の黒色ブロックを含む。⑦ 梅色土・ローム・焼土の混土 貼床。⑧ 梅色土 ロームブロック・黒色土ブロックを含む。掘り方。⑨ 明褐色土 多量のローム粒、少量の黑色粒を含む。縦まりあり。⑩ 喰茶褐色土 黒色ブロックを少量含む。縦まりあり。⑪ 明茶褐色土 多量のロームブ

ロック、少量の黑色粒を少量含む。⑫ 喰茶褐色土 ロームを多量に含む。⑬ 喰茶褐色土 多量のローム粒、少量の黑色粒を少量含む。⑭ 明茶褐色土 縦よりローム粒を少量含む。⑮ 黑褐色土とロームブロックとの混土、炭化物を少量含む。⑯ 喰茶褐色土 ローム粒を含む。袖石埋土。⑰ 喰茶褐色土 ロームブロックを含む。掘り方の土。⑱ 貼床の土。⑲ 梅色土 燃土を多量に含む。

図159

天引地区73号・149号住居跡

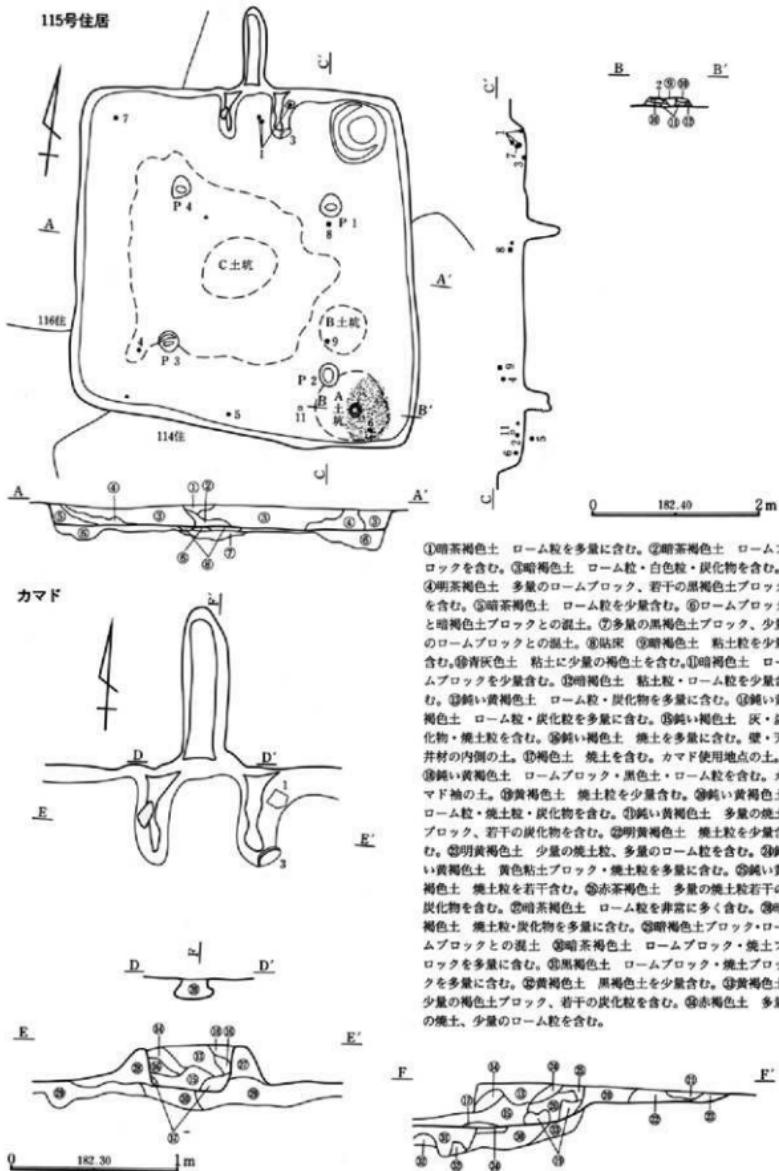


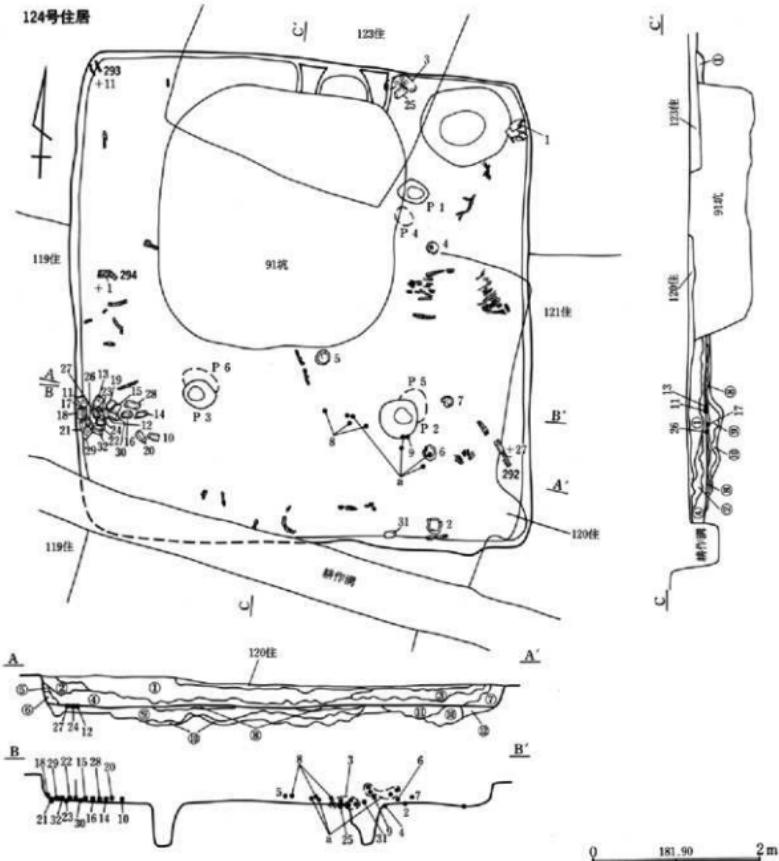
①暗褐色土 ロームと若干の焼土を含む。
②暗褐色土 多量のローム、少量の灰・焼土を含む。
③暗褐色土 多量の焼土を含む。

④暗褐色土 ローム・焼土・灰を若干含む。
⑤暗褐色土 多量の焼土を含む。

図160

天引地区115号住居跡

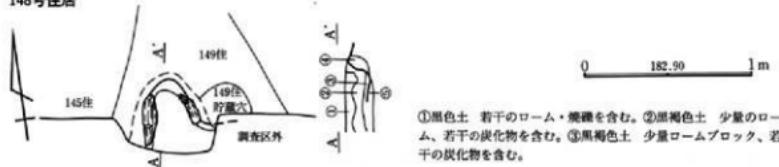




①暗褐色土 若干のローム粒・鈍石・炭化物を含む。②暗褐色土 少量のローム粒・鈍石・炭化物を含む。③暗褐色土 少量のローム粒・若干の炭化物を含む。④純い黄褐色土 多量のローム・若干の炭化物・鈍土粒を含む。⑤暗褐色土 若干のローム粒・炭化物を含む。⑥暗褐色土 少量のローム・若干の炭化物・鈍土粒を含む。⑦暗褐色土 若干のローム粒・炭化物・鈍土を含む。⑧暗

褐色土 ロームブロックを少量含み、かたく締まる。貼床部分。
⑨暗褐色土 若干のロームブロック・炭化物・鈍土を含む。⑩暗褐色土 ロームブロックを多量に含む。⑪暗褐色土 少量のローム塊が層状をなし、やや締まりあり。⑫黄褐色土 ロームブロックを多量に含む。やや締まりあり。

148号住居



①黒色土 若干のローム・鈍土を含む。②黒褐色土 少量のローム・若干の炭化物を含む。③黒褐色土 少量ロームブロック・若干の炭化物を含む。

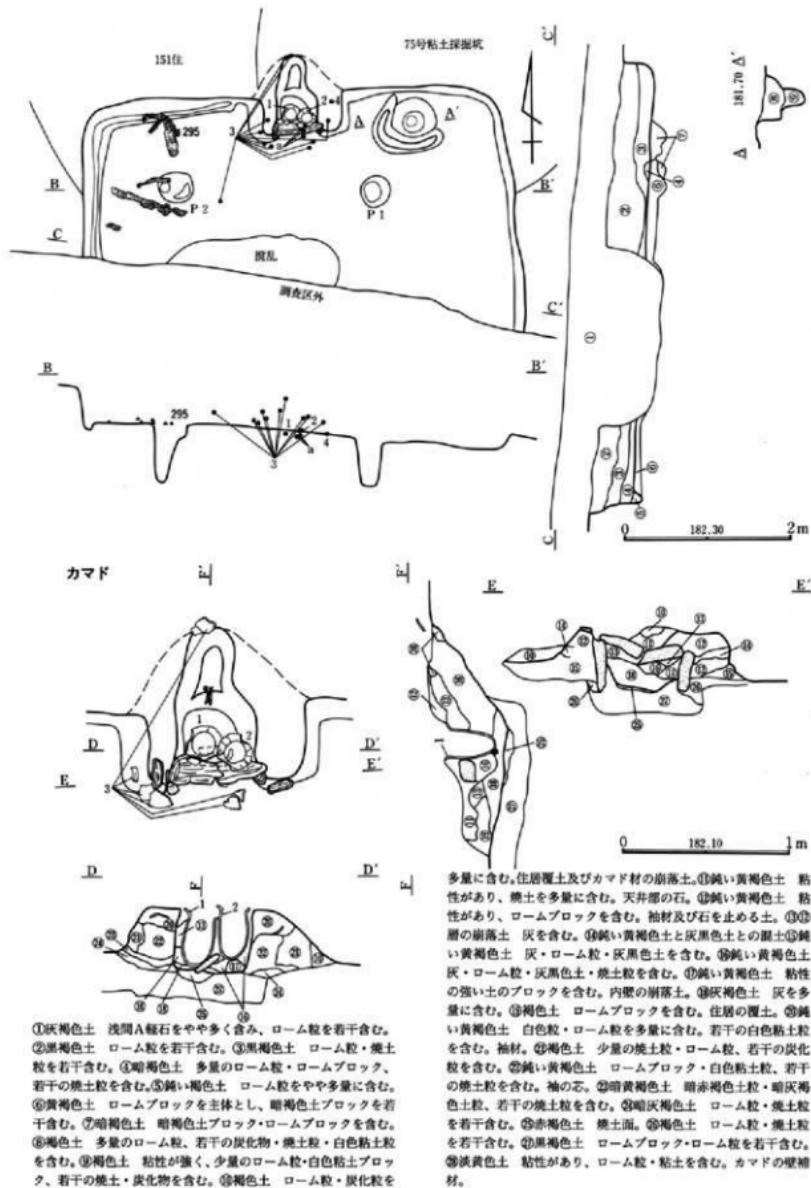
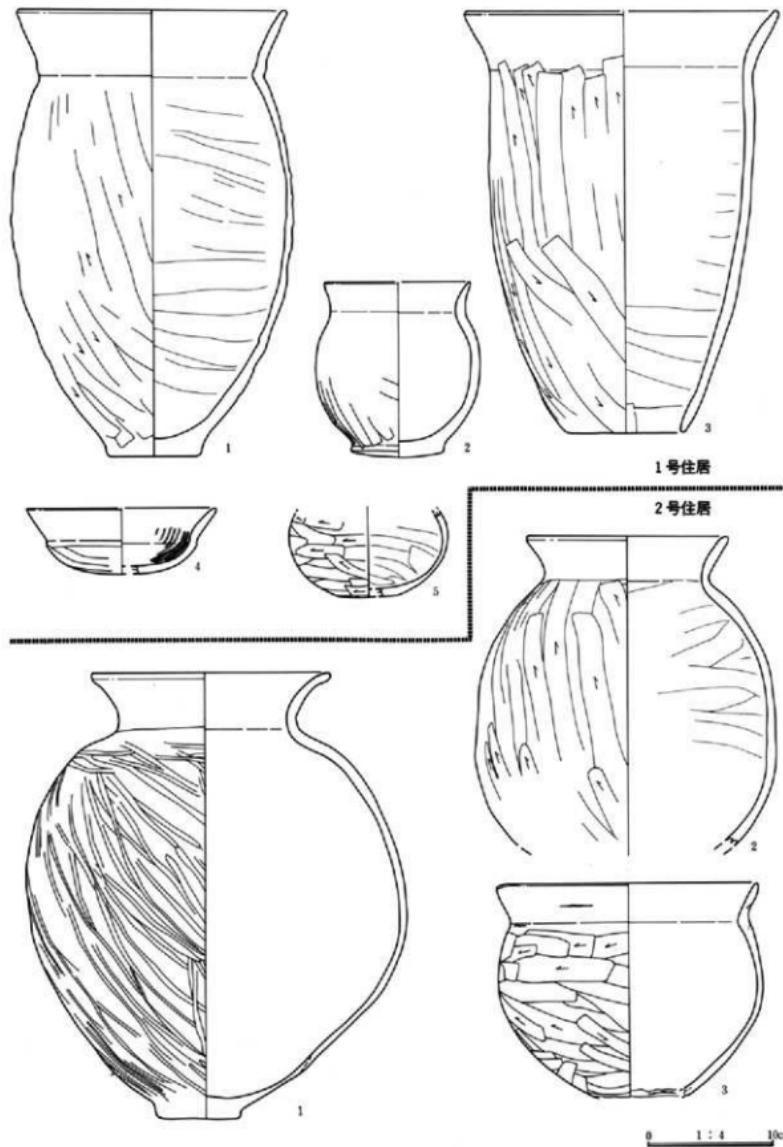


图163

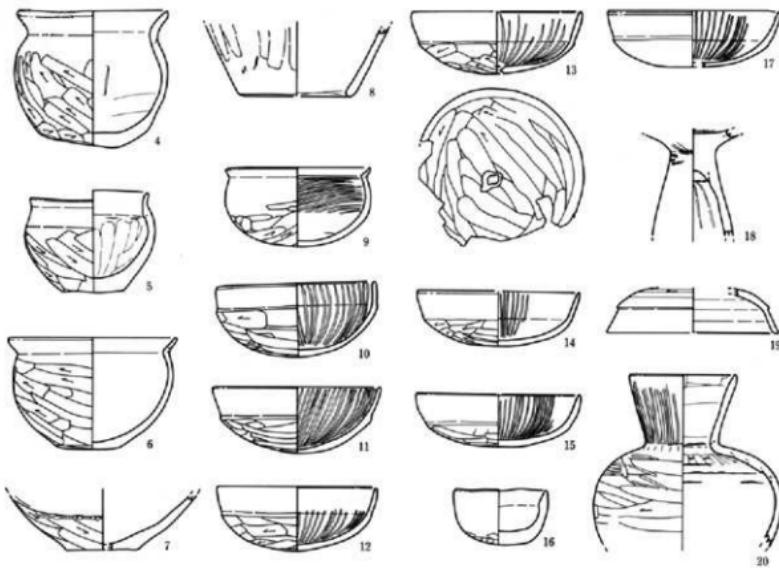
白倉A区1・2号住居出土遺物



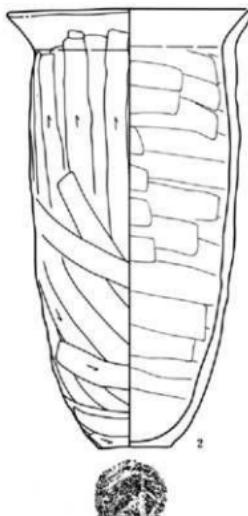
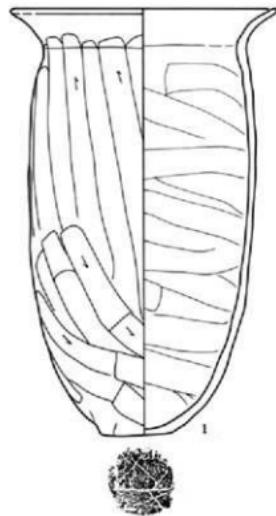
0 1 : 4 10cm

图164

白倉A区2・3号住居出土遺物



2号住居

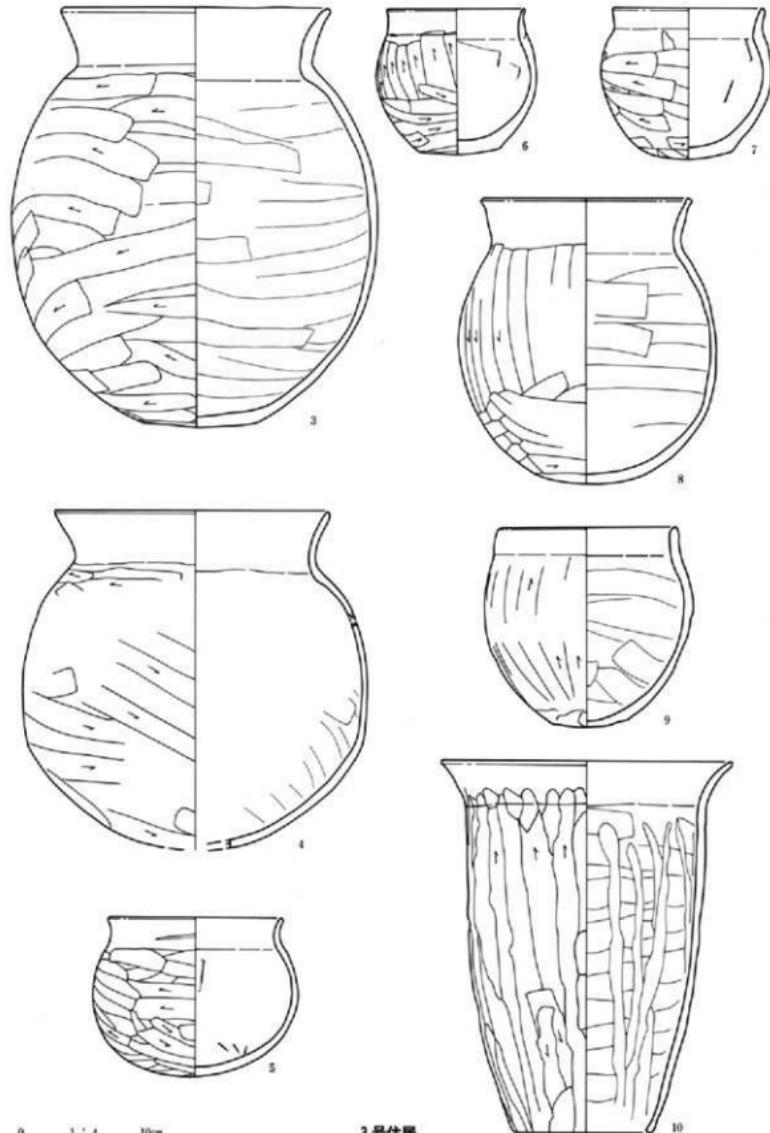


3号住居

0 1 : 4 10cm

图165

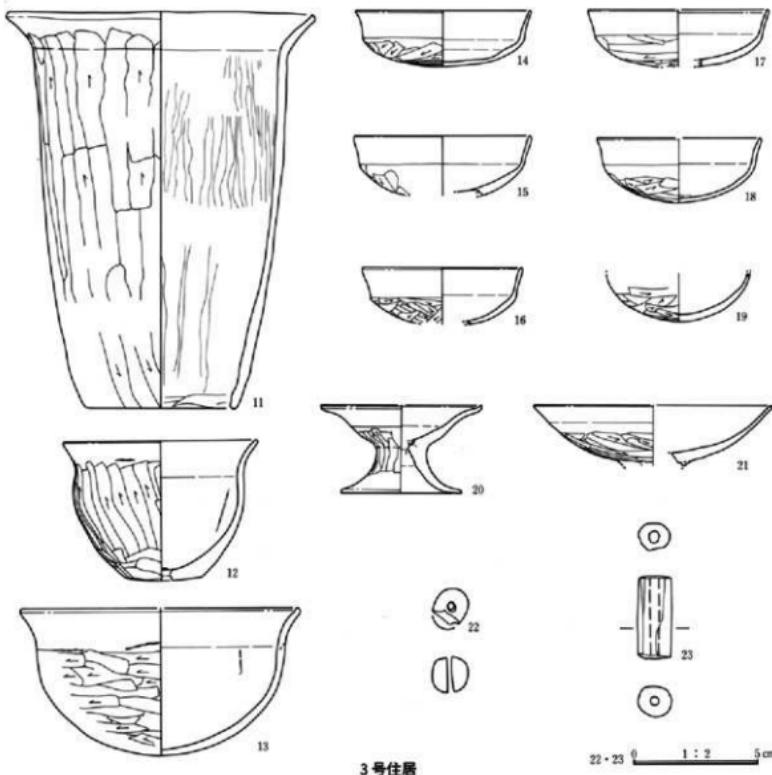
白倉A区3号住居出土遺物



3号住居

图166

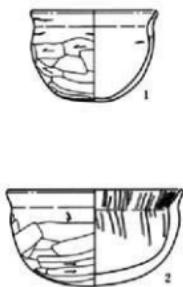
白倉A区3·4·5号住居出土遺物



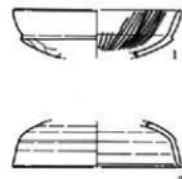
3号住居

22·23 0 1 : 2 5cm

4号住居



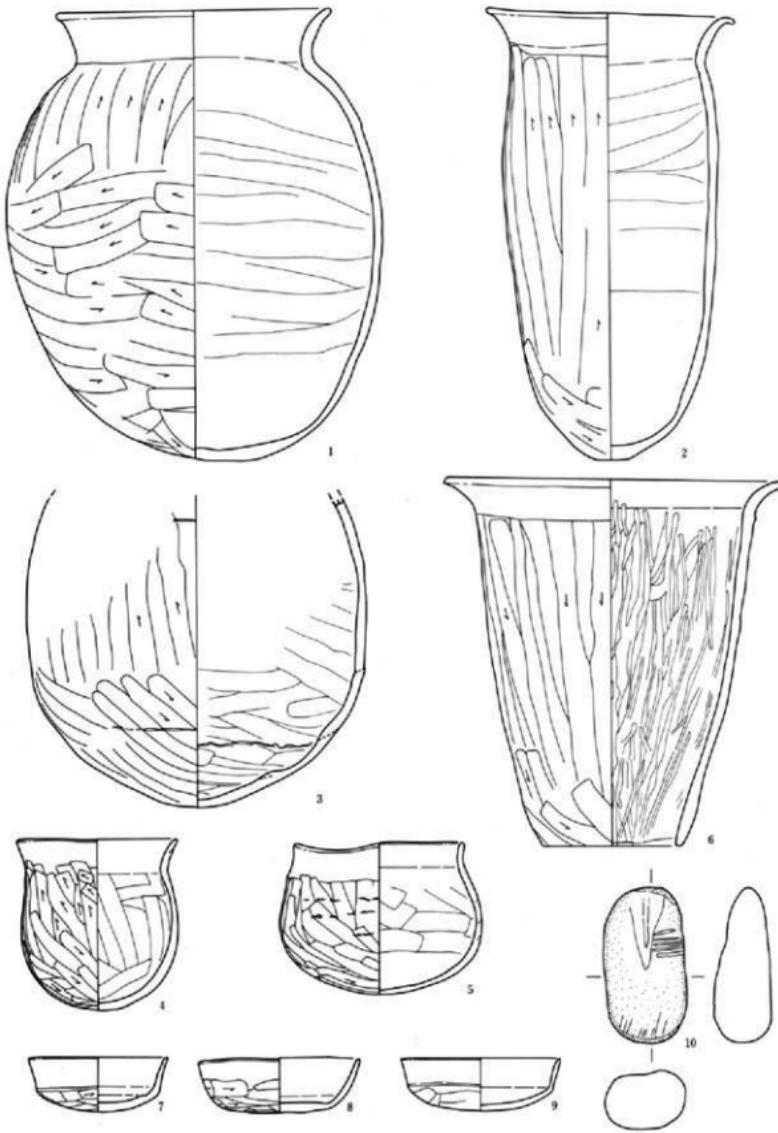
5号住居



0 1 : 4 10cm

图167

白倉A区7号住居出土遺物

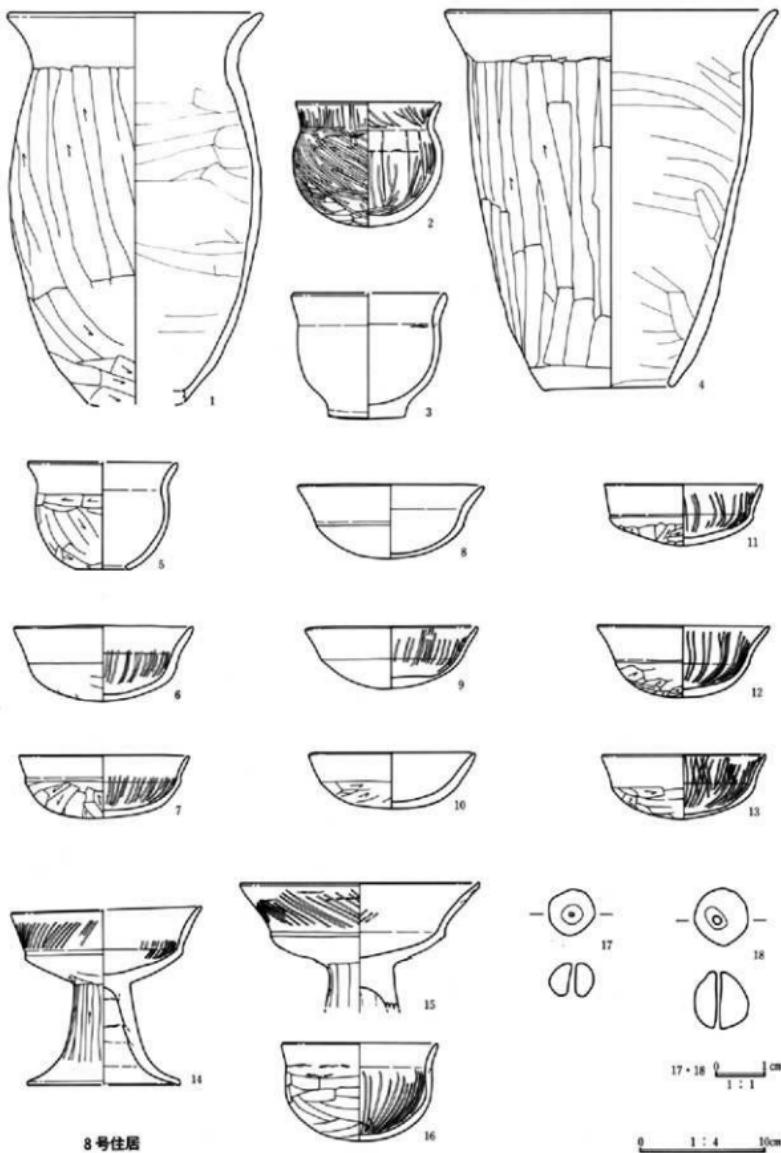


7号住居

0 1 : 4 10cm

图168

白倉A区8号住居出土遺物

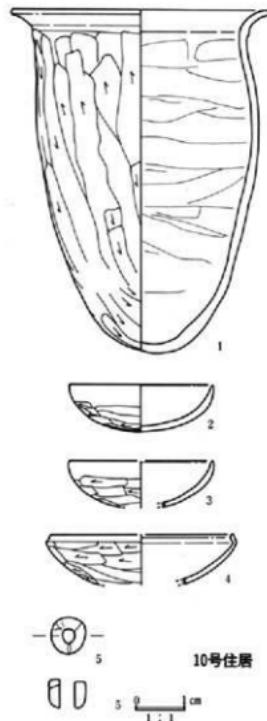


8号住居

0 1 : 4 10cm

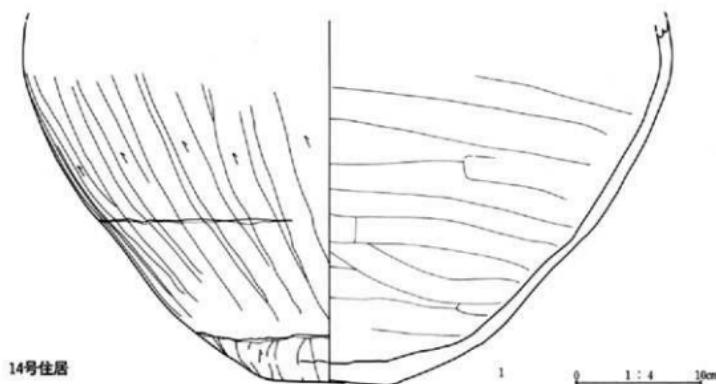
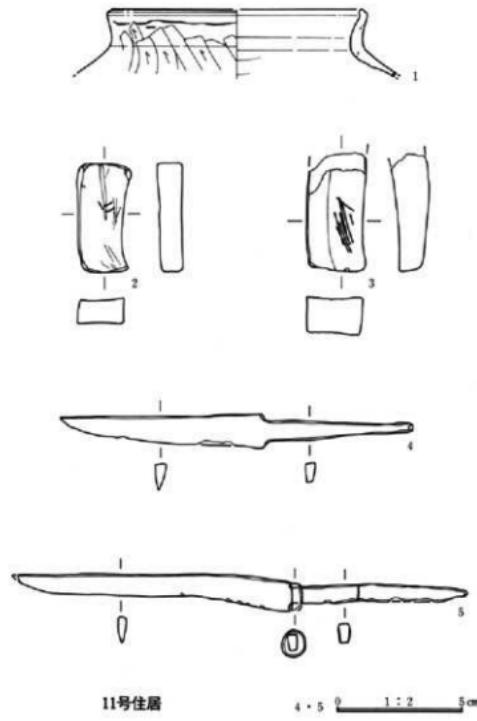
17・18 9 cm
1 : 1

图169



10号住居

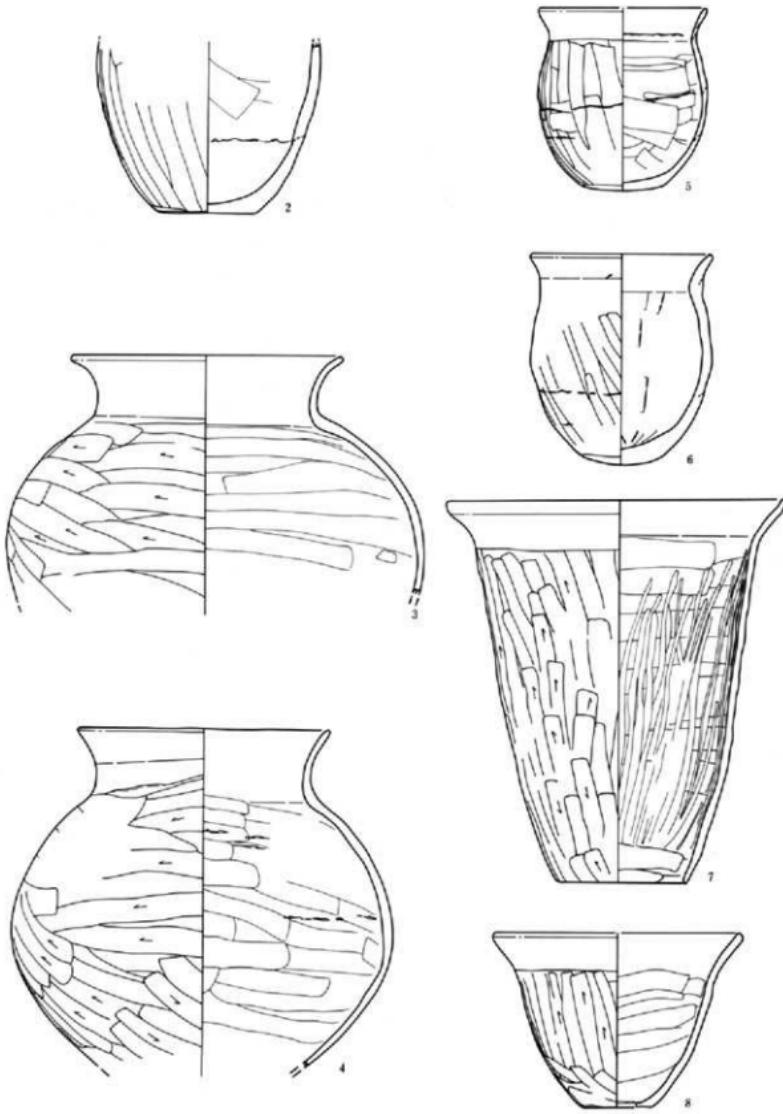
白倉A区10・11・14号住居出土遺物



14号住居

图170

白倉A区14号住居出土遺物



14号住居

0 1 : 4 10cm

图171

白倉A区14号住居出土遺物

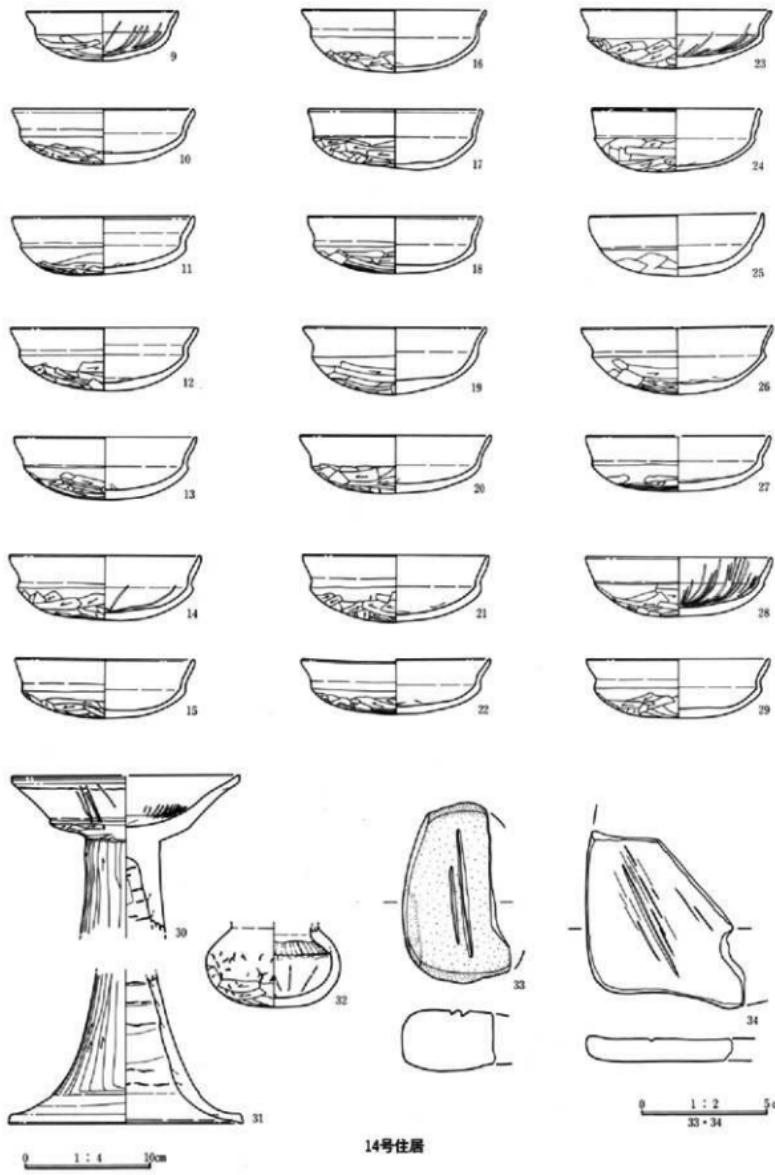


图172

白倉A区15・19・20号住居出土遺物

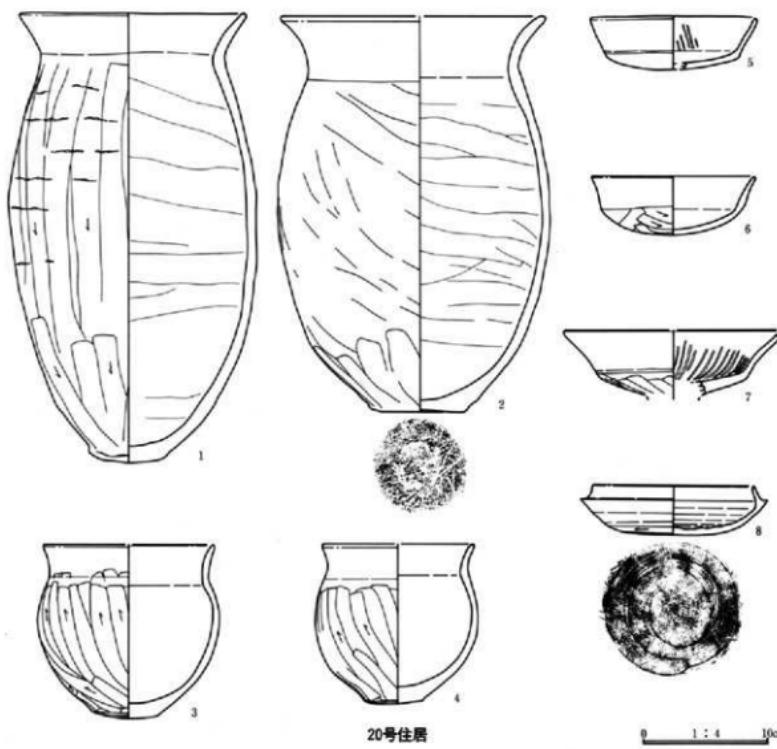
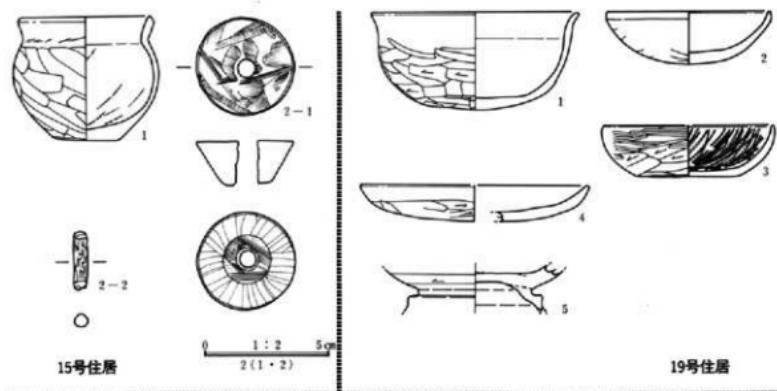
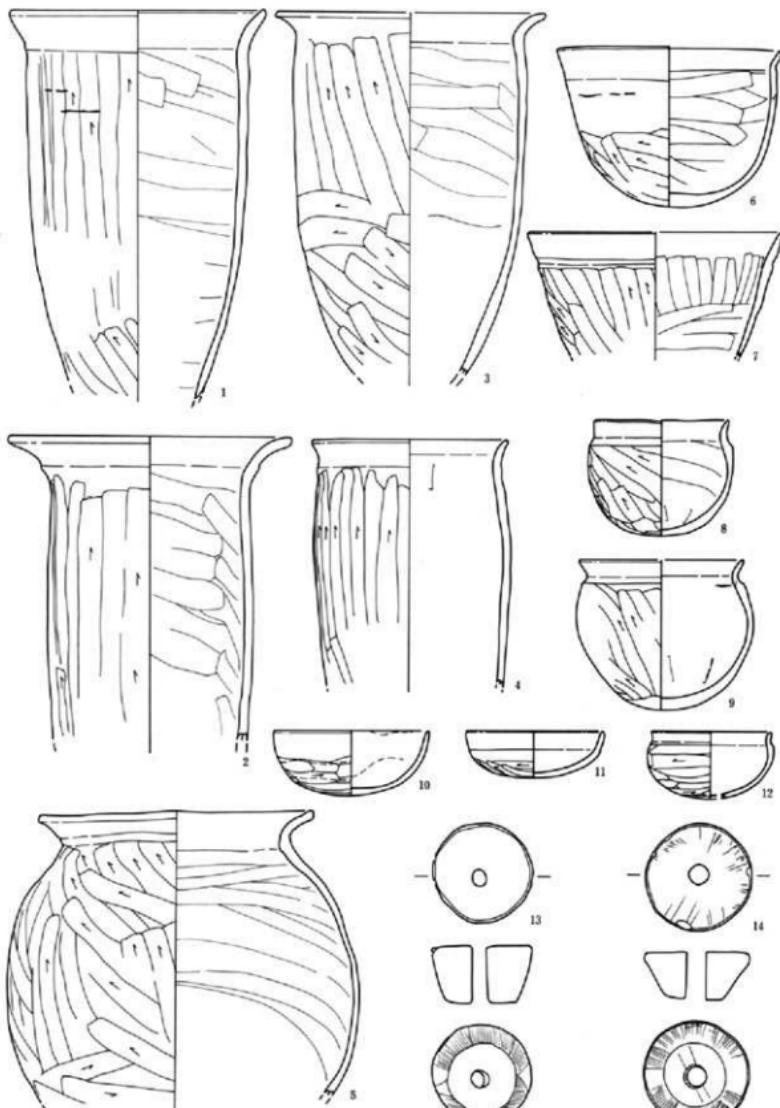


图173

白倉A区22号住居出土遺物



0 1 : 4 10cm

22号住居

13-14 0 1 : 2 5cm

图174

白倉A区23・24・25号住居出土遺物

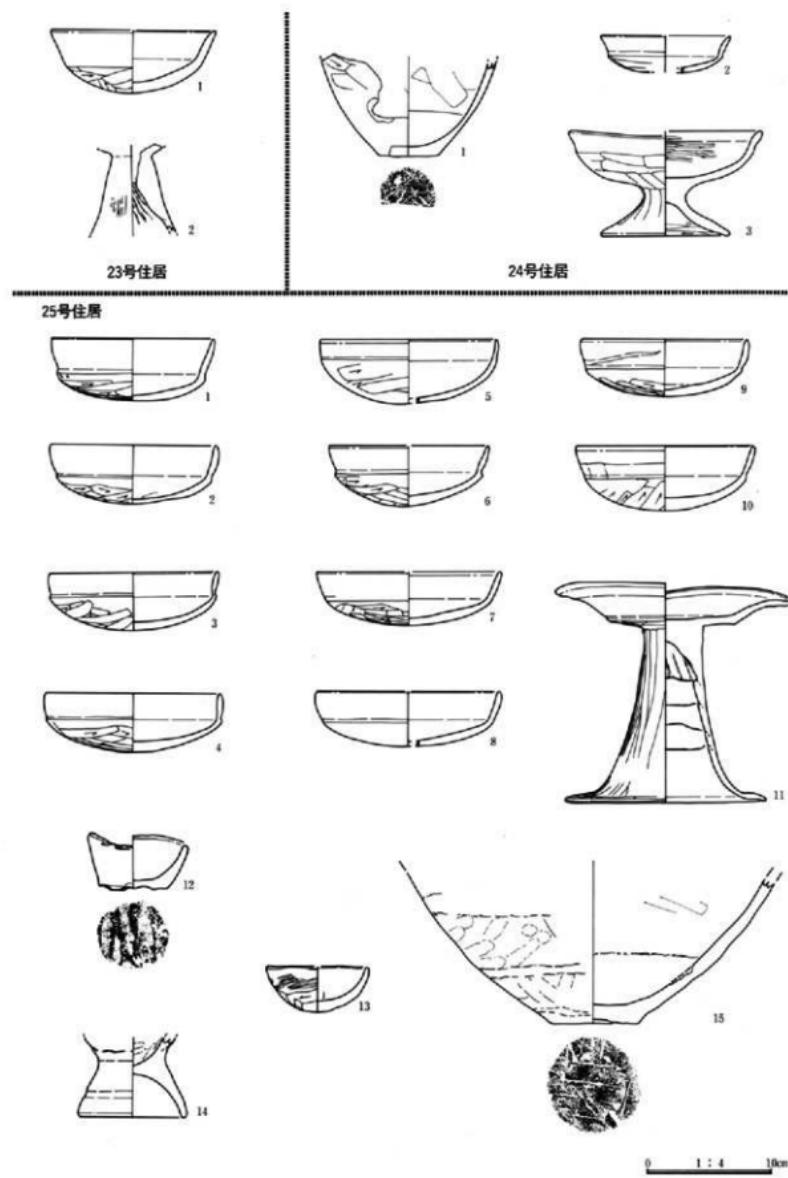
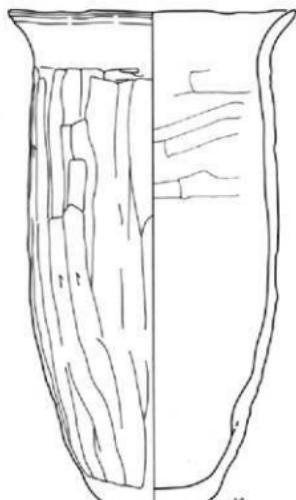
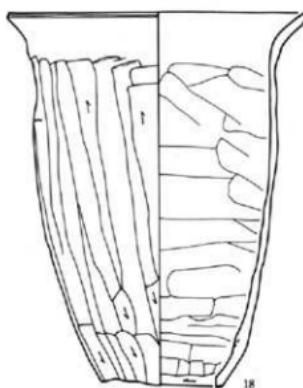


图175

白倉A区25号住居出土遺物



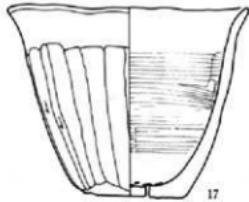
16



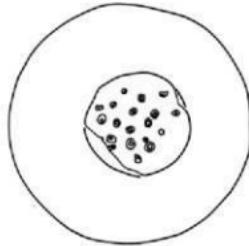
18



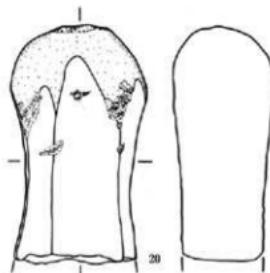
19



17



25号住居



0 1 : 4 10cm

图176

白倉A区26号住居出土遺物

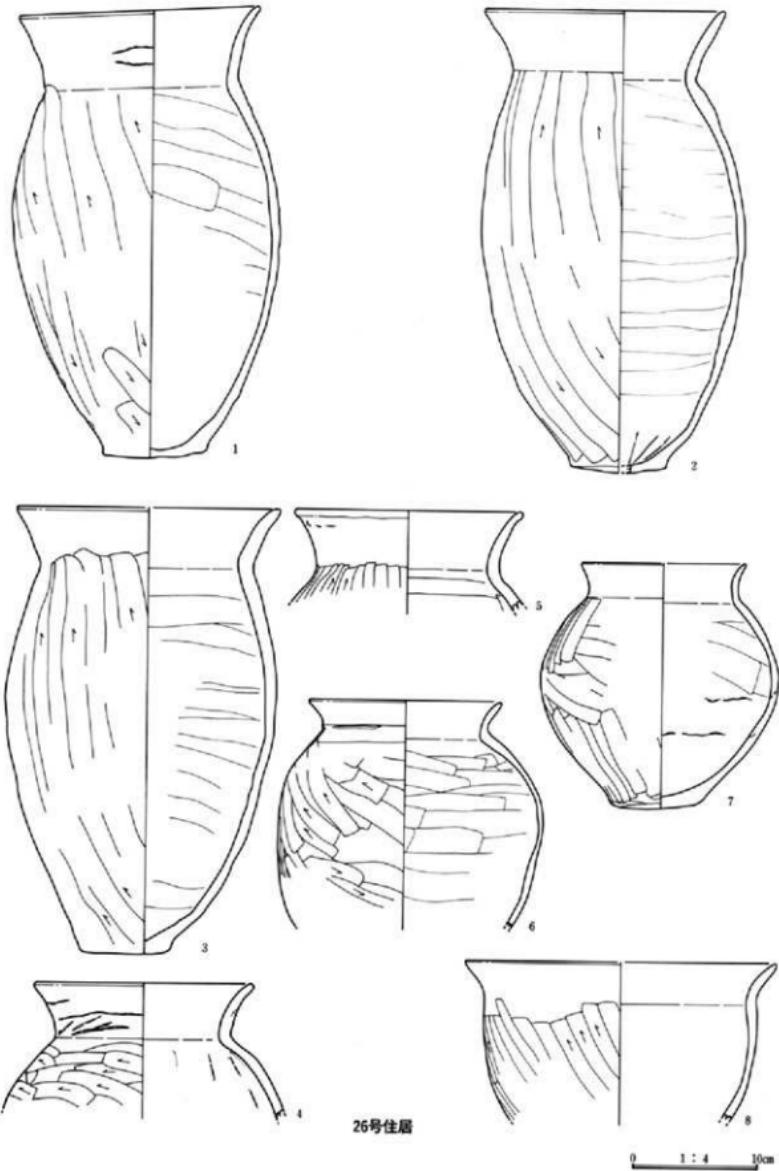
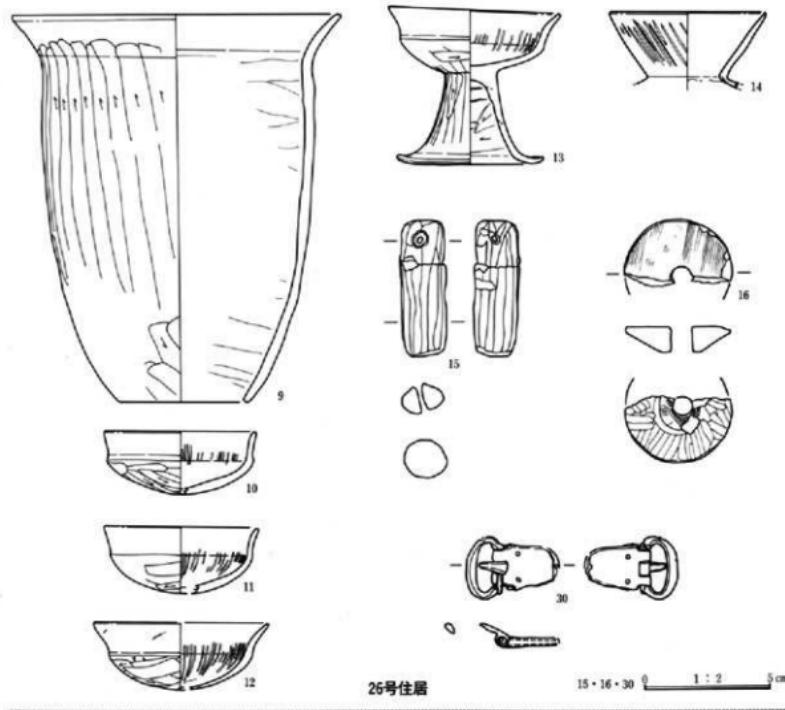


图177

白倉A区26・27号住居出土遺物



26号住居

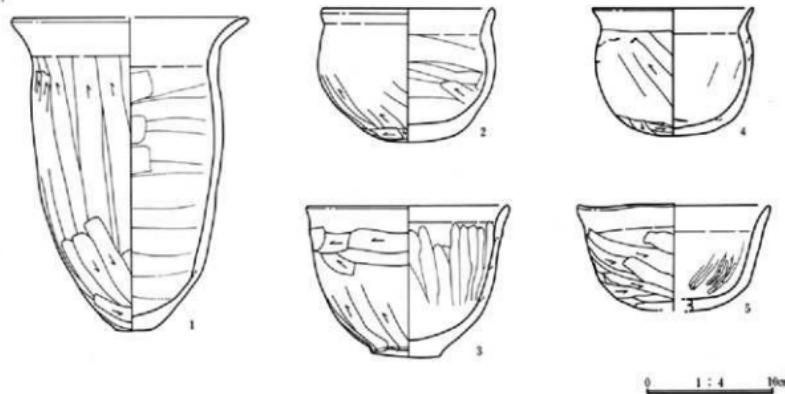
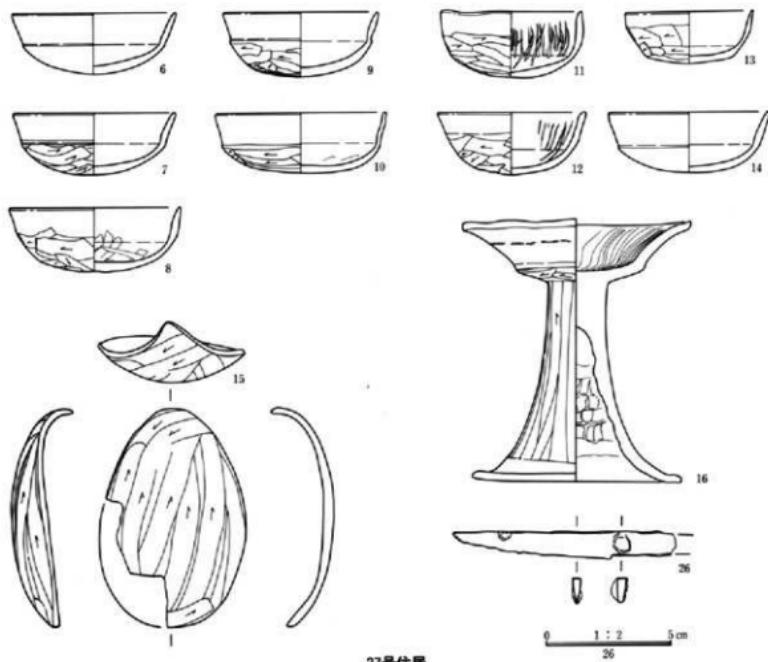
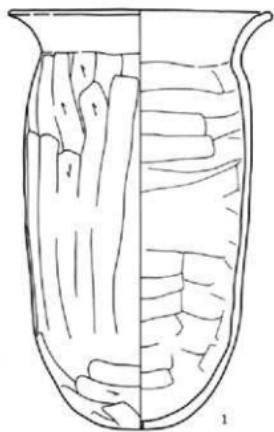


图178

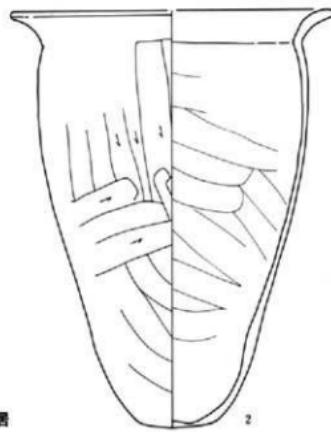
白倉A区27·28号住居出土遺物



27号住居



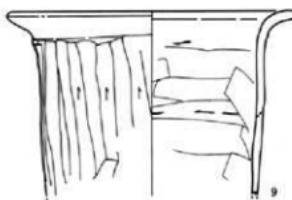
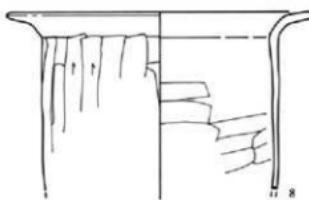
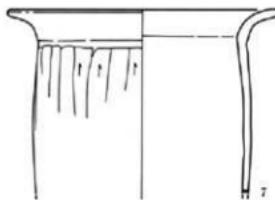
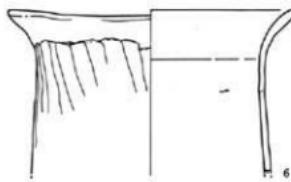
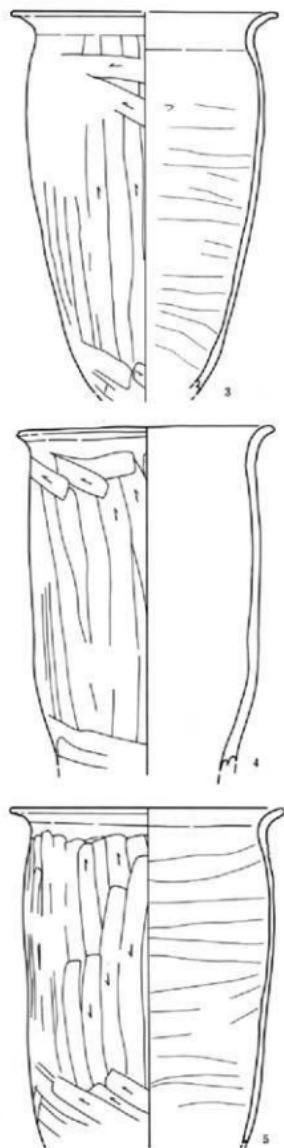
28号住居



0 1:4 10cm

图179

白倉A区28号住居出土遺物

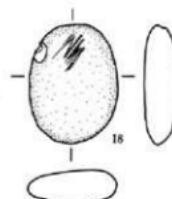
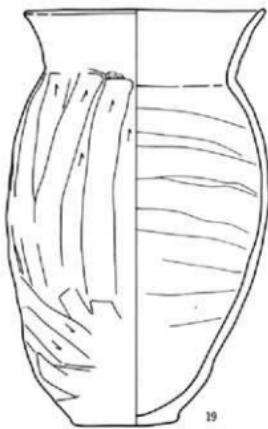
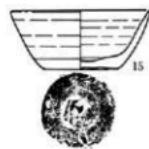
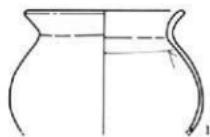
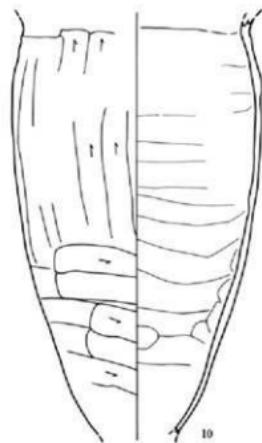


28号住居

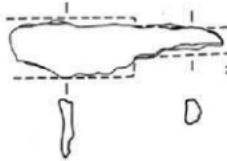
0 1 : 4 10cm

图180

白倉A区28·29号住居出土遺物



28号住居



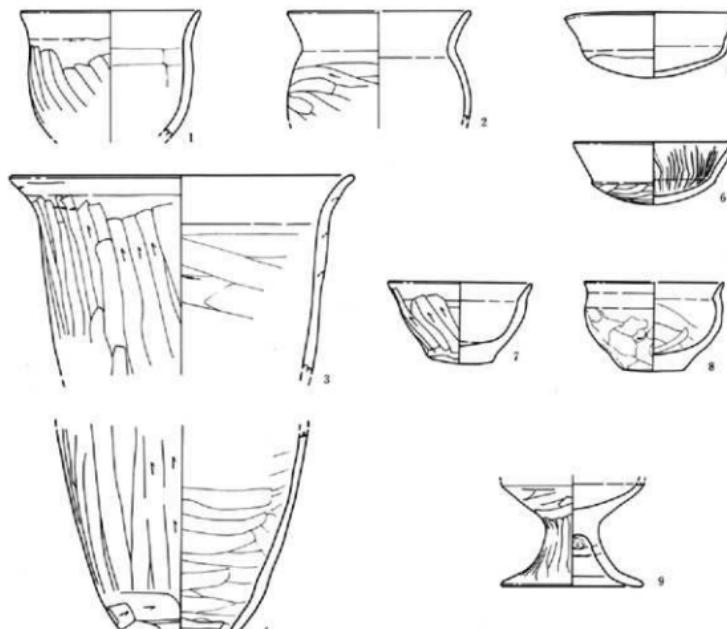
0 1 : 4 10cm

29号住居

0 1 : 2 5cm

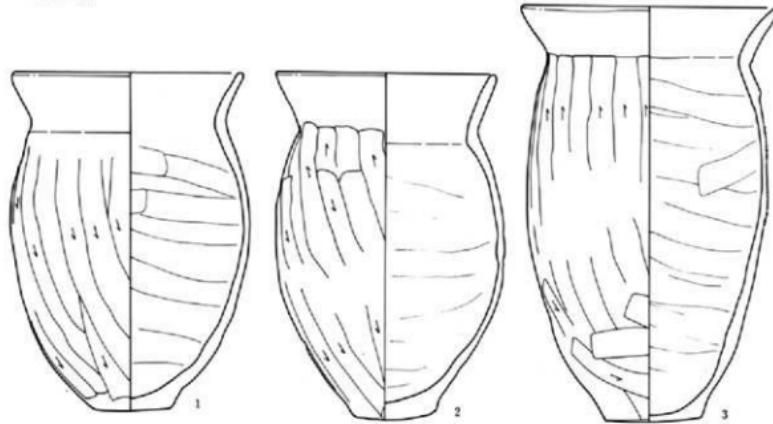
图181

白倉A区30・31号住居出土遺物



30号住居

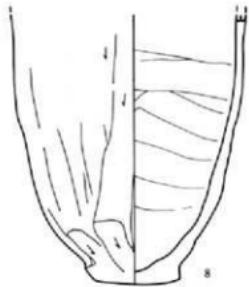
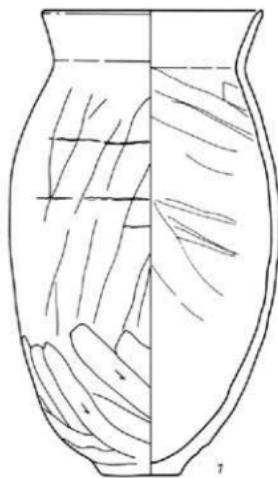
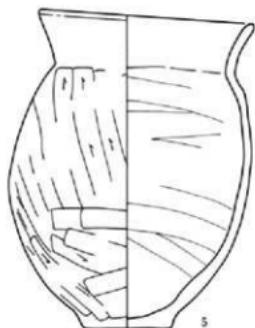
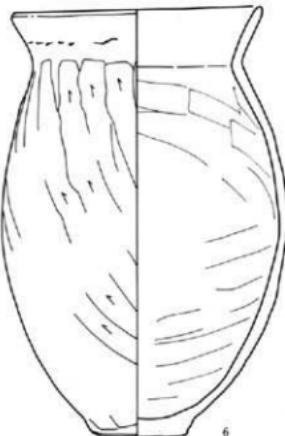
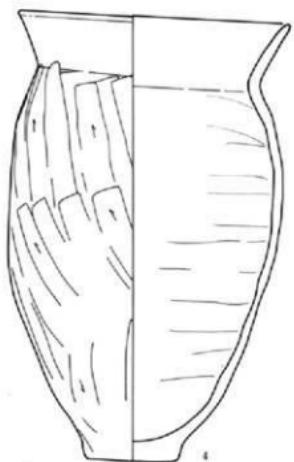
31号住居



0 1 : 4 10cm

图182

白倉A区31号住居出土遺物

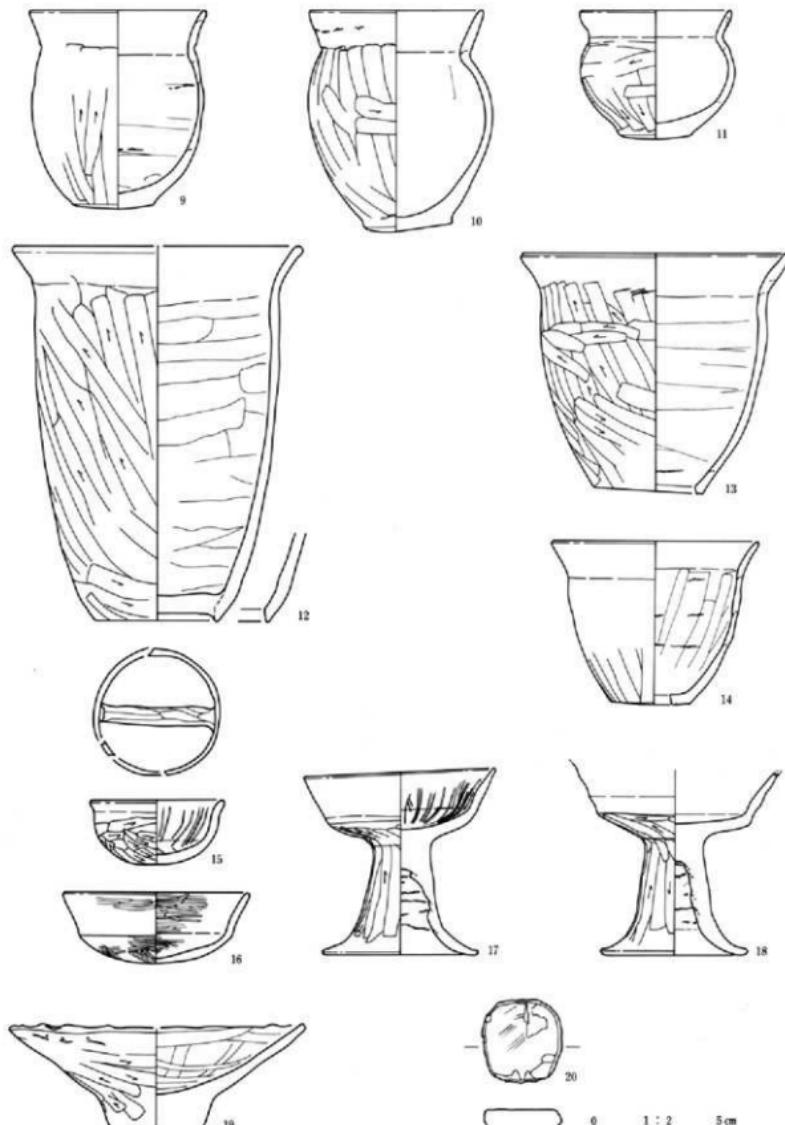


31号住居

0 1 : 4 10cm

图183

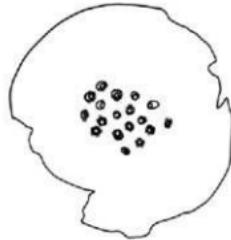
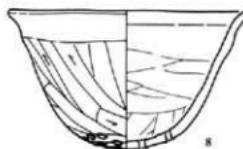
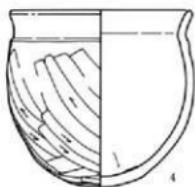
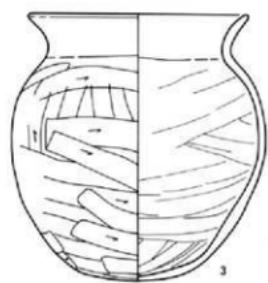
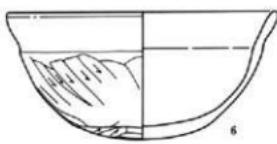
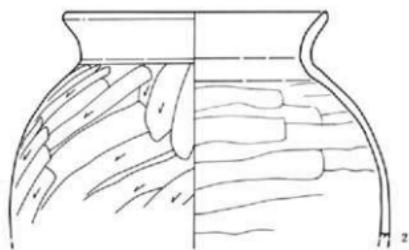
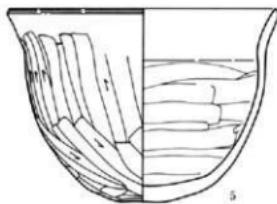
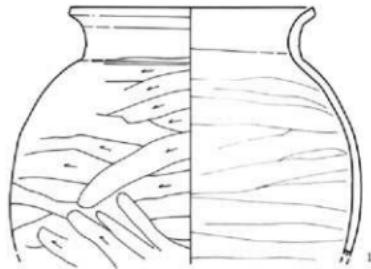
白倉A区31号住居出土遺物



31号住居

图184

白倉A区33号住居出土遺物

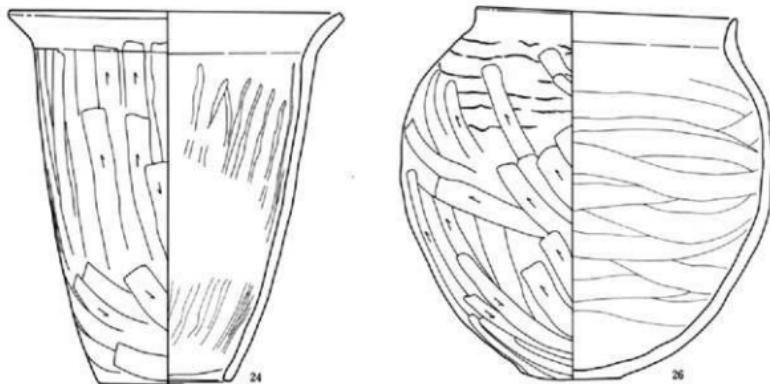
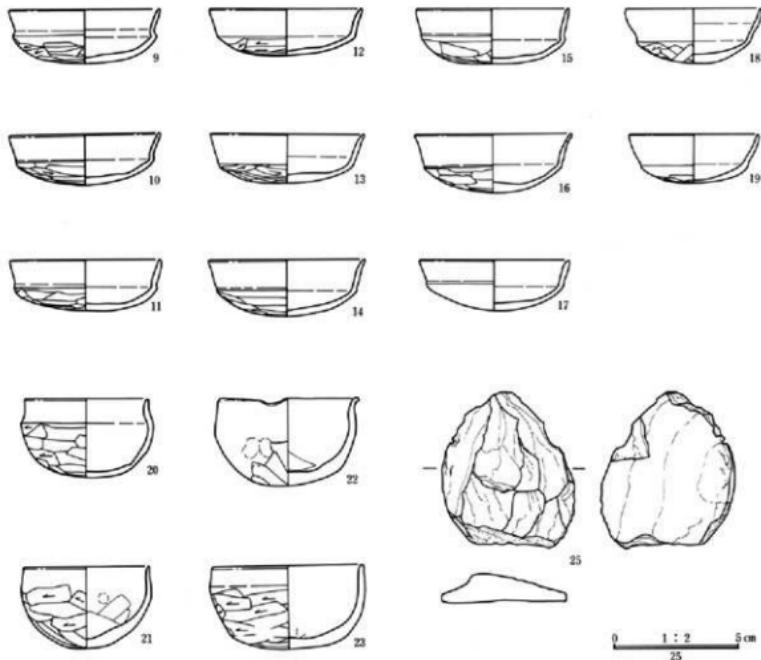


33号住居

0 1 : 4 10cm

图185

白倉A区33号住居出土遺物

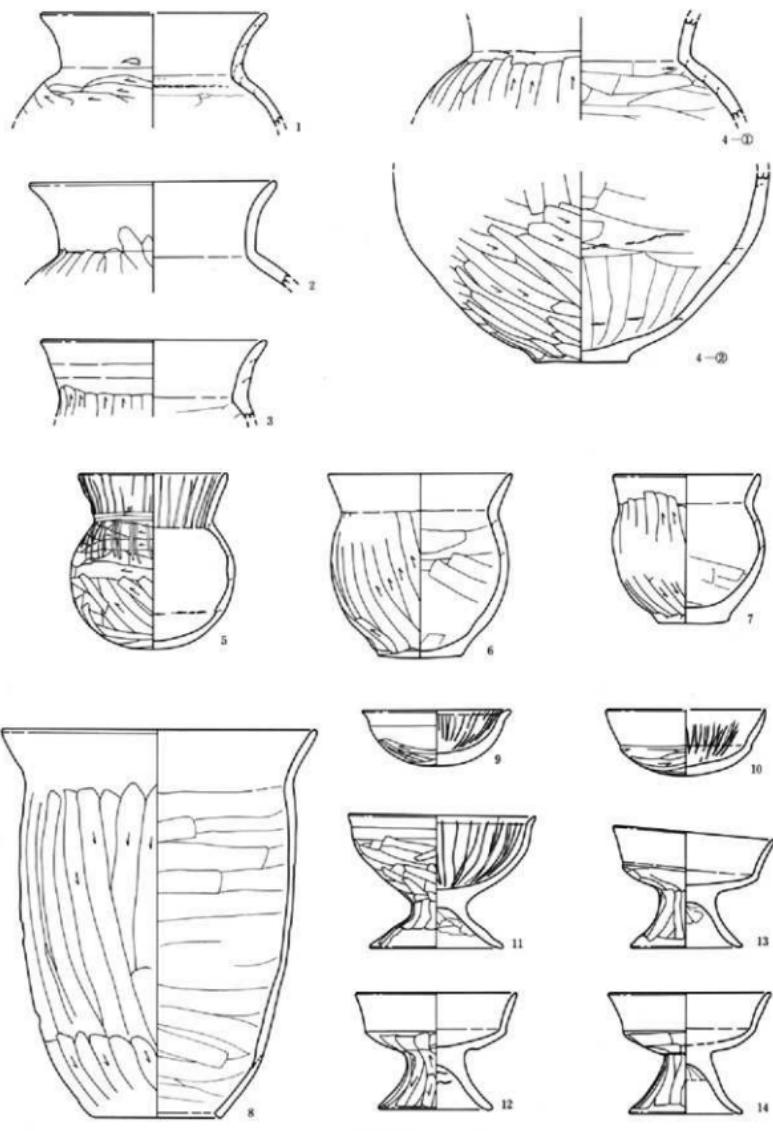


33号住居

0 1:4 10cm

图186

白倉A区34号住居出土遺物



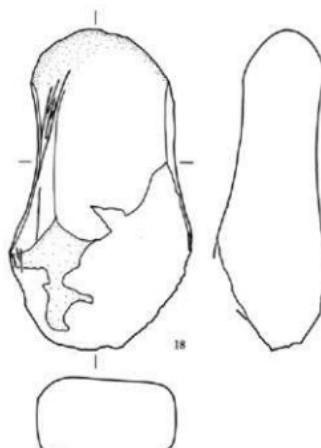
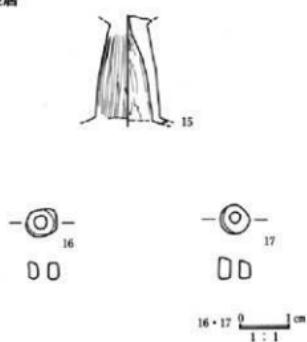
34号住居

0 1 : 4 10cm

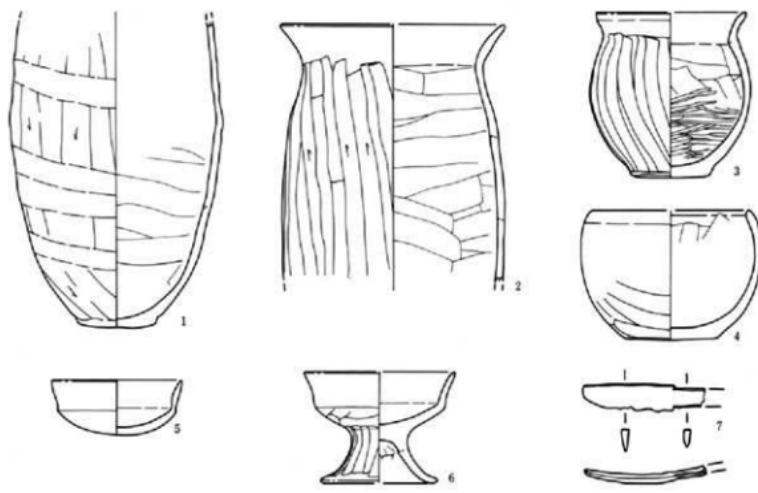
图187

白倉A区34・35・36号住居出土遺物

34号住居



35号住居



36号住居

图188

白倉A区41・42号住居出土遺物

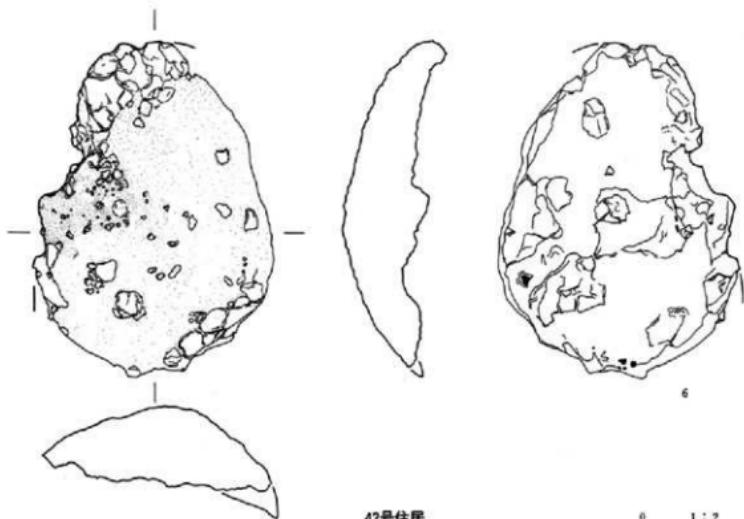
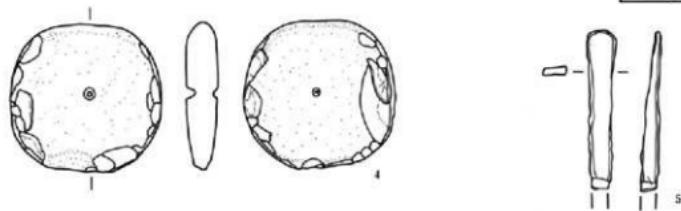
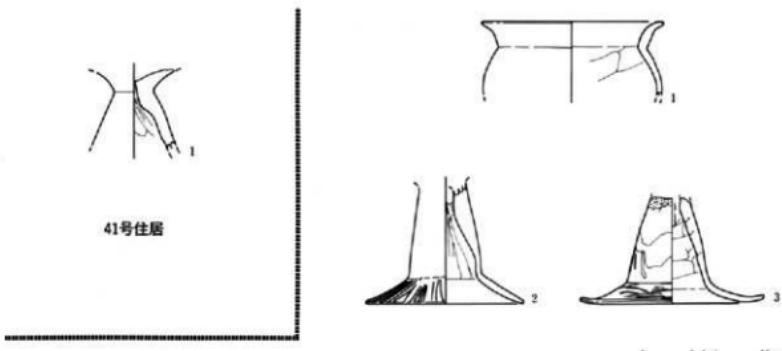
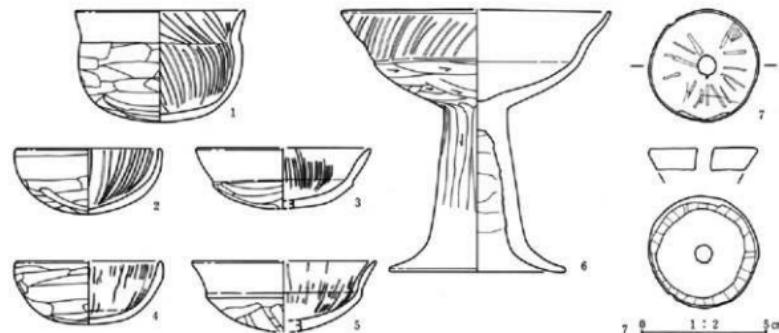
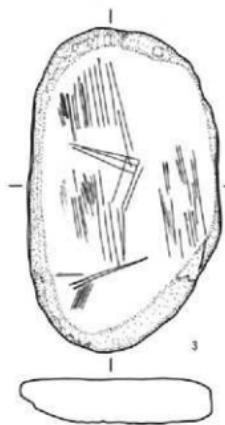
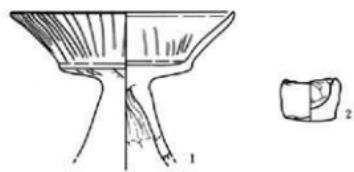


图189

白倉A区44・45号住居出土遺物

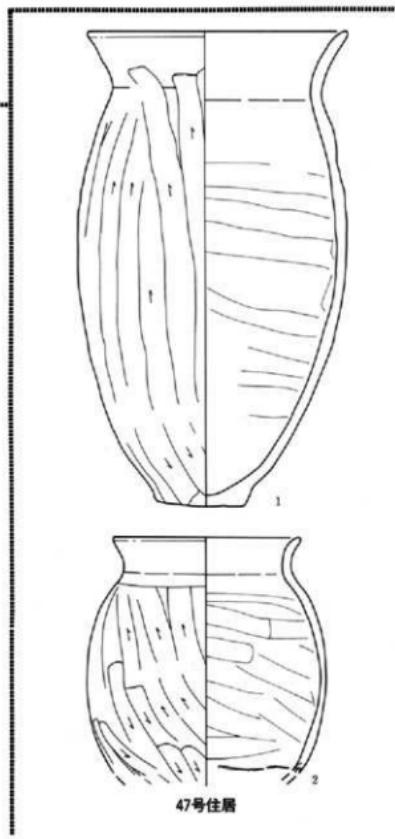


44号住居



0 1 : 4 10cm

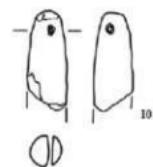
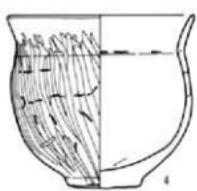
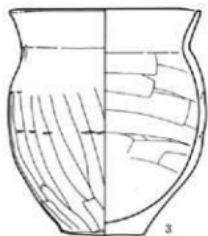
45号住居



47号住居

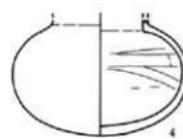
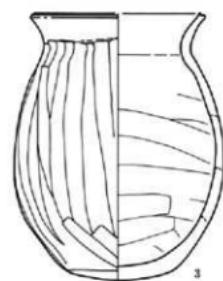
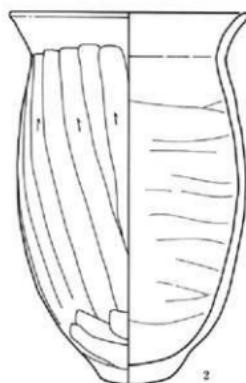
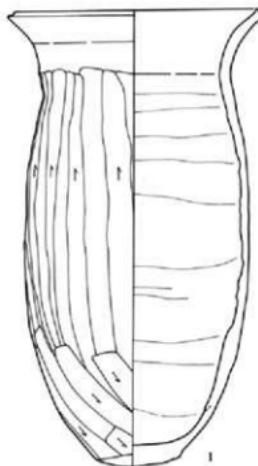
图190

白倉A区47・53号住居出土遺物



47号住居

0 1 : 2 5 cm
10



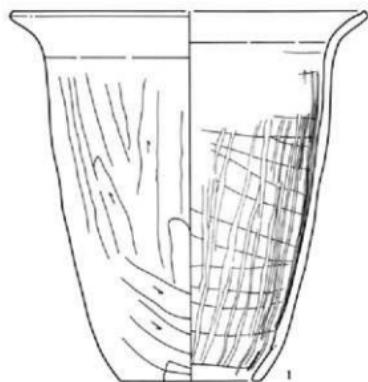
0 1 : 4 10cm

53号住居

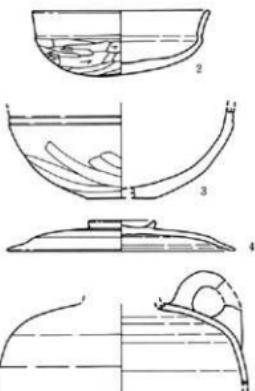
0 1 : 2 5 cm
7

图191

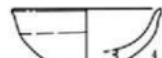
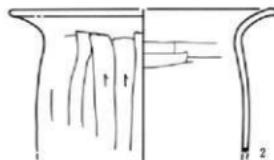
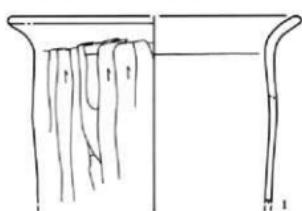
白倉A区54·57·58号住居出土遺物



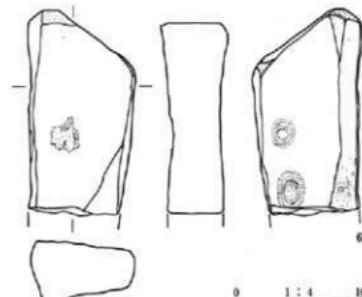
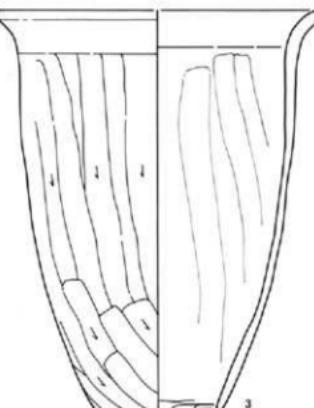
54号住居



57号住居



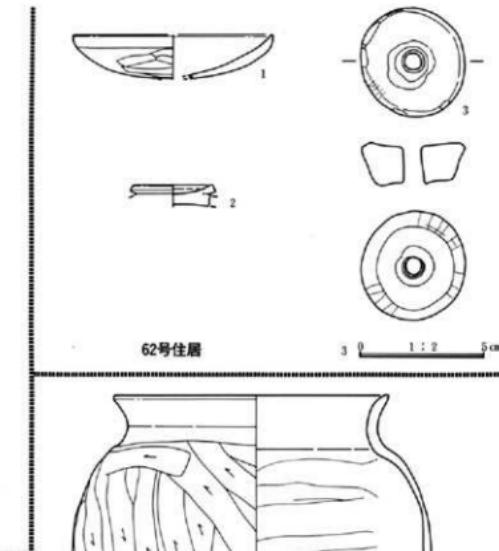
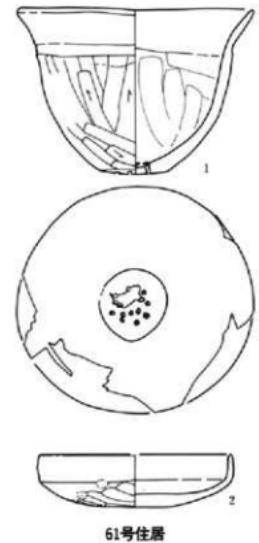
58号住居



0 1 : 4 10cm

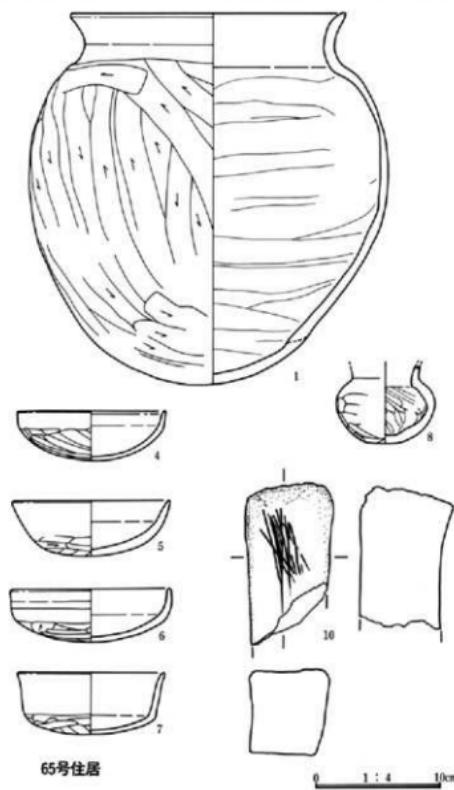
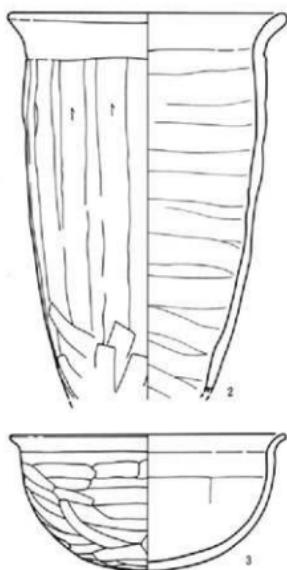
图192

白倉A区61・62・65号住居出土遺物



61号住居

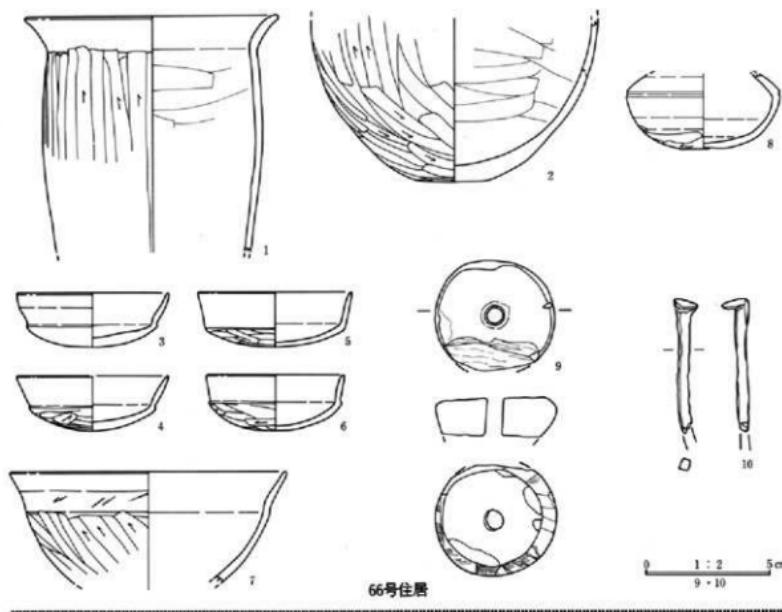
62号住居



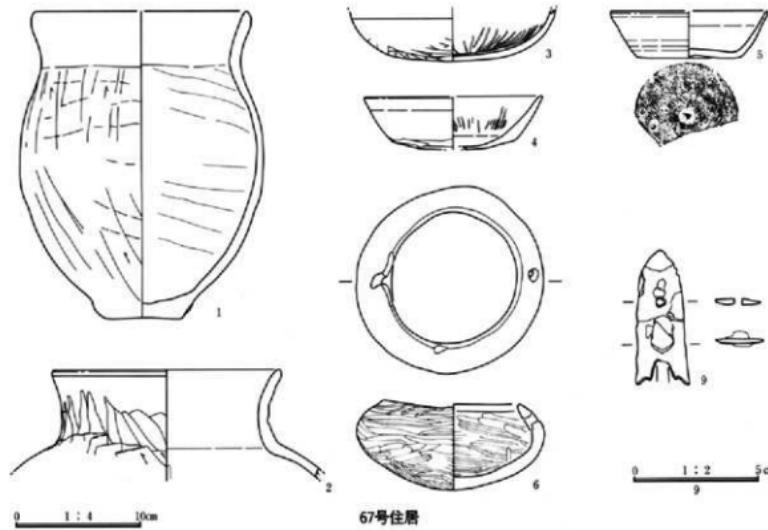
65号住居

图193

白倉A区66・67号住居出土遺物



66号住居



67号住居

图194

白倉A区72・73・74・76・77・80号住居出土遺物

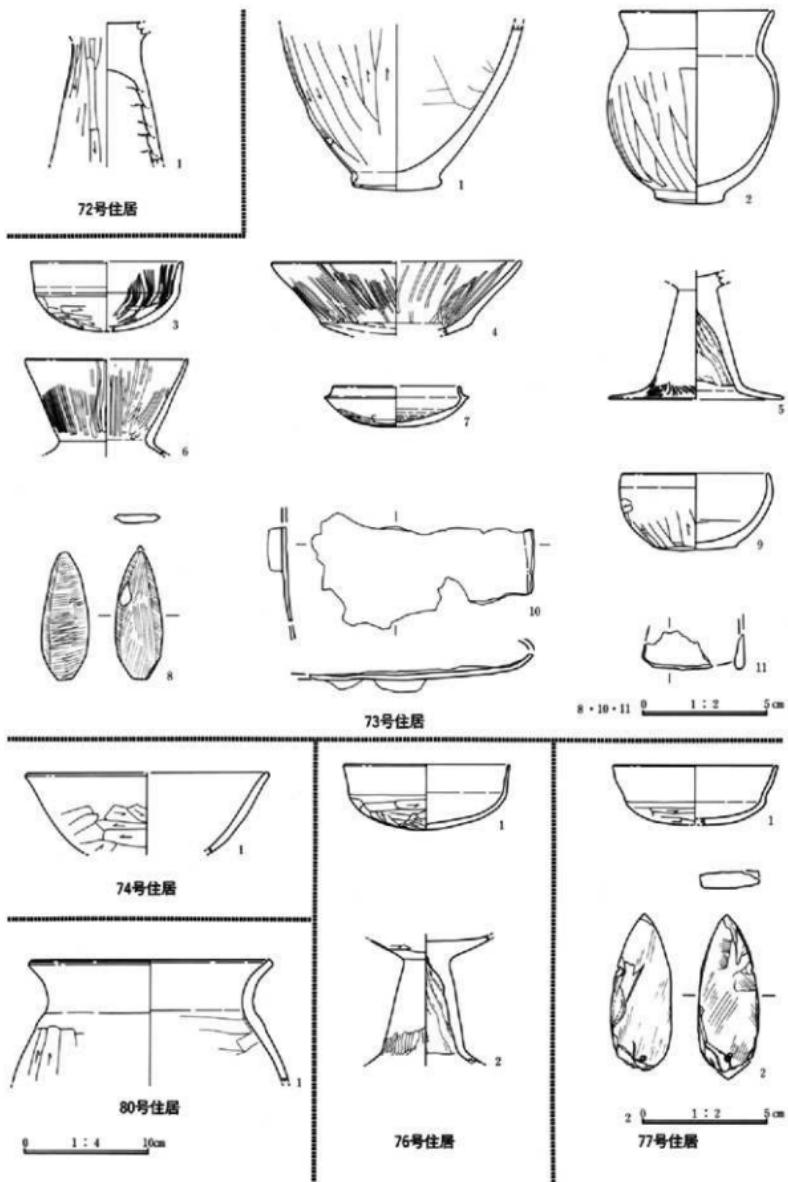
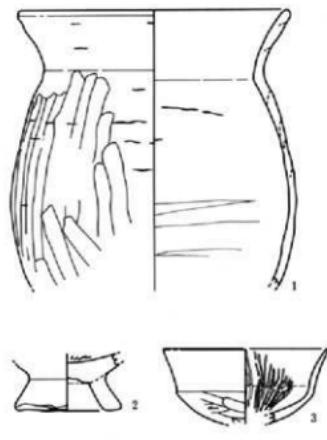
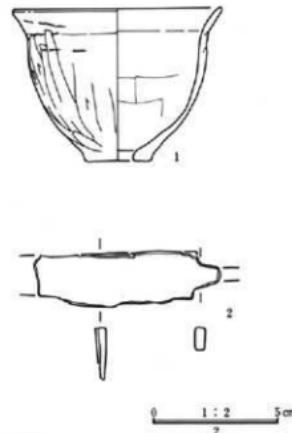


图195

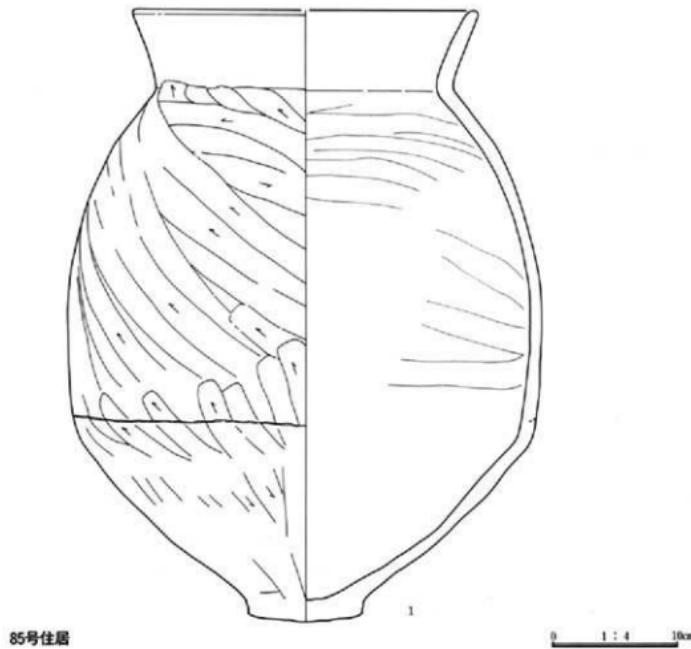


81号住居

白倉A区81・82・85号住居出土遺物



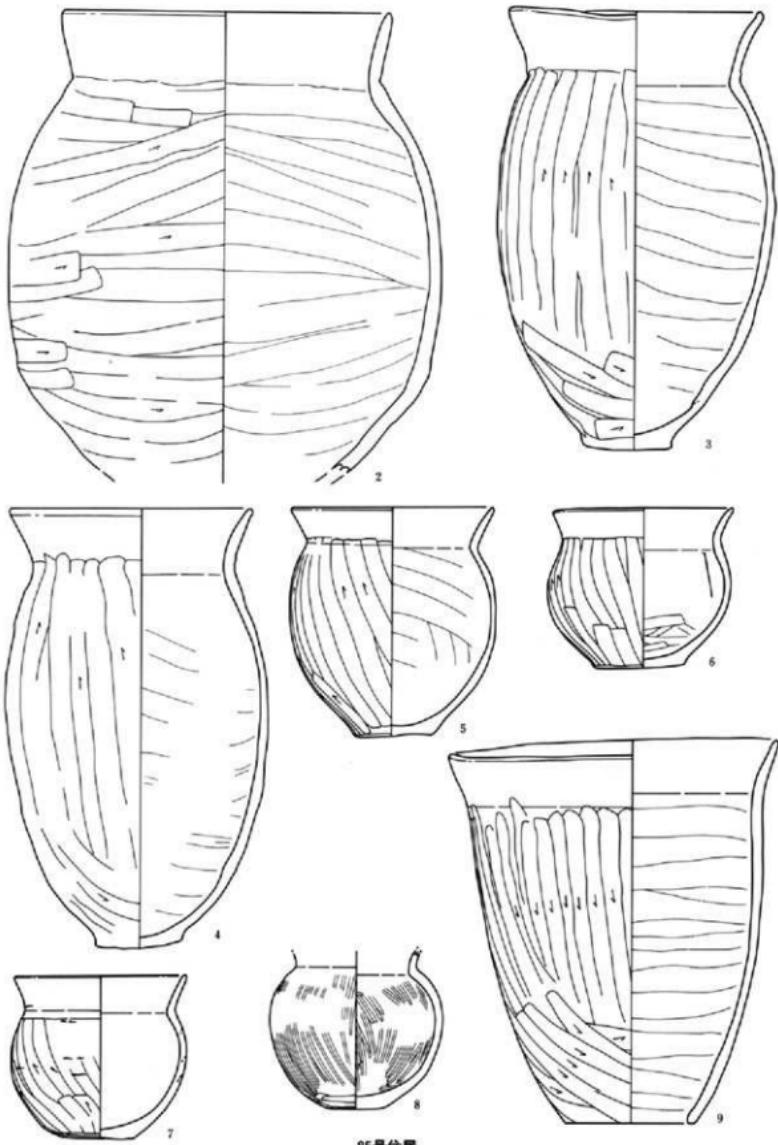
82号住居



85号住居

図196

白倉A区85号住居出土遺物

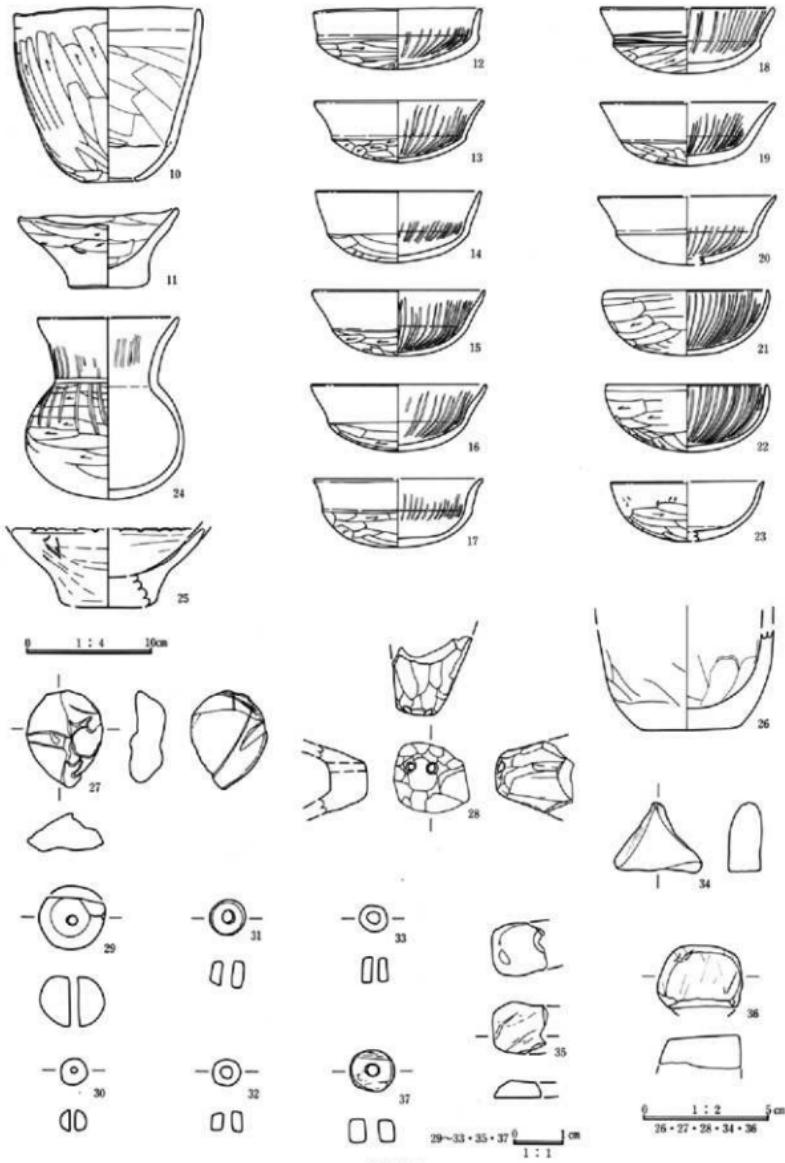


85号住居

1 : 4 10cm

图197

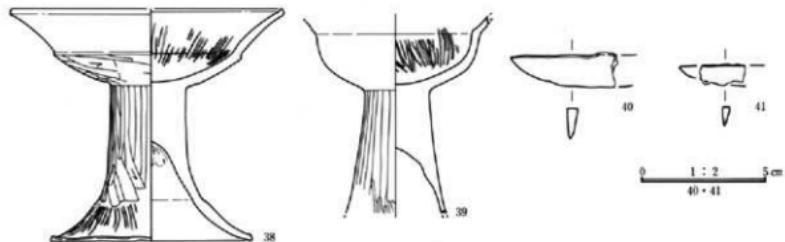
白倉A区85号住居出土遺物



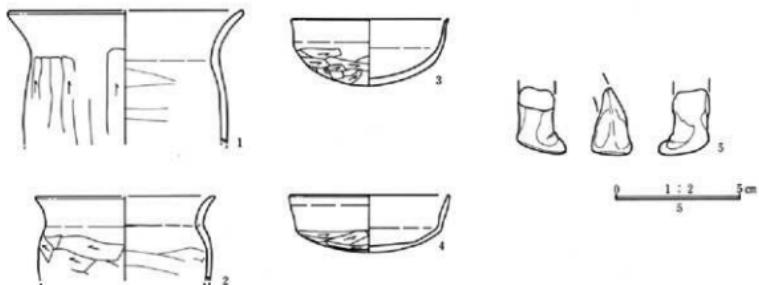
85号住居

图198

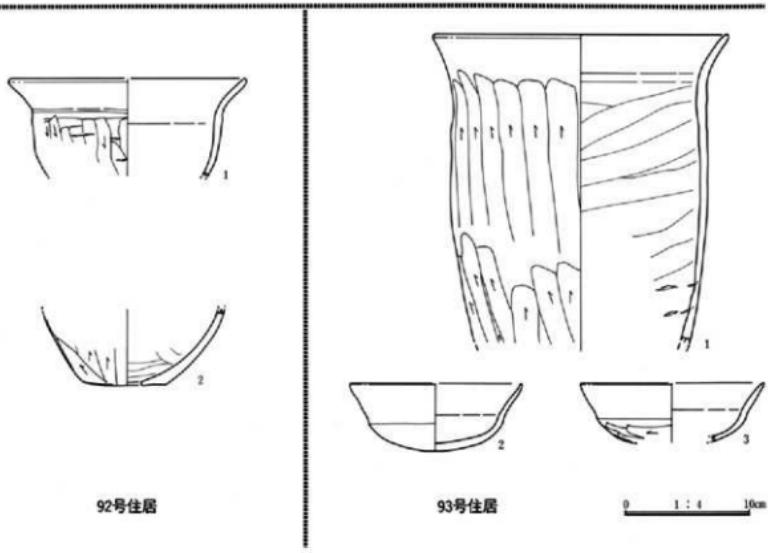
白仓A区85·86·92·93号住居出土遗物



85号住居



86号住居

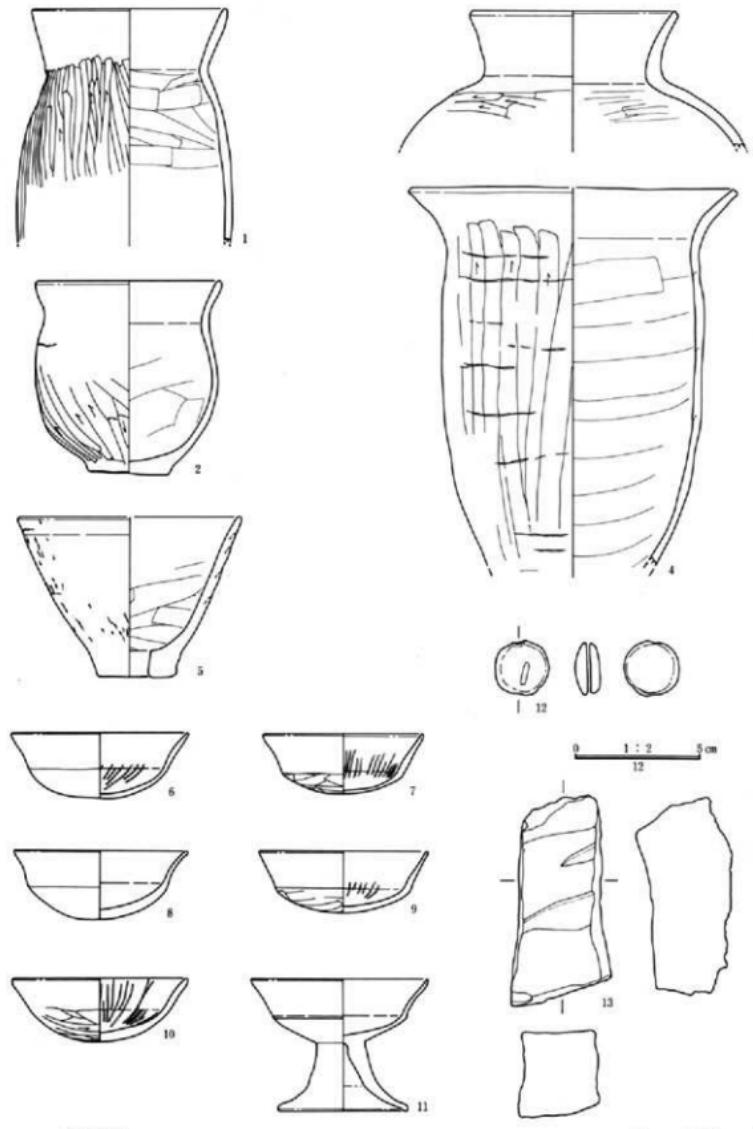


92号住居

93号住居

图199

白倉A区94号住居出土遺物



94号住居

图200

白倉A区95・99号住居出土遺物

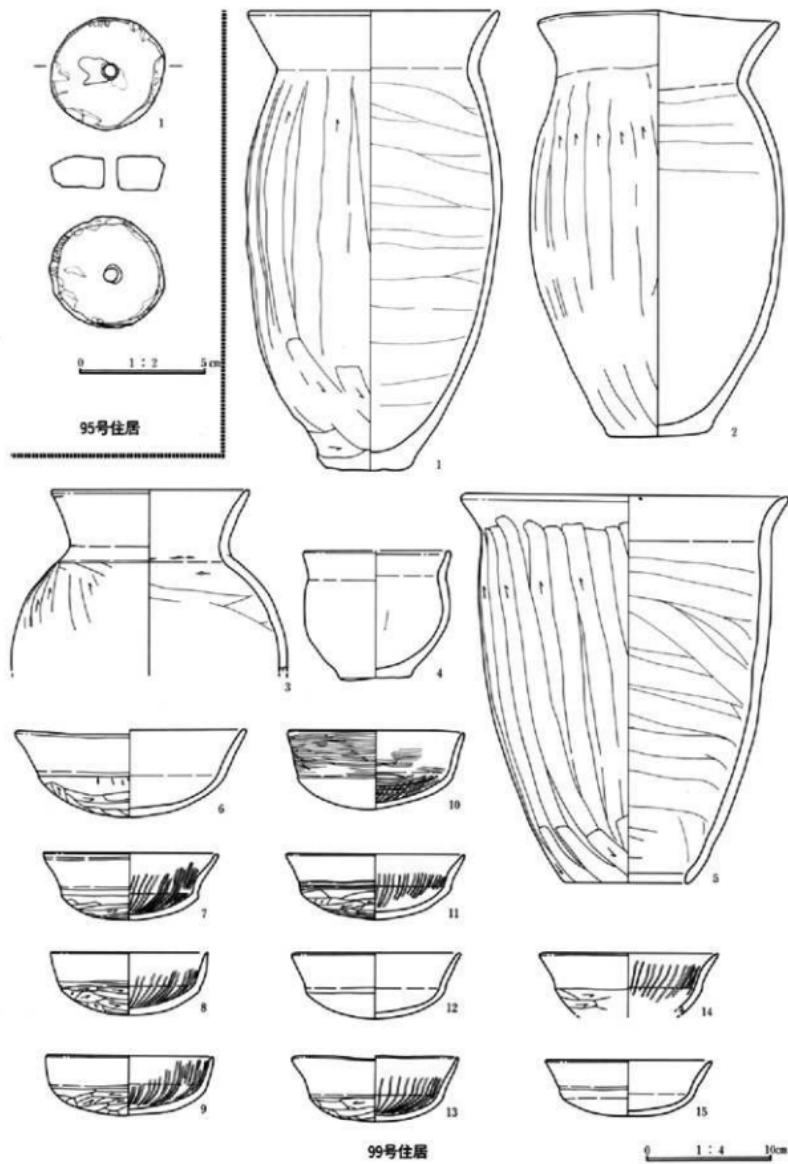
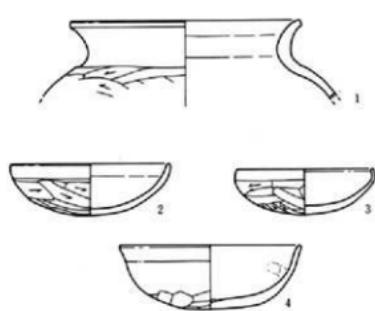
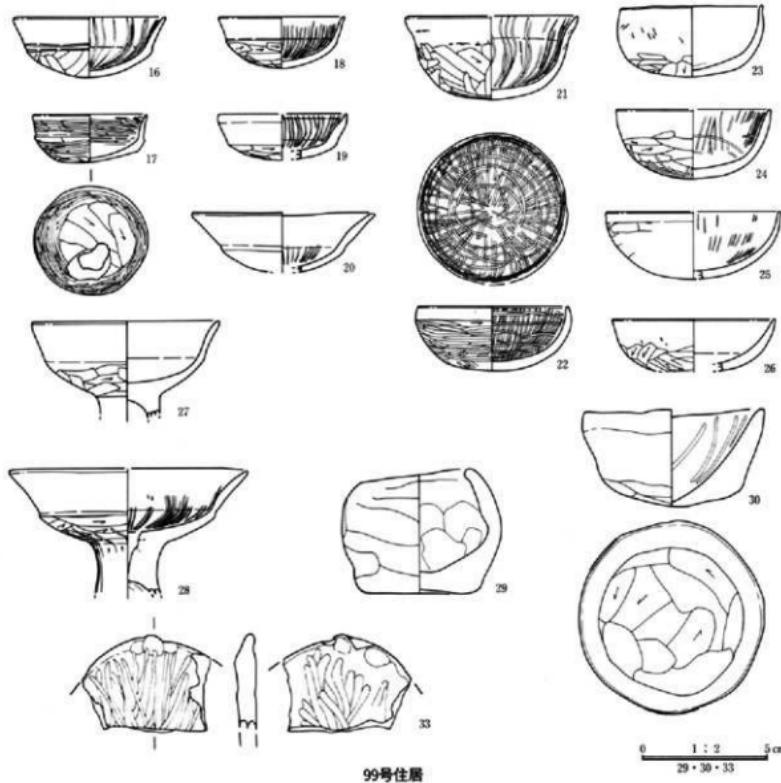


图201

白倉A区99・101号住居出土遺物



101号住居

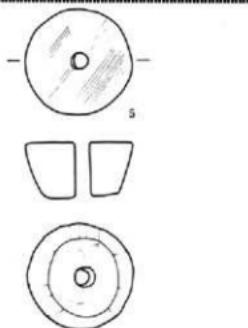
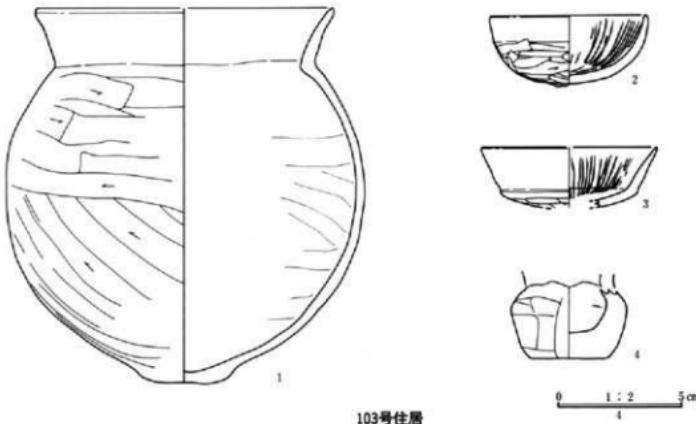
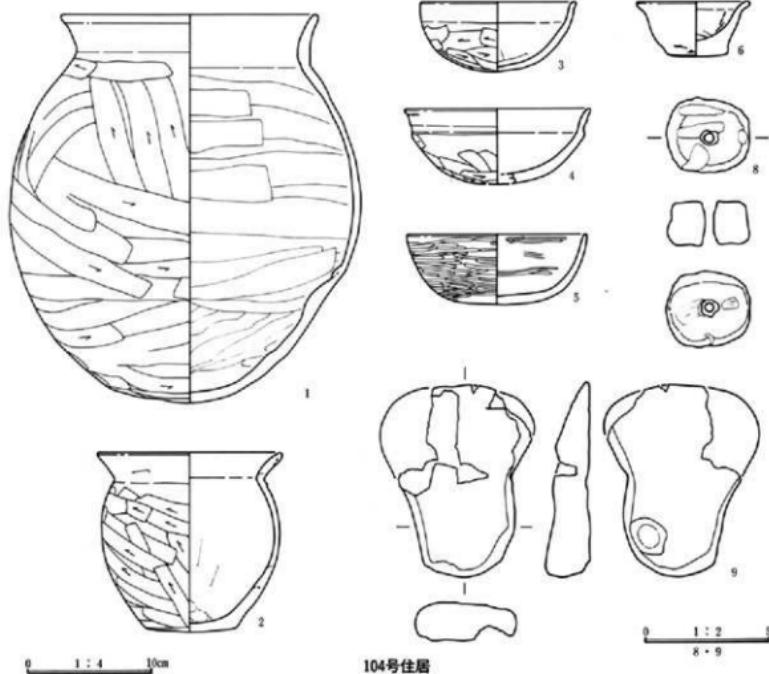


图202

白倉A区103・104号住居出土遺物



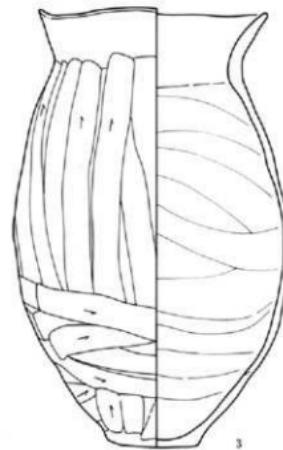
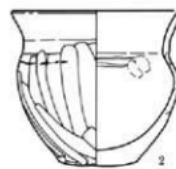
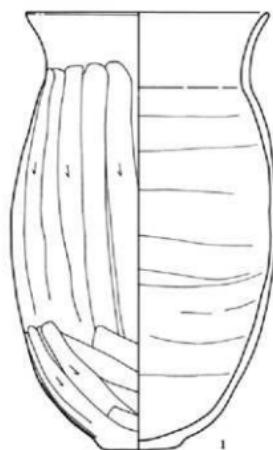
103号住居



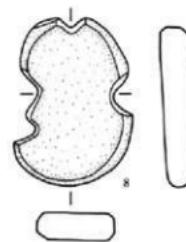
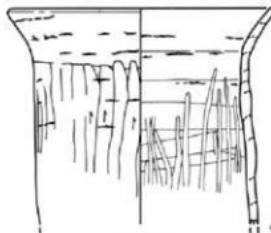
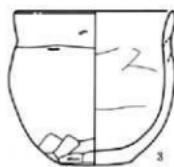
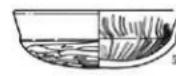
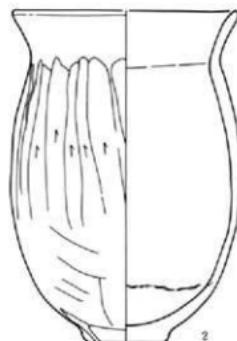
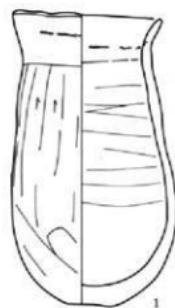
104号住居

图203

白倉A区105・106号住居出土遺物



105号住居



106号住居

0 1 : 4 10cm

0 1 : 2 5cm

8

图204

白倉A区107・109・112・113号住居出土遺物 114・115・116号住居出土遺物

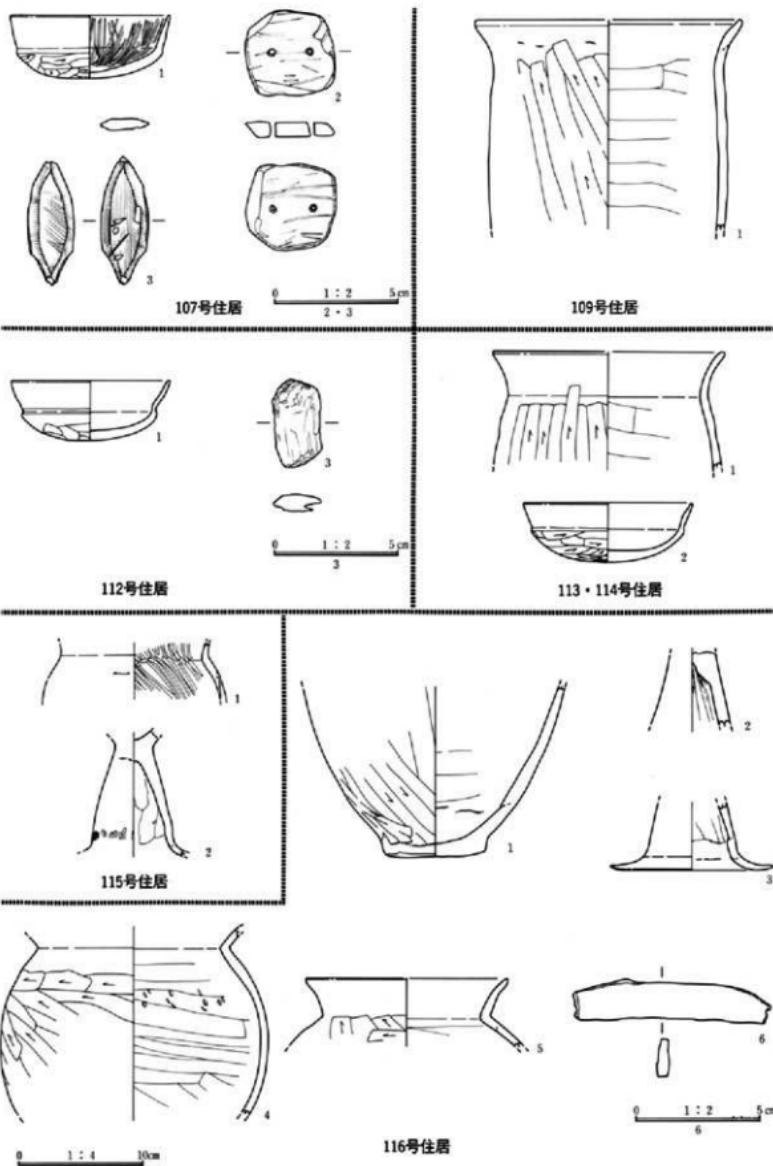


図205

白倉A区117・120号住居出土遺物

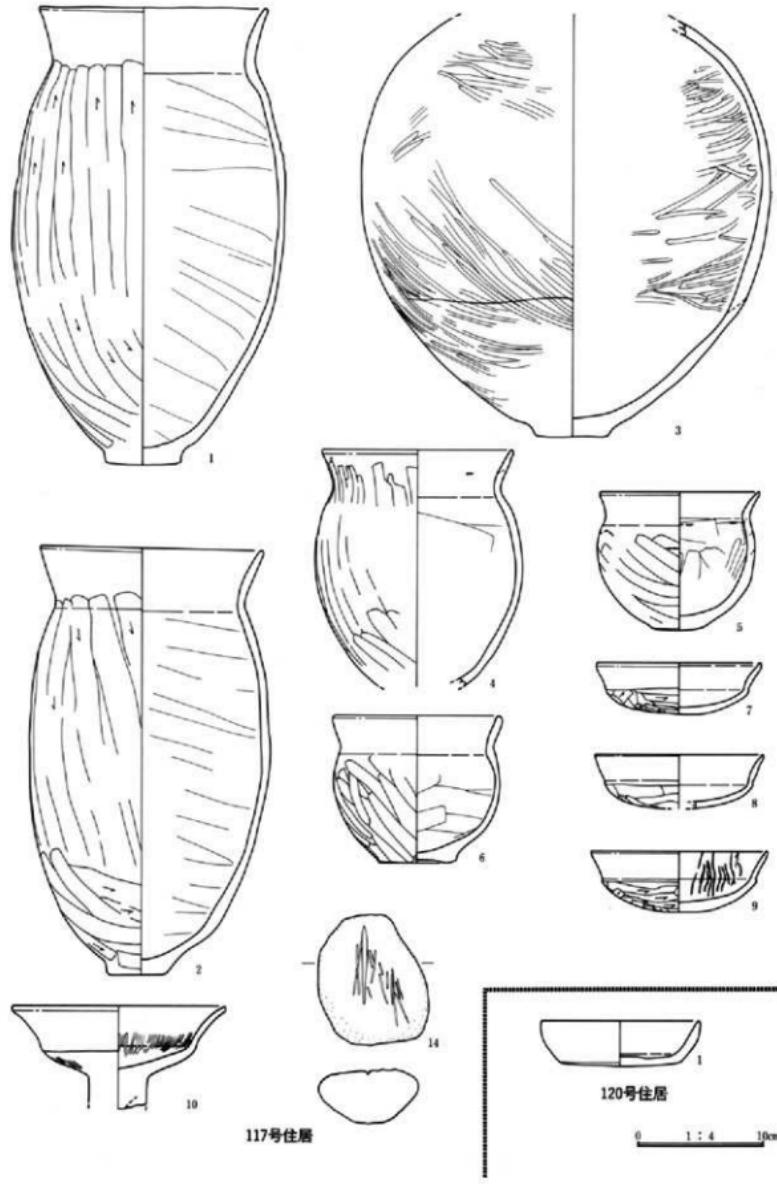
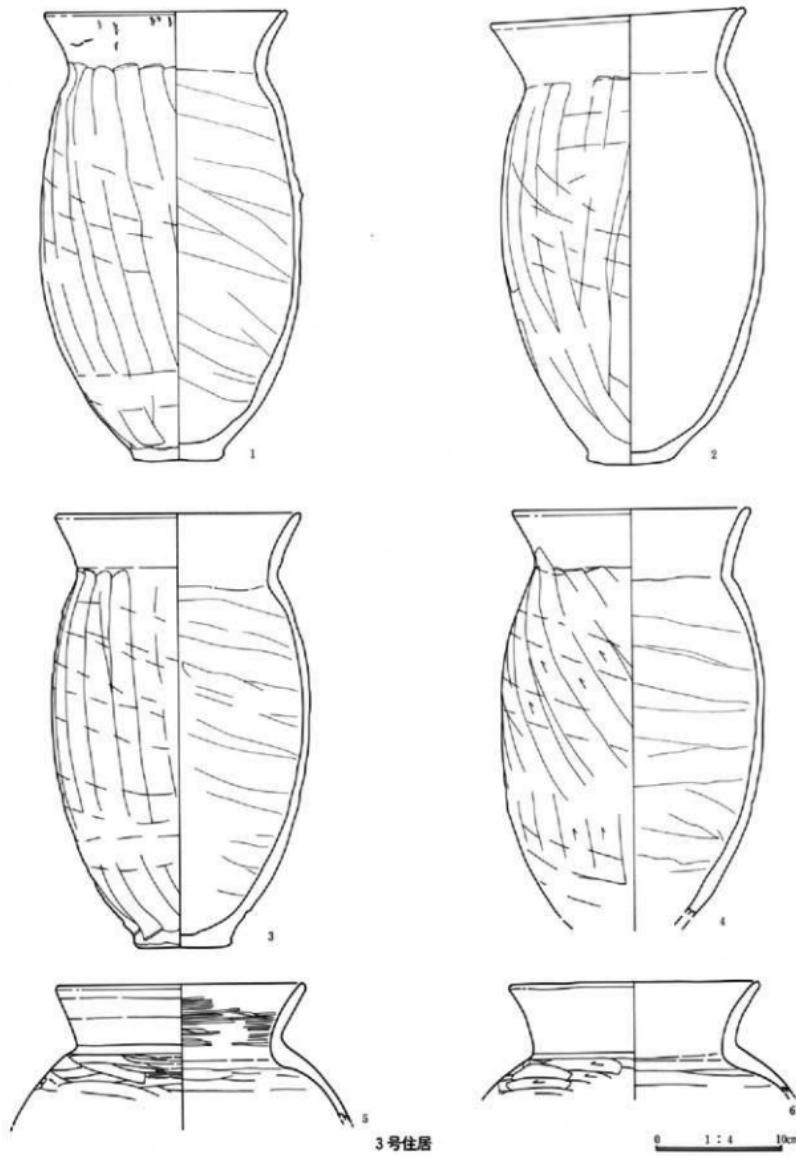


图206

白倉B区3号住居出土遺物



3号住居

0 1 : 4 10cm

图207

白倉B区3号住居出土遺物

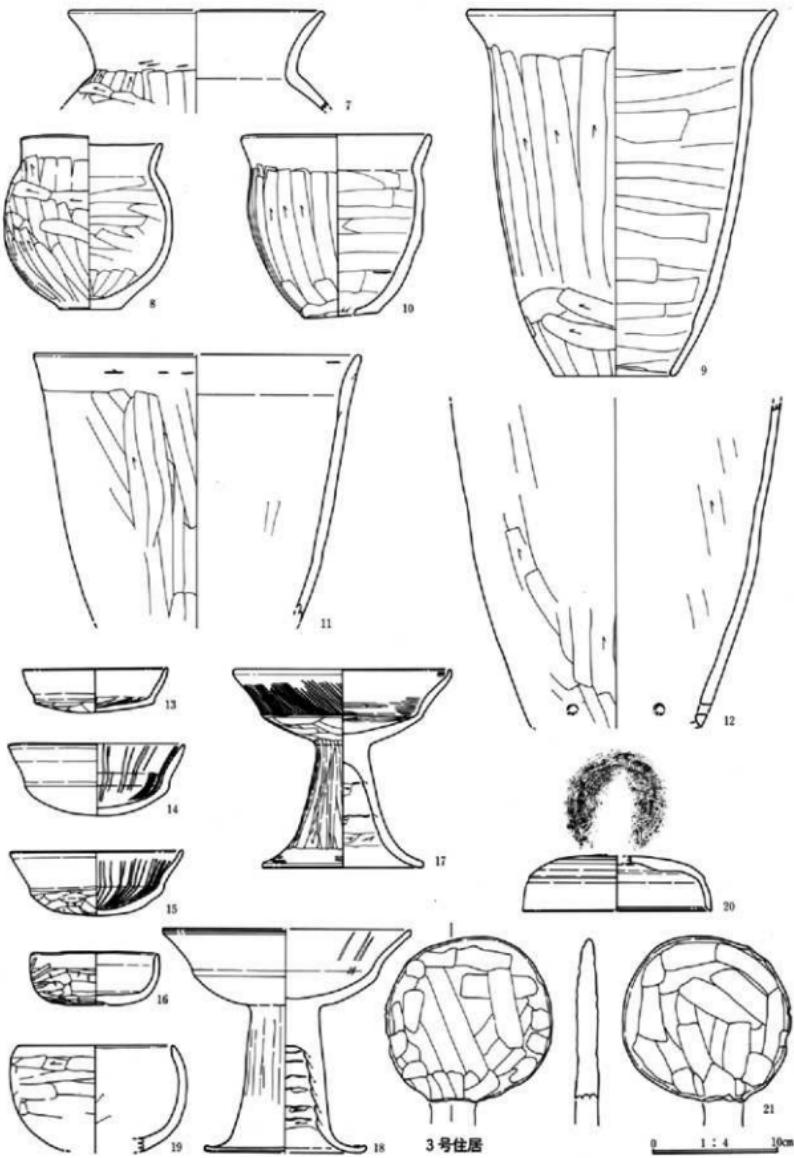
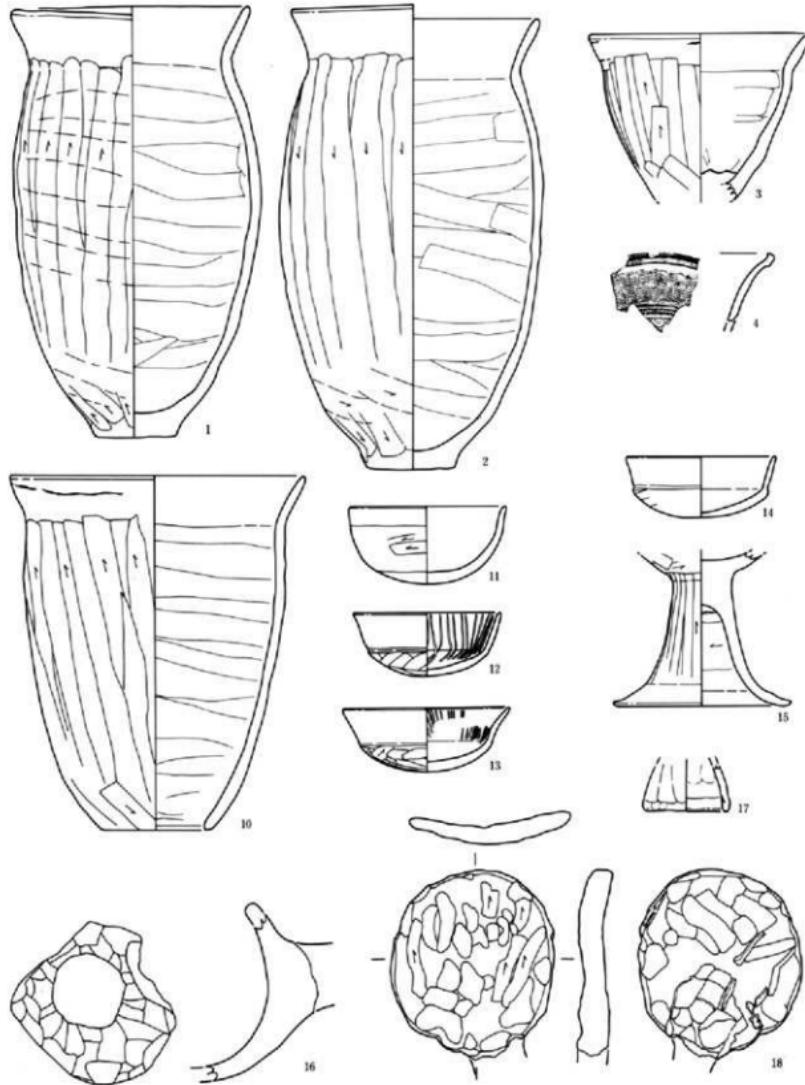


图208

白倉B区10号住居出土遺物



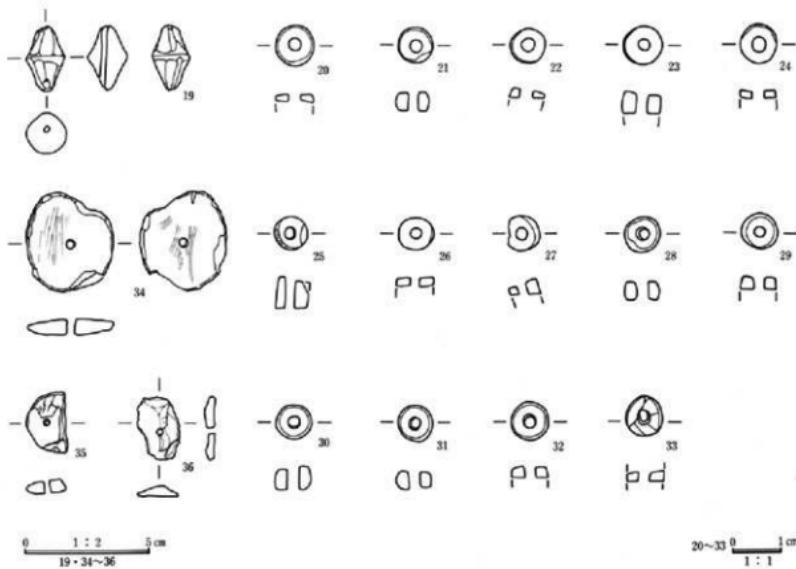
0 1 : 2 5cm
16

10号住居

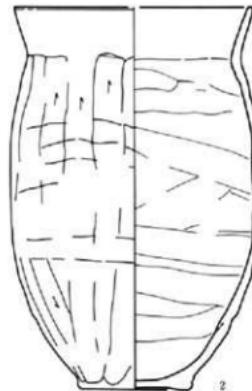
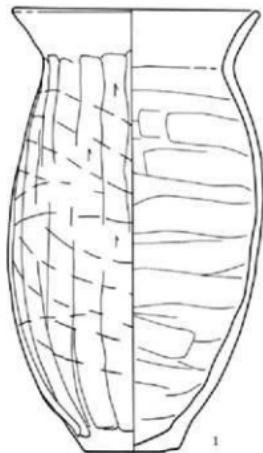
0 1 : 4 10cm

图209

白倉B区10・12号住居出土遺物



10号住居

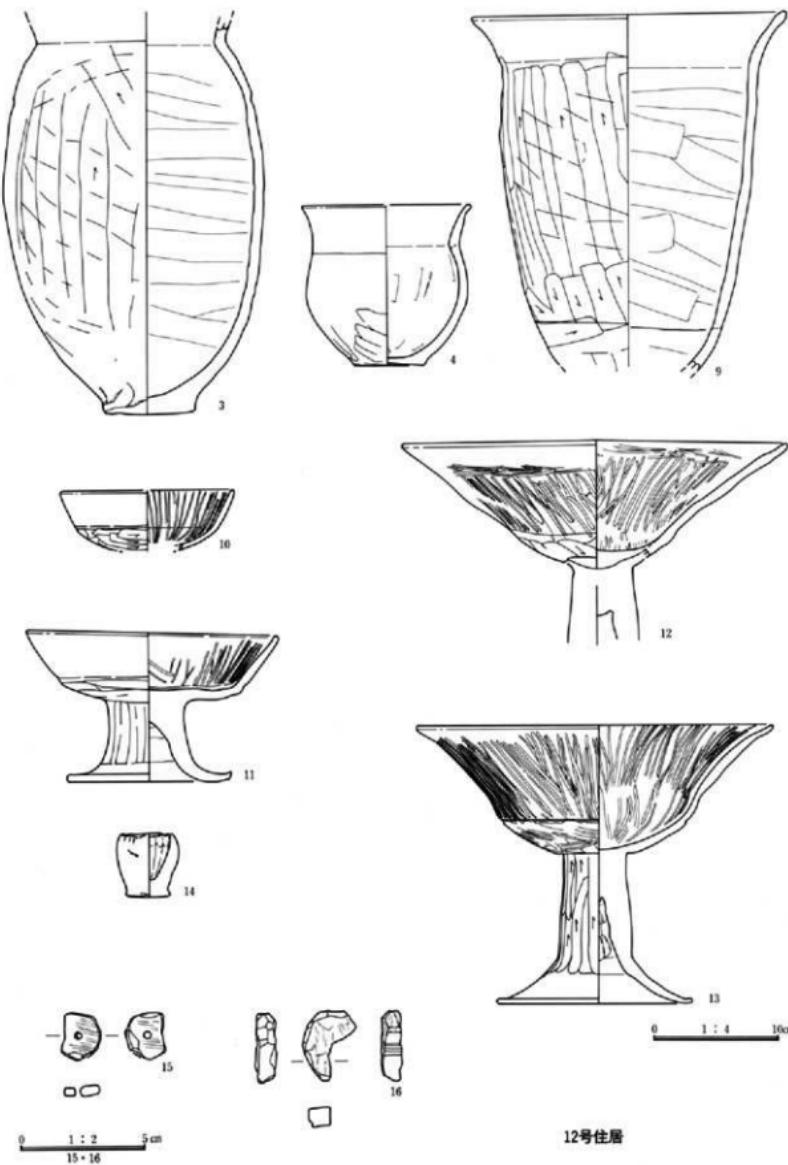


12号住居

0 1 : 4 10cm

图210

白倉B区12号住居出土遺物



12号住居

图211

白倉B区16号住居出土遺物

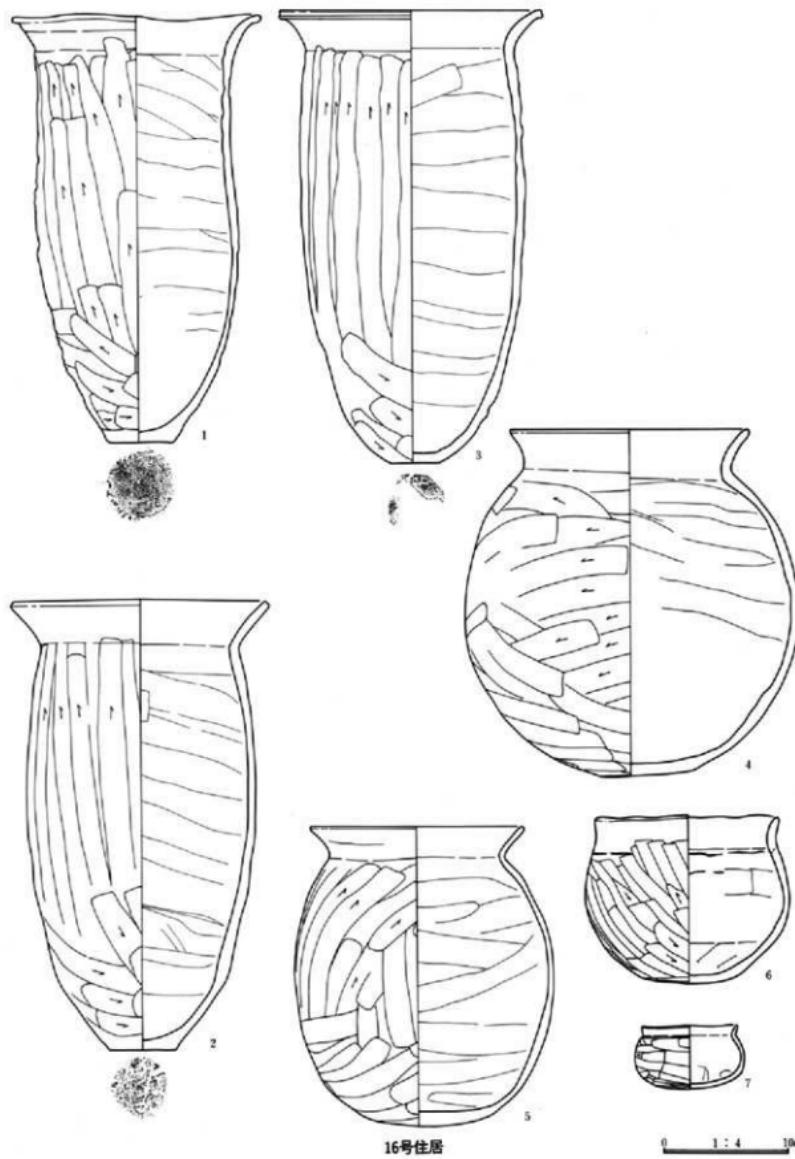
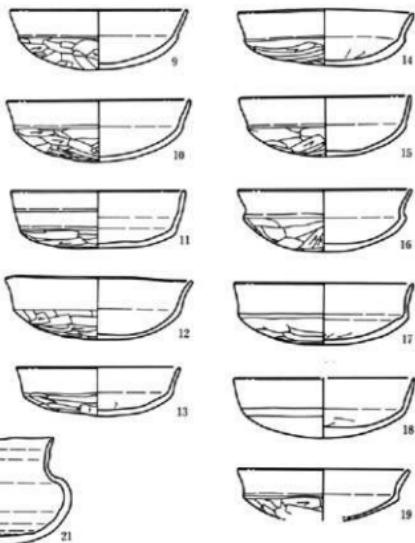
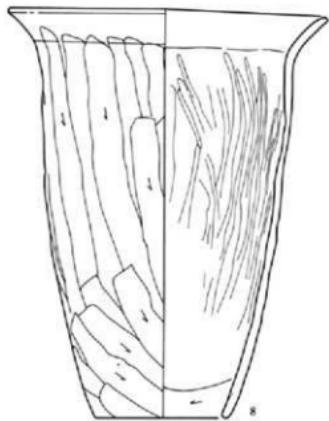
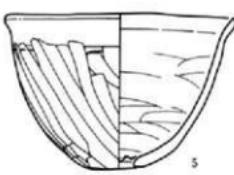
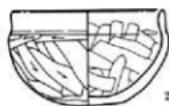
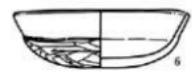
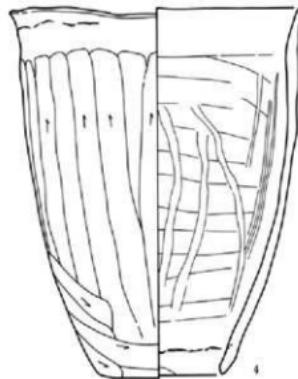
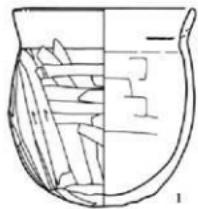


图212

白倉B区16·17号住居出土遺物



16号住居



17号住居

0 1 : 4 10cm

图213

白倉B区20号住居出土遺物

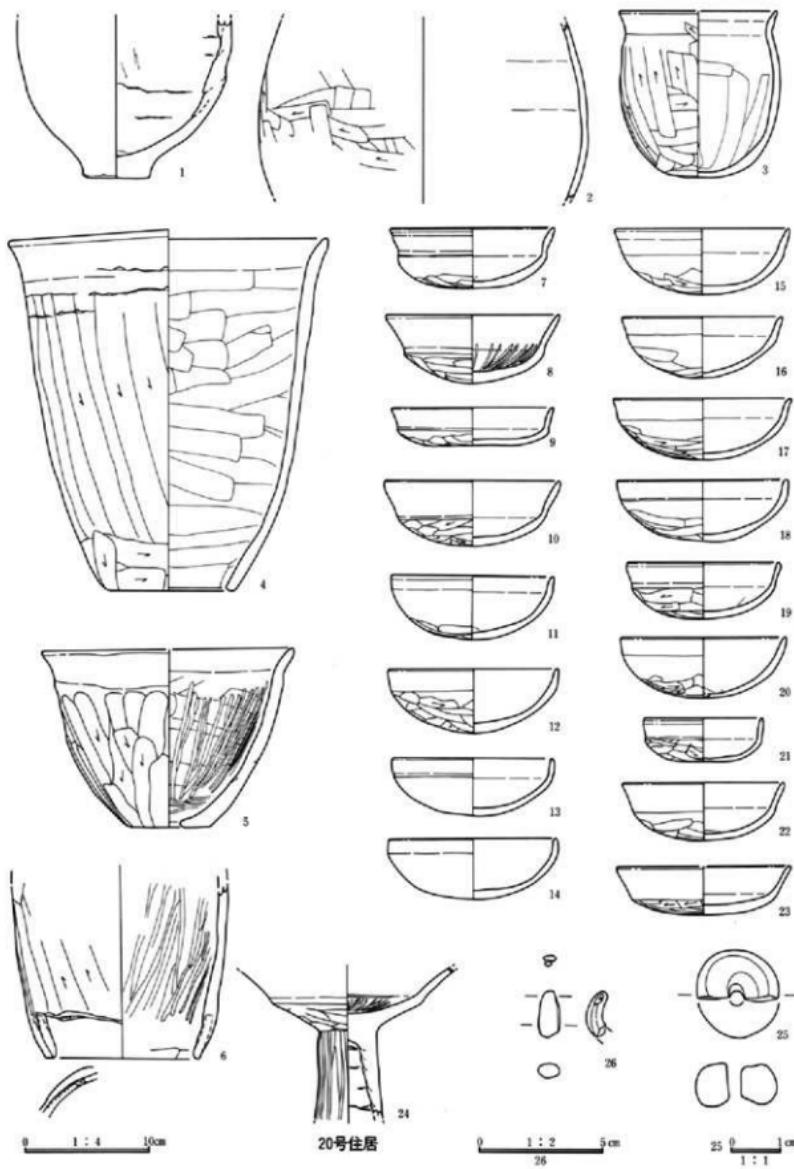


图214

白倉B区21·22号住居出土遺物

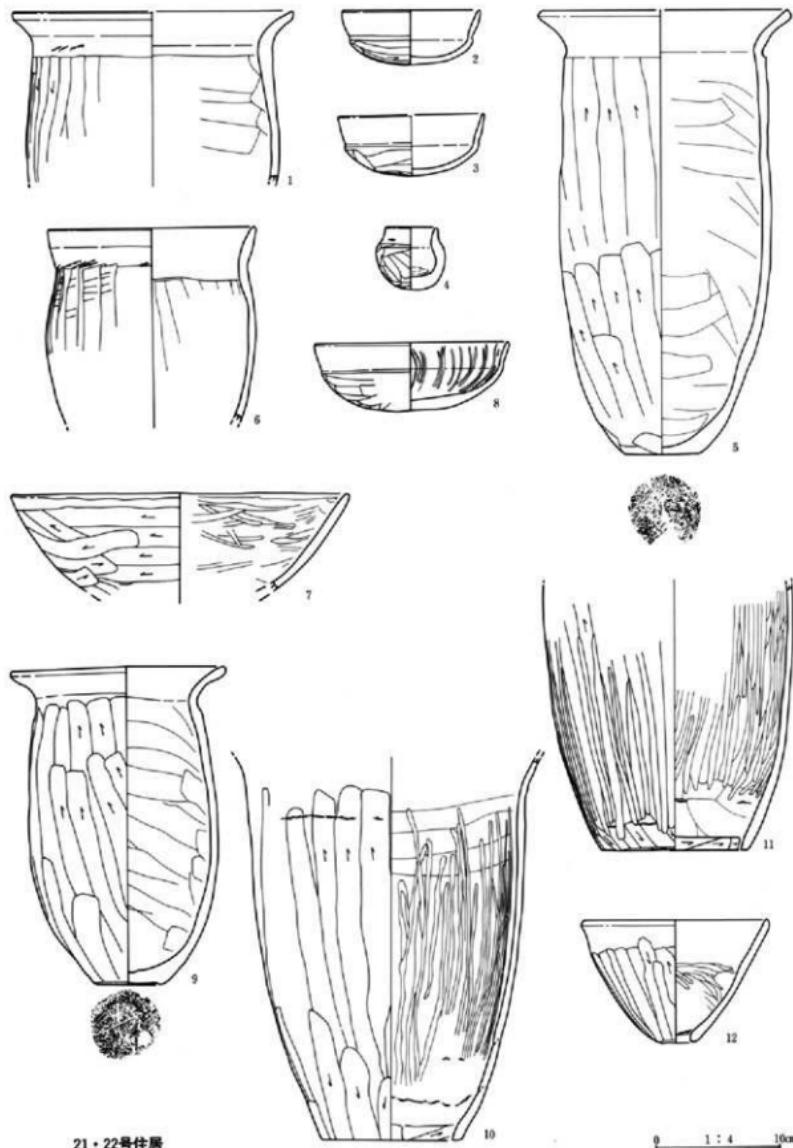
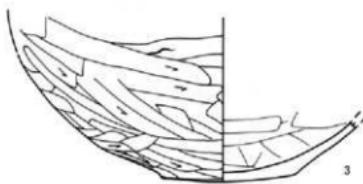
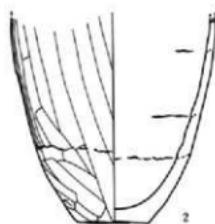
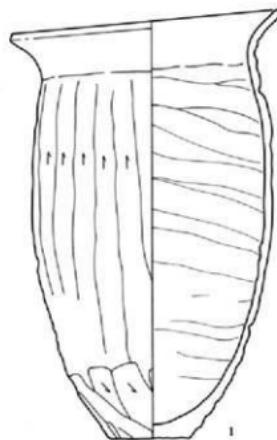


图215

白倉B区21・22・23号住居出土遺物



21・22号住居

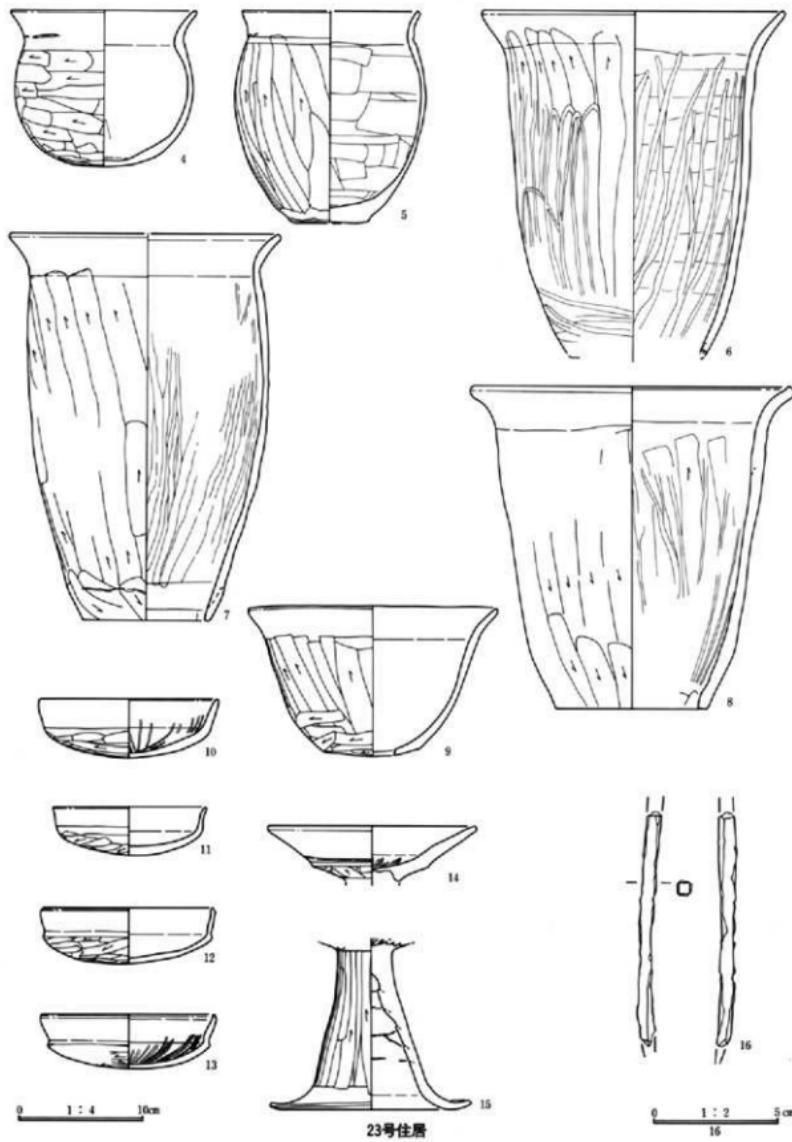


23号住居

0 1 : 4 10cm

图216

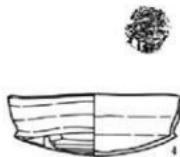
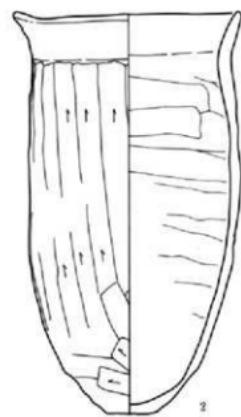
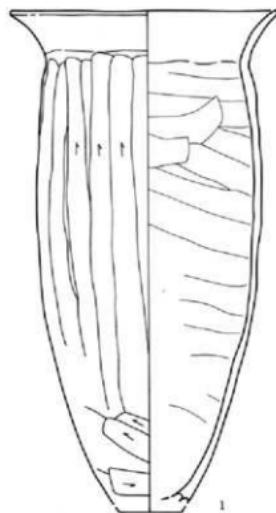
白倉B区23号住居出土遺物



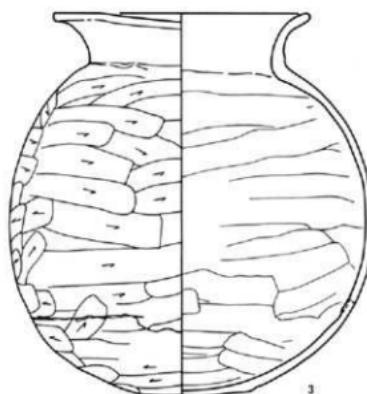
23号住居

图217

白倉B区24号住居出土遺物



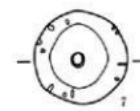
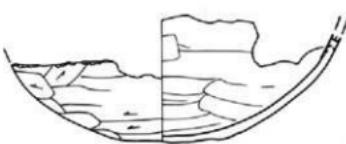
0 1 : 4 10cm



3



24号住居



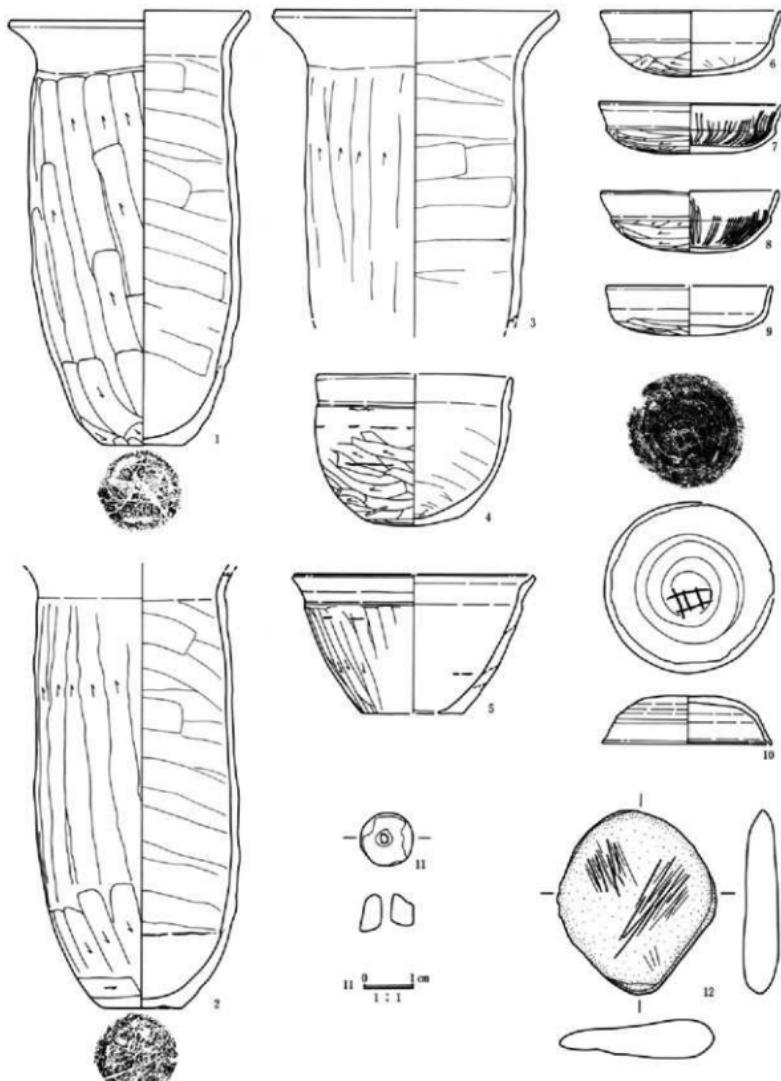
7



0 1 : 1 cm

图218

白倉B区28号住居出土遺物

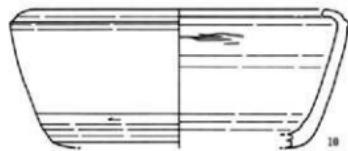
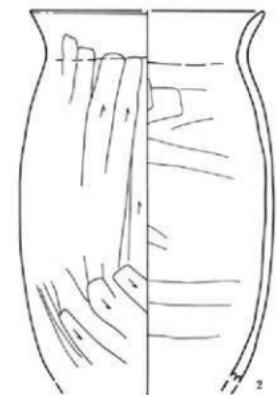
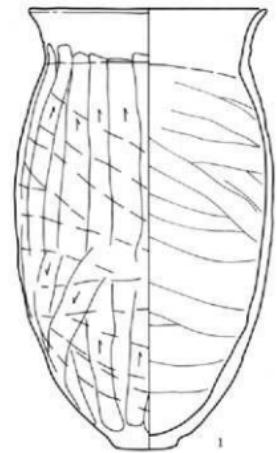


28号住居

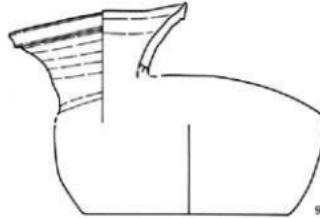
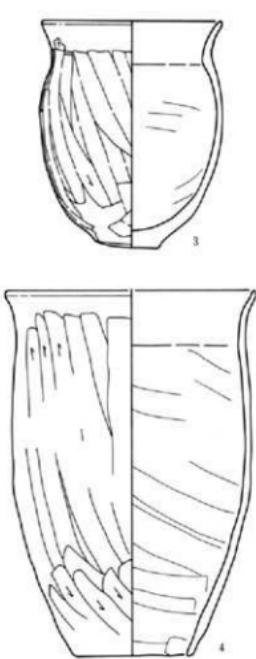
0 1 : 4 10cm

0 1 : 2 5cm
12

图219



29号住居



0 1 : 2 5 cm

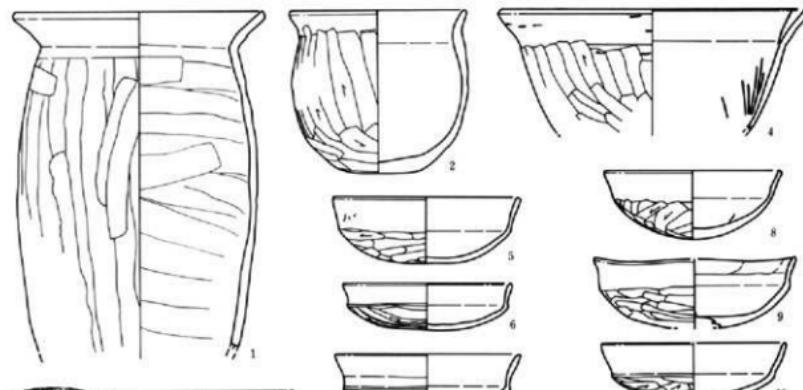
白仓B区29号住居出土遗物



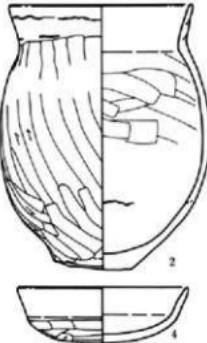
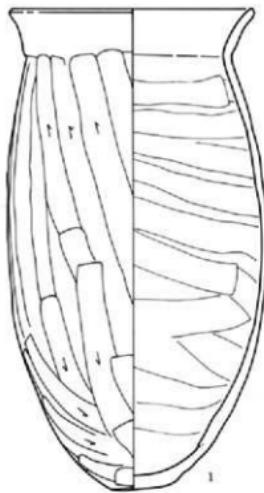
0 1 : 4 10 cm
19

图220

白倉B区30・33・72号住居出土遺物

12 9 cm
1 : 1

30号住居

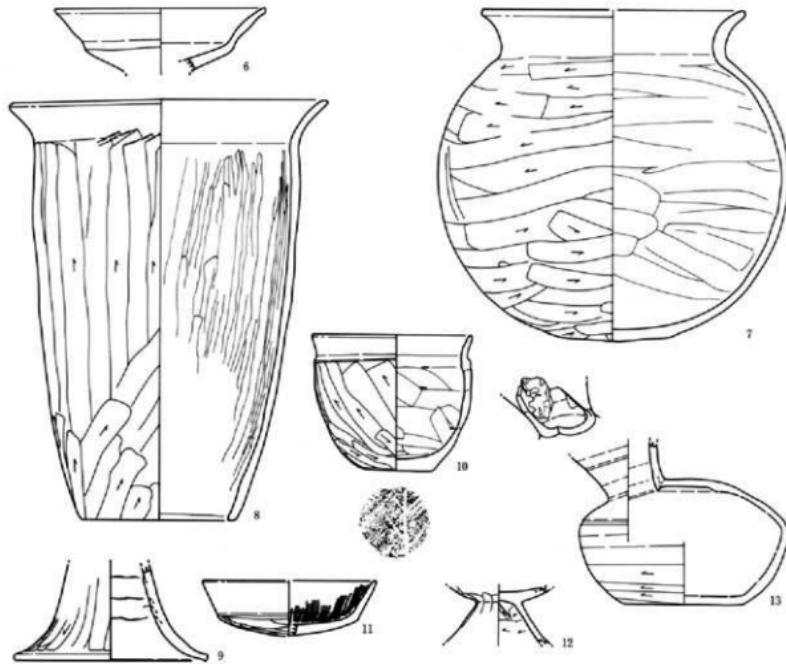
9 1 : 2 5 cm
13 + 14

33・72号住居

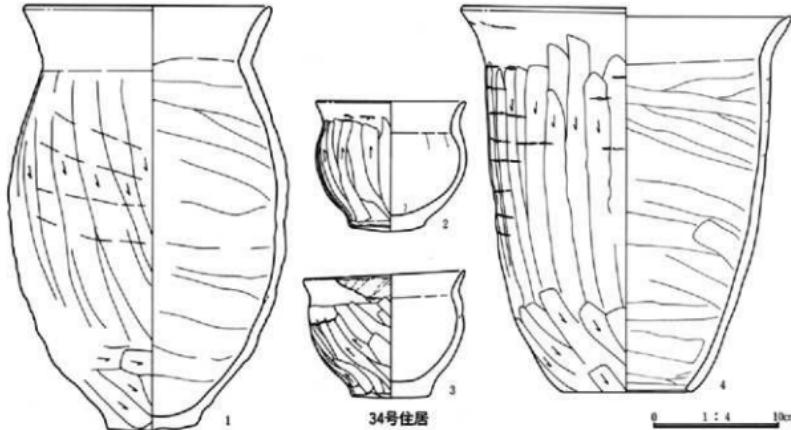
9 1 : 4 10cm

图221

白倉B区33・72・34号住居出土遺物



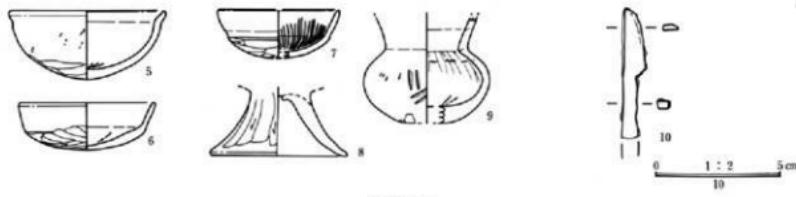
33・72号住居



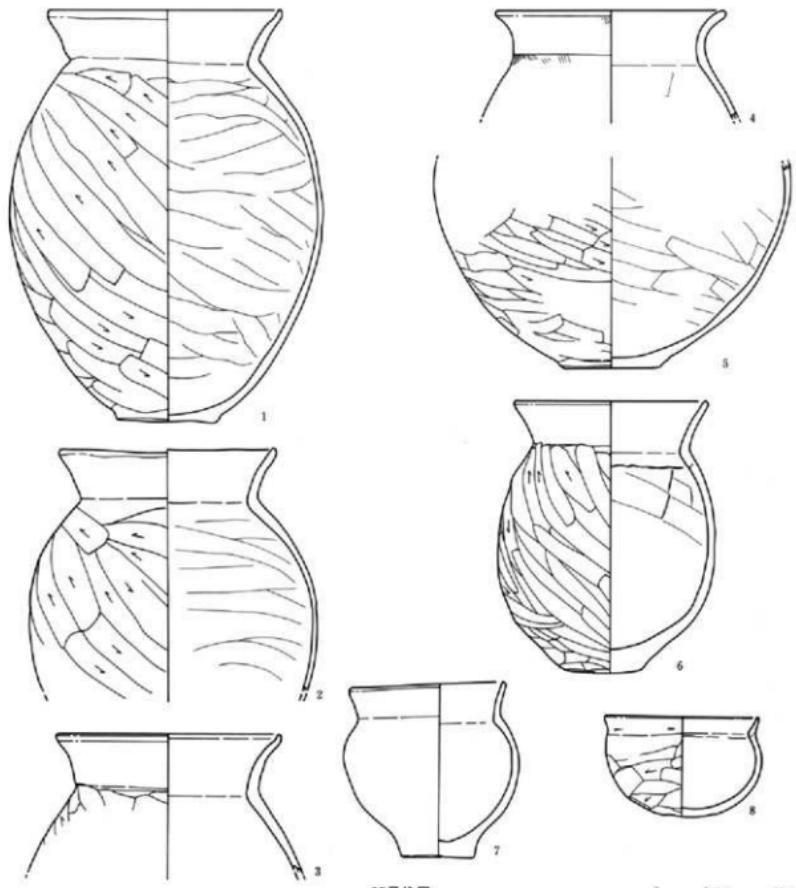
34号住居

图222

白仓B区34·35号住居出土遗物



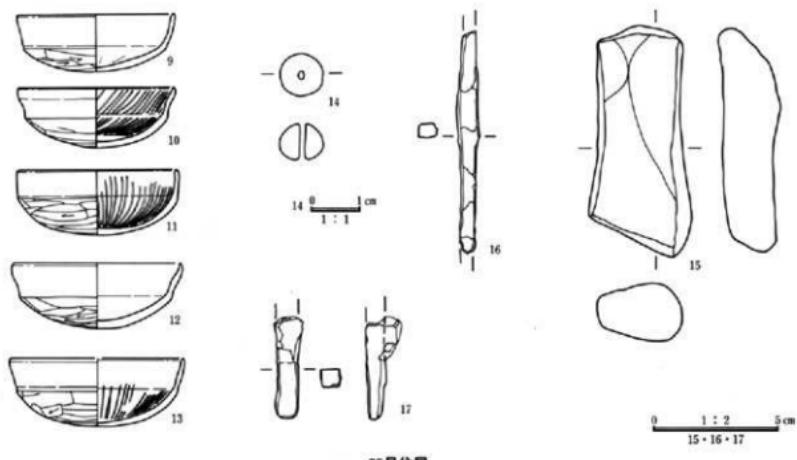
34号住居



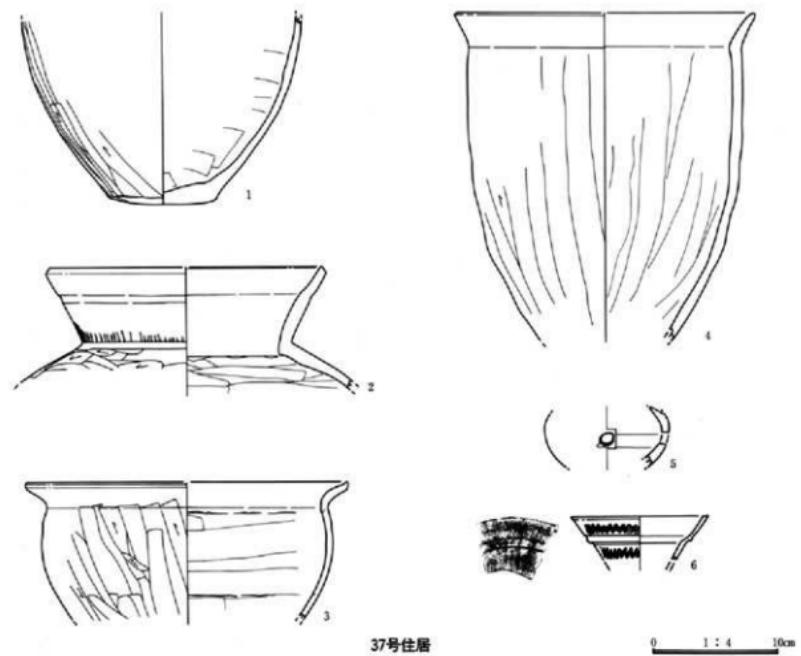
35号住居

图223

白倉B区35・37号住居出土遺物



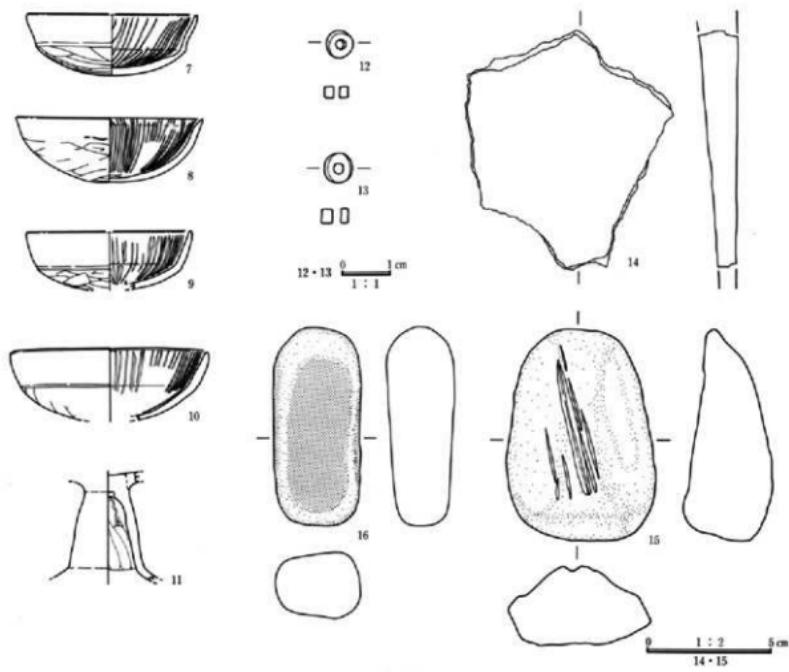
35号住居



37号住居

图224

白倉B区37·38号住居出土遺物



37号住居

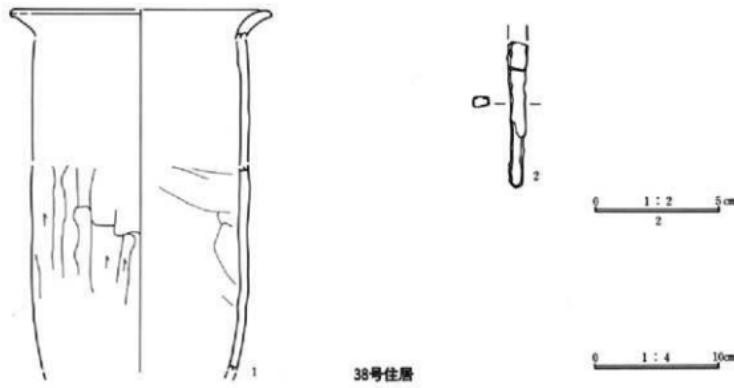
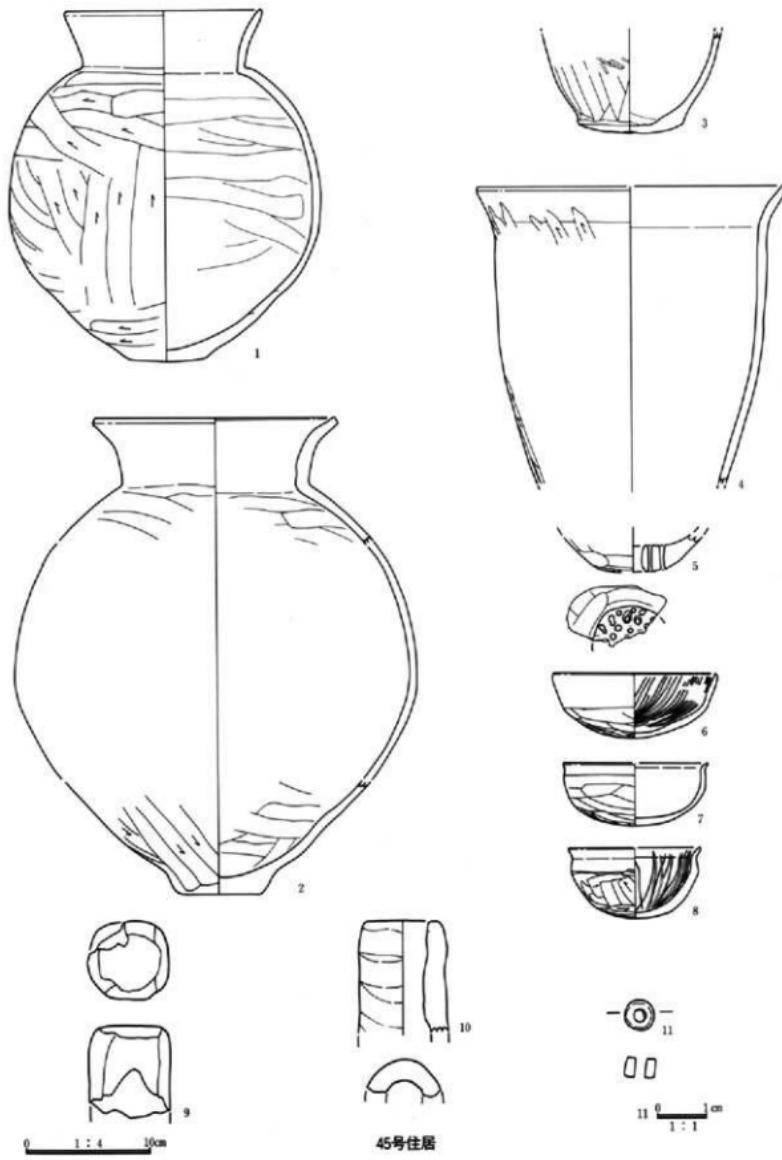


图225

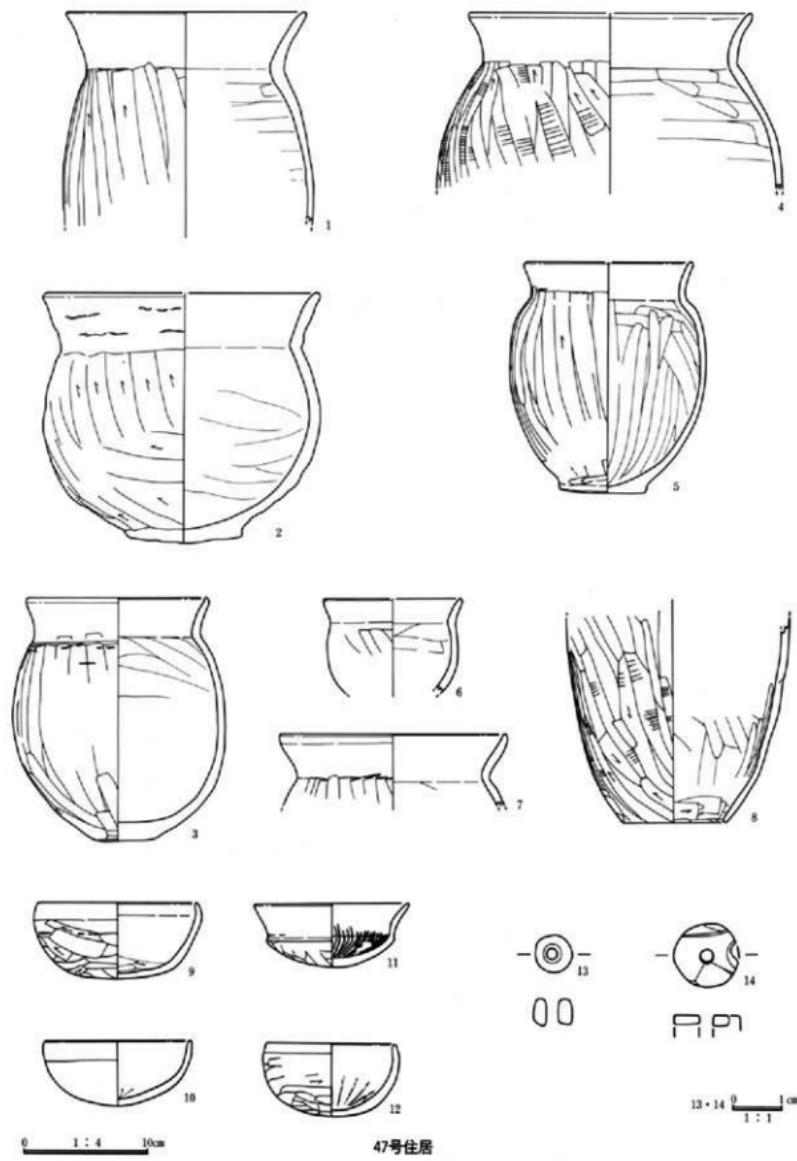
白倉B区45号住居出土物



45号住居

图226

白倉B区47号住居出土遺物



47号住居

13・14 1 cm

图227

白倉B区50・51・52号住居出土遺物

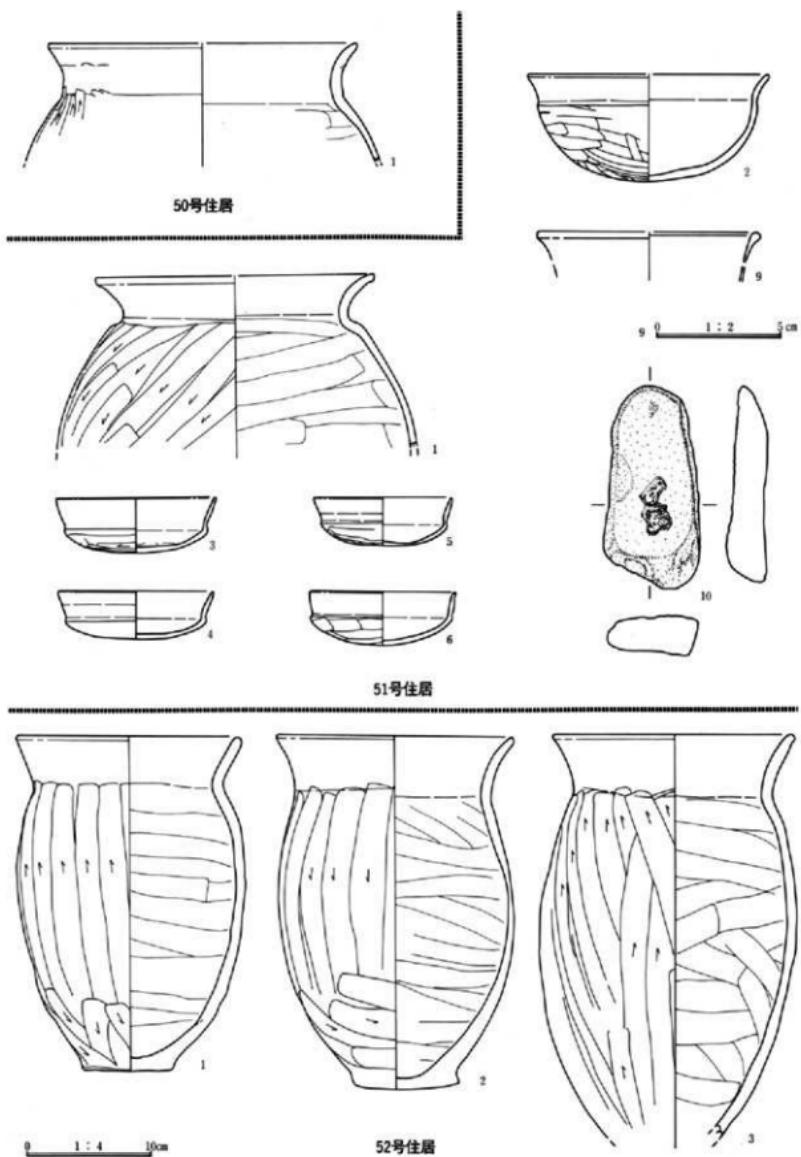
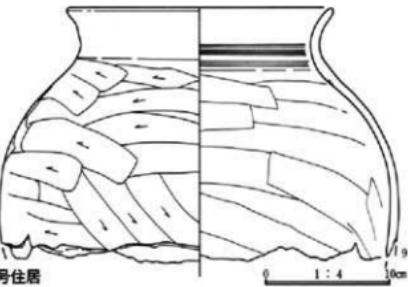
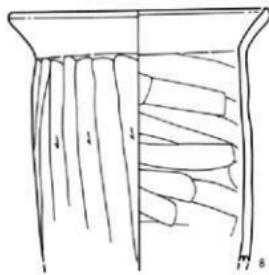
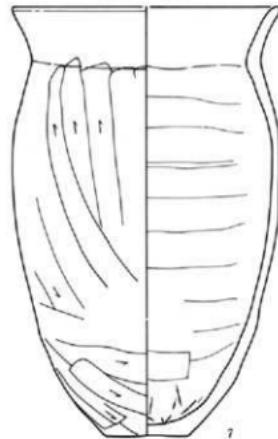
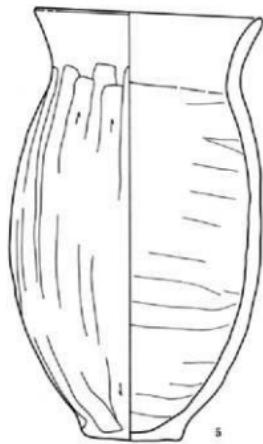
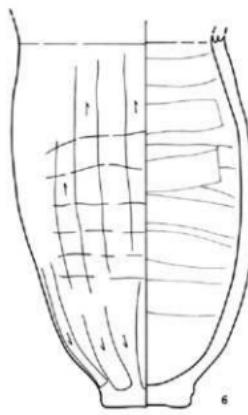
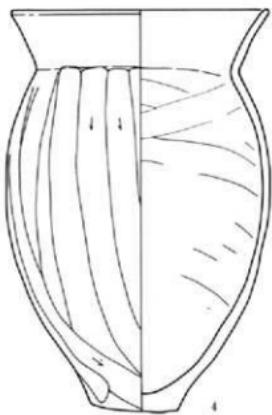


图228

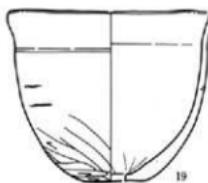
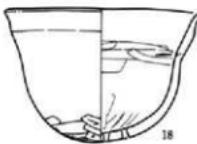
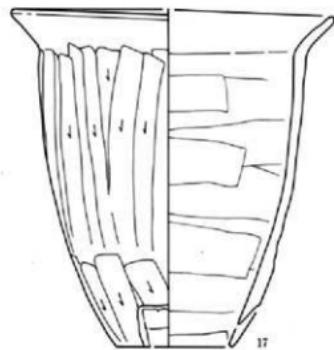
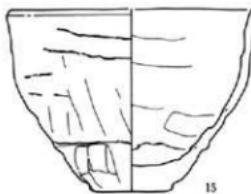
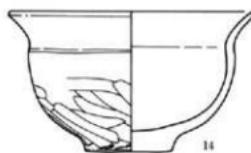
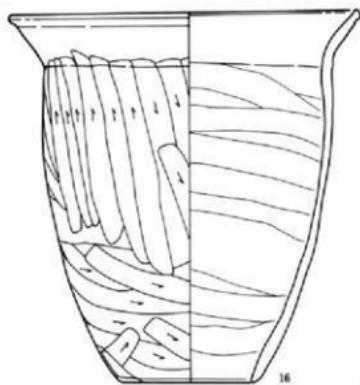
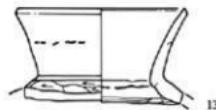
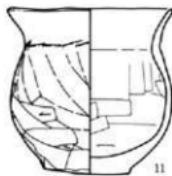
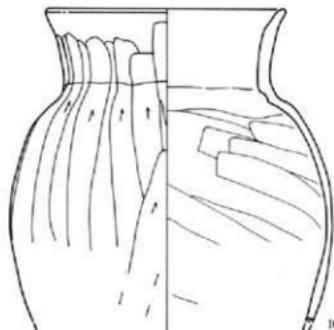
白倉B区52号住居出土遺物



52号住居

图229

白倉B区52号住居出土遺物

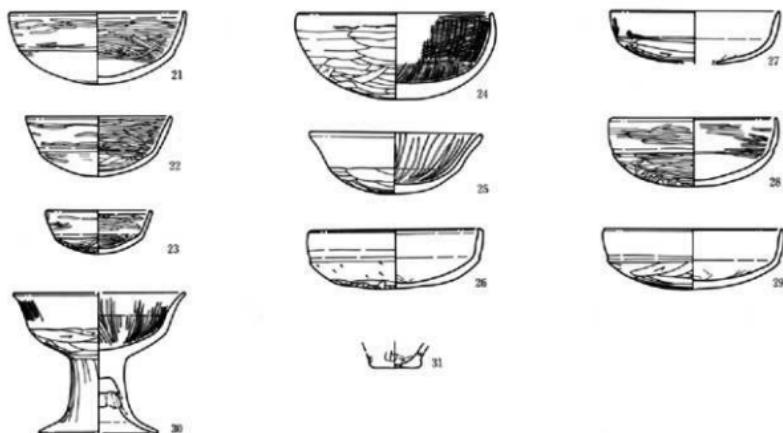


52号住居

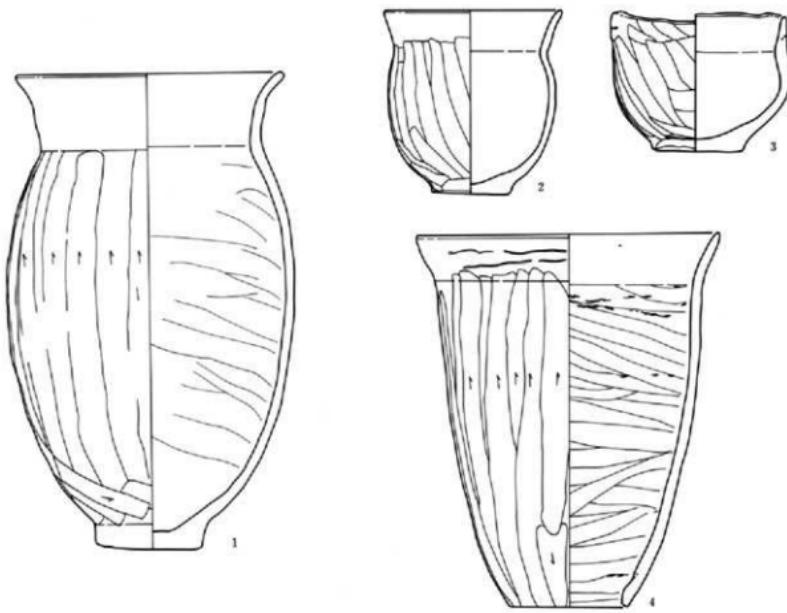
0 1 : 4 10cm

图230

白倉B区52·54号住居出土遺物



52号住居

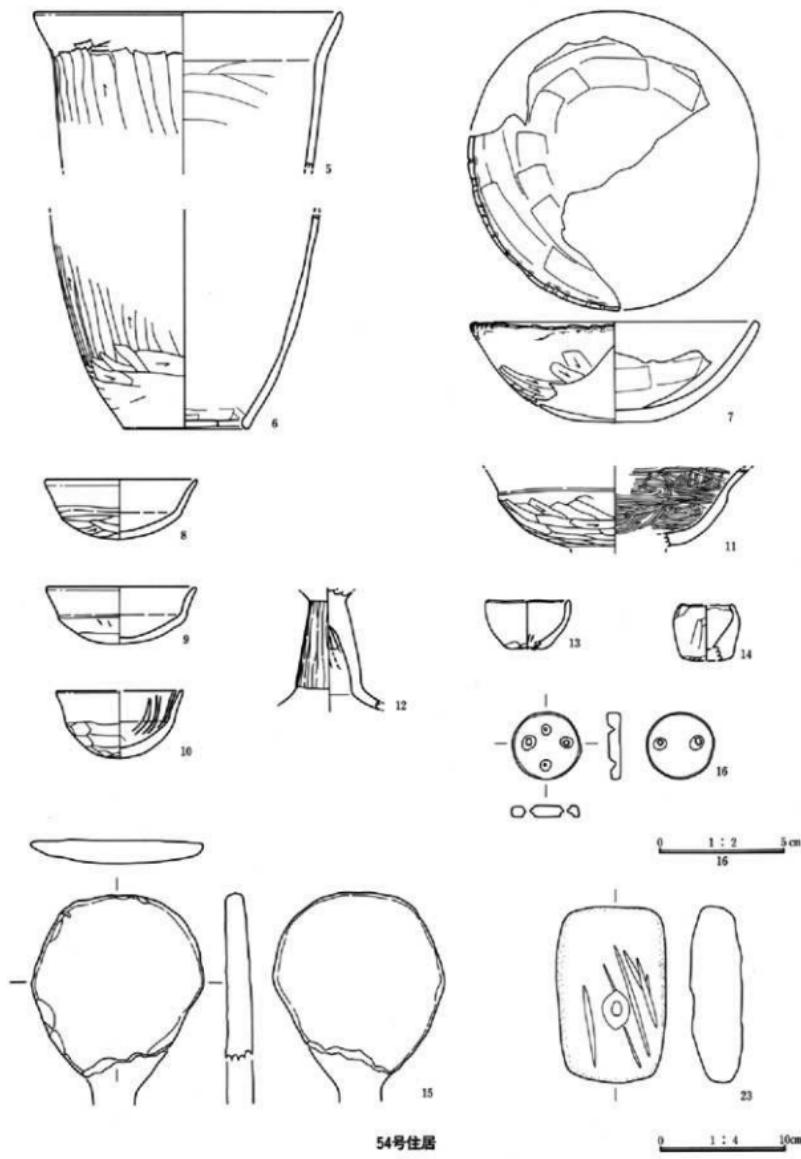


54号住居

0 1 : 4 10cm

图231

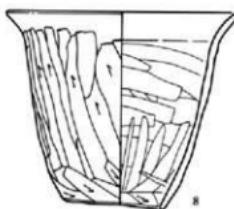
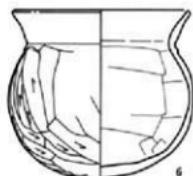
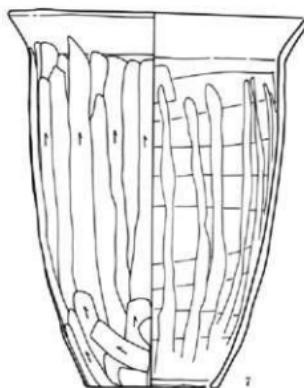
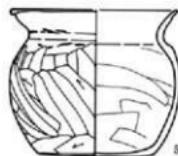
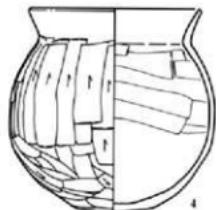
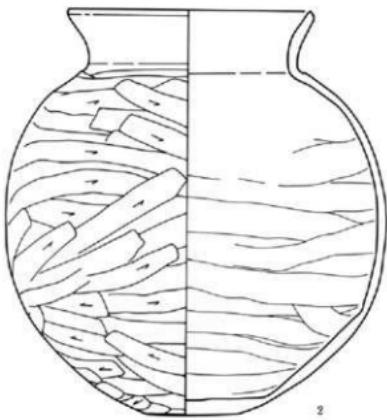
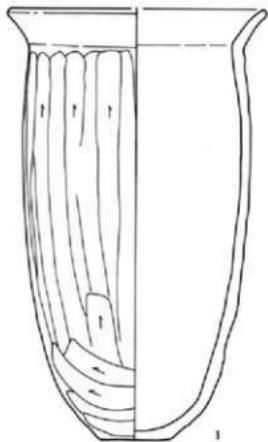
白倉B区54号住居出土遺物



54号住居

图232

白倉B区55号住居出土遺物

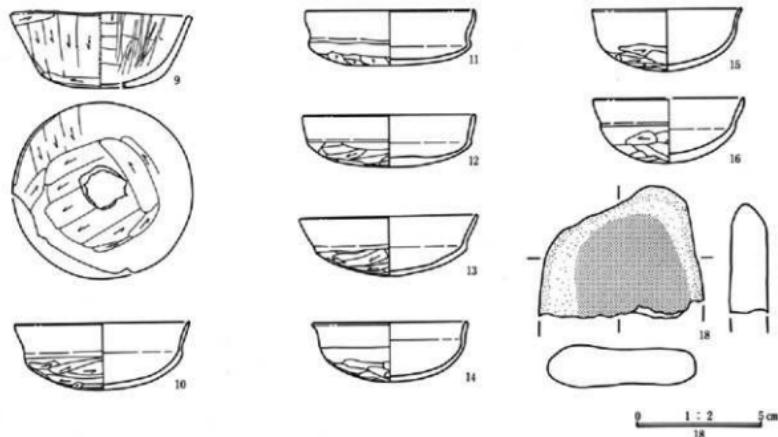


55号住居

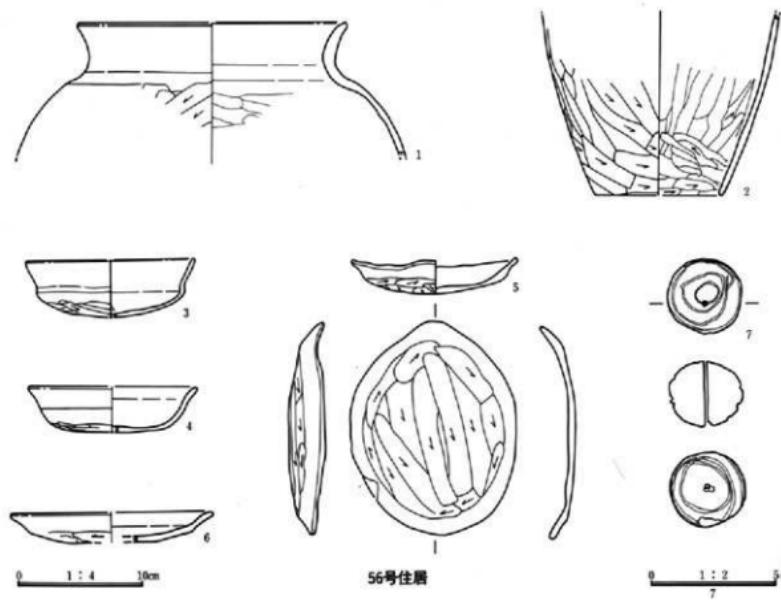
0 1 : 4 10cm

图233

白倉B区55·56号住居出土遺物



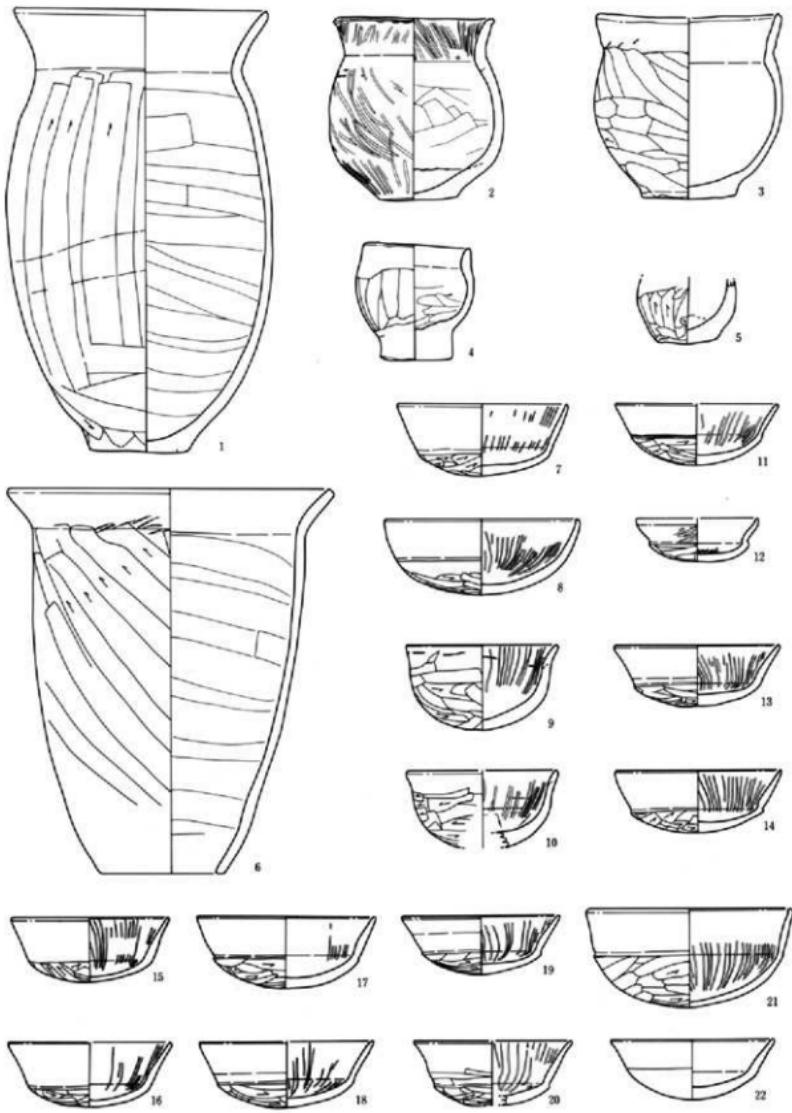
55号住居



56号住居

图234

白倉B区58号住居出土遺物



58号住居

0 1 : 4 10cm

图235

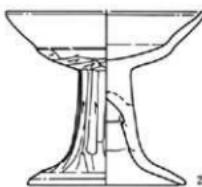
白倉B区58・61号住居出土遺物



23

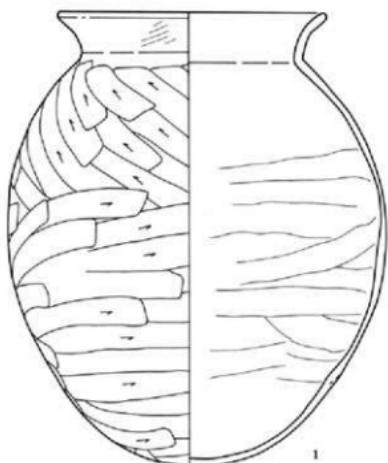


24

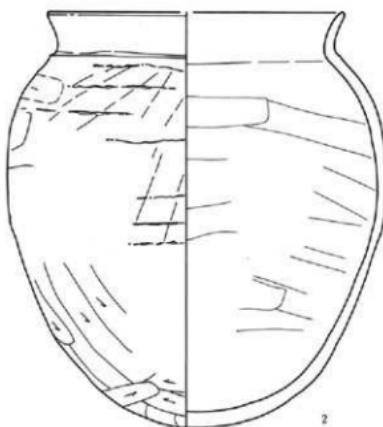


25

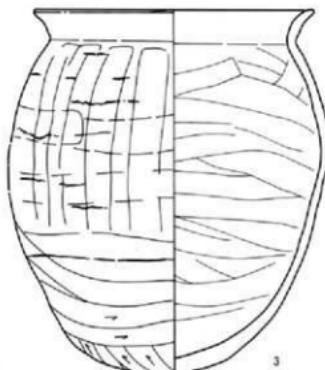
58号住居



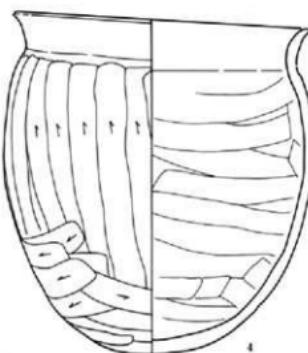
1



2



3



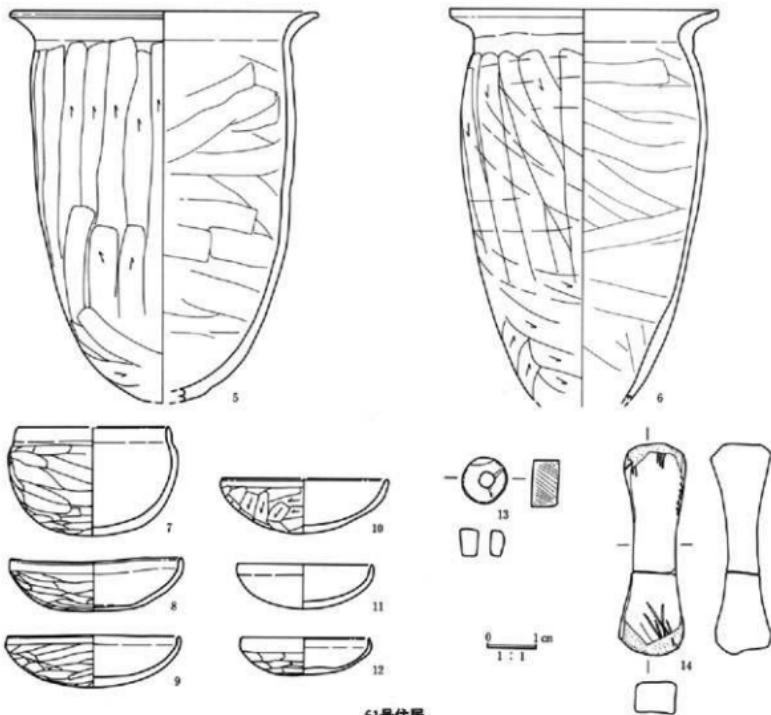
4

61号住居

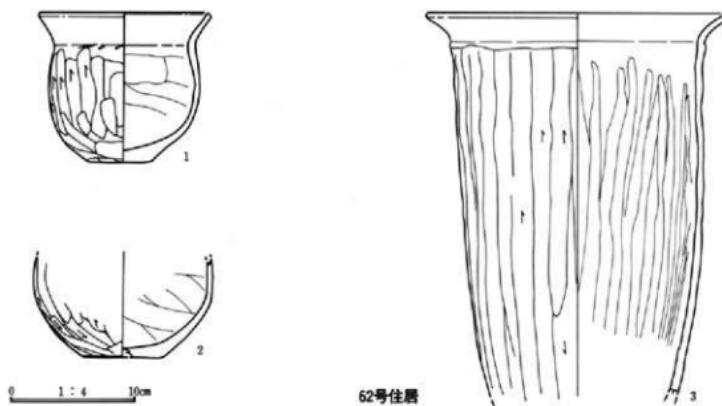
0 1 : 4 10cm

图236

白倉B区61·62号住居出土遺物



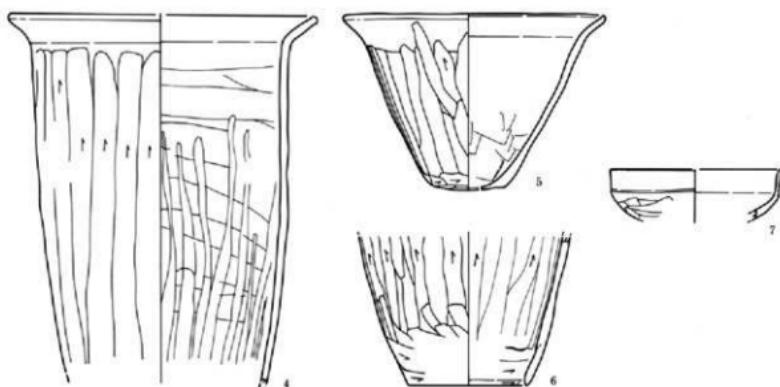
61号住居



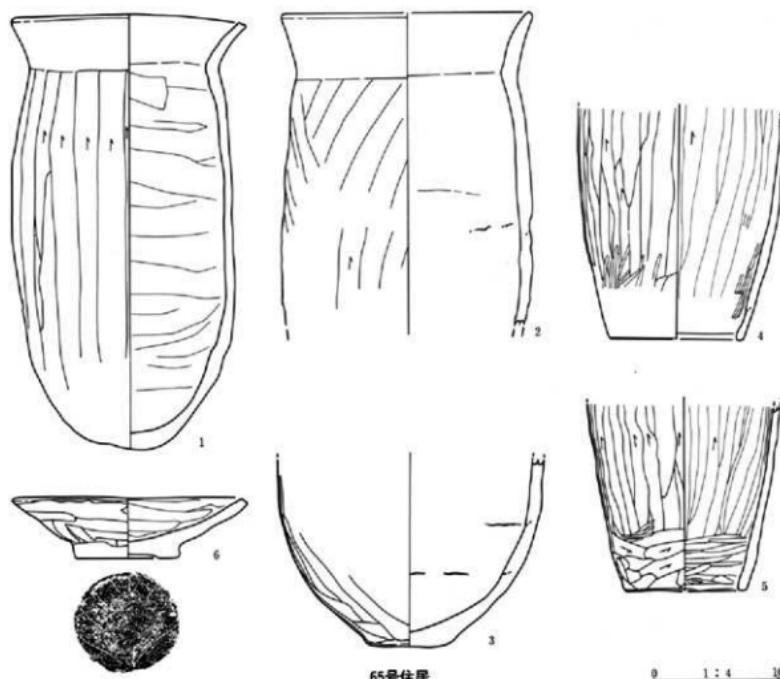
62号住居

图237

白倉B区62・65号住居出土遺物



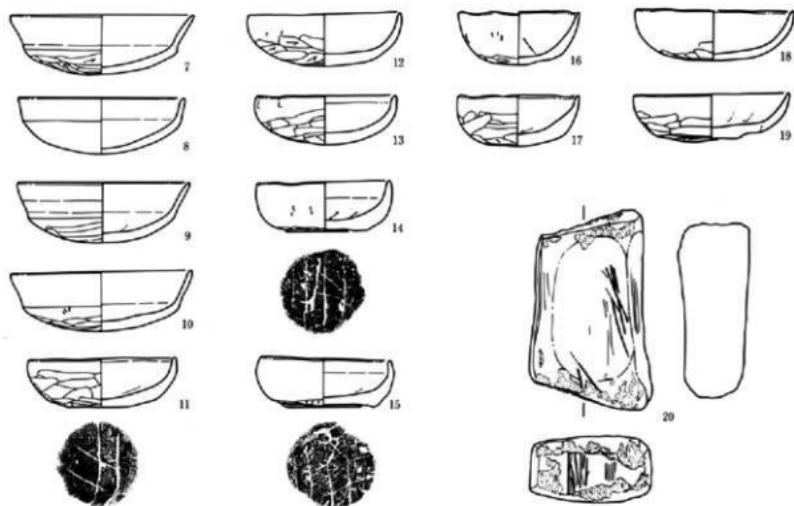
62号住居



65号住居

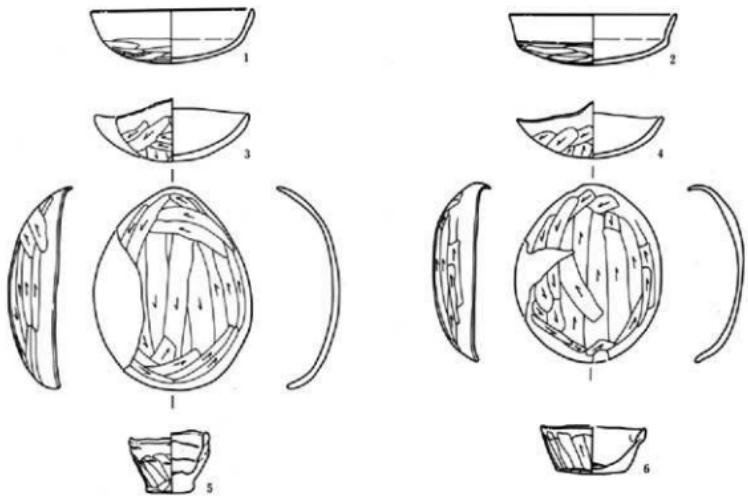
0 1 : 4 10cm

图238



白仓B区65·69号住居出土遗物

65号住居

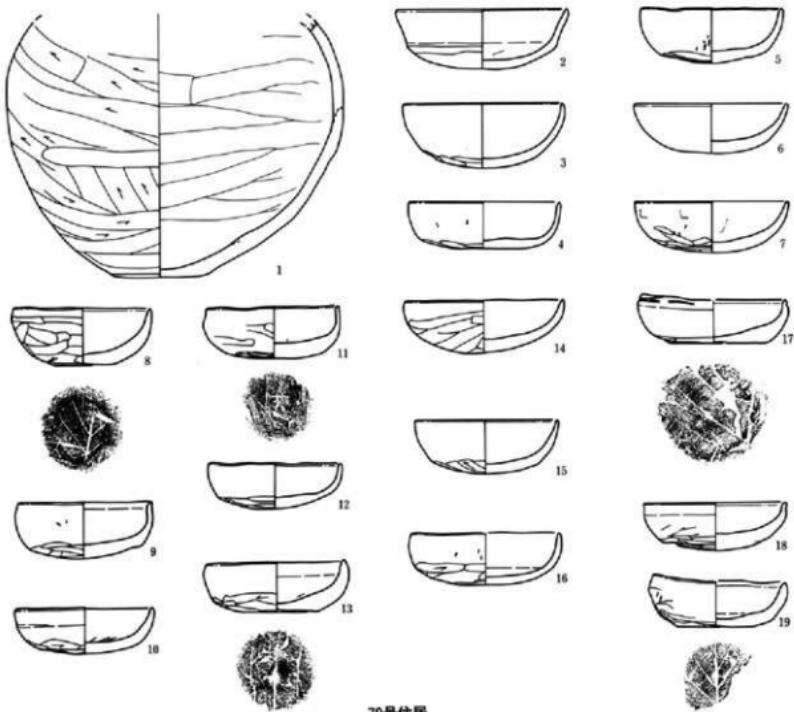


69号住居

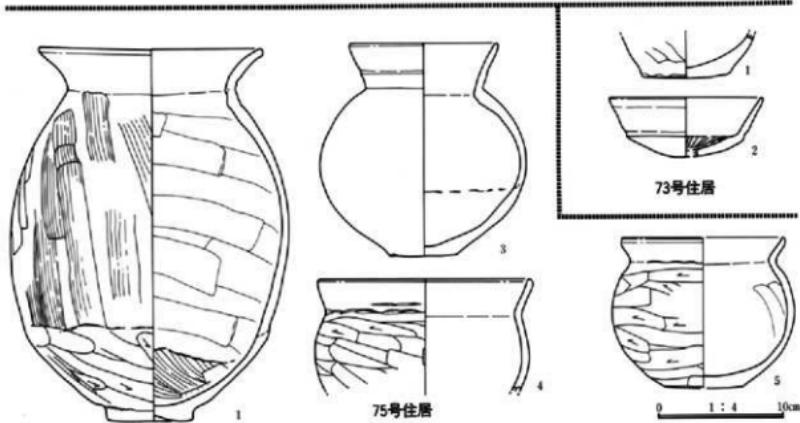
0 1 : 4 10cm

图239

白倉B区70·73·75号住居出土遺物



70号住居

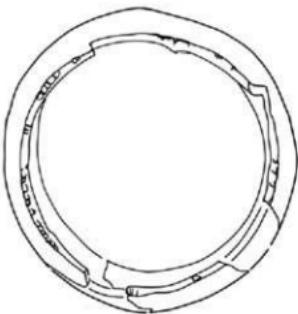
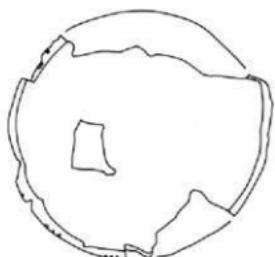
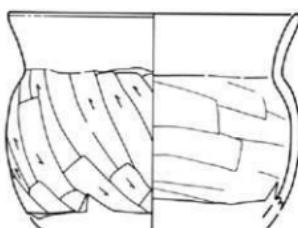
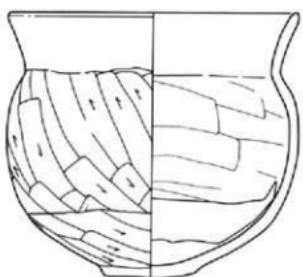


75号住居

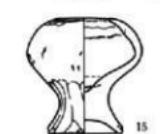
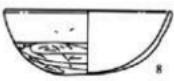
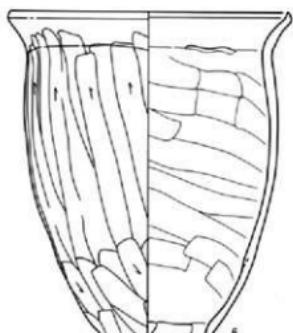
73号住居

図240

白倉B区75号住居出土遺物



2

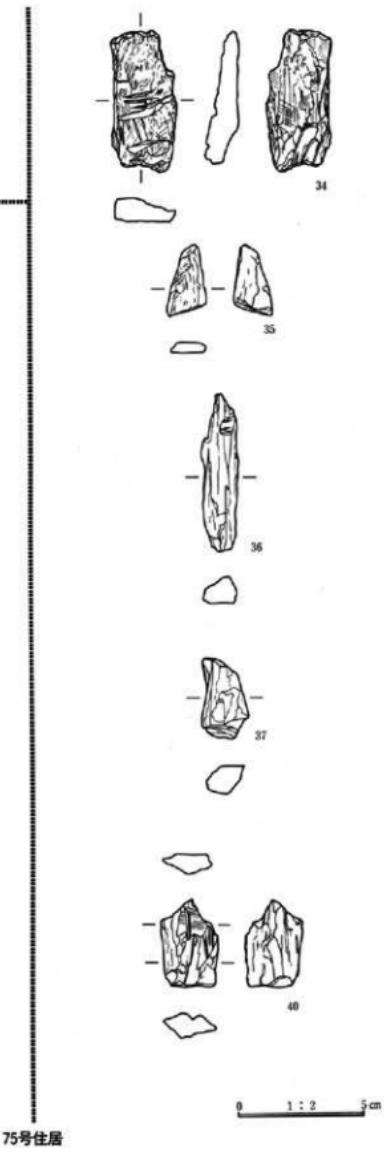
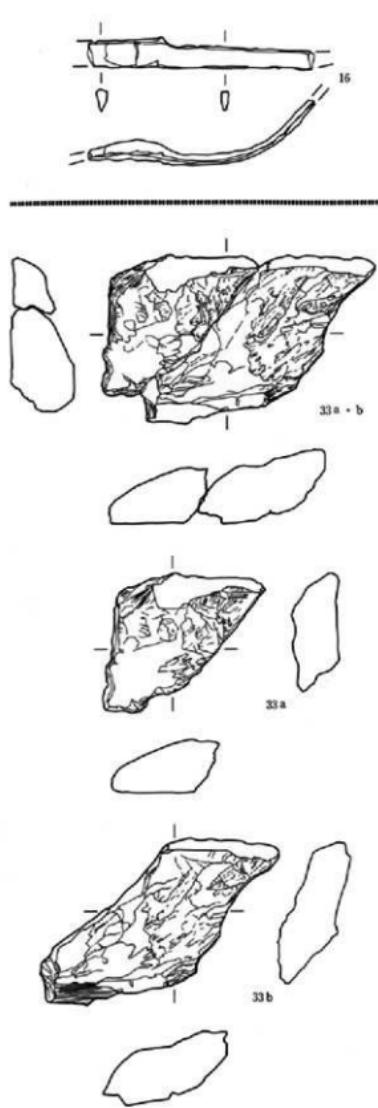


75号住居

0 1 : 4 10cm

图241

白倉B区75号住居出土遺物

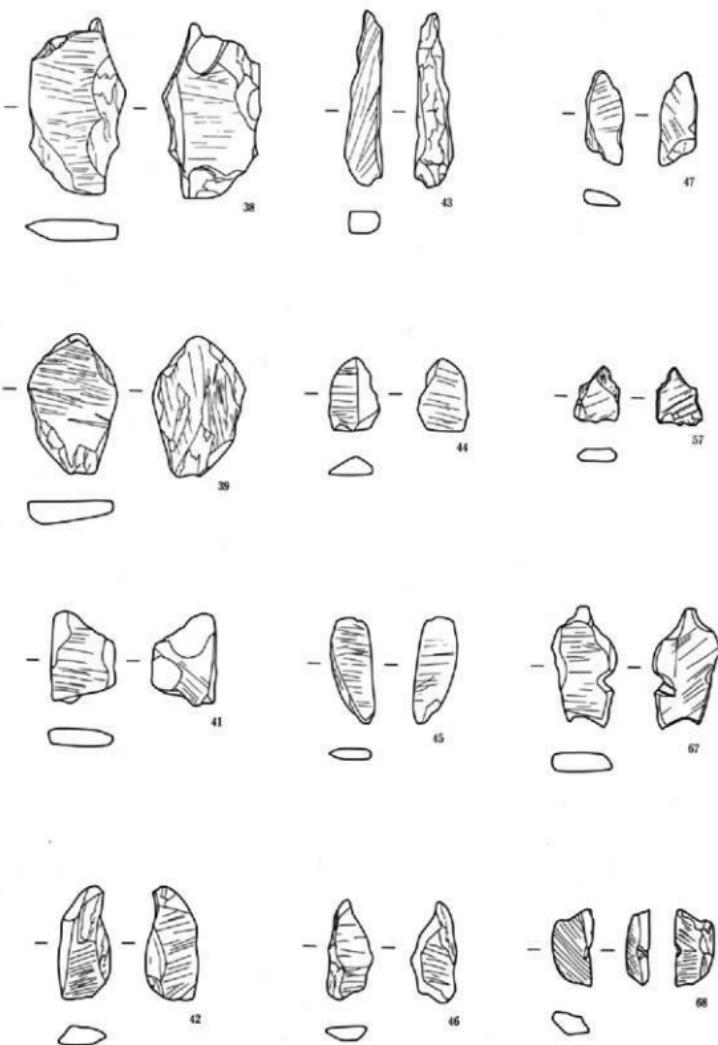


0 1 : 2 5cm

75号住居

图242

白倉B区75号住居出土遺物

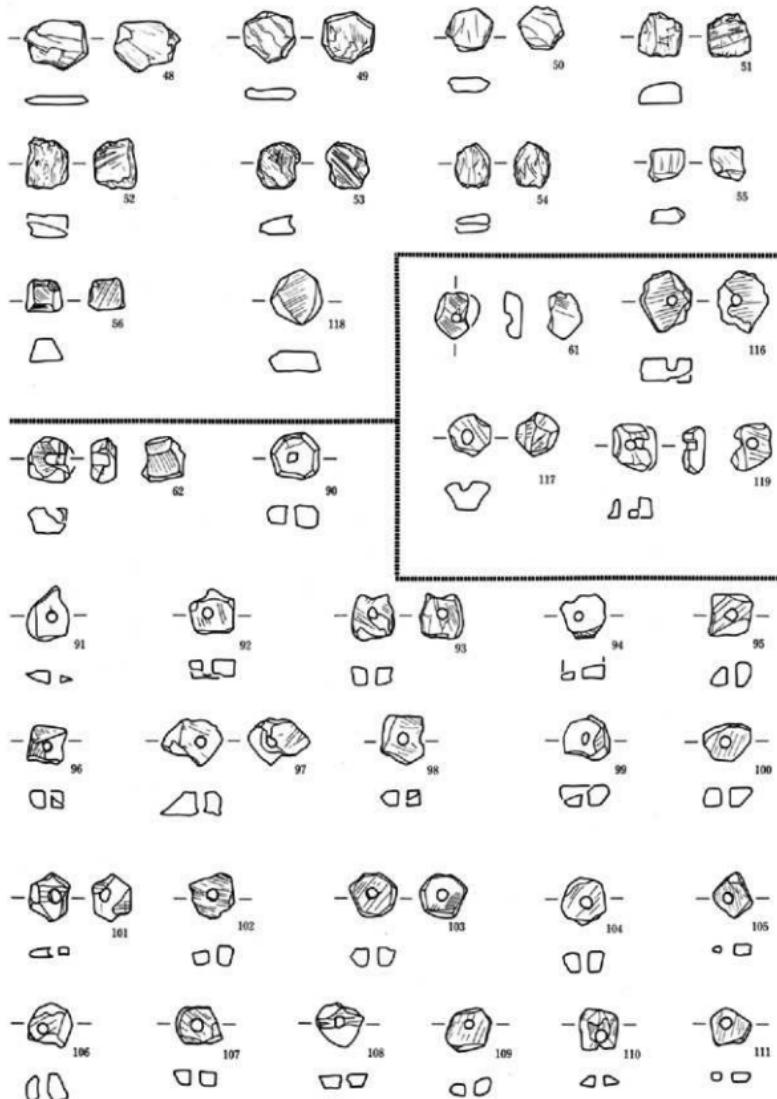


75号住居

0
1 : 1 cm

图243

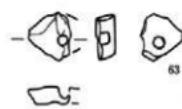
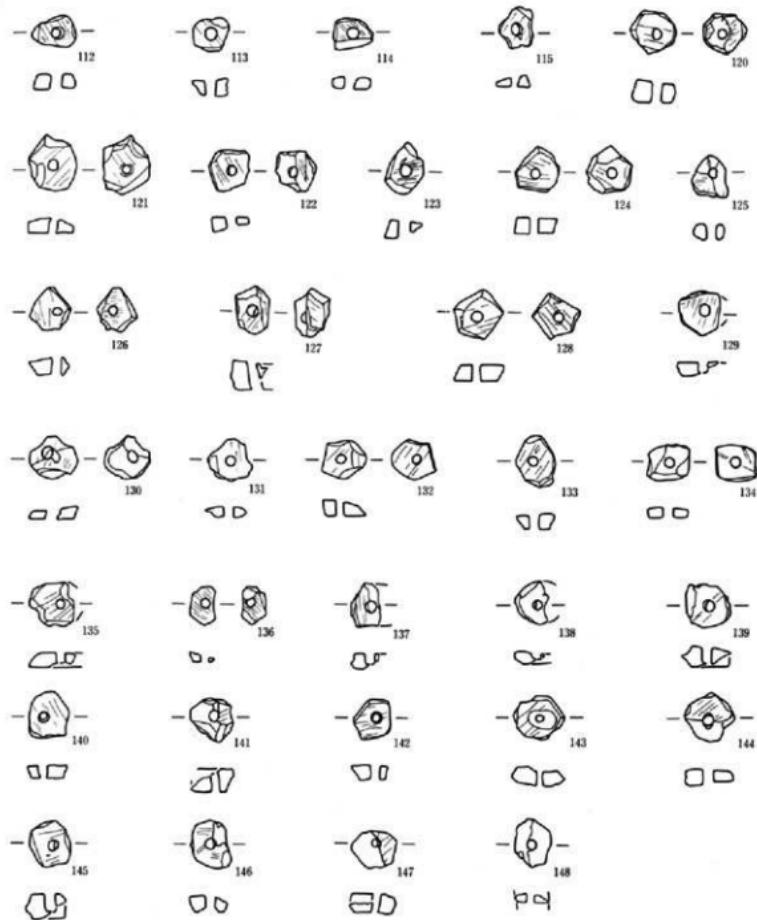
白仓B区75号住居出土遗物



75号住居

図244

白倉B区75号住居出土遺物

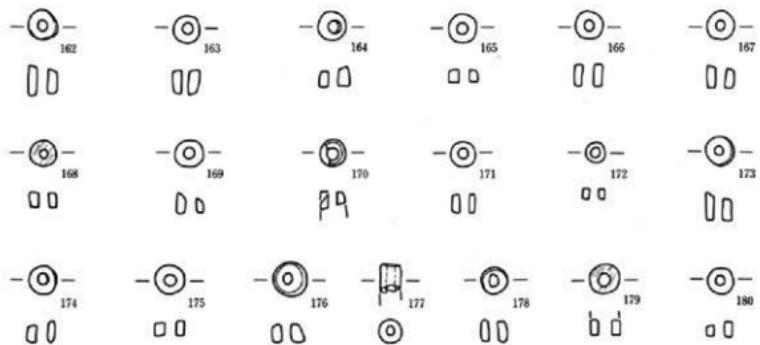
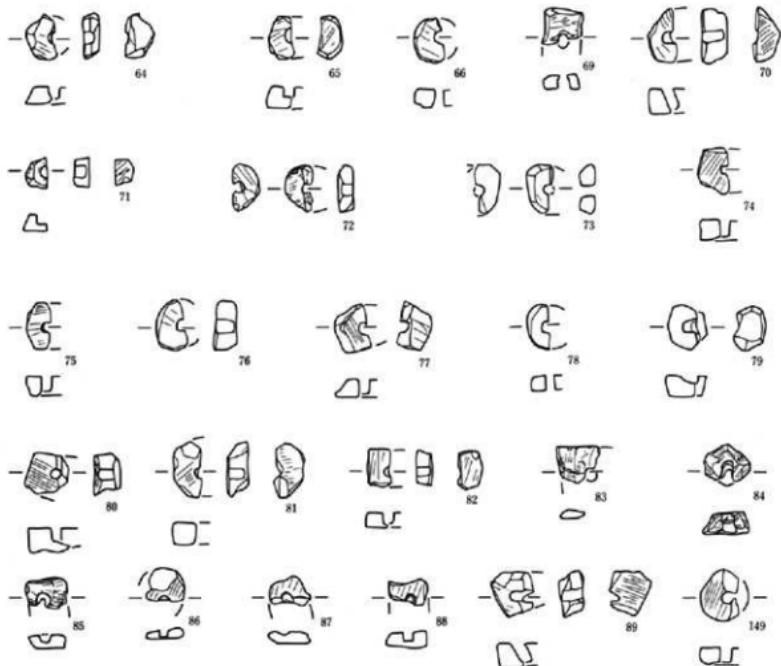


75号住居

0
1 cm

图245

白倉B区75号住居出土遺物

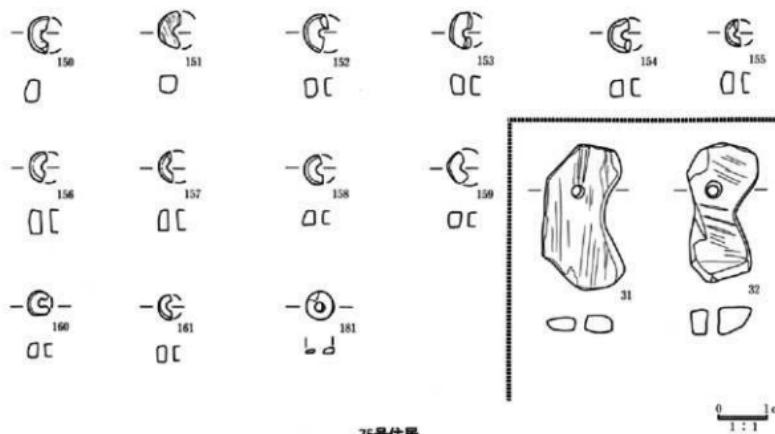


75号住居

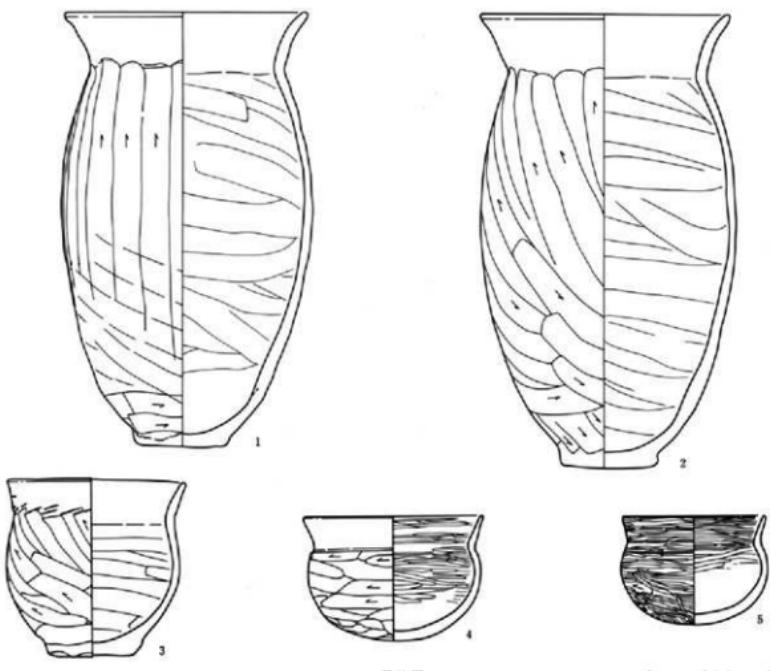
0 1 cm
1 : 1

图246

白倉B区75·78号住居出土遺物



75号住居

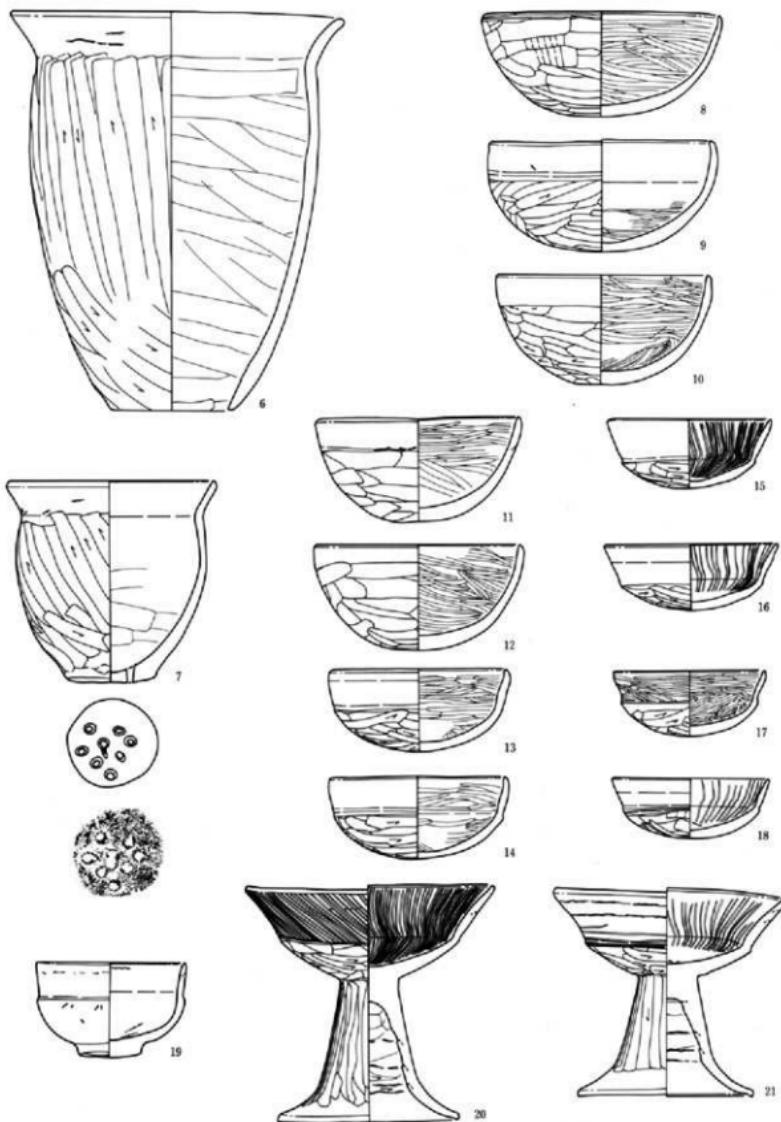


78号住居

0 1 : 4 10cm

图247

白倉B区78号住居出土遺物



78号住居

1 : 4 10cm

图248

白倉B区78·82号住居出土遺物



78号住居

82号住居

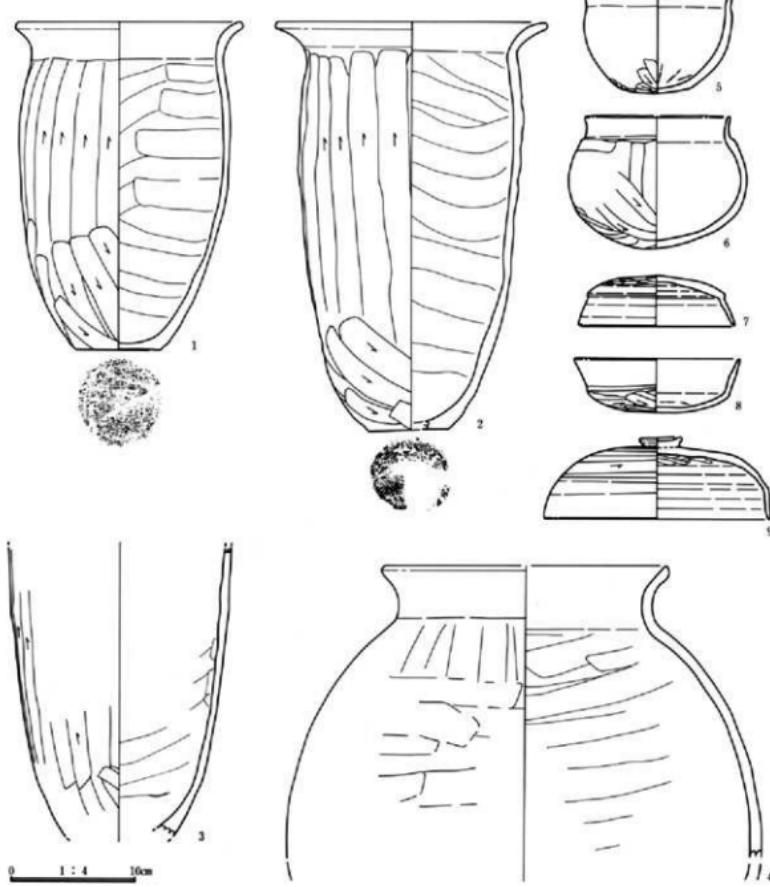
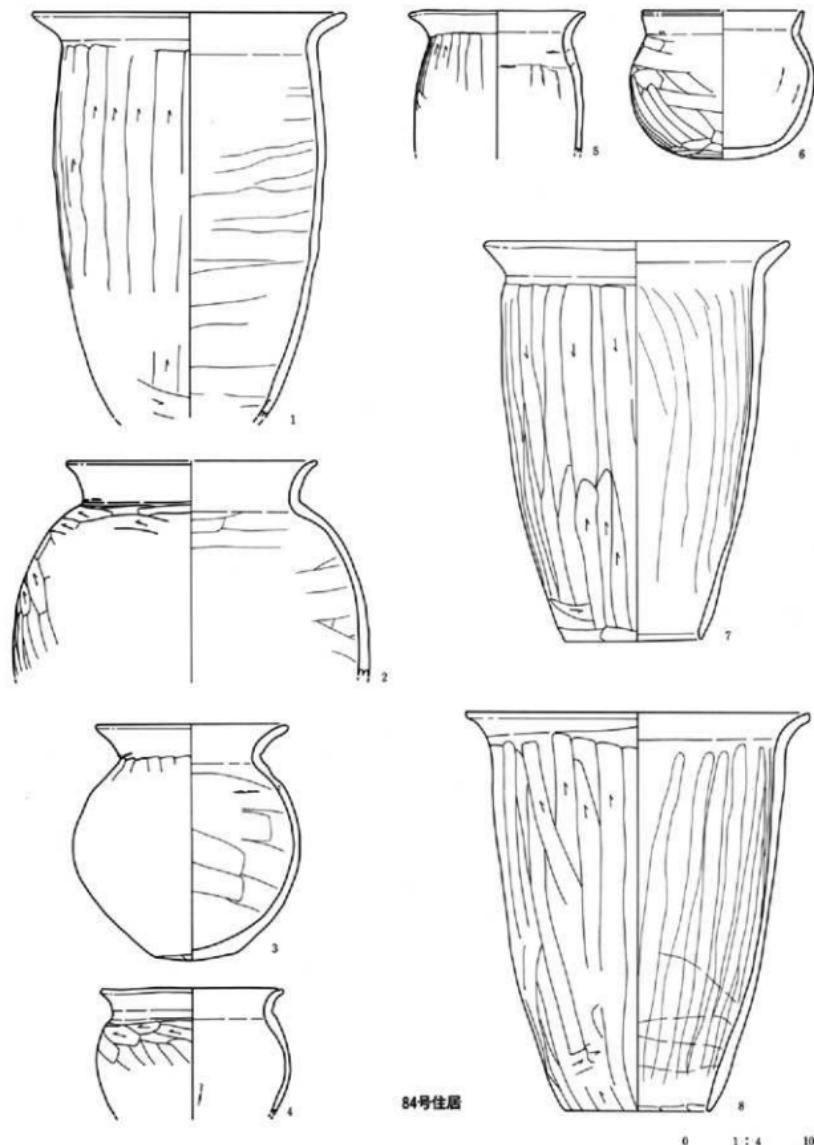


图249

白倉B区84号住居出土遺物

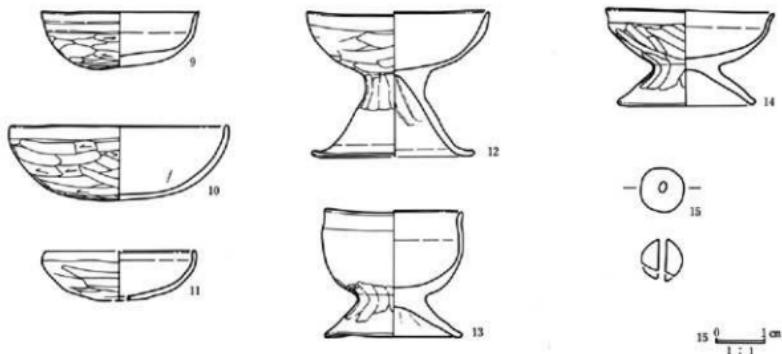


84号住居

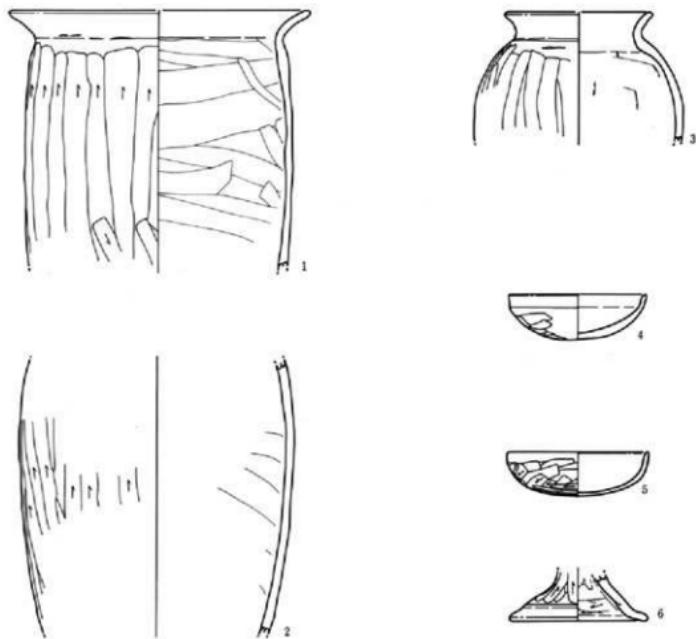
0 1 : 4 10cm

图250

白倉B区84·85号住居出土遺物



84号住居

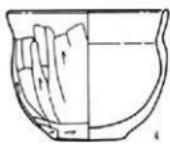
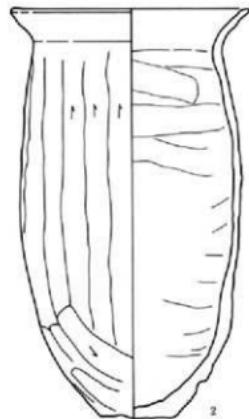
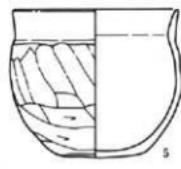
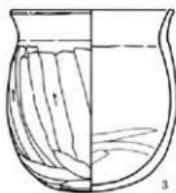
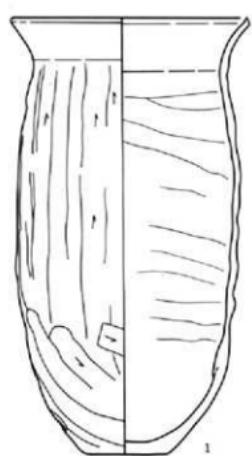


85号住居

0 1:4 10cm

图251

白倉B区94号住居出土遺物

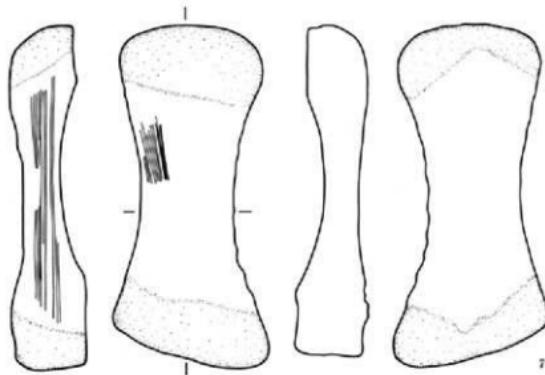
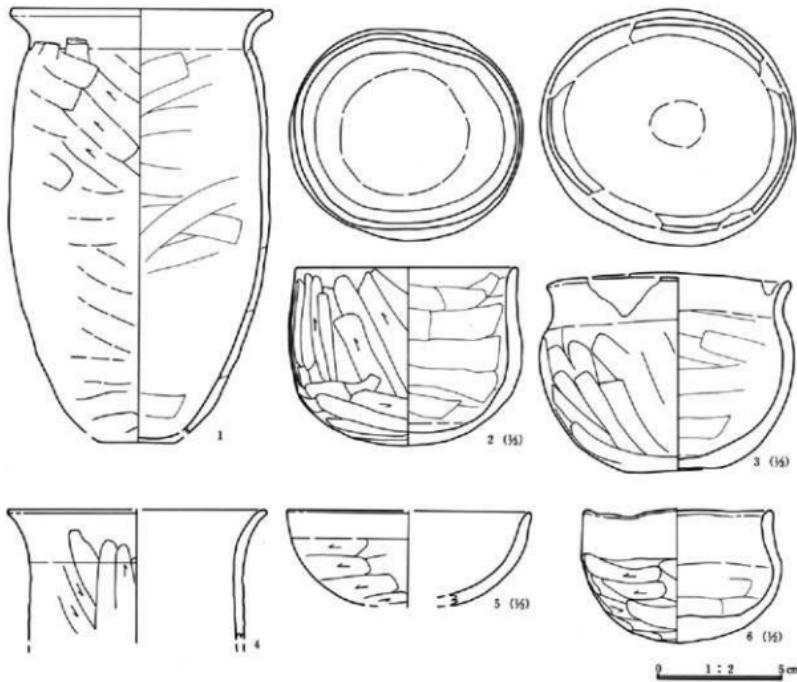


94号住居

0 1 : 4 10cm

图252

白倉C区2号住居出土遺物



2号住居

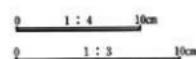
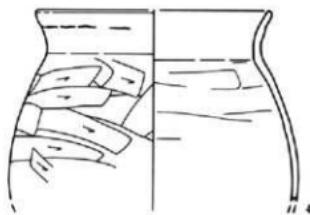
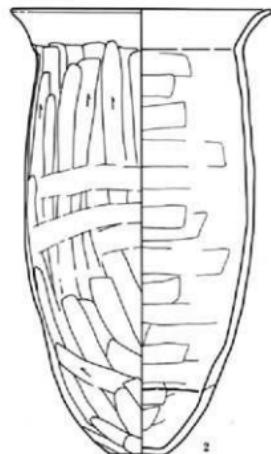
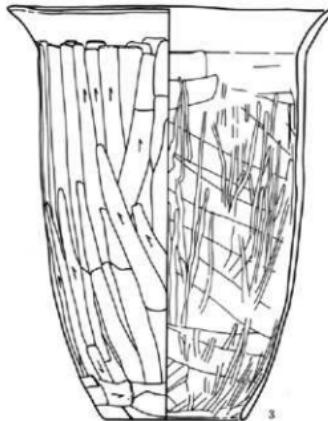
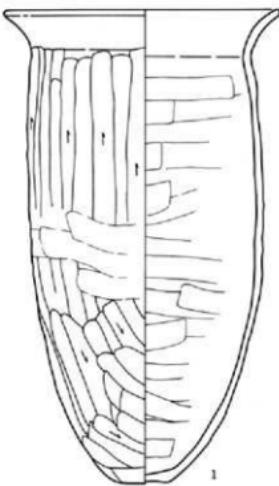


图253

白倉C区3号住居出土遺物

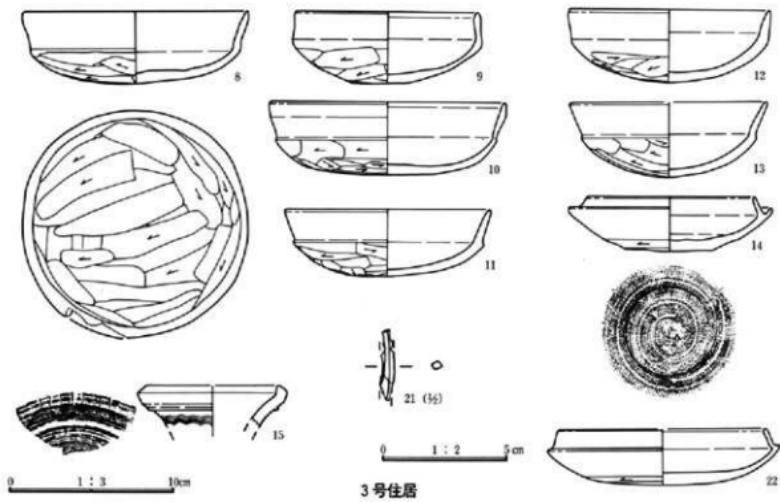


3号住居

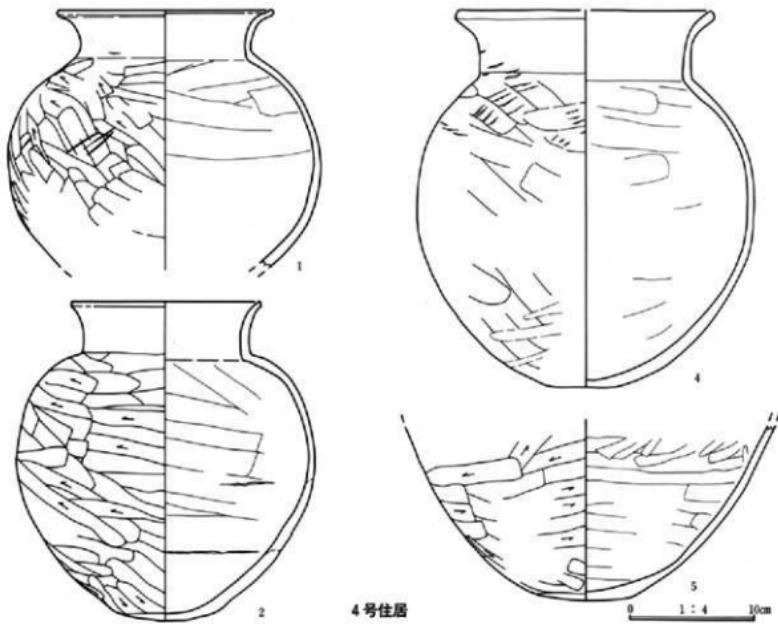
0 1:4 10cm
0 1:3 10cm

图254

白倉C区3・4号住居出土遺物



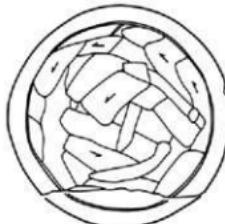
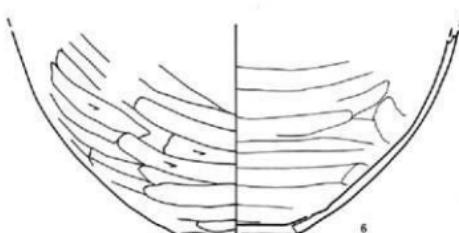
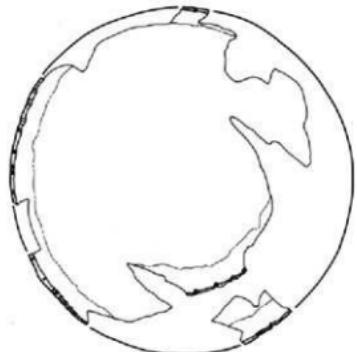
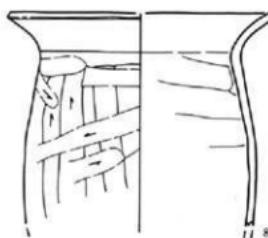
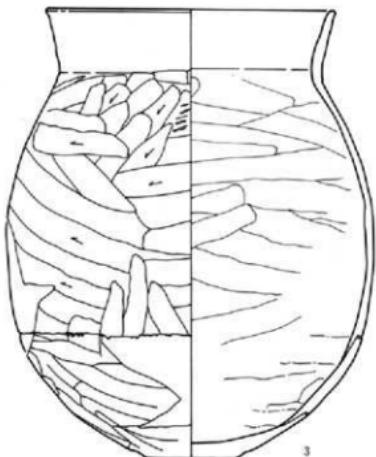
3号住居



4号住居

図255

白倉C区4号住居出土遺物

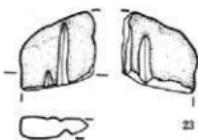
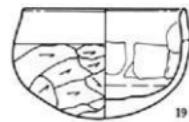
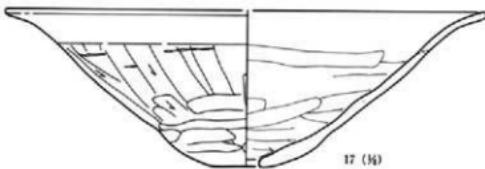
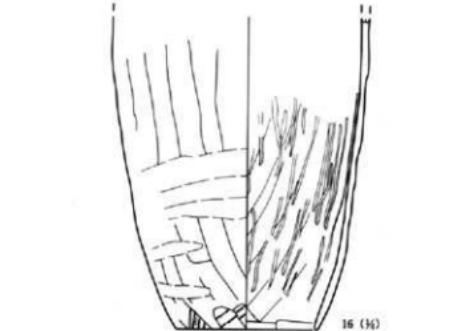
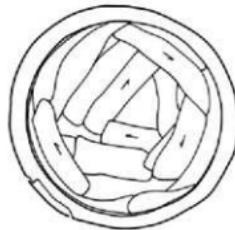
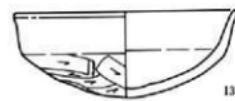
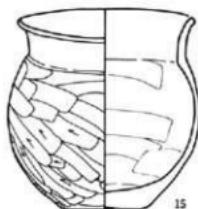
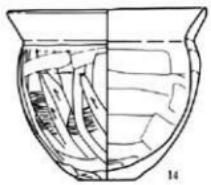
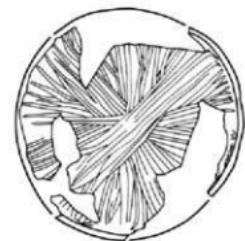


4号住居

0 1 : 4 10cm
0 1 : 3 10cm

图256

白倉C区4号住居出土遺物



4号住居

0 1 : 4 10cm
0 1 : 3 10cm

图257

白倉C区5号住居出土遺物

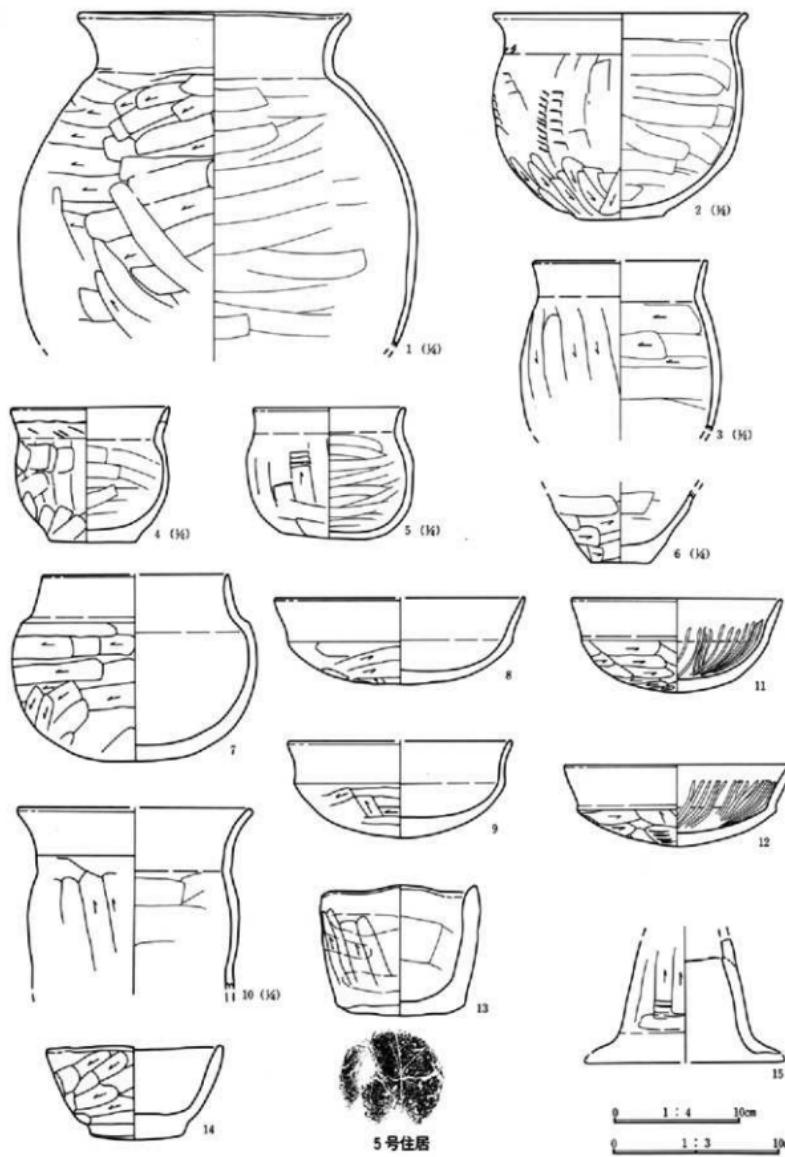
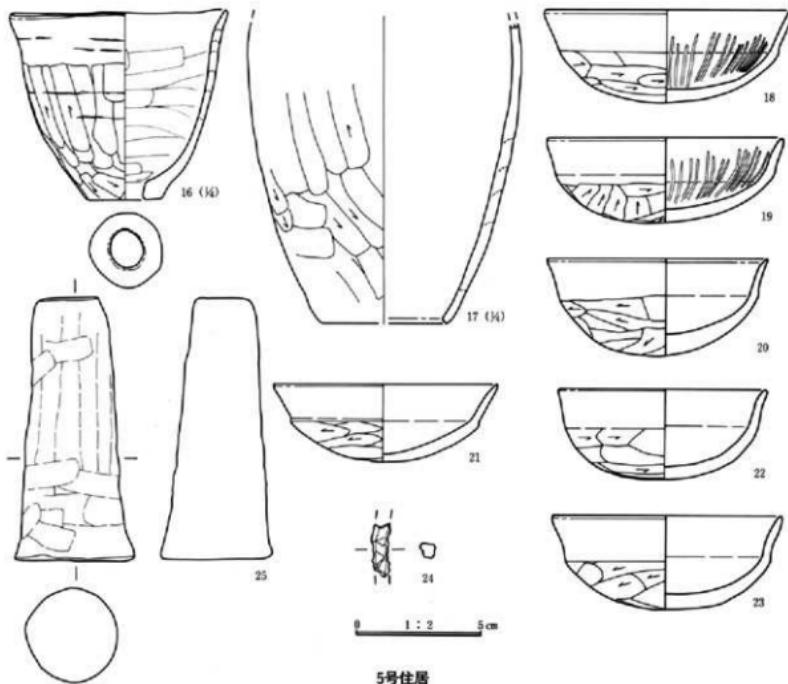
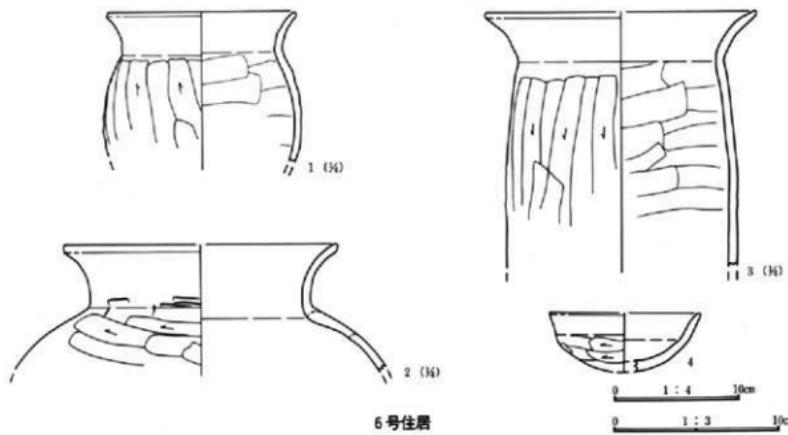


图258

白倉C区5・6号住居出土遺物



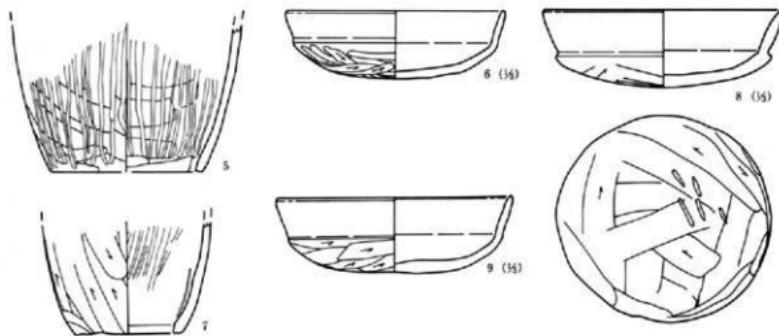
5号住居



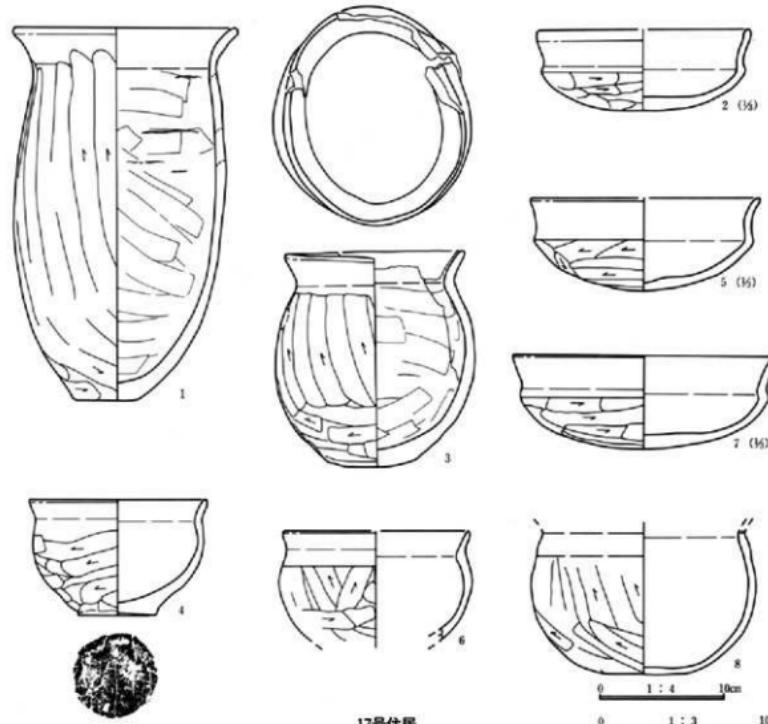
6号住居

図259

白倉C区6・11号住居出土遺物



6号住居

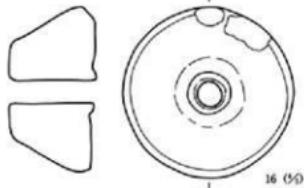
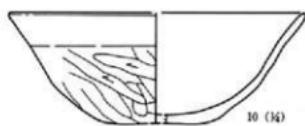
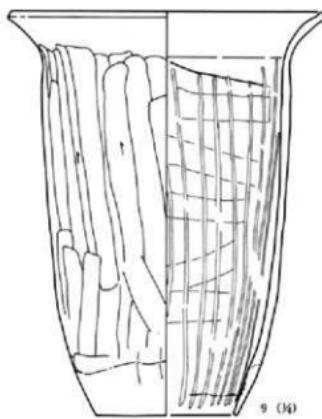


17号住居

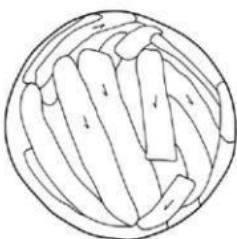
0 1 : 3 10cm

0 1 : 4 10cm

图260



白倉C区11号住居出土遺物



0 1 : 2 5cm

0 1 : 4 10cm

0 1 : 3 10cm

图261

白倉C区12号住居出土遺物

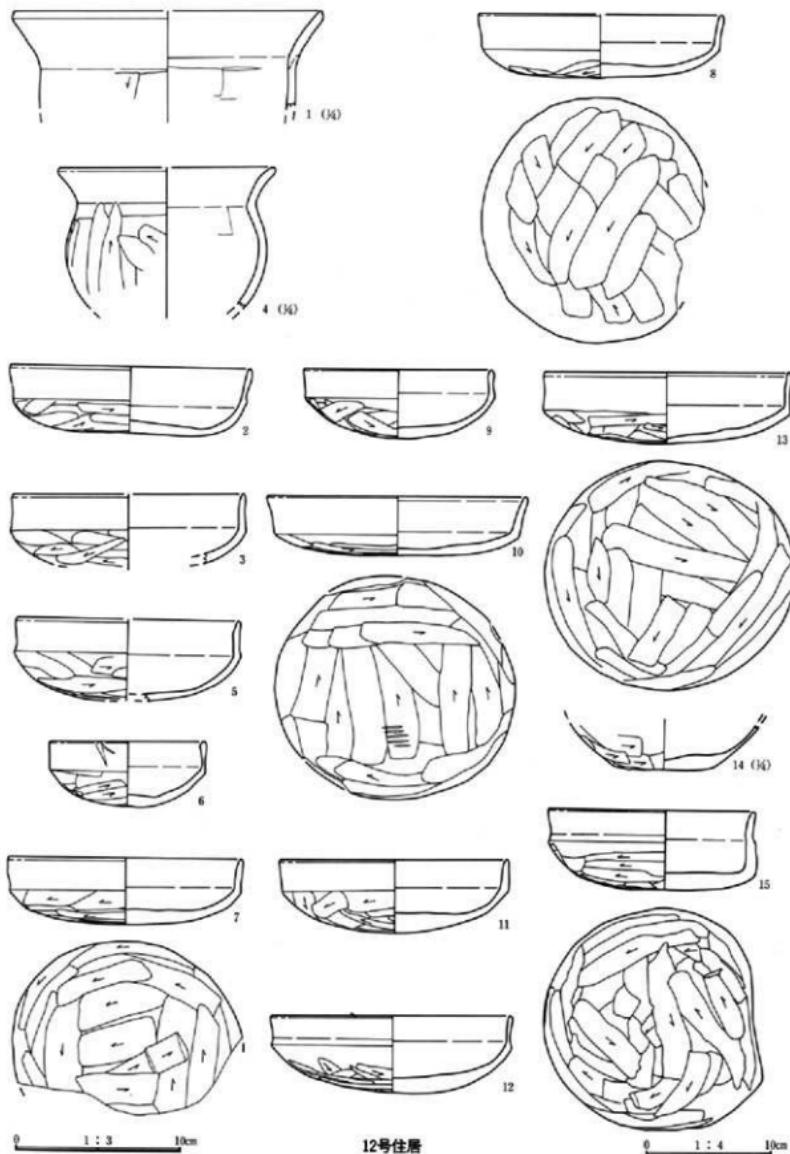
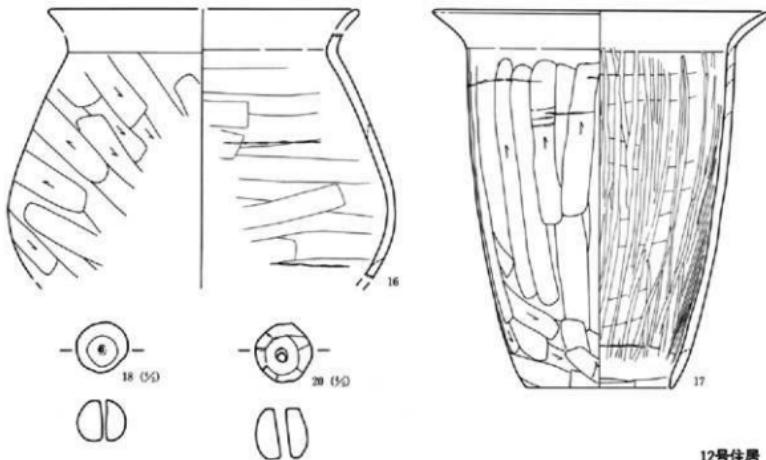


图262

白倉C区12・13号住居出土遺物



12号住居

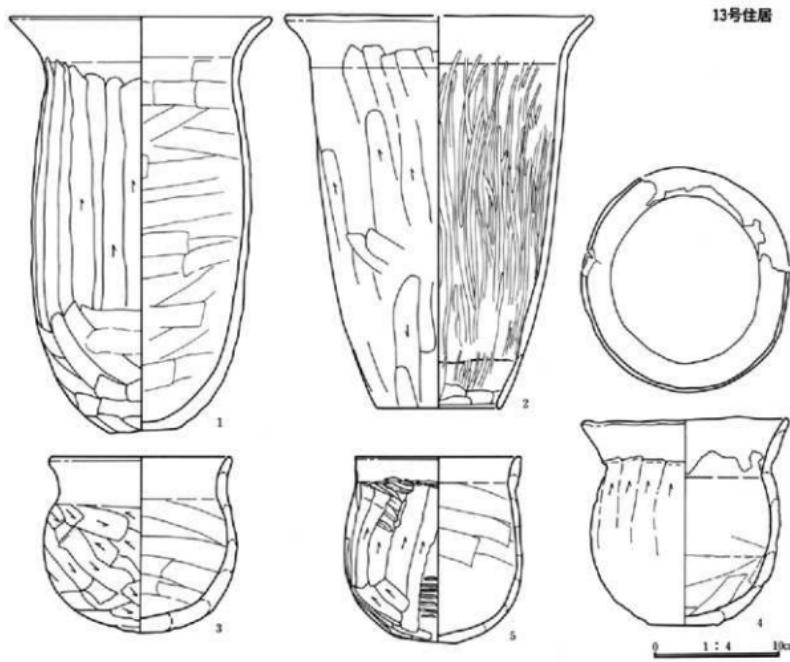
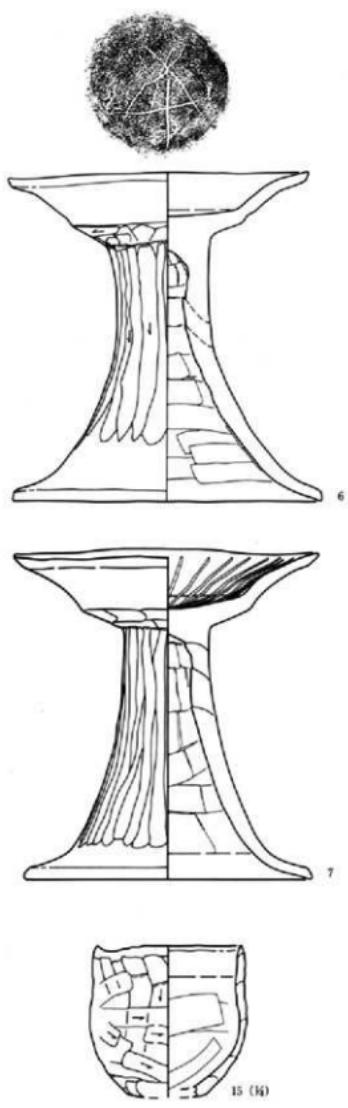


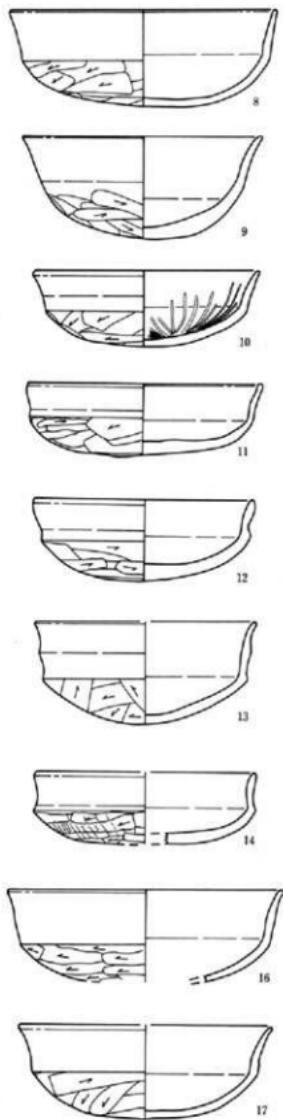
图263

白倉C区13号住居出土遺物



0 1 : 4 10cm

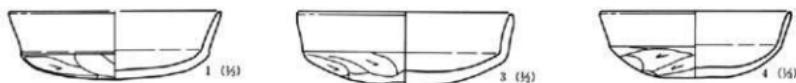
13号住居



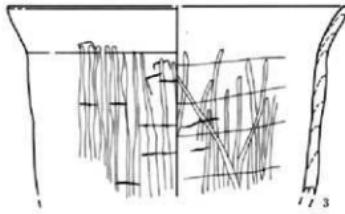
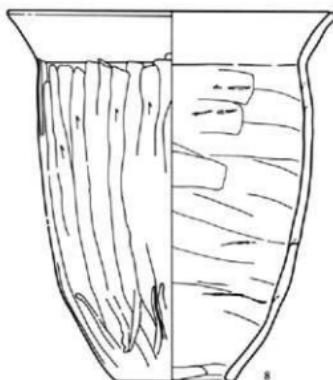
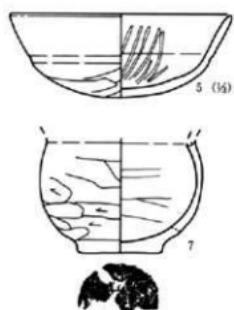
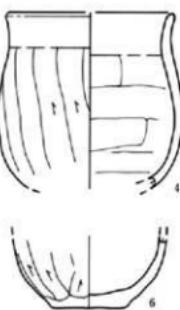
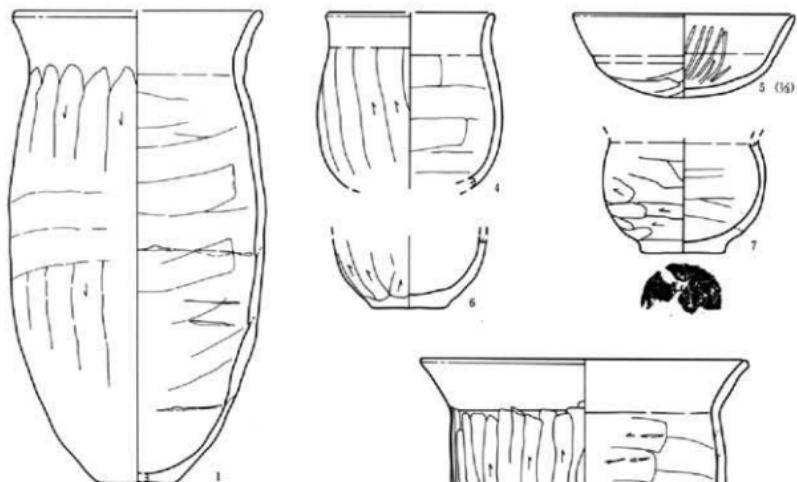
0 1 : 3 10cm

图264

白倉C区15・16号住居出土遺物



15号住居



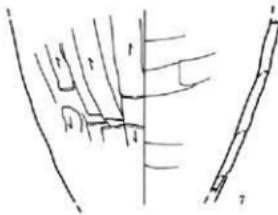
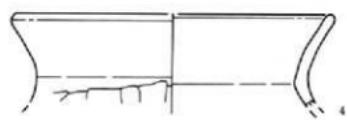
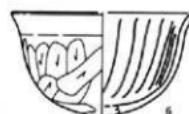
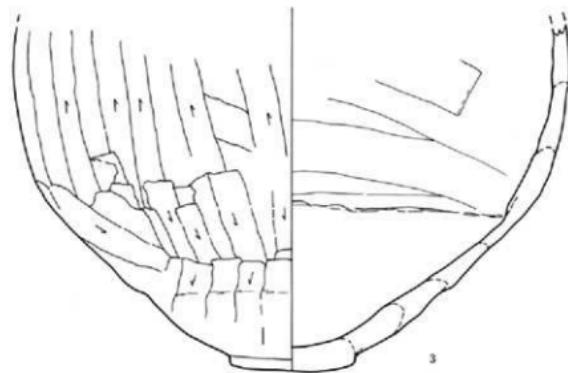
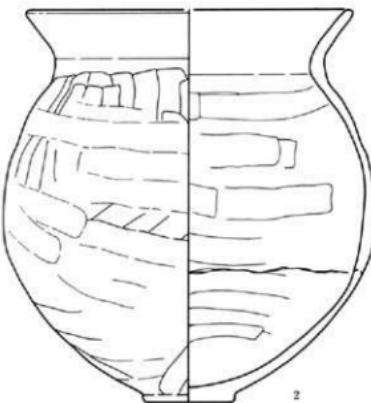
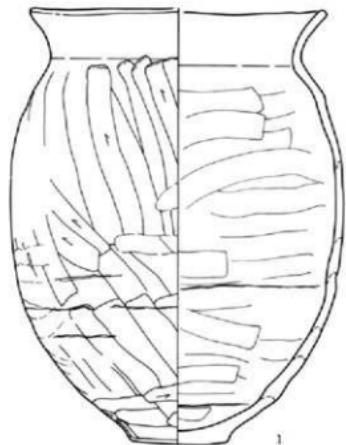
16号住居



0 1 : 4 10cm
0 1 : 3 10cm

图265

白倉C区17号住居出土遺物



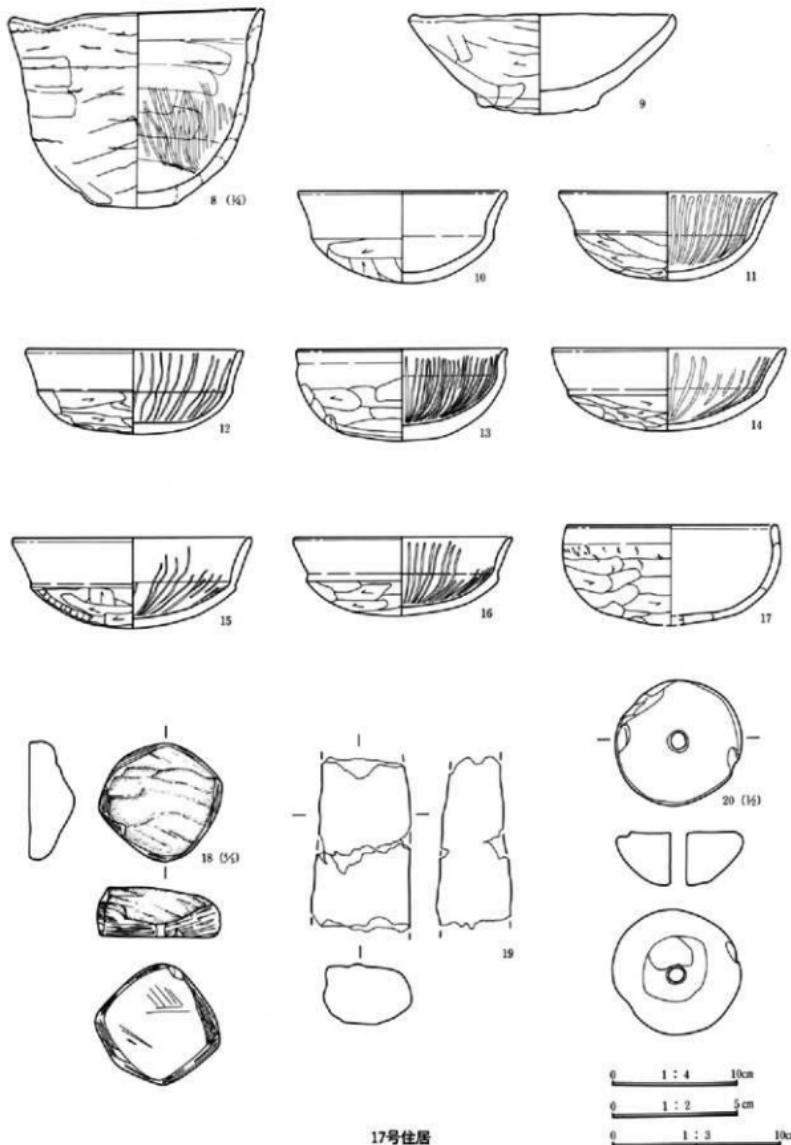
0 1 : 4 10cm

0 1 : 3 10cm

17号住居

图266

白倉C区17号住居出土遺物



17号住居

图267

白倉C区18号住居出土遺物

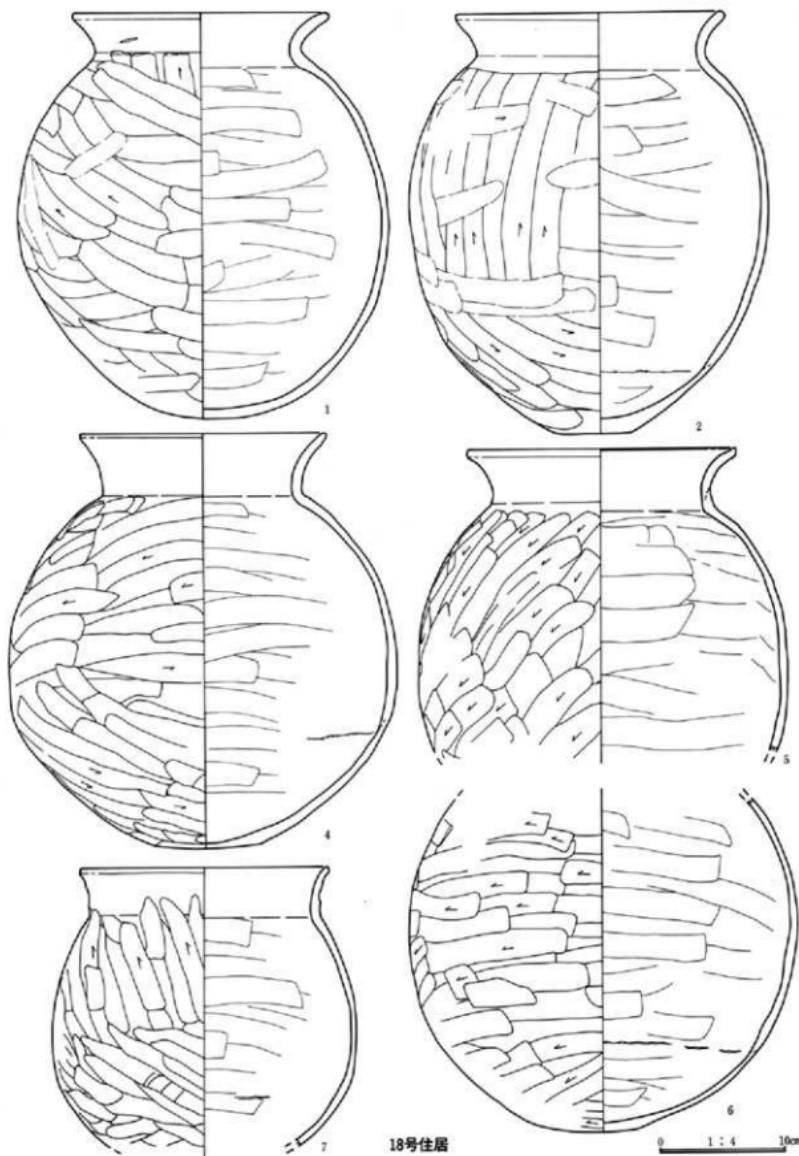
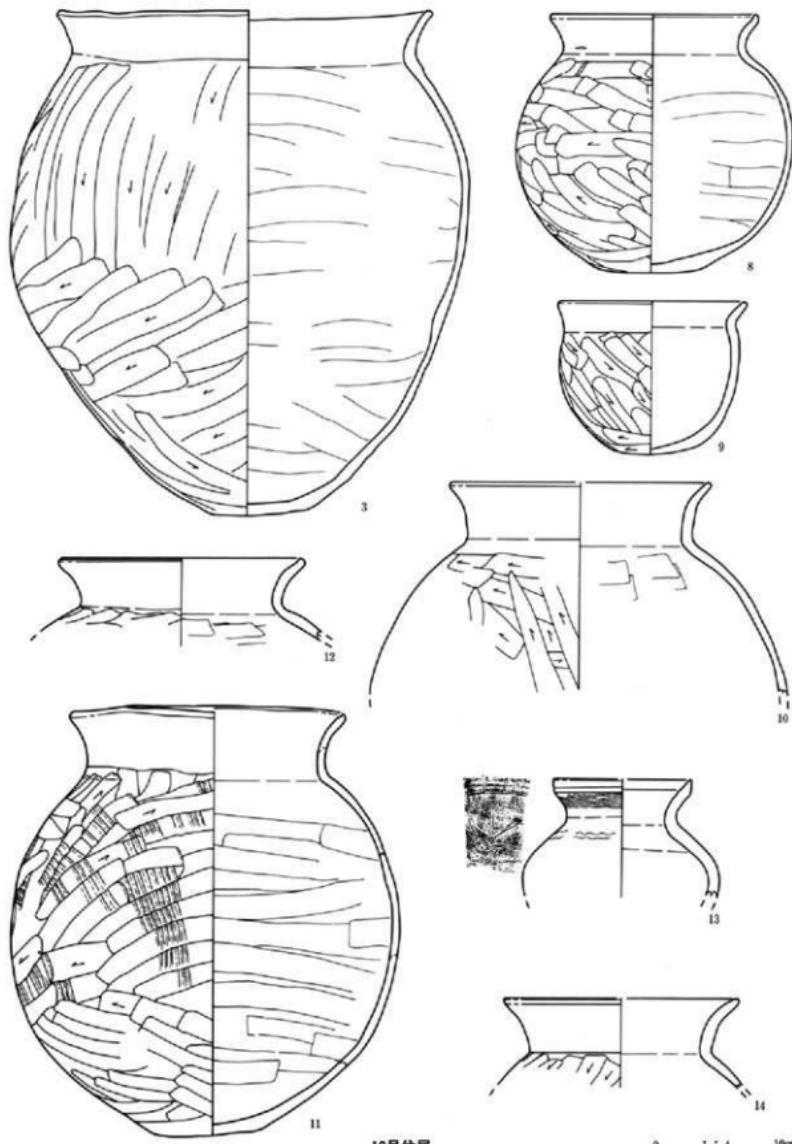


图268

白倉C区18号住居出土遺物



18号住居

0 1:4 10cm